

砂原配水場改築工事（土木・建築）

設計図面目録

図面番号	図 面 名 称	縮 尺
管理棟建築工事		
《意匠》		
A-1	建築工事特記仕様書 1	—
A-2	建築工事特記仕様書 2	—
A-3	建築工事特記仕様書 3	—
A-4	建築工事特記仕様書 4	—
A-5	建築工事特記仕様書 5	—
A-6	建築工事特記仕様書 6	—
A-7	建築工事特記仕様書 7	—
A-8	建築工事特記仕様書 8	—
A-9	建築工事特記仕様書 9	—
A-10	平面配置図	S=1/200
A-11	仕上表・面積表	—
A-12	平面図・屋根伏図	S=1/100
A-13	立面図	—
A-14	断面図	S=1/100
A-15	矩計詳細図	S=1/50
A-16	1 階平面詳細図	S=1/50
A-17	2 階平面詳細図	S=1/50
A-18	内部階段詳細図	S=1/50
A-19	外部階段詳細図	S=1/30
A-20	建具表・建具キープラン	S=1/50, 200
A-21	展開図（1）	S=1/100
A-22	展開図（2）	S=1/100
A-23	展開図（3）	S=1/100
A-24	展開図（4）	S=1/100
A-25	展開図（5）	S=1/50
A-26	雑詳細図 1	S=1/10, 30
A-27	雑詳細図 2	S=1/2, 5, 10, 20
A-28	雑詳細図 3	S=1/5, 10, 20, 50
A-29	天井伏図	S=1/100
A-30	箱抜き図	S=1/100
A-31	仮設図（参考）	図示

図面番号	図 面 名 称	縮 尺
《構造》		
S-1	構造細目共通図（建築構造物）（1）	—
S-2	構造細目共通図（建築構造物）（2）	—
S-3	構造細目共通図（建築構造物）（3）	—
S-4	構造細目共通図（建築構造物）（4）	—
S-5	構造細目共通図（建築構造物）（5）	—
S-6	構造細目共通図（建築構造物）（6）	—
S-7	杭伏図・基礎配筋図	S=1/100
S-8	伏図	S=1/150
S-9	軸組図（1）	S=1/150
S-10	軸組図（2）	S=1/150
S-11	大梁・小梁・スラブリスト	S=1/40
S-12	架構配筋図	S=1/40
S-13	雑詳細図	S=1/40
S-14	G-ECSパイル設計施工標準（参考）	—
《付帯電気設備》		
AE-1	建築電気設備 特記仕様書	—
AE-2	電灯分電盤結線図 照明器具姿図	—
AE-3	電灯設備 1 階、2 階平面図	S=1/100
AE-4	電灯設備（コンセント）1 階、2 階平面図	S=1/100
AE-5	a-a、b-b断面図、内部階段断面図	S=1/150
AE-6	動力制御盤結線図	S=1/100
AE-7	動力設備 1 階、2 階平面図	S=1/100
AE-8	構内交換・情報通信網設備 1 階、2 階平面図	S=1/100
AE-9	火災報知設備、1 階、2 階平面図	S=1/100
AE-10	構内配電線路（外灯）平面図	S=1/200
《付帯機械設備》		
AM-1	建築機械設備 特記仕様書	—
AM-2	配置図	S=1/200
AM-3	空調換気設備 凡例・機器表	—
AM-4	空調換気設備 系統図	—
AM-5	空調換気設備 ダクト平面図	S=1/100
AM-6	空調換気設備 ダクト断面図	S=1/100
AM-7	空調換気設備 配管平面図	S=1/100
AM-8	給排水衛生設備 凡例・機器表・1 階平面図	S=1/100
AM-9	給排水衛生設備 平面図	S=1/100
AM-10	浄化槽参考図	S=1/15

砂原配水場改築工事（土木・建築）  
管理棟建築工事 特記仕様書

工事設計図

令和 8 年 月 (金 祝)

特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

山梨県笛吹市石和町砂原地内

2. 敷地面積

3. 工事種目

4. 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。  
・「3. 工事種目」のうち の全てを工事範囲とする。  
・「3. 工事種目」のうち の工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

工事種目	工事範囲
2 仮設工事	
3 土工	
4 地業工事	
5 鉄筋工事	
6 コンクリート工事	
7 鉄骨工事	
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	
9 防水工事	
10 石工事	
11 タイル工事	
12 木工	
13 屋根及びとい工事	
14 金属工事	
15 左官工事	
16 建具工事	
17 カーテンウォール工事	
18 塗装工事	
19 内装工事	
20 ユニット及びその他の工事	
21 排水工事	
22 舗装工事	
23 植栽及び屋上緑化工事	

II 建築工事仕様

1. 標準仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）」（以下「標準仕様書」という。）による。

2. 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（ / ）図、機械設備工事の特記仕様書は（ / ）図による。

3. 特記仕様書の表記

(1) 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。  
○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  
○ 印と◎ 印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の（ . . ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章 項 目 特 記 事 項

① 一般共通事項

① 適用基準等

図面、本特記仕様書、標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。  
・建築物解体工事共通仕様書（最新版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部  
○営繕工事写真撮影要領（最新版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部  
○建築工事標準詳細図（最新版）（以下「標準詳細図」という） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課  
その他  
・  
・

② 工事実績情報システム（CORINS）への登録

※適用する

③ 法令等の適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。  
○風圧力  
風速（V0= 30 m/s）  
地表面粗度区分（ ・Ⅰ ・Ⅱ ○Ⅲ ・Ⅳ ）  
○積雪荷重  
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表（27）

④ 工事の記録等

(1. 2. 4)  
報告に用いる書式等  
○現場説明書による ・  
○標準仕様書1.2.4（4）により整備する工事写真については次による。  
『営繕工事写真撮影要領（令和4年版）による。』

⑤ 電気保安技術者

(1. 3. 3)  
※適用する

⑥ 施工条件

(1. 3. 5)  
※ 標準仕様書1.3.5（1）以外の施工条件については、現場説明書による。

⑦ 発生材の処理等

(1. 3. 11)  
○発注者に引渡しを要するもの  
・現場説明書による ・  
○特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法  
・現場説明書による ・  
○工事現場において再利用を図るもの及び再資源化を図るもの  
・現場説明書による ・

⑧ 材料の品質等

(1. 4. 2)  
(1) 本工事に使用する材料は、設計図面に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。  
(2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。  
(3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。  
(4) 本工事に使用する材料のうち、（5）に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関〔（一社）公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質評価事業」】の評価書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。  
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。  
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。  
③法的な供給が可能であること。  
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。  
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。  
⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。  
(5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料  
○（一社）公共建築協会の「建築材料・設備機材等品質評価事業」において評価書が発行されている材料  
床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、押出成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材、セラミックタイル、既調合モルタル、既調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材、防水剤、アルミニウム製建具（コンクリート系下地及び鉄骨下地）、樹脂製建具（コンクリート系下地及び鉄骨下地）、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類、クロウザ類、自動ドア機構、自閉式上吊り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、ガラス、現場発泡断熱材、フリースアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメントモルタル、鋼鉄製ふた  
・  
・

⑨ 技能士

適用工事種類

職 種

技能検定の作業の種別

仮設工事

とび

○とび作業

鉄筋工事

鉄筋施工

○鉄筋組立て作業

コンクリート工事

型枠施工  
コンクリート圧送施工

○型枠工事作業  
○コンクリート圧送工事作業

鉄骨工事

鉄工

・構造物鉄工作業

コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事

ブロック建築  
エーエルシーパネル施工

・コンクリートブロック工事作業  
・エーエルシーパネル工事作業

防水工事

防水施工

○アスファルト防水工事作業  
○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業  
・アクリルゴム系塗膜防水工事作業  
・合成ゴムシート防水工事作業  
・塩化ビニルシート防水工事作業  
・セメント系防水工事作業  
○シーリング防水工事作業  
・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業  
・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業  
・FRP防水工事作業

石工事

石材施工

・石張り作業

タイル工事

タイル張り

・タイル張り作業

木工

建築大工

・大工工事作業

屋根及びとい工事

建築板金

・内外基板金作業

金属工事

内装仕上げ施工  
建築板金

○鋼製下地工事作業  
・内外基板金作業

左官工事

左官

○左官作業

建具工事

サッシ施工  
ガラス施工  
自動ドア施工

○ビル用サッシ施工作業  
○ガラス工事作業  
・自動ドア施工作業

カーテンウォール工事

カーテンウォール施工  
サッシ施工  
ガラス施工

・金属製カーテンウォール工事作業  
・ビル用サッシ施工作業  
・ガラス工事作業

塗装工事

塗装

○建築塗装作業  
・プラスチック系床仕上げ工事作業  
・カーペット系床仕上げ作業  
○ボード仕上げ工事作業  
・壁張作業

内装工事

内装仕上げ施工

○ボード仕上げ工事作業

排水工事

表装  
配管

○壁張作業  
○建築配管作業

舗装工事

路面標示施工

・溶融ベイントハンドマーカ―工事作業  
・加熱ベイントマシンマーカ―工事作業

植栽工事

造園

・造園工事作業

10 化学物質の濃度測定

(1. 5. 9)  
※適用する  
測定時期  
測定対象化学物質  
・ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン  
測定方法  
・バッシュ型採取機器による  
測定対象室及び測定箇所  
・仕上げ表による

11 技術検査

(1. 6. 2)  
・中間技術検査 実施回数（ ）回  
実施する段階（ ）

⑫ 完成時の提出図書

(1. 7. 1～1. 7. 3）(表1. 7. 1)  
工事完成時の提出図書  
※標準仕様書1.7.2及び1.7.3による  
・  
完成図の提出（ ）部  
提出仕様 ○紙ベース ○電子データ ・（ ）  
保全に関する資料の提出（ ）部  
提出仕様 ○紙ベース ○電子データ ・（ ）

⑬ 完成写真

工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。  
撮影箇所（ 外部（ ）内部（ ））  
撮影仕様（ 電子データ 500万画素以上 ）  
提出仕様（ キャビネ板：部 CD-R：枚 ）

⑭ 設計 G L

○図示による ・

⑮ その他法令

○『山梨県公共事業における景観ガイドライン』に沿った計画とすること

② 仮設工事

① 監督職員事務所

(2. 3. 1)  
※設ける  
規模、仕上げの程度、設備、並びに備品等の種類及び数量は現場説明書による。  
② 工事用水  
構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる（ ※有償 ・無償 ）  
③ 工事用電力  
構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる（ ※有償 ・無償 ）

③ 土工

① 埋戻し及び盛土

(3. 2. 3）(表3. 2. 1)  
埋戻し及び盛土の材料及び工法  
※標準仕様書 表3.2.1による ・  
・A 種 施工箇所（ ）  
○B 種 施工箇所（ ）  
・C 種 施工箇所（ ）土質（ ） 受渡場所（ ）  
・D 種 施工箇所（ ）  
※構外搬出適切処理  
搬出場所：牛久寿生土処分場  
住所：甲斐市牛久地内  
・構内指定場所に堆積 ・構内指定場所に敷均し  
埋戻し量 594.0m3  
処理量 618.0m3

② 建設発生土の処理

(3. 2. 5)

④ 地業工事

① 試験及び報告書

○杭基礎 (4. 2. 1) (4. 2. 2) (4. 3. 4) (4. 3. 5) (4. 5. 5) (4. 5. 6)  
支持地盤の位置及び土質（基礎ぐいの先端位置含む）  
○図示による ・  
試験杭の位置  
○図示による ・  
・直接基礎 (4. 2. 1)  
支持地盤の位置及び土質（基礎底部の位置含む）  
・図示による ・  
試験掘り（掘切り底の状態の確認等） (3. 2. 1)  
・行わない  
・行う  
位置等 ・図示による ・  
・杭の載荷試験 (4. 2. 3)  
載荷試験の方法  
・鉛直載荷試験  
・地盤工学会基準JGS（ ）による ・  
・水平載荷試験  
・地盤工学会基準JGS 1831 による ・  
・試験の位置、本数、載荷荷重  
・図示による ・  
報告書の記載事項  
・  
・地盤の載荷試験 (4. 2. 4)  
載荷試験の方法  
平板載荷試験 ・地盤工学会基準JGS 1521 による ・  
試験の位置、載荷荷重  
・図示による ・  
報告書の記載事項  
・  
種類 (4. 3. 3)  
・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭）  
・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭）  
・外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭）  
SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490  
・  
杭の種類、性能及び曲げ強度区分（種別）、寸法、継手の箇所数等 (4. 2. 2) (4. 3. 3)

	種類	コンクリート強度(N/mm <sup>2</sup> )	杭径(mm)	厚さ(mm)	杭長(mm)	継手数	セツト数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭 中杭 下杭								
本 杭	上杭 中杭 下杭								

杭先端部形状 (4. 3. 3)  
・開放形 ・半開放形 ・閉そく形 ・  
・セメントミルク工法 (4. 3. 1) (4. 3. 4)  
掘削深さ  
・図示による ・  
杭の支持層への掘入れ深さ  
・図示による ・  
杭の水平方向の位置ずれ精度  
・杭径の1/4かつ100mm以下  
・掘削液及び杭周囲定液の管理試験  
※標準仕様書4.3.4(6) (a)による ・  
・特定埋込杭工法 (4. 3. 1) (4. 3. 5)  
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法  
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうちα、β、γが以下の値を採用できる工法  
α=（ ）、β=（ ）、γ=（ ）  
工法  
・プレローリング拡大根固め工法  
・中掘り拡大根固め工法  
・  
杭継手工法 (4. 3. 3) (4. 3. 6) (7. 2. 5)  
・アーク溶接継手  
溶接材料  
・標準仕様書7.2.5(1) (2)による  
・  
・機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）  
杭頭処理 (4. 3. 8)  
・処理しない  
・処理する  
処理方法（切断に伴う補強方法含む）  
・図示による ・

工事名

砂原配水場改築工事（土木・建築）

図面番号

A  
01

建築工事特記仕様書（その1）

縮 尺

――

事業主

笛吹市公営企業部水道課



⑬無筋コンクリート

コンクリートの種類  
※普通コンクリート

設計基準強度  
※18(N/mm<sup>2</sup>)

スランブ  
※15cm又は18cm

適用箇所  
・標準仕様書 6.14.1(4)による  
○図示による

・標準仕様書 表6.2.1以外のコンクリートを用いる場合  
( )

14流動化コンクリート

適用箇所  
・図示による

⑮コンクリートの単位  
水量測定

○行う ・行わない

実施要領  
(1)単位水量の測定は、150㎡に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。  
(2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(f)(o)による。  
(3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。  
1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m<sup>3</sup>の範囲にある場合はそのまま施工する。  
2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m<sup>3</sup>の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後設計値±15kg/m<sup>3</sup>以内に安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。  
3)設計値±20kg/m<sup>3</sup>を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m<sup>3</sup>以内であることを確認する。さらに、設計値±15kg/m<sup>3</sup>以内に安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。  
4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。  
(4)単位水量管理についての記録を書面(計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。  
(5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

⑦鉄骨工事

①鉄骨製作工場

鉄骨製作工場の加工能力  
・国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場  
( R )グレード以上  
・監督職員の承諾する工場

※適用する

材質等

種類の記号	適用箇所（主要な部分）	規格
SS400	主材	・JIS規格による ・JIS規格による
		・JIS規格による ・JIS規格による
		・JIS規格による ・JIS規格による
		・JIS規格による ・JIS規格による

形状及び寸法

○図示による  
板厚方向に引張力を受ける鋼材の試験  
・行う（適用箇所： ） ○行わない

④高力ボルト

高力ボルトの種類  
○トルシア形高力ボルト  
・JIS形高力ボルト  
・溶融亜鉛めっき高力ボルト  
・建築基準法に基づき認定を受けた高力ボルト

ボルトの寸法

ねじの呼び ○図示による  
ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等  
・図示による ○ @60 e40

摩擦面の性能及び処理  
・すべり試験  
試験の方法等  
・図示による ・行わない  
・溶融亜鉛めっき面の摩擦面の処理方法  
※標準仕様書7.12.5(1)(7)、(4)による

JIS 形高力ボルトの締付け（本締め）  
ナット回転法の場合で、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量  
・図示による

5普通ボルト

ボルト及びナットの材料  
※標準仕様書 表7.2.3による  
ボルトの形状及び寸法  
ねじの呼び ・図示による

ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等  
・図示による

母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径  
※ねじの呼び径+1.0mm

⑥アンカーボルト

種類  
・構造用アンカーボルト  
○ABR400 ・ABR490  
・建方用アンカーボルト  
・SS400  
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度  
※標準仕様書表7.2.3による

ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等  
・図示による

7溶接材料

溶接材料  
・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による  
・図示による

8ターンバックル

種類  
建築用ターンバックルボルト  
※羽子板ボルト  
建築用ターンバックル鋼  
※割持式  
ねじの呼び等  
・図示による

9床構造用デッキ  
プレート

材質、形状及び寸法

	適用箇所	材質・形状・寸法	備考
・デッキプレート単独の構造			
・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構造			
・			

鉄骨部材への溶接方法  
・図示による

⑩スタッド

種類等

呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所
・16		
・19		
・22		

・無収縮モルタル  
無収縮モルタルの材料、調合等  
※標準仕様書7.2.9(2)による  
・標準仕様書7.2.9(1)によるモルタル

⑪柱底均しモルタル

※行う  
仮組を行う範囲  
・図示による

12鉄骨の仮組

試験の要領  
・図示による

13溶接接合

開先の形状  
・図示による

鋼製エンドタブを切断する箇所及び切断範囲  
・図示による  
切断面の仕上げ  
※標準仕様書7.6.7(1)(a)(b)による  
スカラップの形状  
・図示による

低応力高サイクル疲労を受ける部位  
・図示による

15溶接部の試験

溶接部の外観試験  
平成12年建設省告示第1464号第二号に関する試験  
試験の方法  
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル（鉄骨製作管理技術者登録機構）」3.5.2 受入検査による。  
・抜き取り検査① ※抜き取り検査②  
  
JASS6付則6の付表3「溶接」に関する試験  
試験の方法  
・JASS 6 10.4 [受入検査] e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。  
・

・完全溶込み部の超音波探傷試験  
工場溶接の場合  
AQL (%) ※4.0 ・2.5

節	全て			
検査水準	※第6水準			

⑯錆止め塗装

塗料の範囲  
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲  
・図示による  
耐火被覆材の接着する面以外での塗装範囲  
○標準仕様書7.8.2(1)による  
・図示による  
  
下記以外の塗料の類別は、18 章による  
・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止めの塗料の類別  
※A種 ・B種  
・耐火被覆が接着する面の塗料の類別

17耐火被覆

種類、材料、工法等

種類	材料・工法	耐火性能（時間）	適用箇所（部位・部分）
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール		
	・半乾式吹付けロックウール		
	・湿式ロックウール		
	・		
	・		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板	60	
	・		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		
	・		
・ラス張り	—		
・モルタル塗り			
・耐火塗料			

⑰アンカーボルトの設置等

構造用アンカーボルトの形状及び寸法  
○図示による

構造用アンカーフレームの形状及び寸法  
・図示による

建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法  
種別 ・A種 ・B種

柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別  
厚さ ・30mm  
種別 ※A種

19軽量形鋼構造

ボルト接合方法  
・普通ボルト接合

8コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事

1補強コンクリート  
ブロック造

材料

断面形状及び圧縮強さによる区分
-----------------

モルタルの調査（容積比）  
ブロックの区分がA(08)、B(12)、C(16)の場合で、目地巾が10mm程度の場合  
※標準仕様書 表8.2.1による  
上記以外

各部の配筋 ・図示による

目地仕上げ ・押し目地仕上げ ・化粧目地仕上げ

まぐさを受ける開口部両側のブロックにおいて、モルタル又はコンクリートで充填する  
ブロックの範囲  
・図示による

2コンクリートブロック  
帳壁及び壁

材料

断面形状及び圧縮強さによる区分
-----------------

モルタルの調査（容積比）  
ブロックの区分がA(08)、B(12)、C(16)の場合で、目地巾が10mm程度の場合  
※標準仕様書 表8.2.1による  
上記以外

鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状  
・図示による

各部の配筋 ・図示による

3ALCパネル

材料、構法

パネルの区分						
用途	形状	表面加工	単位荷重(N/m <sup>2</sup> )	厚さ(mm)	幅及び長さ(mm)	耐火性能(時間)
・外壁用	・一般	・平	・意匠	・100 ・	・図示	・有(1)
	・コーナー					
・間仕切壁用	・一般	・平	・意匠	・100 ・	・図示	・有(1) ・無
	・コーナー					
・屋根版用	—	—		・100 ・	・図示	・有(0.5) ・無
・床版用	—	—		・100 ・	・図示	・有( ) ・無

パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材  
・図示による

・外壁パネル構法、屋根及び床パネル構法  
耐風圧性能 ( )  
耐震性能 ( )  
・間仕切壁パネル構法  
耐震性能 ( )

パネル幅の最小限度 (mm)  
・300未満 (・図示 )

パネルの短辺小口相互の接合部、出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の伸縮目地の目地幅 (mm)  
※10～20mm ・図示による  
伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない

4押出成形セメント板  
(ECP)

材料、工法

パネルの種類	形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	備考
・外壁パネル	・F（フラットパネル）	・50・60	600	・A種 ・B種	
	・D（デザインパネル）	・50・60			
	・T（タイルベースパネル）	60			
・間仕切壁パネル	・F（フラットパネル）	・50・60	600	・B種 ・C種	
	・D（デザインパネル）	・50・60			
	・T（タイルベースパネル）	60			

・外壁パネル工法  
耐風圧性能 ( )  
耐震性能 ( )

・間仕切壁パネル工法  
耐震性能 ( )

耐火構造以外の目地及び隙間の処理  
※パネルの製造所の仕様による

パネル幅の最小限度 (mm)  
・300未満 (・図示 )

パネルの相互の目地幅 (mm)  
長辺の目地幅 ・10以上 ・図示による  
短辺の目地幅 ・15以上 ・図示による

出隅及び入隅のパネル接合部の伸縮目地の目地幅 (mm)  
※15 程度（シーリング材を充填） ・図示による

溝堀及び開口部の措置  
やむを得ず設備開口等を設ける場合のパネルの開口寸法等の限度  
・図示による

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
		A 03
		縮 尺
		—

建築工事特記仕様書（その3）

事業主

笛吹市公営企業部水道課



⑨

防水工事

①

アスファルト防水

屋根保護防水

防水層の種類

種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
・A-1		※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットヤーンクロス70g/㎡程度	・
・A-2			
・A-3			
・B-1			
・B-2			
・AI-1		(厚さ) ○50mm	※フラットヤーンクロス 70g/㎡程度
・AI-2			
・AI-3			
○BI-1	屋上		
・BI-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2)  
※標準仕様書 表9.2.3及び表9.2.4による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分  
材料構成による区分 ・R種 ・N種  
厚さ ・mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2)  
※標準仕様書 表9.2.5及び表9.2.6による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分  
材料構成による区分 ・R種 ・N種  
厚さ ・mm以上

押え金物の材質及び形状寸法 (9.2.2)  
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度  
・

立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置 (表9.2.4)(表9.2.6)  
・適用する ・適用しない

(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.7)(表9.2.8)

屋根露出防水  
防水層の種類

種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	
			種類	使用量
・D-1		・		※製造所の仕様による
・D-2				
・D-3				
・D-4				
・DI-1		(種類) ・		・
・DI-2		(厚さ) ・25mm		

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2)  
※標準仕様書 表9.2.8による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分  
材料構成による区分 ・R種 ・N種  
厚さ ・mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2)  
※標準仕様書 表9.2.7及び表9.2.8による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分  
材料構成による区分 ・R種 ・N種  
厚さ ・mm以上

押え金物の材質及び形状寸法 (9.2.2)  
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度  
・

(9.2.3)

絶縁工法及び断熱絶縁工法の脱気装置の種類及び設置数量  
種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定  
・  
設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定  
・個

(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.9)

屋内防水  
防水層の種類

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・E-1		・E-2	

保護層 ・設ける (※図示 ・) (9.2.3)  
・設けない  
E-1の工程3を行う場合の部位 (表9.2.9)  
※貯水槽、浴槽等の常時水に接する部位  
・

(9.2.4)

施工 (9.2.4)

防水層の下地のモルタル塗り (9.2.4)  
・適用する(施工範囲 ・図示 ・)  
・適用しない

(9.2.4)

防水層の下地、立上りコンクリート打放し仕上げ (9.2.4)  
※標準仕様書 表6.2.4のB種 ・

(9.2.4)

絶縁断熱工法のルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 (9.2.4)  
・図示による ・

(9.2.5)

保護層等の施工 (9.2.5)

平場の保護コンクリートの厚さ (9.2.5)  
こて仕上げ ※水下 80mm以上 ・  
床タイル張り ※水下 60mm以上 ・

(9.2.5)

立上り部の保護工法 (9.2.5)

○乾式保護材 (9.2.2)

乾式保護材の材料 ・  
○コンクリート押え  
・モルタル押え(屋内等)  
・れんがが押え (・図示 ・)  
・れんがの材料  
・JIS R 1250(普通れんが及び化粧れんが)

(9.2.2)

屋上排水溝の設置 (9.2.5)  
○図示による ・

2 改質アスファルトシート防水

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

④塗膜防水

防水層の種類 (9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1)(表9.3.3)

種別	施工箇所	断熱材	防湿層	仕上塗料	
				種類	使用量
・AS-T1		<div></div>	<div></div>	・	※製造所の仕様による
・AS-T2					
・AS-T3					
・AS-T4					
・AS-J1					
・AS1-T1		(種類) ・	・設ける ・設けない		
・AS1-J1		(厚さ) ・mm			

改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9.3.2)  
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による  
・  
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9.3.2)  
※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による  
・  
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9.3.2)  
※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による  
・  
押え金物の材質及び形状寸法 (9.3.2)  
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度  
・

(9.3.3)

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 (9.3.3)  
種類 ※改質アスファルトシートの製造所の指定  
・  
設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定  
・個

(9.4.2～9.4.4)(表9.4.1～表9.4.2)

種別	施工箇所	可塑剤移行防止シートの材質	断熱材	歩行の仕様	仕上塗料	
					種類	使用量
・S-F1		<div></div>	<div></div>	※非歩行用 ・軽歩行用	・	※製造所の仕様による
・S-F2						
・S-M1						
・S-M2						
・SI-F1		<div></div>	(種類) ・ (厚さ) ・mm		・	※製造所の仕様による
・SI-F2						
・SI-M1		<div></div>	(種類) ・ (厚さ) ・mm		・	※製造所の仕様による
・SI-M2						

屋内防水層の種類 (9.4.2～9.4.4)(表9.4.1～表9.4.2)

種別	施工箇所	保護層		立上り部の保護
		平場のモルタル塗り		
		塗厚 (mm)	工法	モルタル塗り厚さ
・S-C1	・	・	・床塗り ・下地モルタル塗り	※7mm以下 ・

ルーフィングシートの種類及び厚さ (9.4.2)  
※標準仕様書表9.4.1から表9.4.3による  
・  
固定金具の材質及び形状 (9.4.2)  
材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの  
・  
厚さ (mm) ※0.4以上

(9.4.3)

接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 (9.4.3)  
種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様  
・  
設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様  
・個

(表9.4.2)

断熱工法 (S1-M1、S1-M2の場合)の防湿用フィルム (表9.4.2)  
・設置する ・設置しない

(9.4.4)

接着工法の場合のPCコンクリート部材防水下地の目地処理 (9.4.4)  
・行う (・図示 ・) ・行わない

(9.4.4)

PCコンクリート下地の入隅部の増張り (S-F1、SI-F1の場合) (9.4.4)  
・行う (・図示 ・) ・行わない

(9.4.4)

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け (9.4.4)  
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法  
・図示による ・

(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

種別	施工箇所	仕上塗料		保護層
		種類	使用量	
・X-1		・	※製造所の仕様による	<div></div>
○X-2		・ ○製造所の指定による	※製造所の仕様による	
・Y-1	・地下外壁防水 ・	<div></div>	<div></div>	<div></div>
・Y-2	・屋内防水			

ウレタンゴム系塗膜防水 X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量 (9.5.3)  
種類 ※主材料の製造所の仕様  
・  
設置数量 ※主材料の製造所の仕様  
・個

5 ケイ酸質系塗布膜防水

⑥シーリング

10石工事

3外壁湿式工法

4内壁空積工法

防水層の下地(壁及び天井)  
※コンクリート打放し仕上げ(標準仕様書 表6.2.4のB種)  
・

(9.6.4)

下地処理  
コンクリートの打継箇所の処理  
※標準仕様書9.6.4(2)(7)による  
・  
標準仕様書9.6.4(2)(4)及び(9)以外の下地処理  
・図示による ・

(9.6.4)

材料  
種類及び施工箇所  
※下表以外は、標準仕様書 表9.7.1による  
ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による。

(9.7.2)

施工箇所	シーリング材の種類(記号)
誘発・打継目地	PU-2

仕上げを行わない施工箇所 ( )

(9.7.3)

シーリング材の目地寸法 (9.7.3)  
※標準仕様書9.7.3(1)による  
・

(9.7.5)

接着性試験 (9.7.5)  
※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 ・

(10.1.3)

天然石 (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法	表面仕上の種類	バフ仕上の有無	備考
	・	・ <b>図示による</b>			

テラズブロック (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法(mm)	表面仕上の種類	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			

テラズタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分(mm)	表面仕上の種類	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12	・300×300 ・400×400		

取り代用モルタル、既調合の目地用モルタル、浸透性吸水防止剤、石表面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する充填材料  
※専門工事業者の指定する製品 ・ (10.2.3)

(10.2.2)

受金物 材質 ※ステンレス (SUS304) 製 ・  
形状及び寸法  
※ L-75×75×6 (mm)  
( ・長さ＝100mm ・長さ＝150mm)

(10.2.2)

アンカーの材質及び寸法  
材質：※SS400 ・ 寸法：  
あと施工アンカーの種類、材質及び寸法  
種類： 材質： 寸法：  
上記以外の金物の材質、形状及び寸法  
・図示による ・

(10.2.3)

ドレンパイプの材質  
・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ  
・

(10.3.2)

石材の厚さ (mm) ・  
石裏面処理 ・適用する ・適用しない  
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない  
下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法  
・流し新工法  
・あと施工アンカー工法

(10.3.3)

目地 一般目地 目地幅 (mm) ※6以上 ・  
シーリング材 ・適用する ・適用しない

(10.3.3)

伸縮調整目地  
位置 ※標準仕様書 表11.1.1による  
・図示による  
シーリング材の目地寸法  
※幅・深さとも10mm以上  
・図示による

(10.4.2)

受金物 材質 ※ステンレス (SUS304) 製 ・  
形状及び寸法  
※ L-75×75×6 (mm)  
( ・長さ＝100mm ・長さ＝150mm)

(10.4.3)

アンカーの材質及び寸法  
材質：※SS400 ・ 寸法：  
あと施工アンカーの種類、材質及び寸法  
種類： 材質： 寸法：  
上記以外の金物の材質、形状及び寸法  
・図示による ・

(10.4.2)

石材の厚さ (mm) ・  
石裏面処理 ・適用する ・適用しない  
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない  
下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法  
・あと施工アンカー工法

(10.4.3)

目地 一般目地 目地幅 (mm) ※6以上 ・  
シーリング材 ・適用する ・適用しない

(10.4.3)

伸縮調整目地  
位置 ※6mm程度ごと  
・図示による  
シーリング材の目地寸法  
※幅・深さとも10mm以上  
・図示による

(10.2.2)

外壁乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等 (10.2.2)  
※標準仕様書 表10.2.4による  
方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式  
・図示による

(10.2.2)

アンカーの材質及び寸法 (10.2.2)  
材質：※ステンレス (SUS304) 製 ・ 寸法：  
あと施工アンカーの種類、材質及び寸法  
種類： 材質： 寸法：  
上記以外の金物の材質、形状及び寸法  
・図示による ・

(10.5.2)

石材の厚さ (mm) ・ (10.5.2)  
だぼ用の穴の位置 (10.5.2)  
※標準仕様書10.5.2(2)(7)による ・図示による  
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない  
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 (10.5.3)  
・図示による ・

(10.5.3)

目地 目地幅 (mm) ※8以上 ・ (10.5.3)  
シーリング材 ・適用する (※標準仕様書9.7による ・図示 )  
・適用しない

(10.6.2)(10.6.3)

石材の厚さ (mm) 床 ( )、階段 ( ) (10.6.2)(10.6.3)  
床石張り (10.6.2)  
浸透性吸水防止剤 ・適用する ・適用しない  
石裏面処理 ・適用する ・適用しない  
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない  
階段張り (10.6.3)  
石裏面処理 ・適用する ・適用しない  
目地 一般目地 目地幅 (mm) (10.6.2)(10.6.3)  
・図示による ・  
シーリング材 ・適用する ・適用しない

伸縮調整目地  
位置 ※床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6㎡程度ごと及び他部材との取り合い部  
・図示による  
シーリング材の目地寸法  
※幅・深さとも10mm以上  
・図示による

(10.7.2)(10.7.2)

取付け工法  
・湿式工法 ・乾式工法  
湿式工法の取付け金物 ・標準仕様書10.2.2(1)による  
・図示による  
乾式工法の取付け金物 ・標準仕様書10.2.2(2)による  
・図示による  
方式・スライド方式 ・ロッキング方式  
特殊部位用金物 ・標準仕様書10.2.2(3)による  
・図示による  
ファスナー  
アンカーの材質及び寸法 (10.2.2)  
湿式工法の材質：※ステンレス (SUS304) 製 ・  
寸法：  
乾式工法の材質：※SS400  
寸法：  
あと施工アンカーの種類、材質及び寸法  
種類： 材質： 寸法：  
上記以外の金物の材質、形状及び寸法  
・図示による ・

(10.7.2)

石材の厚さ (mm) ・ (10.7.2)  
石裏面処理 ・適用する ・適用しない  
乾式工法の場合の取付け代 ※標準仕様書10.5.3(2)による  
・  
石裏の補強用モルタル ・適用する ・適用しない  
目地 (10.7.2)  
湿式工法の場合  
一般目地 目地幅 (mm) ※6以上 ・ (10.3.3)  
シーリング材 ・適用する ・適用しない

伸縮調整目地  
位置 ※標準仕様書 表11.1.1による  
・図示による  
シーリング材の目地寸法  
※幅・深さとも10mm以上  
・図示による

(10.5.3)

乾式工法の場合  
目地幅 (mm) ※8以上 ・ (10.5.3)  
シーリング材 ・適用する (※標準仕様書9.7による ・図示)  
・適用しない

(10.7.3)

石材の厚さ (mm) ※40 ・ (10.7.3)

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
建築工事特記仕様書 (その4)		A 04
		縮 尺
		—
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

伸縮調整目地  
位置 ※床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6㎡程度ごと及び他部材との取り合い部  
・図示による  
シーリング材の目地寸法  
※幅・深さとも10mm以上  
・図示による

(10.7.2)(10.7.2)

取付け工法  
・湿式工法 ・乾式工法  
湿式工法の取付け金物 ・標準仕様書10.2.2(1)による  
・図示による  
乾式工法の取付け金物 ・標準仕様書10.2.2(2)による  
・図示による  
方式・スライド方式 ・ロッキング方式  
特殊部位用金物 ・標準仕様書10.2.2(3)による  
・図示による  
ファスナー  
アンカーの材質及び寸法 (10.2.2)  
湿式工法の材質：※ステンレス (SUS304) 製 ・  
寸法：  
乾式工法の材質：※SS400  
寸法：  
あと施工アンカーの種類、材質及び寸法  
種類： 材質： 寸法：  
上記以外の金物の材質、形状及び寸法  
・図示による ・

(10.7.2)

石材の厚さ (mm) ・ (10.7.2)  
石裏面処理 ・適用する ・適用しない  
乾式工法の場合の取付け代 ※標準仕様書10.5.3(2)による  
・  
石裏の補強用モルタル ・適用する ・適用しない  
目地 (10.7.2)  
湿式工法の場合  
一般目地 目地幅 (mm) ※6以上 ・ (10.3.3)  
シーリング材 ・適用する ・適用しない伸縮調整目地  
位置 ※標準仕様書 表11.1.1による  
・図示による  
シーリング材の目地寸法  
※幅・深さとも10mm以上  
・図示による

(10.5.3)

乾式工法の場合  
目地幅 (mm) ※8以上 ・ (10.5.3)  
シーリング材 ・適用する (※標準仕様書9.7による ・図示)  
・適用しない

(10.7.3)

石材の厚さ (mm) ※40 ・ (10.7.3)

⑪ タイル工事	1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地	位置 ※標準仕様書 表11.1.1.1による ・図示による	(11.1.3)	4 有機系接着剤によるタイル張り	③ セメントモルタルによるタイル張り	タイルの形状、寸法等 (11.2.2) (11.2.3) (11.2.6)	既調合モルタル (11.2.3) ・既調合モルタルの製造所の仕様による ・ 下地モルタル塗りのコンクリート素地面の下地処理方法 (11.2.6) ・目荒し工法 (標準仕様書15.3.4(4)による) ・MOR工法 (標準仕様書6.8による) ・ 壁タイル張りの工法 (表11.2.3) 内装タイル ・密着張り ・改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り	4 有機系接着剤によるタイル張り	タイルの形状、寸法等 (11.3.2～11.3.4) (11.3.7)	接着剤のホルムアルデヒド放散量 (11.3.3) ※ F☆☆☆☆ 外装タイルにおける目地詰め (11.3.3) (11.3.5) ・行う ・行わない 目地のシーリング材 (11.3.4) 打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・ ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・ 伸縮調整目地 ※変成シリコン系シーリング材 ・ その他の目地 ※変成シリコン系シーリング材 ・ 下地調整塗材塗を行うコンクリート素地面の下地処理方法 (11.3.5) ・目荒し工法 (標準仕様書15.3.4(4)による) ・MOR工法 (標準仕様書6.8による) ・										
	2 見本焼、試験施工	見本焼き ・行う ・行わない 試験張り ・行う ・行わない	(11.1.4)																	
⑫ 木工事	1 施工一般	ホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書12.12.1(9)のいずれかによる ・	(12.2.1)	2 折板葺	④ とい	⑤ ルーフドレイン	・「製材の日本農林規格」による下地用製材 (12.2.1) (表12.2.1)	⑤ 合板等	・「合板の日本農林規格」による普通合板 (12.2.1) (12.3.2)	⑬ 屋根及びびとい工事	1 長尺金属板葺 (13.2.2) (13.2.3) (表13.2.1)	材料 (13.2.2) (13.2.3) (表13.2.1)	施工箇所 板及びコイルの種類 ※JIS G 3322の屋根用3×4の屋根用3×4 ・ 下葺材料 ・アスファルトルーフィング940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 ・一般タイプ ・複層基材タイプ ・粘着層付タイプ 工法 (13.2.3) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・図示による ・ 横葺の場合のけらば納め ・つかみ込み納め ・けらば包み納め 雪止め ・設置する (・図示 ・) 材料 (13.3.2) (表13.2.1)							
	2 製材	・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 (12.2.1) (表12.2.1)	・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 (12.2.1) (12.3.2)				・「製材の日本農林規格」による造作用製材 (12.2.1) (表12.2.1)		・「合板の日本農林規格」による構造用合板 (12.2.1) (12.3.2)					・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 (12.2.1) (表12.2.1)	・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 (12.2.1) (12.3.2)	・「製材の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 (12.2.1) (12.3.2)	・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 (12.2.1) (12.3.2)	・「製材の日本農林規格」以外の製材 (12.2.1) (表12.2.1) (12.2.3)	・「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 (12.2.1)	・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材 (12.2.1)
	3 造作用集材材	・「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 (12.2.1)	・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材 (12.2.1)				・「集材材の日本農林規格」以外の製材 (12.2.1) (表12.2.1) (12.2.3)		・「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 (12.2.1)					・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材 (12.2.1)	・「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 (12.2.1)	・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材 (12.2.1)	・「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 (12.2.1)	・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材 (12.2.1)	・「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 (12.2.1)	・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材 (12.2.1)
		・「製材の日本農林規格」による下地用製材 (12.2.1) (表12.2.1)	・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 (12.2.1) (表12.2.1)				・「製材の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 (12.2.1) (12.3.2)		・「製材の日本農林規格」による造作用製材 (12.2.1) (表12.2.1)					・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 (12.2.1) (表12.2.1)	・「製材の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 (12.2.1) (12.3.2)	・「製材の日本農林規格」による造作用製材 (12.2.1) (表12.2.1)	・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 (12.2.1) (表12.2.1)	・「製材の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 (12.2.1) (12.3.2)	・「製材の日本農林規格」による造作用製材 (12.2.1) (表12.2.1)	・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 (12.2.1) (表12.2.1)

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号	A 05
		縮尺	—
		建築工事特記仕様書 (その5)	
		事業主 笛吹市公営企業部水道課	

⑬ 金属工事	① アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	表面処理 (14. 2. 1) (表14. 2. 1)	⑮ 左官工事	① ラス系下地	下地の種類 (15. 2. 4)	⑯ 建具工事	① 防火戸	※建具表による ・防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸について、連動させる装置等 ・建具表による	(16. 1. 3)
	2 鉄鋼の垂鉛めっき	鉄鋼の垂鉛めっき (14. 2. 2) (表14. 2. 2)		2 見本の製作等	建具見本の製作 ・行う（建具符号： ・行わない 特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ・行わない		(16. 1. 4) (16. 1. 4)		
	③ 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 (14. 4. 2) (表14. 4. 1)		3 防犯建物部品	・適用する（ 適用箇所 ・ 建具表による ） ・適用しない		(16. 1. 6)		
	④ 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナーの種類 ※標準仕様書表14. 5. 1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 スタッドの高さが5. 0mを超える場合 ・図示による 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※標準仕様書14. 5. 4 (5) による ・図示による		(14. 5. 3) (14. 5. 4)	④ アルミニウム製建具		性能値等（建具符号、枠の見込み寸法は建具表による） 耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・建具表による 外部に面する建具の種類 ※標準仕様書 表16. 2. 1、表16. 2. 2による ・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・ ・防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ・ ） ・断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（ ・ ）	(16. 2. 2)	
	5 金属成形板張り	種別 表面処理 取付け用下地 ※標準仕様書14. 4による ・図示による 伸縮調整継手 ・設ける（施工箇所 ・図示 ・ ） ・設けない		(14. 6. 2) (14. 6. 3) (14. 6. 3)	⑤ 網戸等		防虫網の材料 種 類 材 種 線 径 網 目 ○防虫網 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス (SUS316) 製 ○防鳥網 ステンレス (SUS 304) 線材 1. 5mm 網目寸法15mm	(16. 2. 3)	
	⑥ アルミニウム製笠木	部材の種類 種類 ・250形 ・300形 ○325形 表面処理 種別（ ）種 色合等 ○標準色（ ） ・特注色（ ） 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・図示による		(14. 7. 2) (表14. 7. 1) (14. 7. 2) (表14. 2. 1)	6 樹脂製建具		性能値等（建具符号、枠の見込み寸法は建具表による） 耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・建具表による 外部に面する建具の種類 ※標準仕様書 表16. 3. 1、表16. 3. 2による ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・ ・防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 ・T-1種 ・T-2種 ・断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 ※外部に面する建具は標準仕様書 表16. 3. 3による（等級・ ） 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ガラス ※複層ガラス ステンレス製くつづりの仕上げ ※H L 表面色 ・標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ・図示による 木下地の内付け建具 ・適用する（建具の製造所の仕様） ・適用しない	(16. 3. 2) (16. 3. 3) (16. 3. 4) (16. 4. 4) (16. 3. 4) (16. 3. 5) (16. 2. 5) (16. 3. 5) (16. 2. 5)	
				⑦ 鋼製建具	性能値等（建具符号は建具表による） 簡易気密型ドアセットの気密性等級、水密性等級 ・標準仕様書 表16. 4. 1による ・建具表による 外部に面する建具の耐風圧性（表16. 2. 1による） ・S-4 ・S-5 ・S-6 ・耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級（ ・ ） ・防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ・ ） ・断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（ ・ ） ステンレス鋼板の種類 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 点検口の類のくつづりの材料 鋼板類の厚さ（mm） ※標準仕様書 表16. 4. 2による ステンレス製くつづりの仕上げ ※H L 標準型鋼製建具の有効内法寸法（表16. 4. 5による） ・適用する（建具符号、形式及び寸法は建具表による）		(16. 4. 2) (16. 4. 3) (16. 4. 4) (16. 4. 4) (16. 4. 4) (16. 4. 5) (16. 4. 6)		
				⑧ 鋼製軽量建具	性能値等（建具符号は建具表による） 簡易気密型ドアセットの気密性等級 ・A-3 ・建具表による ・耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級（ ・ ） ・防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ・ ） ・断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（ ・ ） 鋼板の種類 ○亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ○ステンレス鋼板 召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 鋼板の厚さ（mm） ※標準仕様書 表16. 5. 1による ・図示による ステンレス製くつづりの仕上げ ※H L 標準型鋼製軽量建具の有効内法寸法（表16. 4. 5による） ・適用する（建具符号、形式及び寸法は建具表による）		(16. 5. 2) (16. 5. 3) (16. 5. 4) (16. 5. 4) (16. 4. 5) (16. 5. 6)		

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
建築工事特記仕様書（その6）		A 06
		縮 尺
		—
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

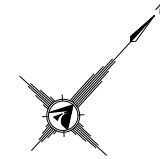
⑨ ステンレス製建具	性能値等（建具符号は建具表による） （16.6.2） 耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・建具表による 外部に面する建具の耐風圧性（表16.2.1による） ・S-4 ・S-5 ・S-6 ・耐震ドアとする場合 面内変形追従性の等級（ ） ・防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ） ・断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（ ）	⑩ 木製建具	ステンレス鋼板の種類 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 （16.6.3） 表面仕上げ ※H L ・鏡面仕上げ （16.6.4） ステンレス鋼板のくつづりの仕上げ ※H L （16.6.4）（16.4.4） ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ （16.6.5）  建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・B種 （16.7.2）（表16.7.1） 接着材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ （16.7.2） 枠、くつずりの材料 ・建具表による （16.7.2）  ・フラッシュ戸 （16.7.2）（表16.7.2） 表面材の合板の種類 合板の種類 表面材の品質等 備 考 ・普通合板 接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ 板面の品質 ※広葉樹1等 ・ （ ） ・天然木化粧合板 接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ （ ） ・特殊加工化粧合板 接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ （ ） ・ミディアムデンシティ ファイバーボード （M D F） 表裏面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分（ ） 接着剤による区分（ ） 難燃性による区分（ ） ・ （ ） 表面材の材料のホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書表16.7.2(f) (a)による ・ 表面板の厚さ ※表16.7.6による （16.7.3） 引戸の定規縁 ・召し合せかまをいんろう付きとする （16.7.4）  ・かまち戸 （16.7.2）（16.7.3）（表16.7.7） かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ） 見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・  ・ふすま （16.7.2）（表16.7.3）（16.7.3）（表16.7.7）（16.7.4）（表16.7.10） 種別、工法 ・Ⅰ型 ・Ⅱ型 上張り ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上 ・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装） 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・  ・戸ぶすま （16.7.2）（16.7.3）（表16.7.7）（16.7.4） 表面材の種類、品質等（ ） 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・  ・紙張り障子 （16.7.3）（表16.7.7） 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・	⑪ 建具用金物	金物の種類・見え掛り部の材質等 （16.8.2） ※標準仕様書表16.8.1及び通用（備考欄の特記事項も含め）は建具表による ・ 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書表16.8.2による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書表16.8.3による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書表16.8.4による 木製建具に使用する戸車及びレール ※標準仕様書表16.8.5による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ○建具表による マスターキー ○製作する ・製作しない （16.8.4） 鍵の製作本数 ※各型3本1組 戸の開閉方式 ・図示による （16.9.2） 自動ドア開閉装置の性能値 駆動装置の性能 ※引き戸用駆動装置の場合、標準仕様書 表16.9.1による 防錆の適用 ・適用する ・適用しない ・ 車椅子使用者用便房出入口の引き戸用駆動装置の性能 ※標準仕様書 表16.9.2による 防錆の適用 ・適用する ・適用しない ・ 検出装置の性能 ※引き戸用検出装置の性能は標準仕様書 表16.9.3による 防錆の適用 ・適用する ・適用しない ・ 引き戸用検出装置の種類は標準仕様書 表16.9.4による （16.9.2） 種類 ・光線（反射）センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ （ ・無線式タッチスイッチ ・光電式タッチスイッチ） ・押しボタンスイッチ ・車椅子使用者便房スイッチ （ ・大形（開・閉）押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ） 凍結防止措置 ・適用する ・適用しない （16.9.2）	⑫ 鍵		⑬ 自動ドア開閉装置	戸の開閉方式 ・図示による （16.9.2） 自動ドア開閉装置の性能値 駆動装置の性能 ※引き戸用駆動装置の場合、標準仕様書 表16.9.1による 防錆の適用 ・適用する ・適用しない ・ 車椅子使用者用便房出入口の引き戸用駆動装置の性能 ※標準仕様書 表16.9.2による 防錆の適用 ・適用する ・適用しない ・ 検出装置の性能 ※引き戸用検出装置の性能は標準仕様書 表16.9.3による 防錆の適用 ・適用する ・適用しない ・ 引き戸用検出装置の種類は標準仕様書 表16.9.4による （16.9.2） 種類 ・光線（反射）センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ （ ・無線式タッチスイッチ ・光電式タッチスイッチ） ・押しボタンスイッチ ・車椅子使用者便房スイッチ （ ・大形（開・閉）押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ） 凍結防止措置 ・適用する ・適用しない （16.9.2）	⑭ 自閉式上吊り引戸装置	性能 （16.10.3） ※標準仕様書表16.10.1による ・図示による 15 重量シャッター （16.11.2） シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッター 耐風圧強度（ ）pa 開閉方式の種類（標準仕様書 表16.11.1） ※電動式（手動併用） ・手動式 （16.11.2） 安全装置の設置箇所 （16.11.2） 急降下制御装置又は急降下停止装置の設置箇所 ・図示による ・ 障害物感知装置の設置箇所 ・図示による ・ 危害防止機構の設置箇所 ・図示による ・ 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない （16.11.2）  スラット及びシャッターケース用鋼板 （16.11.3） 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・ ステンレス鋼板の種類 （16.11.3）（16.6.3） ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・  16 軽量シャッター （16.12.2）（表16.12.1） 開閉形式 ※手動式 ・電動式（手動併用） 耐風圧強度（ ）pa 電動式の場合の安全装置 障害物感知装置の設置箇所 ・図示による ・ スラットの材質の種類 （16.12.3） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっき付着量 ※Z06又はF06 ・ ・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） めっき付着量 ※AZ90 ・ スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 （16.12.4）  17 オーバーヘッドドア （16.13.2）（16.13.3） 区分、材料 セクション材料 耐風圧 開閉方式 収納形式 ガイドレールの材質 による区分 区分(Pa) による区分 による区分 ※スチールタイプ ・125 ※バランズ式 ・スタンダード形 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・アルミニウムタイプ ・100 ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ステンレス鋼板 ・ファイバーグラス タイプ ・75 ・電動式 ・ハイルフト形 ・50 ・電動式 ・バーチャカル形 電動式の場合の障害物感知装置の設置箇所 ・図示（ ） 適用は以下によるほか、ガラスの種類、厚さの組合せは建具表及び図示による。 （16.14.2） ○フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類 ○図示（※建具表 ・ ）による ・ ・型板ガラスの厚さによる種類 ・図示（※建具表 ・ ）による ・ ○網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類 ○図示（※建具表 ・ ）による ・ ・合わせガラス 材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、合わせガラスの合計厚さ、特性による種類 ・図示（※建具表 ・ ）による ・ ・強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称（呼び厚を含む）、特性による種類 ・図示（※建具表 ・ ）による ・ ・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類、性能による種類 ・図示（※建具表 ・ ）による ・ ○複層ガラス 材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラスの厚さ、断熱性による区分、日射取得性及び日射遮蔽性による区分、乾燥気体の種類 ○図示（※建具表 ・ ）による ・ ・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類、厚さによる種類、日射熱遮へい性及び耐久性による区分 ・図示（※建具表 ・ ）による ・ ・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類、厚さによる種類 ・図示（※建具表 ・ ）による ・  ガラスの留め材及び溝の大きさ （16.14.2）（16.14.3）（図16.14.1） 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ○シーリング材 ・建具用の製造所の仕様による ・建築用ガスケット ※グレイジングチャンネル ・ 樹脂製 ・建築用ガスケット ・グレイジングビード ・ 鋼製及び鋼製軽量 ○シーリング材 ・ ステンレス製 ・シーリング材 ・ 建具用の製造所の仕様による ・  19 ガラスブロック積み （16.14.5） 材料等 表面形状 呼び寸法 厚さ 色 調 目地幅(mm) 伸縮調整目地位置(mm) (mm) (mm) クリア 乳白 平積み 曲面積み ・160×160 95 ・ ・ ※8～15 外側 ※6m以下ごとに10～25 ・正方形 ・200×200 95 ・ ・ ・15～25 内側 ・図示 ・長方形 ・ ・ ・ ・ ※6以上 ・ 壁用金属枠及び補強材 ・設ける（形状 ※図示 ・ ） ・設けない 力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS 304) ・ 寸法 ※径5.5mm ・ 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・ 化粧目地モルタルの色（ ） シーリング材の種類（ ） 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ・図示による ・ 形状 ・図示による ・  工法 （16.14.5） 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・図示による ・ 木下地の場合の壁用金属枠の取付け間隔（ ） 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示による	17 カーテンウォール工事	1 取付方法、性能等 （17.1.3） 性能 耐風圧性 耐震性 水密性 気密性 耐火性 耐温度差性 遮音性 断熱性 水平方向(kH) 垂直方向(kV) ・1.0 ・0.5 ・ ・ ・30分 ・80 ・1時間 ・70 ・60 性能の確認方法及び判定方法 （17.1.3） ※性能の確認及び判定方法が確認できる適切な資料 ・  適用は以下によるほか、カーテンウォール図による （17.2.2） 金属系材料の種類 ・アルミニウム材 ・鋼材 ・ステンレス鋼材 （アルミニウム材の場合） 規格等 標準仕様書16.2.3による 種別 ・ 着色 ・標準色 ・特注色 （表14.2.1） シーリング材（ガラスの取付けは除く） （17.2.2） 下表以外は標準仕様書 表9.7.1による 被着体の組合せ シーリング材の種類 記 号 主成分による区分  ガラスの取付け材料 （17.2.2） ・シーリング（種類： ） ・構造ガスケット（材質、形状等 ・図示 ・ ） 断熱材 種類（ ） 厚さ（mm）（ ） 施工箇所 ・図示による ・  形状及び仕上げ （17.2.3） 製品の寸法許容差 ※標準仕様書表17.2.1による ・ 見え掛り部の仕上げ ガラス溝の寸法、形状等 ※カーテンウォールの製造所の仕様 ・ 取付け （17.2.5） 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 ※標準仕様書 表17.2.2による ・図示による カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 ※標準仕様書 表17.2.3による ・図示による  ガラスの取付け方法 （17.2.6） ・  適用は以下によるほか、カーテンウォール図による （17.3.2） 材料 コンクリート 種類（ ） 品質 設計基準強度（Fc） ※30N/mm <sup>2</sup> ・ スラブ ※12cm ・ 乾燥単位容積質量 ・ 普通コンクリートの場合 2.1t/m <sup>3</sup> を超え2.5t/m <sup>3</sup> 以下 単位水量の最大値 ※185kg/m ・ 鉄筋 種類記号 ※SD295 ・ 補強鉄線 径（mm） ・3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0 網目寸法 ・  シーリング材 （17.3.2） 下表以外は標準仕様書 表9.7.1による 被着体の組合せ シーリング材の種類 記 号 主成分による区分  ガラスの取付け材料 （17.3.2） ・構造ガスケット（材質、形状等 ・図示 ・ ） 耐火目地材 ・ 断熱材 種類（ ） 厚さ（mm）（ ） 施工箇所 ・図示による ・ 先付けの材料 （17.3.2） ・先付け材料の仕上材 ・石材（ ・花こう岩 ・大理石 ・ ） ・セラミックタイル ・ ・建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール  形状及び仕上げ （17.3.3）（表17.3.1） 製品の見え掛り部の寸法許容差 ※標準仕様書 表17.3.1による ・上記以外 辺長（ mm）、対角線長の差（ mm）、版厚（ mm） 開口部内法寸法（ mm）、ねじれ、そり（ mm）、 曲がり（ mm）、面の凹凸（ mm）、先付け金物の位置（ mm） カーテンウォールの仕上げ ・ 構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差（mm） ・図示による ・  製作 （17.3.4） 配筋 ・図示による ・ 取付け （17.3.4） 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 ※標準仕様書 表17.2.2による ・図示による カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 ※標準仕様書 表17.3.2による ・図示による  ガラスの取付け方法 （17.3.6） ・	⑮ 塗装工事	① 材料  ② 素地ごしらえ  ③ 錆止め塗料塗り  ④ 塗装	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 （18.1.3） ※ F☆☆☆☆ ・ ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所： ）  種別 （18.2.2～18.2.7）（表18.2.1～表18.2.7） 種 別 下地面等 木部 不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・B種 透明塗りの場合 ※B種 ・A種 鉄鋼面 耐候性塗料塗り（DP）の場合 ※B種 ・A種 ・C種 上記以外の場合 ※C種 ・A種 ・B種 亜鉛めっき鋼面 ・A種 ・B種 モルタル面及びせつこうブラスター面 ※B種 ・A種 コンクリート面（DP以内）及びALCパネル面 ※A種 ・B種 コンクリート面（DP）の場合 ※A種 ・B種 押出成形セメント版面 ※B種 ・A種 せつこうボード面及び 目地：継目処理工法 ※A種 ・B種 その他ボード面 目地：継目処理工法以外 ※B種 ・A種  種別 （18.3.2）（18.3.3）（表18.3.1～表18.3.4） 下地面等 錆止め塗料の種類 工程の種類 鉄鋼面 SOP A種 ※A種 ・B種 見え掛り部分 DP 1回目 C種 標準仕様書 表18.3.4 2. 3回目 D種 EP-G ※B種 ・A種 ※A種 ・B種 見え隠れ部分 DP 1回目 C種 標準仕様書 表18.3.4 2. 3回目 D種 EP-G ※B種 ・A種 ※B種 ・A種 鋼製建具等 SOP ※A種 ・B種 標準仕様書 表18.3.6 DP B種 亜鉛めっき鋼面 EP-G C種 ※A種 ・B種 SOP ※B種 ・A種 ※B種 ・A種 鋼製建具以外 DP B種 標準仕様書 表18.3.6 EP-G C種 ※B種 ・A種  種別 （18.4.1～18.12.2）（表18.4.1～表18.12.1） 塗 装 種 別 ○合成樹脂調合 木部屋外 ※A種 ・B種 ペイント塗り（SOP） 木部屋内 ※B種 ・A種 鉄鋼面 ※B種 ・A種 亜鉛めっき鋼面 標準仕様書 表18.4.3 ・クリヤラッカー塗り（CL） ※B種 ・A種 ・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り（NAD） ※B種 ・A種 ○耐候性塗料塗り（DP） 鉄鋼面 標準仕様書 表18.7.1 亜鉛めっき鋼面 標準仕様書 表18.7.2 コンクリート面及び押出成形セメント版面 ・A種 ・B種 ・C種 ・つや有合成樹脂 コンクリート面、モルタル面等 ※B種 ・A種 エマルション 木部 標準仕様書 表18.8.2 ペイント塗り（EP-G） 屋内の鉄鋼面 ※B種 ・A種 亜鉛めっき鋼面 標準仕様書 表18.8.4 ○合成樹脂エマルションペイント塗り（EP） ※B種 ・A種 ・ウレタン樹脂ワニス塗り（UC） ※B種 ・A種 ・ステイン塗り ・ビグメントステイン塗り ー ・オイルステイン塗り（OS） ー ・木材保護塗料塗り（WP） 屋外 ※B種 ・A種  塗料の種類等 （表18.5.1） クリヤラッカー塗り（CL） 種別がA種の場合における、標準仕様書 表18.5.1の工程2 ・塗料の種類（ ） 耐候性塗料塗り（DP） （表18.7.2） 上塗り塗料の等級 鉄鋼面 （ ） 級 亜鉛めっき鋼面 （ ） 級 ウレタン樹脂ワニス塗り（UC） （表18.10.1） 標準仕様書 表8.10.1の工程1の着色 ・適用する オイルステイン塗り（OS）の仕様 （表18.11.2） ・図示による ・
	工事名	砂原配水場改築工事（土木・建築）	図面番号	A / 07	建築工事特記仕様書（その7）	縮 尺	—									
	事業主	笛吹市公営企業部水道課														

内装工事	① 接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆  施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の ゴム床タイル用接着剤の主成分による区分 ・ 図示による  下地の施工 標準仕様書19.2.3(1) (7) から (9) 以外の下地の工法 ・ 図示による  材料 <table><tr><th>種類の記号</th><th>色柄</th><th>厚さ (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>※FS (複層ビニル床シート)</td><td>・ ・</td><td>※2.0</td><td></td></tr></table> 接合部の処理 ※熱溶接工法  材料 <table><tr><th>種類の記号</th><th>色柄</th><th>寸法 (mm)</th><th>厚さ (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>※KT (コンポジションビニル床タイル) ・ TT (単層ビニル床タイル) ・ FT (複層ビニル床タイル) ・ FOA (置敷きビニル床タイル) ・ FOB (薄型置敷きビニル床タイル)</td><td>・無地 ・</td><td>・ 300×300 ・ 450×450 ・ 500×500</td><td>※2.0 ・</td><td></td></tr></table> 材料 <table><tr><th>シート・タイル種別</th><th>種 類</th><th>性能</th><th>厚さ、寸法、形状 (mm)</th></tr><tr><td>・帯電防止床シート</td><td></td><td></td><td>厚さ：寸法：厚さ：</td></tr><tr><td>・帯電防止床タイル</td><td></td><td></td><td>形状：厚さ：</td></tr><tr><td>・視覚障害者用床タイル</td><td></td><td>—</td><td>形状：厚さ：</td></tr><tr><td>・耐動荷重性床シート</td><td></td><td>—</td><td>厚さ：寸法：</td></tr><tr><td>・防滑性床シート</td><td></td><td>—</td><td>厚さ：寸法：</td></tr><tr><td>・防滑性床タイル</td><td></td><td>—</td><td>厚さ：寸法：</td></tr></table> 材質 ○軟質 ・硬質 高さ (mm) ※60 ・70 ○100 厚さ (mm) ※1.5以上  種類 ・単層品 ・複層品 色柄 ( ) 厚さ (mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法 (mm) ( )  ・織じゅうたん <table><tr><th>織り方</th><th>バイル形状</th><th>帯電性</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ウィルトンカーペット</td><td>・カットバイル</td><td>・適用する</td><td></td></tr><tr><td>・ダブルフェースカーペット</td><td>・ループバイル</td><td>・適用しない</td><td></td></tr><tr><td>・アキスミンスターカーペット</td><td>・カット・ループ併用</td><td></td><td></td></tr></table> 色柄、バイル糸の種類等 ※色柄は模様のない無地のもの 種別 ・A種 ・B種 ・C種  下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種1号 呼び厚さ8mm 見切り、押え金物 ・適用する (材質、形状等 ・ 図示 ・ ) ・適用しない 織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法  ・タフテッドカーペット <table><tr><th>バイル形状</th><th>バイル長 (mm)</th><th>工法</th><th>帯電性</th><th>備考</th></tr><tr><td>・カットバイル</td><td>・</td><td rowspan="4">・グリッター工法 ・全面接着工法</td><td rowspan="4">・適用する ・適用しない</td><td rowspan="4"></td></tr><tr><td>・ループバイル</td><td>・</td></tr><tr><td>・カット、ループ併用</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr></table> 下敷き材 (グリッター工法の場合) ※JIS L 3204 (反毛フェルト) の第2種1号 呼び厚さ8mm 見切り、押え金物 ・適用する (材質、形状等 ・ 図示 ・ ) ・適用しない  ・タイルカーペット <table><tr><th>種類</th><th>バイル形状</th><th>寸法 (mm)</th><th>総厚さ (mm)</th><th>施工箇所</th><th>備考</th></tr><tr><td>※第一種</td><td rowspan="2">※ループバイル</td><td rowspan="2">※500×500</td><td>※6.5</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・第二種</td><td>・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・第一種</td><td rowspan="2">・カットバイル</td><td rowspan="2">※500×500</td><td>※6.5</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・第二種</td><td>・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・第一種</td><td rowspan="2">・カット、ループ併用</td><td rowspan="2">※500×500</td><td>※6.5</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・第二種</td><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 見切り、押え金物 ・適用する (材質、形状等 ・ 図示 ・ ) ・適用しない タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・ 階段部分 ※模様流し ・市松敷き  ⑦ 合成樹脂塗床	種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考	※FS (複層ビニル床シート)	・ ・	※2.0		種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考	※KT (コンポジションビニル床タイル) ・ TT (単層ビニル床タイル) ・ FT (複層ビニル床タイル) ・ FOA (置敷きビニル床タイル) ・ FOB (薄型置敷きビニル床タイル)	・無地 ・	・ 300×300 ・ 450×450 ・ 500×500	※2.0 ・		シート・タイル種別	種 類	性能	厚さ、寸法、形状 (mm)	・帯電防止床シート			厚さ：寸法：厚さ：	・帯電防止床タイル			形状：厚さ：	・視覚障害者用床タイル		—	形状：厚さ：	・耐動荷重性床シート		—	厚さ：寸法：	・防滑性床シート		—	厚さ：寸法：	・防滑性床タイル		—	厚さ：寸法：	織り方	バイル形状	帯電性	備 考	・ウィルトンカーペット	・カットバイル	・適用する		・ダブルフェースカーペット	・ループバイル	・適用しない		・アキスミンスターカーペット	・カット・ループ併用			バイル形状	バイル長 (mm)	工法	帯電性	備考	・カットバイル	・	・グリッター工法 ・全面接着工法	・適用する ・適用しない		・ループバイル	・	・カット、ループ併用	・	・	・	種類	バイル形状	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	施工箇所	備考	※第一種	※ループバイル	※500×500	※6.5			・第二種	・			・第一種	・カットバイル	※500×500	※6.5			・第二種	・			・第一種	・カット、ループ併用	※500×500	※6.5			・第二種	・			合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆  種類 <table><tr><th>種 類</th><th>工 法</th><th>仕上げの種類</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・厚膜型塗床材 (弾性かつ樹脂系塗床材)</td><td rowspan="2">・薄膜流しのべ工法 ○厚膜流しのべ工法 ・樹脂むけ工法</td><td>※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ</td><td></td></tr><tr><td>○厚膜型塗床材 (エポキシ樹脂塗床材)</td><td>・平滑仕上げ ○防滑仕上げ ○防塵仕上げ ○耐薬品性仕上げ</td><td></td></tr><tr><td>・薄膜型塗床材 (エポキシ樹脂塗床材)</td><td rowspan="2"></td><td>※平滑仕上げ</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> ・	種 類	工 法	仕上げの種類	施工箇所	・厚膜型塗床材 (弾性かつ樹脂系塗床材)	・薄膜流しのべ工法 ○厚膜流しのべ工法 ・樹脂むけ工法	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ		○厚膜型塗床材 (エポキシ樹脂塗床材)	・平滑仕上げ ○防滑仕上げ ○防塵仕上げ ○耐薬品性仕上げ		・薄膜型塗床材 (エポキシ樹脂塗床材)		※平滑仕上げ		・			8 フローリング張り  フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書19.5.2(2)による  単層フローリング <table><tr><th>種 類</th><th>工 法</th><th>樹種</th><th>厚さ及び大きさ</th></tr><tr><td rowspan="3">・フローリングボード1等</td><td>・釘留め工法 (根太張り)</td><td>・</td><td>※標準仕様書19.5.1による ・</td></tr><tr><td>・釘留め工法 (直張り)</td><td>・</td><td>※標準仕様書19.5.3による ・</td></tr><tr><td>・接着工法</td><td>・</td><td>※標準仕様書19.5.5による ・</td></tr><tr><td>・フローリングブロック1等</td><td>・接着工法</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 複合フローリング <table><tr><th>種 類</th><th>工 法</th><th>樹種</th><th>厚さ及び大きさ</th></tr><tr><td rowspan="3">・複合フローリング (天然木化粧)</td><td>・釘留め工法 (根太張り)</td><td>・</td><td>※標準仕様書19.5.2による ・A種 ・B種 ・C種</td></tr><tr><td>・釘留め工法 (直張り)</td><td>・</td><td>※標準仕様書19.5.4による ・A種 ・B種 ・C種</td></tr><tr><td>・接着工法</td><td>・</td><td>※標準仕様書19.5.6による ・A種 ・B種 ・C種</td></tr></table> 接着工法の場合の不随縁衝材 ※合成樹脂発泡シート  種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床：・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)  ・衝撃緩和型畳 畳表 ・樹脂製畳表  ⑩ せっこうボード、 その他ボード及び 合板張り	種 類	工 法	樹種	厚さ及び大きさ	・フローリングボード1等	・釘留め工法 (根太張り)	・	※標準仕様書19.5.1による ・	・釘留め工法 (直張り)	・	※標準仕様書19.5.3による ・	・接着工法	・	※標準仕様書19.5.5による ・	・フローリングブロック1等	・接着工法	・	・	種 類	工 法	樹種	厚さ及び大きさ	・複合フローリング (天然木化粧)	・釘留め工法 (根太張り)	・	※標準仕様書19.5.2による ・A種 ・B種 ・C種	・釘留め工法 (直張り)	・	※標準仕様書19.5.4による ・A種 ・B種 ・C種	・接着工法	・	※標準仕様書19.5.6による ・A種 ・B種 ・C種	9 畳敷き  ⑩ せっこうボード、 その他ボード及び 合板張り	11 壁紙張り  ⑫ 断熱材  ⑫ ユニ ット 及び その 他の 工事	材料 <table><tr><th>規格名称</th><th>種 類</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td rowspan="5">木質系セメント板</td><td>・硬質木毛セメント板</td><td>・15 ・20 ・25 ・</td></tr><tr><td>・中質木毛セメント板</td><td>・15 ・20 ・25 ・</td></tr><tr><td>・普通木毛セメント板</td><td>・15 ・20 ・25 ・</td></tr><tr><td>・硬質木片セメント板</td><td>・12 ・15 ・18 ・21 ・</td></tr><tr><td>・普通木片セメント板</td><td>・30 ・</td></tr><tr><td>繊維強化セメント板 火山性ガラス質複層板 (VSボード)</td><td>○けい酸カルシウム板 ×17 2 (無石綿) ○6 ・8</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">繊維強化セメント板</td><td>・火山性ガラス質複層板</td><td>・</td></tr><tr><td>・ミディアムデンシティ ファイバーボード (MDF)</td><td>・3 ・7 ・9 ・12 ・</td></tr><tr><td>・ハードボード (素地)</td><td>・無研磨板 ( ・スタンダード ・テンバード) ・研磨板 ( ・スタンダード ・テンバード) ・2.5 ・3.5 ・5 ・7</td></tr><tr><td rowspan="2">繊維板</td><td>・ハードボード (化粧)</td><td>・内装用 ・外装用 ・2.5 ・3.5 ・5 ・7</td></tr><tr><td>・インシュレーションボード</td><td>A級 ( ・天井仕上 ・内装仕上 ・ ) ・9 ・12 ・15 ・18</td></tr><tr><td rowspan="2">パーティクルボード</td><td>・単板張りパーティクルボード</td><td>・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18 ・</td></tr><tr><td>・化粧パーティクルボード</td><td>・単板オーバーレイ ・プラスチックオーバーレイ ・塗装 ・10 ・12</td></tr><tr><td rowspan="3">吸音材料</td><td>○ロックウール化粧吸音板</td><td>○フラットタイプ ○9 (不燃) ・12 (不燃) ・ ) ・凹凸タイプ ( ・9 (不燃) ・12 (不燃) ・ )</td></tr><tr><td>・ロックウール吸音ボード1号</td><td>・25 ・</td></tr><tr><td>・グラスウール吸音ボード32K</td><td>・25 (ガラスクロス包) ・</td></tr><tr><td rowspan="5">せっこうボード製品</td><td>○せっこうボード</td><td>○12.5 (不燃) ・15 (不燃) ・ ・不燃積層せっこうボード ・化粧無 (下地張り用) ・化粧有 (トラバーチン模様) ・9.5 (不燃) ・</td></tr><tr><td>○シージングせっこうボード</td><td>○12.5 (不燃) ・</td></tr><tr><td>・強化せっこうボード</td><td>・12.5 (不燃) ・15 (不燃)</td></tr><tr><td>・せっこうラスボード</td><td>・9.5 ・</td></tr><tr><td>・化粧せっこうボード (木目)</td><td>模様 ( ・柱目 ・板目) 専用下地材有り ・12.5 (不燃) 幅440mm程度 ・9.5 (準不燃) 幅440mm程度 ・9.5 (準不燃)</td></tr><tr><td rowspan="2">MD F及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ボード表面への化粧張仕上の有無 ・有り (種類： ) ・</td><td>天井のボードの重ね張りの張り付け方法 (ロックウール吸音板を除く) ( ) せっこうボードの目地工法 種類 ・ 図示 (仕上げ表) による ・ 図示による せっこうボードのエッジの種類 (突付け工法、目渡し工法の場合) ・ 図示による</td><td>⑫ ユニ ット 及び その 他の 工事</td><td>材料 <table><tr><th>種類</th><th>規格</th><th>防虫処理</th></tr><tr><td>・普通合板</td><td>表板の樹種名 ( ) 板面の品質 ( ) 厚さ (mm) ( )</td><td>・行う ・行わない</td></tr><tr><td>・天然木化粧合板</td><td>化粧板の樹種名 ( ) 厚さ (mm) ( )</td><td>・行う ・行わない</td></tr><tr><td>・特殊加工化粧合板</td><td>化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 表面性能 ( ) 厚さ (mm) ( )</td><td>・行う ・行わない</td></tr></table> 合板のホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書19.7.2(2) (4) のいずれかによる ・  合板の張付け ・A種 ・B種  ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆  種類 <table><tr><th rowspan="2">施工箇所</th><th colspan="6">壁紙の種類</th><th rowspan="2">防火性能</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>紙</th><th>繊維</th><th>プラスチック</th><th>無機質</th><th>塩化ビニル</th><th>その他</th></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・不燃 ・準不燃 ・難燃</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 施工 モルタル面及びプラスター面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 (表18.2.4) コンクリート面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 (表18.2.5) せっこうボード面の素地ごしらえ及び けい酸カルシウム板面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 (表18.2.7)  ・断熱材打込み工法 <table><tr><th colspan="2">種 類</th><th rowspan="2">厚さ (mm)</th><th rowspan="2">施工箇所</th></tr><tr><th colspan="4">断熱材名</th></tr><tr><td colspan="2">・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)</td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・硬質ウレタンフォーム断熱材</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・フェノールフォーム断熱材</td><td>・</td><td></td></tr></table> フェノールフォームを使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆  ・断熱材現場発泡工法 <table><tr><th>断熱材の種類</th><th>※A種1</th><th>・A種1H</th></tr><tr><td>吹付け厚さ (mm)</td><td>・25</td><td>・30</td></tr><tr><td>施工箇所</td><td colspan="2">・ 図示による</td></tr></table> ⑫ ユニ ット 及び その 他の 工事</td><td>5 手すり  ⑥ 階段滑り止め  7 黒板及び ホワイトボード  8 鏡  9 表示  ⑩ タラップ  11 煙突ライニング  ⑫ ブラインド  13 ロールスクリーン  14 カーテン  カーテンレール  16 プレキャスト コンクリート</td><td>材料の種類 ・ 仕上げ ・  材料等 <table><tr><th>材 種</th><th>形 状</th><th>寸法 (mm)</th><th>取付け工法</th></tr><tr><td>○ステンレス製 (SUS 304) ・貴鋼製押出型材 ・アルミニウム製押出型材</td><td>・ひも型 ・タイヤ型</td><td>○50mm ・</td><td>※接着工法 ・埋込み工法</td></tr></table> ・黒板 区分 ※焼付け 種類 ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板 ・ホワイトボード ( )  取付箇所 ( )  寸法 (mm) ・ 図示による 厚さ (mm) ※5  ・衝突防止表示 形状、寸法 ( ・30φ 材質 ( ・ステンレス製 ・非常用進入口等の表示等 ※消防法に適合する市販品  室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状寸法材質色、書体、印刷等の種別、取付け形式 ・ 図示による  材料の種類 ・ステンレス製 SUS 304 (表面処理 ※研磨なし 仕上げ ※研磨等の仕上げを行わない  煙突用成形ライニング材 適用安全使用温度 ・℃ 工法 ( )  材料等 ・模形ブラインド 種類 ※ギア式 ・コード式 ・操作棒式 幅、高さ ・ 図示による スラットの幅 ※25mm 材質 スラット ※アルミニウム合金製 ヘッドボックス ※鋼製 ボトムレール ※鋼製 ○電形ブラインド 幅、高さ ・ 図示による 開閉方式 ・片開き ・両開き 操作方法 ※2本操作コード方式 ・1本操作コード方式 ○手動 スラットの材質 ○焼付け塗装仕上げのアルミスラット ・ 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工クロススラット スラットの幅 ( 80 ) mm  材料等 <table><tr><th>材 種</th><th>品 質</th><th>操作方式</th><th>幅、高さ</th><th>取付箇所</th></tr><tr><td>・ポリエステル ・</td><td></td><td>・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式</td><td>・ 図示 ・</td><td>・ 図示 ・</td></tr></table> 巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 ※製造所の仕様による  材料等 <table><tr><th>形 式</th><th>開閉操作</th><th>ひだの種類</th><th>生地の種別、品質、特殊加工等</th><th>取付箇所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・シングル ・ダブル</td><td>・片引き ・引分け</td><td>・つまみひだ (三つ山ひだ、二つ山ひだ) ・箱ひだ、片ひだ ・プレーンひだ</td><td>・ ・ ・</td><td>・ 図示 ・</td><td></td></tr></table> ・ ・  暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上  カーテンレール  材料等 レール及びブラケットの強さによる区分 ※10-90 レールの材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製 レールの仕上げ ※アルマイト レールの形状 ※角形 カーテン付属物 フック (ひるかん) ※鋼製 ・樹脂製  補強鉄線の径及び網目寸法 ・ 図示による  製作 コンクリートの設計基準強度 ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m<sup>3</sup>を満足する調合強度 ・ 図示による 配筋 ・ 図示による 取付け方法 ・ 図示による  工事名 砂原配水場改築工事 (土木・建築)  図面番号 A 08 縮 尺 —  事業主 笛吹市公営企業部水道課</td></tr></table>	規格名称	種 類	厚さ (mm)	木質系セメント板	・硬質木毛セメント板	・15 ・20 ・25 ・	・中質木毛セメント板	・15 ・20 ・25 ・	・普通木毛セメント板	・15 ・20 ・25 ・	・硬質木片セメント板	・12 ・15 ・18 ・21 ・	・普通木片セメント板	・30 ・	繊維強化セメント板 火山性ガラス質複層板 (VSボード)	○けい酸カルシウム板 ×17 2 (無石綿) ○6 ・8		繊維強化セメント板	・火山性ガラス質複層板	・	・ミディアムデンシティ ファイバーボード (MDF)	・3 ・7 ・9 ・12 ・	・ハードボード (素地)	・無研磨板 ( ・スタンダード ・テンバード) ・研磨板 ( ・スタンダード ・テンバード) ・2.5 ・3.5 ・5 ・7	繊維板	・ハードボード (化粧)	・内装用 ・外装用 ・2.5 ・3.5 ・5 ・7	・インシュレーションボード	A級 ( ・天井仕上 ・内装仕上 ・ ) ・9 ・12 ・15 ・18	パーティクルボード	・単板張りパーティクルボード	・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18 ・	・化粧パーティクルボード	・単板オーバーレイ ・プラスチックオーバーレイ ・塗装 ・10 ・12	吸音材料	○ロックウール化粧吸音板	○フラットタイプ ○9 (不燃) ・12 (不燃) ・ ) ・凹凸タイプ ( ・9 (不燃) ・12 (不燃) ・ )	・ロックウール吸音ボード1号	・25 ・	・グラスウール吸音ボード32K	・25 (ガラスクロス包) ・	せっこうボード製品	○せっこうボード	○12.5 (不燃) ・15 (不燃) ・ ・不燃積層せっこうボード ・化粧無 (下地張り用) ・化粧有 (トラバーチン模様) ・9.5 (不燃) ・	○シージングせっこうボード	○12.5 (不燃) ・	・強化せっこうボード	・12.5 (不燃) ・15 (不燃)	・せっこうラスボード	・9.5 ・	・化粧せっこうボード (木目)	模様 ( ・柱目 ・板目) 専用下地材有り ・12.5 (不燃) 幅440mm程度 ・9.5 (準不燃) 幅440mm程度 ・9.5 (準不燃)	MD F及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ボード表面への化粧張仕上の有無 ・有り (種類： ) ・	天井のボードの重ね張りの張り付け方法 (ロックウール吸音板を除く) ( ) せっこうボードの目地工法 種類 ・ 図示 (仕上げ表) による ・ 図示による せっこうボードのエッジの種類 (突付け工法、目渡し工法の場合) ・ 図示による	⑫ ユニ ット 及び その 他の 工事	材料 <table><tr><th>種類</th><th>規格</th><th>防虫処理</th></tr><tr><td>・普通合板</td><td>表板の樹種名 ( ) 板面の品質 ( ) 厚さ (mm) ( )</td><td>・行う ・行わない</td></tr><tr><td>・天然木化粧合板</td><td>化粧板の樹種名 ( ) 厚さ (mm) ( )</td><td>・行う ・行わない</td></tr><tr><td>・特殊加工化粧合板</td><td>化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 表面性能 ( ) 厚さ (mm) ( )</td><td>・行う ・行わない</td></tr></table> 合板のホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書19.7.2(2) (4) のいずれかによる ・  合板の張付け ・A種 ・B種  ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆  種類 <table><tr><th rowspan="2">施工箇所</th><th colspan="6">壁紙の種類</th><th rowspan="2">防火性能</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>紙</th><th>繊維</th><th>プラスチック</th><th>無機質</th><th>塩化ビニル</th><th>その他</th></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・不燃 ・準不燃 ・難燃</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 施工 モルタル面及びプラスター面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 (表18.2.4) コンクリート面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 (表18.2.5) せっこうボード面の素地ごしらえ及び けい酸カルシウム板面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 (表18.2.7)  ・断熱材打込み工法 <table><tr><th colspan="2">種 類</th><th rowspan="2">厚さ (mm)</th><th rowspan="2">施工箇所</th></tr><tr><th colspan="4">断熱材名</th></tr><tr><td colspan="2">・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)</td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・硬質ウレタンフォーム断熱材</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・フェノールフォーム断熱材</td><td>・</td><td></td></tr></table> フェノールフォームを使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆  ・断熱材現場発泡工法 <table><tr><th>断熱材の種類</th><th>※A種1</th><th>・A種1H</th></tr><tr><td>吹付け厚さ (mm)</td><td>・25</td><td>・30</td></tr><tr><td>施工箇所</td><td colspan="2">・ 図示による</td></tr></table> ⑫ ユニ ット 及び その 他の 工事	種類	規格	防虫処理	・普通合板	表板の樹種名 ( ) 板面の品質 ( ) 厚さ (mm) ( )	・行う ・行わない	・天然木化粧合板	化粧板の樹種名 ( ) 厚さ (mm) ( )	・行う ・行わない	・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 表面性能 ( ) 厚さ (mm) ( )	・行う ・行わない	施工箇所	壁紙の種類						防火性能	備考	紙	繊維	プラスチック	無機質	塩化ビニル	その他		・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃			・	・	・	・	・	・			種 類		厚さ (mm)	施工箇所	断熱材名				・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材				・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)				・硬質ウレタンフォーム断熱材		・		・フェノールフォーム断熱材		・		断熱材の種類	※A種1	・A種1H	吹付け厚さ (mm)	・25	・30	施工箇所	・ 図示による		5 手すり  ⑥ 階段滑り止め  7 黒板及び ホワイトボード  8 鏡  9 表示  ⑩ タラップ  11 煙突ライニング  ⑫ ブラインド  13 ロールスクリーン  14 カーテン  カーテンレール  16 プレキャスト コンクリート	材料の種類 ・ 仕上げ ・  材料等 <table><tr><th>材 種</th><th>形 状</th><th>寸法 (mm)</th><th>取付け工法</th></tr><tr><td>○ステンレス製 (SUS 304) ・貴鋼製押出型材 ・アルミニウム製押出型材</td><td>・ひも型 ・タイヤ型</td><td>○50mm ・</td><td>※接着工法 ・埋込み工法</td></tr></table> ・黒板 区分 ※焼付け 種類 ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板 ・ホワイトボード ( )  取付箇所 ( )  寸法 (mm) ・ 図示による 厚さ (mm) ※5  ・衝突防止表示 形状、寸法 ( ・30φ 材質 ( ・ステンレス製 ・非常用進入口等の表示等 ※消防法に適合する市販品  室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状寸法材質色、書体、印刷等の種別、取付け形式 ・ 図示による  材料の種類 ・ステンレス製 SUS 304 (表面処理 ※研磨なし 仕上げ ※研磨等の仕上げを行わない  煙突用成形ライニング材 適用安全使用温度 ・℃ 工法 ( )  材料等 ・模形ブラインド 種類 ※ギア式 ・コード式 ・操作棒式 幅、高さ ・ 図示による スラットの幅 ※25mm 材質 スラット ※アルミニウム合金製 ヘッドボックス ※鋼製 ボトムレール ※鋼製 ○電形ブラインド 幅、高さ ・ 図示による 開閉方式 ・片開き ・両開き 操作方法 ※2本操作コード方式 ・1本操作コード方式 ○手動 スラットの材質 ○焼付け塗装仕上げのアルミスラット ・ 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工クロススラット スラットの幅 ( 80 ) mm  材料等 <table><tr><th>材 種</th><th>品 質</th><th>操作方式</th><th>幅、高さ</th><th>取付箇所</th></tr><tr><td>・ポリエステル ・</td><td></td><td>・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式</td><td>・ 図示 ・</td><td>・ 図示 ・</td></tr></table> 巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 ※製造所の仕様による  材料等 <table><tr><th>形 式</th><th>開閉操作</th><th>ひだの種類</th><th>生地の種別、品質、特殊加工等</th><th>取付箇所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・シングル ・ダブル</td><td>・片引き ・引分け</td><td>・つまみひだ (三つ山ひだ、二つ山ひだ) ・箱ひだ、片ひだ ・プレーンひだ</td><td>・ ・ ・</td><td>・ 図示 ・</td><td></td></tr></table> ・ ・  暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上  カーテンレール  材料等 レール及びブラケットの強さによる区分 ※10-90 レールの材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製 レールの仕上げ ※アルマイト レールの形状 ※角形 カーテン付属物 フック (ひるかん) ※鋼製 ・樹脂製  補強鉄線の径及び網目寸法 ・ 図示による  製作 コンクリートの設計基準強度 ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m <sup>3</sup> を満足する調合強度 ・ 図示による 配筋 ・ 図示による 取付け方法 ・ 図示による  工事名 砂原配水場改築工事 (土木・建築)  図面番号 A 08 縮 尺 —  事業主 笛吹市公営企業部水道課	材 種	形 状	寸法 (mm)	取付け工法	○ステンレス製 (SUS 304) ・貴鋼製押出型材 ・アルミニウム製押出型材	・ひも型 ・タイヤ型	○50mm ・	※接着工法 ・埋込み工法	材 種	品 質	操作方式	幅、高さ	取付箇所	・ポリエステル ・		・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・ 図示 ・	・ 図示 ・	形 式	開閉操作	ひだの種類	生地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備 考	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・つまみひだ (三つ山ひだ、二つ山ひだ) ・箱ひだ、片ひだ ・プレーンひだ	・ ・ ・	・ 図示 ・	
	種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	※FS (複層ビニル床シート)	・ ・	※2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	※KT (コンポジションビニル床タイル) ・ TT (単層ビニル床タイル) ・ FT (複層ビニル床タイル) ・ FOA (置敷きビニル床タイル) ・ FOB (薄型置敷きビニル床タイル)	・無地 ・	・ 300×300 ・ 450×450 ・ 500×500	※2.0 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	シート・タイル種別	種 類	性能	厚さ、寸法、形状 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・帯電防止床シート			厚さ：寸法：厚さ：																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・帯電防止床タイル			形状：厚さ：																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・視覚障害者用床タイル		—	形状：厚さ：																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・耐動荷重性床シート		—	厚さ：寸法：																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・防滑性床シート		—	厚さ：寸法：																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・防滑性床タイル		—	厚さ：寸法：																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
織り方	バイル形状	帯電性	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ウィルトンカーペット	・カットバイル	・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・ダブルフェースカーペット	・ループバイル	・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・アキスミンスターカーペット	・カット・ループ併用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
バイル形状	バイル長 (mm)	工法	帯電性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・カットバイル	・	・グリッター工法 ・全面接着工法	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ループバイル	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・カット、ループ併用	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
種類	バイル形状	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	施工箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
※第一種	※ループバイル	※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・第二種			・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・第一種	・カットバイル	※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・第二種			・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・第一種	・カット、ループ併用	※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・第二種			・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 類	工 法	仕上げの種類	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・厚膜型塗床材 (弾性かつ樹脂系塗床材)	・薄膜流しのべ工法 ○厚膜流しのべ工法 ・樹脂むけ工法	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○厚膜型塗床材 (エポキシ樹脂塗床材)		・平滑仕上げ ○防滑仕上げ ○防塵仕上げ ○耐薬品性仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・薄膜型塗床材 (エポキシ樹脂塗床材)		※平滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種 類	工 法	樹種	厚さ及び大きさ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・フローリングボード1等	・釘留め工法 (根太張り)	・	※標準仕様書19.5.1による ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・釘留め工法 (直張り)	・	※標準仕様書19.5.3による ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・接着工法	・	※標準仕様書19.5.5による ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・フローリングブロック1等	・接着工法	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 類	工 法	樹種	厚さ及び大きさ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・複合フローリング (天然木化粧)	・釘留め工法 (根太張り)	・	※標準仕様書19.5.2による ・A種 ・B種 ・C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・釘留め工法 (直張り)	・	※標準仕様書19.5.4による ・A種 ・B種 ・C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・接着工法	・	※標準仕様書19.5.6による ・A種 ・B種 ・C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
規格名称	種 類	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
木質系セメント板	・硬質木毛セメント板	・15 ・20 ・25 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・中質木毛セメント板	・15 ・20 ・25 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・普通木毛セメント板	・15 ・20 ・25 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・硬質木片セメント板	・12 ・15 ・18 ・21 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・普通木片セメント板	・30 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
繊維強化セメント板 火山性ガラス質複層板 (VSボード)	○けい酸カルシウム板 ×17 2 (無石綿) ○6 ・8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
繊維強化セメント板	・火山性ガラス質複層板	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・ミディアムデンシティ ファイバーボード (MDF)	・3 ・7 ・9 ・12 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・ハードボード (素地)	・無研磨板 ( ・スタンダード ・テンバード) ・研磨板 ( ・スタンダード ・テンバード) ・2.5 ・3.5 ・5 ・7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
繊維板	・ハードボード (化粧)	・内装用 ・外装用 ・2.5 ・3.5 ・5 ・7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・インシュレーションボード	A級 ( ・天井仕上 ・内装仕上 ・ ) ・9 ・12 ・15 ・18																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
パーティクルボード	・単板張りパーティクルボード	・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・化粧パーティクルボード	・単板オーバーレイ ・プラスチックオーバーレイ ・塗装 ・10 ・12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
吸音材料	○ロックウール化粧吸音板	○フラットタイプ ○9 (不燃) ・12 (不燃) ・ ) ・凹凸タイプ ( ・9 (不燃) ・12 (不燃) ・ )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・ロックウール吸音ボード1号	・25 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・グラスウール吸音ボード32K	・25 (ガラスクロス包) ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
せっこうボード製品	○せっこうボード	○12.5 (不燃) ・15 (不燃) ・ ・不燃積層せっこうボード ・化粧無 (下地張り用) ・化粧有 (トラバーチン模様) ・9.5 (不燃) ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	○シージングせっこうボード	○12.5 (不燃) ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・強化せっこうボード	・12.5 (不燃) ・15 (不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・せっこうラスボード	・9.5 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・化粧せっこうボード (木目)	模様 ( ・柱目 ・板目) 専用下地材有り ・12.5 (不燃) 幅440mm程度 ・9.5 (準不燃) 幅440mm程度 ・9.5 (準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
MD F及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ボード表面への化粧張仕上の有無 ・有り (種類： ) ・	天井のボードの重ね張りの張り付け方法 (ロックウール吸音板を除く) ( ) せっこうボードの目地工法 種類 ・ 図示 (仕上げ表) による ・ 図示による せっこうボードのエッジの種類 (突付け工法、目渡し工法の場合) ・ 図示による	⑫ ユニ ット 及び その 他の 工事	材料 <table><tr><th>種類</th><th>規格</th><th>防虫処理</th></tr><tr><td>・普通合板</td><td>表板の樹種名 ( ) 板面の品質 ( ) 厚さ (mm) ( )</td><td>・行う ・行わない</td></tr><tr><td>・天然木化粧合板</td><td>化粧板の樹種名 ( ) 厚さ (mm) ( )</td><td>・行う ・行わない</td></tr><tr><td>・特殊加工化粧合板</td><td>化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 表面性能 ( ) 厚さ (mm) ( )</td><td>・行う ・行わない</td></tr></table> 合板のホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書19.7.2(2) (4) のいずれかによる ・  合板の張付け ・A種 ・B種  ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆  種類 <table><tr><th rowspan="2">施工箇所</th><th colspan="6">壁紙の種類</th><th rowspan="2">防火性能</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>紙</th><th>繊維</th><th>プラスチック</th><th>無機質</th><th>塩化ビニル</th><th>その他</th></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・不燃 ・準不燃 ・難燃</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 施工 モルタル面及びプラスター面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 (表18.2.4) コンクリート面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 (表18.2.5) せっこうボード面の素地ごしらえ及び けい酸カルシウム板面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 (表18.2.7)  ・断熱材打込み工法 <table><tr><th colspan="2">種 類</th><th rowspan="2">厚さ (mm)</th><th rowspan="2">施工箇所</th></tr><tr><th colspan="4">断熱材名</th></tr><tr><td colspan="2">・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)</td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・硬質ウレタンフォーム断熱材</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・フェノールフォーム断熱材</td><td>・</td><td></td></tr></table> フェノールフォームを使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆  ・断熱材現場発泡工法 <table><tr><th>断熱材の種類</th><th>※A種1</th><th>・A種1H</th></tr><tr><td>吹付け厚さ (mm)</td><td>・25</td><td>・30</td></tr><tr><td>施工箇所</td><td colspan="2">・ 図示による</td></tr></table> ⑫ ユニ ット 及び その 他の 工事	種類	規格	防虫処理	・普通合板	表板の樹種名 ( ) 板面の品質 ( ) 厚さ (mm) ( )	・行う ・行わない	・天然木化粧合板	化粧板の樹種名 ( ) 厚さ (mm) ( )	・行う ・行わない	・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 表面性能 ( ) 厚さ (mm) ( )	・行う ・行わない	施工箇所	壁紙の種類						防火性能	備考	紙	繊維	プラスチック	無機質	塩化ビニル	その他		・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃			・	・	・	・	・	・			種 類		厚さ (mm)	施工箇所	断熱材名				・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材				・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)				・硬質ウレタンフォーム断熱材		・		・フェノールフォーム断熱材		・		断熱材の種類	※A種1	・A種1H	吹付け厚さ (mm)	・25	・30	施工箇所	・ 図示による		5 手すり  ⑥ 階段滑り止め  7 黒板及び ホワイトボード  8 鏡  9 表示  ⑩ タラップ  11 煙突ライニング  ⑫ ブラインド  13 ロールスクリーン  14 カーテン  カーテンレール  16 プレキャスト コンクリート	材料の種類 ・ 仕上げ ・  材料等 <table><tr><th>材 種</th><th>形 状</th><th>寸法 (mm)</th><th>取付け工法</th></tr><tr><td>○ステンレス製 (SUS 304) ・貴鋼製押出型材 ・アルミニウム製押出型材</td><td>・ひも型 ・タイヤ型</td><td>○50mm ・</td><td>※接着工法 ・埋込み工法</td></tr></table> ・黒板 区分 ※焼付け 種類 ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板 ・ホワイトボード ( )  取付箇所 ( )  寸法 (mm) ・ 図示による 厚さ (mm) ※5  ・衝突防止表示 形状、寸法 ( ・30φ 材質 ( ・ステンレス製 ・非常用進入口等の表示等 ※消防法に適合する市販品  室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状寸法材質色、書体、印刷等の種別、取付け形式 ・ 図示による  材料の種類 ・ステンレス製 SUS 304 (表面処理 ※研磨なし 仕上げ ※研磨等の仕上げを行わない  煙突用成形ライニング材 適用安全使用温度 ・℃ 工法 ( )  材料等 ・模形ブラインド 種類 ※ギア式 ・コード式 ・操作棒式 幅、高さ ・ 図示による スラットの幅 ※25mm 材質 スラット ※アルミニウム合金製 ヘッドボックス ※鋼製 ボトムレール ※鋼製 ○電形ブラインド 幅、高さ ・ 図示による 開閉方式 ・片開き ・両開き 操作方法 ※2本操作コード方式 ・1本操作コード方式 ○手動 スラットの材質 ○焼付け塗装仕上げのアルミスラット ・ 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工クロススラット スラットの幅 ( 80 ) mm  材料等 <table><tr><th>材 種</th><th>品 質</th><th>操作方式</th><th>幅、高さ</th><th>取付箇所</th></tr><tr><td>・ポリエステル ・</td><td></td><td>・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式</td><td>・ 図示 ・</td><td>・ 図示 ・</td></tr></table> 巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 ※製造所の仕様による  材料等 <table><tr><th>形 式</th><th>開閉操作</th><th>ひだの種類</th><th>生地の種別、品質、特殊加工等</th><th>取付箇所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・シングル ・ダブル</td><td>・片引き ・引分け</td><td>・つまみひだ (三つ山ひだ、二つ山ひだ) ・箱ひだ、片ひだ ・プレーンひだ</td><td>・ ・ ・</td><td>・ 図示 ・</td><td></td></tr></table> ・ ・  暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上  カーテンレール  材料等 レール及びブラケットの強さによる区分 ※10-90 レールの材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製 レールの仕上げ ※アルマイト レールの形状 ※角形 カーテン付属物 フック (ひるかん) ※鋼製 ・樹脂製  補強鉄線の径及び網目寸法 ・ 図示による  製作 コンクリートの設計基準強度 ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m <sup>3</sup> を満足する調合強度 ・ 図示による 配筋 ・ 図示による 取付け方法 ・ 図示による  工事名 砂原配水場改築工事 (土木・建築)  図面番号 A 08 縮 尺 —  事業主 笛吹市公営企業部水道課	材 種	形 状	寸法 (mm)	取付け工法	○ステンレス製 (SUS 304) ・貴鋼製押出型材 ・アルミニウム製押出型材	・ひも型 ・タイヤ型	○50mm ・	※接着工法 ・埋込み工法	材 種	品 質	操作方式	幅、高さ	取付箇所	・ポリエステル ・		・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・ 図示 ・	・ 図示 ・	形 式	開閉操作	ひだの種類	生地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備 考	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・つまみひだ (三つ山ひだ、二つ山ひだ) ・箱ひだ、片ひだ ・プレーンひだ	・ ・ ・	・ 図示 ・																																																																																																																																																																																																																																	
	種類	規格	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・普通合板	表板の樹種名 ( ) 板面の品質 ( ) 厚さ (mm) ( )	・行う ・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・天然木化粧合板	化粧板の樹種名 ( ) 厚さ (mm) ( )	・行う ・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 表面性能 ( ) 厚さ (mm) ( )	・行う ・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	壁紙の種類						防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	紙	繊維	プラスチック	無機質	塩化ビニル	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種 類		厚さ (mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
断熱材名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・硬質ウレタンフォーム断熱材		・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・フェノールフォーム断熱材		・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
断熱材の種類	※A種1	・A種1H																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
吹付け厚さ (mm)	・25	・30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	・ 図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
材 種	形 状	寸法 (mm)	取付け工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ステンレス製 (SUS 304) ・貴鋼製押出型材 ・アルミニウム製押出型材	・ひも型 ・タイヤ型	○50mm ・	※接着工法 ・埋込み工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
材 種	品 質	操作方式	幅、高さ	取付箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ポリエステル ・		・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・ 図示 ・	・ 図示 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
形 式	開閉操作	ひだの種類	生地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・つまみひだ (三つ山ひだ、二つ山ひだ) ・箱ひだ、片ひだ ・プレーンひだ	・ ・ ・	・ 図示 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													

⑬ ⑬



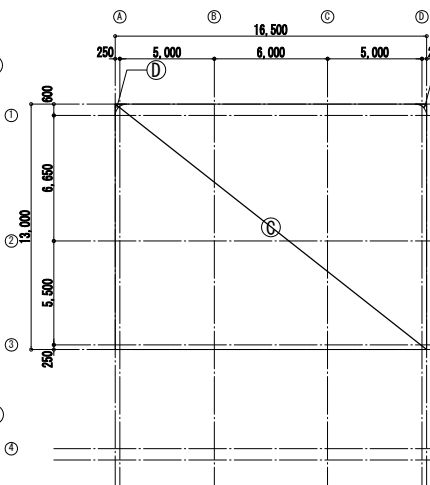
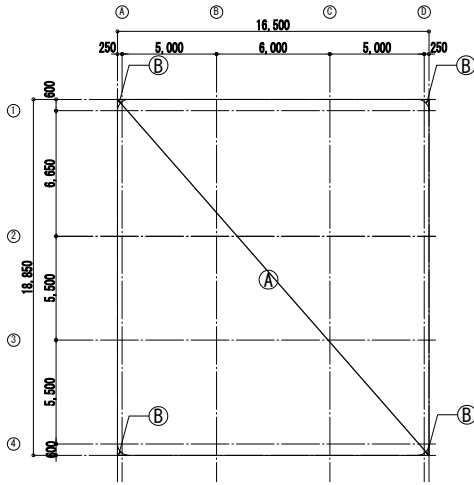
S=1 : 200



工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号 A / 10
配置平面図		縮 尺 1/200
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

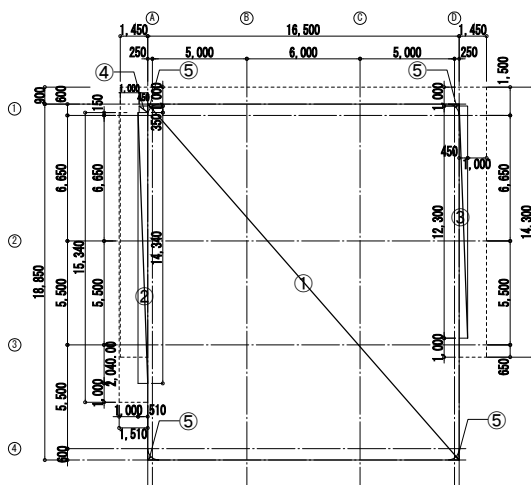
外部仕上表						
屋 根	高耐久アスファルト防水（60年耐久）：断熱材（RBボード）t=50、保護コンクリート t=80直均し（溶接金網 φ6 @100）			庇：天端・鼻先・ケラバ	天端：直均しの上、ウレタン系塗膜防水（X-2） 鼻先・ケラバ：打放し（B）の上、ウレタン系塗膜防水（X-2）	
外 壁	コンクリート打放し（B）の上（7か20）、打放しコンクリート保護塗料（水性フッ素樹脂クリヤー） <2-02-11>			上 裏	コンクリート打放し（B）の上（7か20）、打放しコンクリート保護塗料（水性フッ素樹脂クリヤー） <2-02-11>	
				外階段・室外機置場		
上げ裏	コンクリート打放し（B）の上（7か20）、打放しコンクリート保護塗料（水性フッ素樹脂クリヤー） <2-02-11>			床	モルタル金ごてt=30の上、ウレタン系塗膜防水（X-2） 排水溝（W50）：コンクリート直均しの上、ウレタン系塗膜防水（X-2） 段鼻：ノンスリップ役物タイル 200×100角垂れ付き段鼻	
誘発・打継目地	PU-2 <2-02-9>・PU-2 <2-02-8>	屋上手摺	アルミ製 H=1,100、片開き扉、コンクリート基礎	巾木	打放し（B）の上、ウレタン系塗膜防水（X-2） H=100	
パラペット	アルミ製笠木、W=325	止水板	塩ビ製 センターバルブ形 W=150	手摺壁・天端	コンクリート打放し（B）の上（7か20）、打放しコンクリート保護塗料（水性フッ素樹脂クリヤー） <2-02-11>	
堅 樋	ステンレス管 100A			手摺（外階段、室外機置場）	アルミ製、一部着脱式	
タラップ	ステンレス製（安全ガード付）[8-31-3]			窓、出入口等 建具	アルミサッシ・スチールドア	
				その他	AE：電源箱（電動チェーンブロック500kg用）、吊上げ式かご型バレット、電動チェーンブロック500kg	

内部仕上表																	
階	室 名	床	SL (H)	巾 木		下地	壁	柱型	天 井		梁型	廻り縁		天井高	備 考		
					H												
1 階	ポンプ室	無筋コンクリート直均し仕上げ t 200 【P】	1-01-3 +200				RC	コンクリート打放し (B) の上、 結露防止塗料塗り	2-02-7	同 左	RC	コンクリート打放し (B) の上、 結露防止塗料塗り	3-01-11			機械基礎【P】、上部搬入口：1500×2000、実験用流しW1800×D750【P】 ホイストレール (1 t 用) DP、スチール製グレーチング枠付き正方形型【P】 滑り止め付 T-2、スチール製グレーチング歩道用 滑り止め付【P】	
	自家発電機室	無筋コンクリート直均し仕上げ t 300 【P】 エポキシ樹脂塗床 (防塵) 【P】	1-01-3 +300			300	RC	コンクリート打放し (C) の上、 グラスウールGC張り t=50	2-02-13	同 左	RC	コンクリート打放し (C) の上、 グラスウールGC張り t=50	3-01-12			機械基礎【P】、機械搬入口：W2500×H3000 搬入後閉塞 防油堤【P】、ビット・ビット蓋枠共【P】	
	換気室1	無筋コンクリート直均し仕上げ t 300	1-01-3 +300				RC	コンクリート打放し (B) 仕上	2-02-7	同 左	RC	コンクリート打放し (B) 仕上	3-01-11				
2 階	電気室	フリーアクセスフロア【P】	1-02-14 +300			2-11-1	RC	コンクリート打放し (B) の上、EP塗り	2-02-7	同 左	RC	コンクリート打放し (B) の上、 EP塗り	3-01-11			ブラインドボックス・縦ブラインド フリーアクセスフロア (P)	
	薬品室	無筋コンクリート直均し仕上げ【P】 t 300 エポキシ樹脂塗床 (耐薬品性)【P】	1-01-3 +300				RC RC	コンクリート打放し (B) の上、EP塗り ② ③ ④ 通り：複合板 (PFt=25+GB-Rt=12.5) 接着張りの上、 化粧ケイカル板 t=6 接着貼り	2-03-18		同 左	LGS	GB-R t=9.5 捨張りの上、 DR (フタタタ) t=9 張り	3-01-4	塩ビ	3-11-3	2,700
	玄関	無筋コンクリート直均し仕上げ t 150 エポキシ樹脂塗床 (防滑)	1-01-3 +150			150	RC	④ 通り：複合板 (PFt=25+GB-Rt=12.5) 接着張りの上、EP塗り	2-03-6		LGS	GB-R t=9.5 捨張りの上、 DR (フタタタ) t=9 張り	3-01-4	塩ビ	3-11-3	2,700	上框：ステンレス製 L-100×50×3 H.L
	ホール	無筋コンクリート直均し仕上げ t 300 エポキシ樹脂塗床 (防塵)	1-01-3 +300			2-11-1	RC RC LGS	コンクリート打放し (B) の上、EP塗り ③ ④ 通り：複合板 (PFt=25+GB-Rt=12.5) 接着張りの上、EP塗り GB-Rt=12.5 張りの上、EP塗り	2-02-7 2-03-6 2-03-1	同 左	LGS	GB-R t=9.5 捨張りの上、 DR (フタタタ) t=9 張り	3-01-4	塩ビ	3-11-3 3-11-7	2,700	ブラインドボックス・縦ブラインド
	洗面所・便所	乾式二重床 パーティクルボード t20+ 構造用合板 t12+ビニル床シート t2.0	+300			2-11-1	RC LGS	GB-St=12.5 (GL) 張りの上、化粧ケイカル板 t=6 接着貼り GB-St=12.5 張りの上、化粧ケイカル板 t=6 接着貼り	2-03-18	同 左	LGS	GB-R t=9.5 捨張りの上、 DR (フタタタ) t=9 張り	3-01-4	塩ビ	3-11-3 3-11-7	2,700	タオル掛け360L、トイレブース 洗面化粧台 (建築工事)、大便器 (AM)
	P. S.	乾式二重床 パーティクルボード t20+ 構造用合板 t12+ビニル床シート t2.0	+300				RC LGS	コンクリート打放し (B) 仕上 LGS 表し	2-02-7	同 左	LGS	GB-R t=9.5 捨張りの上、 DR (フタタタ) t=9 張り	3-01-4			2,700	
	換気室2	無筋コンクリート直均し仕上げ t 300	1-01-3				RC	コンクリート打放し (B) 仕上	2-02-7	同 左	RC	コンクリート打放し (B) 仕上	3-01-11	同 左			タラップ：ステンレス製 [8-31-1] 落下防止チェーン、フック
	DS	コンクリート直均し仕上	1-01-3 ±0				RC	コンクリート打放し (B) の上、 グラスウールGC張り t50	2-02-13	同 左	RC	コンクリート打放し (B) の上、 グラスウールGC張り t50	3-01-12	同 左			
共 通	階段室	段部：コンクリート直均しの上、エポキシ樹脂塗床 (防滑) 無筋コンクリート直均し仕上げ t 300 の上、エポキシ樹脂塗床 (防滑)	1-01-3 +300			100	RC	コンクリート打放し (B) の上、EP塗り	2-02-7	同 左	RC	コンクリート打放し (B) の上、 (2重スラブ) EP塗り	3-01-11	同 左		2,700	ノンスリップ：ステンレス製 W=50、手摺：アルミ手摺
	チャンパー	コンクリート直均し仕上	1-01-3 ±0				RC	コンクリート打放し (B) の上、 グラスウールGC張り t50	2-02-13	同 左	RC	コンクリート打放し (B) の上、 グラスウールGC張り t50	3-01-12	同 左			



延床面積

①	16.50×18.85	= 311.025
②	0.6×0.6×(1-π/4)×4 = 0.3096	
1階床面積 計		310.7154
1階床面積		310.71㎡
③	16.50×13.00	= 214.50
④	0.6×0.6×(1-π/4)×2 = 0.1548	
2階床面積 計		214.3452
2階床面積		214.34㎡
延床面積 合計		525.05㎡



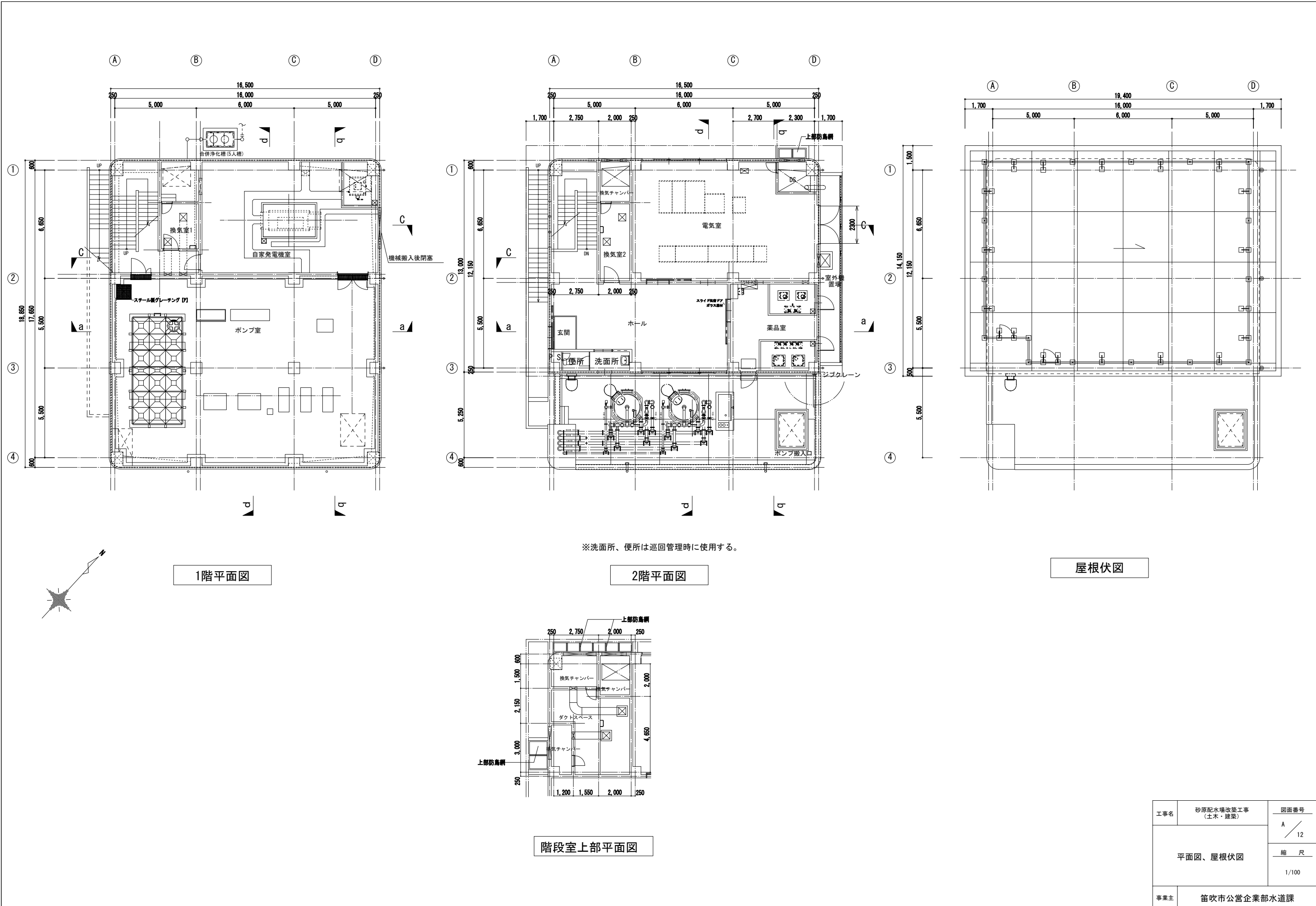
建築面積

1	16.50×18.85	= 311.025
2	0.51×14.34	= 7.3134
3	0.45×12.30	= 5.535
4	0.45×0.35	= 0.1575
5	0.6×0.6×(1-π/4)×4 = 0.3096	
建築面積 合計		323.72㎡

有窓・無窓の判定（消防法）					
1 階					
床面積の1/30	符号	W	H	窓数	開口面積
10.36	合計				0
無窓階					
2 階					
床面積の1/30	符号	W	H	窓数	開口面積
7.15	AW1	0.90	2.40	2	4.32
	AW2	0.90	2.20	2	3.96
	AW3	0.85	2.00	2	3.40
合計					< 11.68
					有窓階

工事名	砂原配水場改築工事 （土木・建築）	図面番号
仕上表、面積表		A 11
		縮 尺
事業主		―
苗吹市公営企業部水道課		



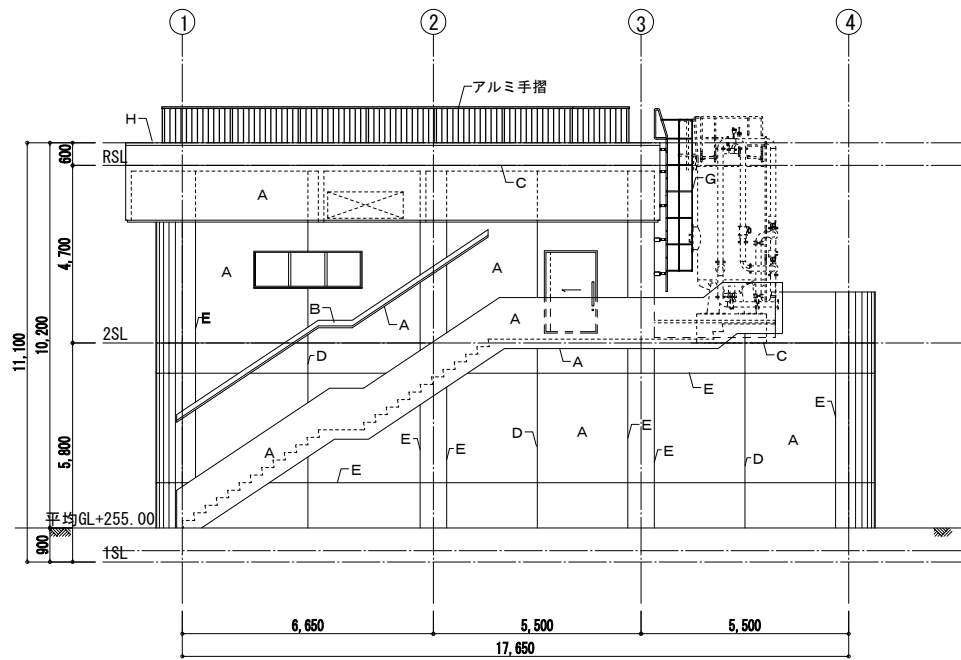


※洗面所、便所は巡回管理時に使用する。

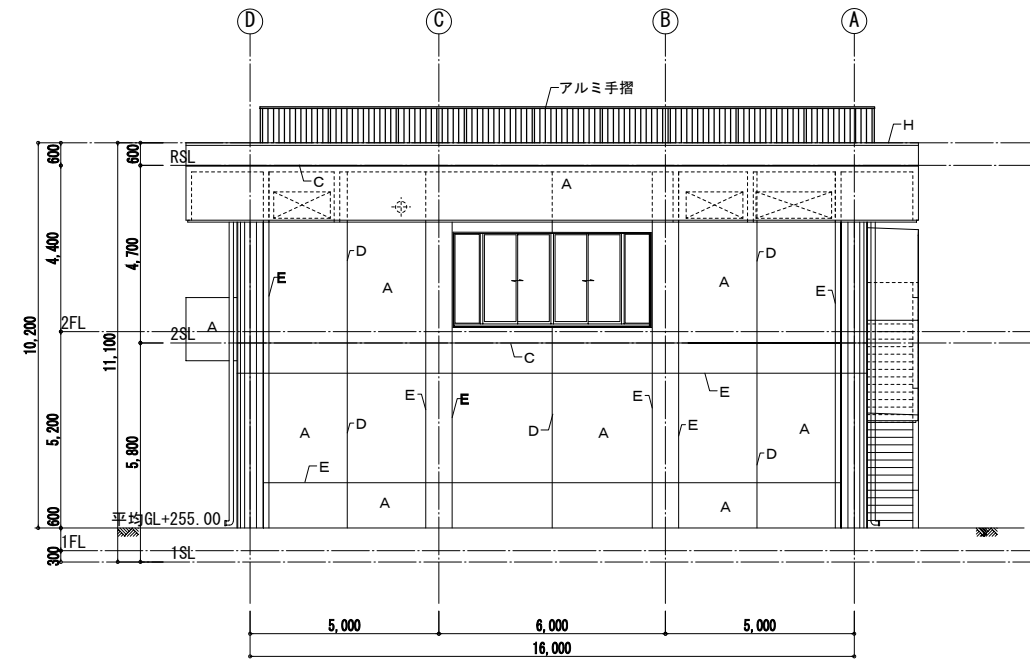
屋根伏図

階段室上部平面図

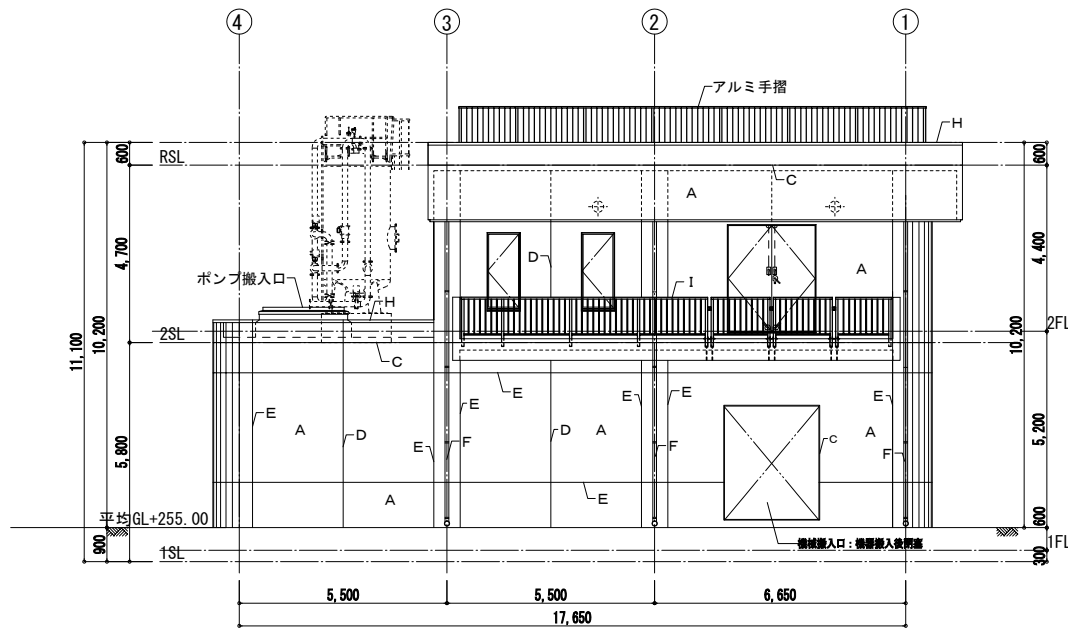
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
平面図、屋根伏図		A / 12
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



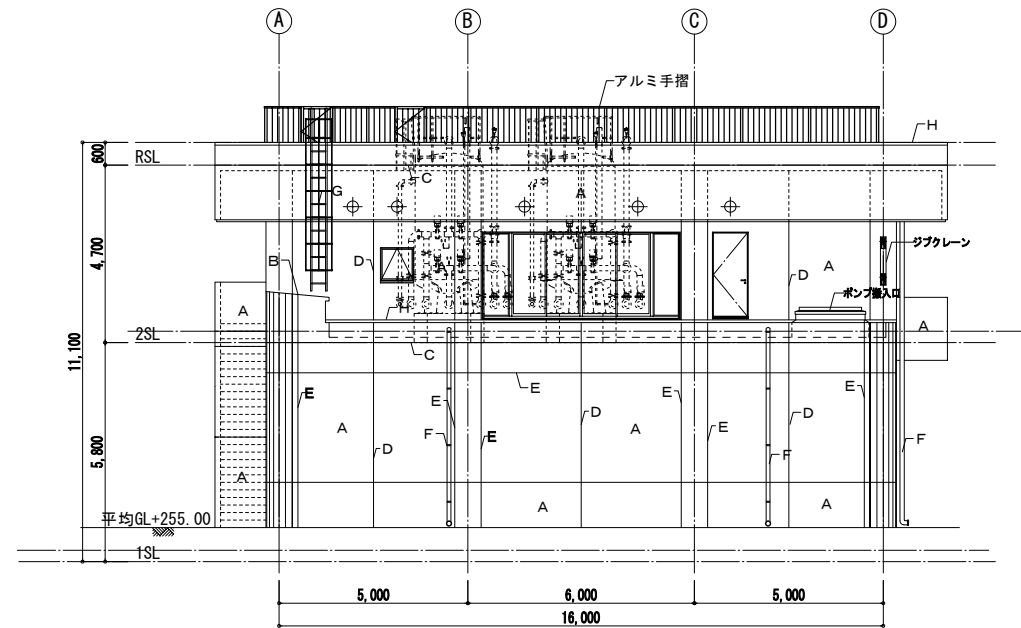
西立面图



北立面图



東立面图

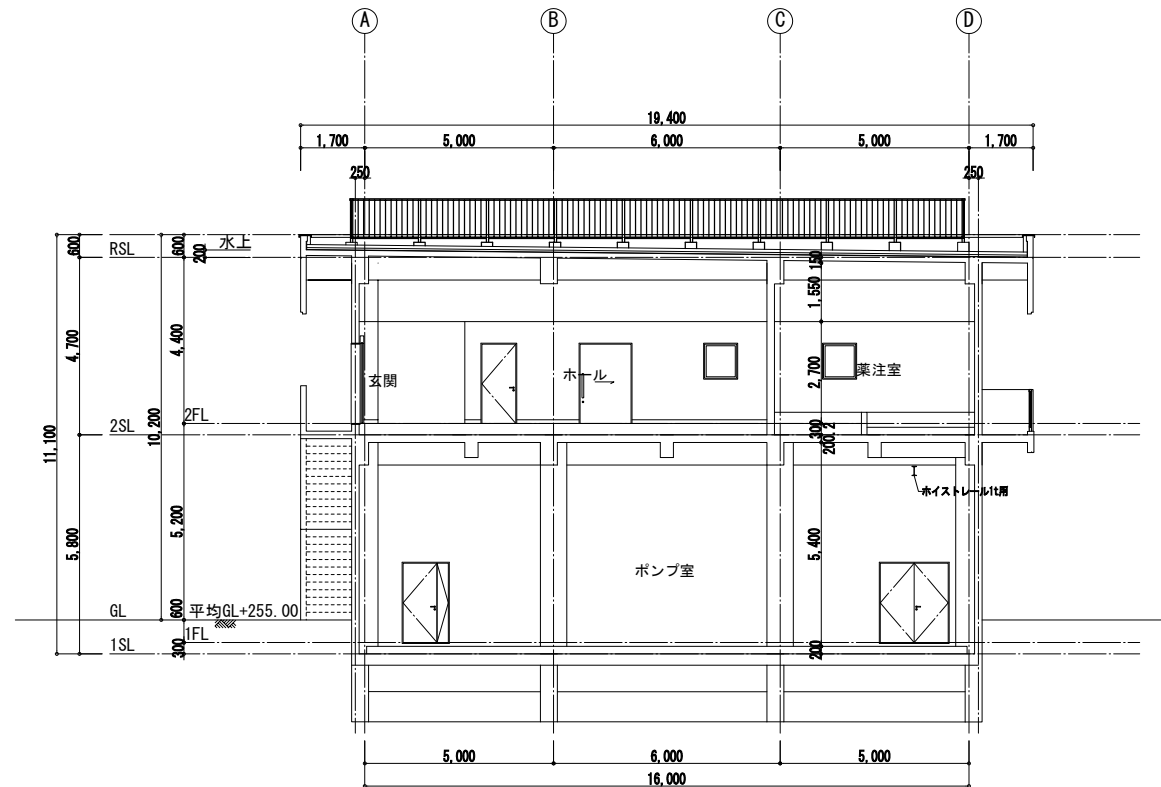


南立面图

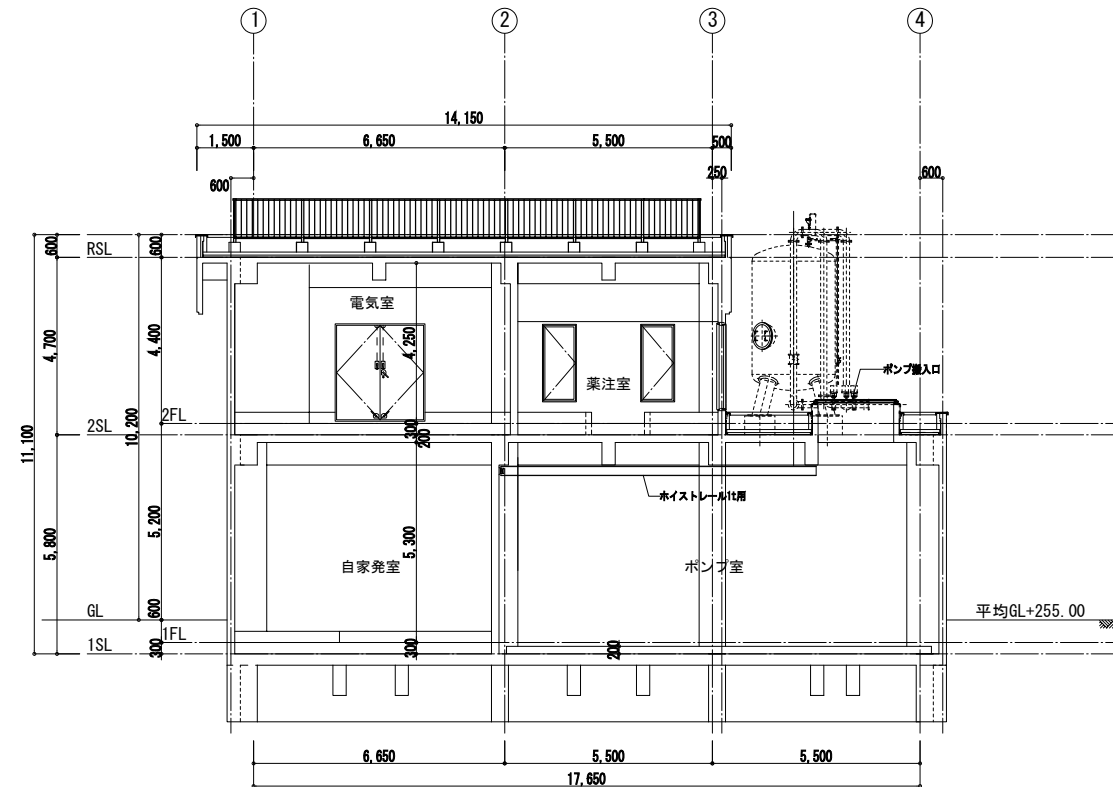
外部仕上表：凡例

A	外壁・巾木・軒裏	コンクリート打放し(B)の上（7か/20）、打放しコンクリート保護塗料（水性フッ素樹脂クリヤー）〈2-02-11〉
B	庇：天端・鼻先・ケラバ	天端：直均しの上、ウレタン系塗膜防水（X-2）鼻先・ケラバ：打放し（B）の上、ウレタン系塗膜防水（X-2）
C	打継目地	PU-2 〈2-02-8〉 W=20
D	ひび割れ誘発目地	PU-2 〈2-02-9〉 W=20
E	ひび割れ誘発目地	PU-2 〈2-02-9〉 W=40
F	縦 樋	ステンレス管 100A
G	タラップ	ステンレス製（安全ガード付）[8-31-3]
H	笠 木	アルミ製、W=325
I	手摺（室外機置場）	アルミ製、一部着脱式

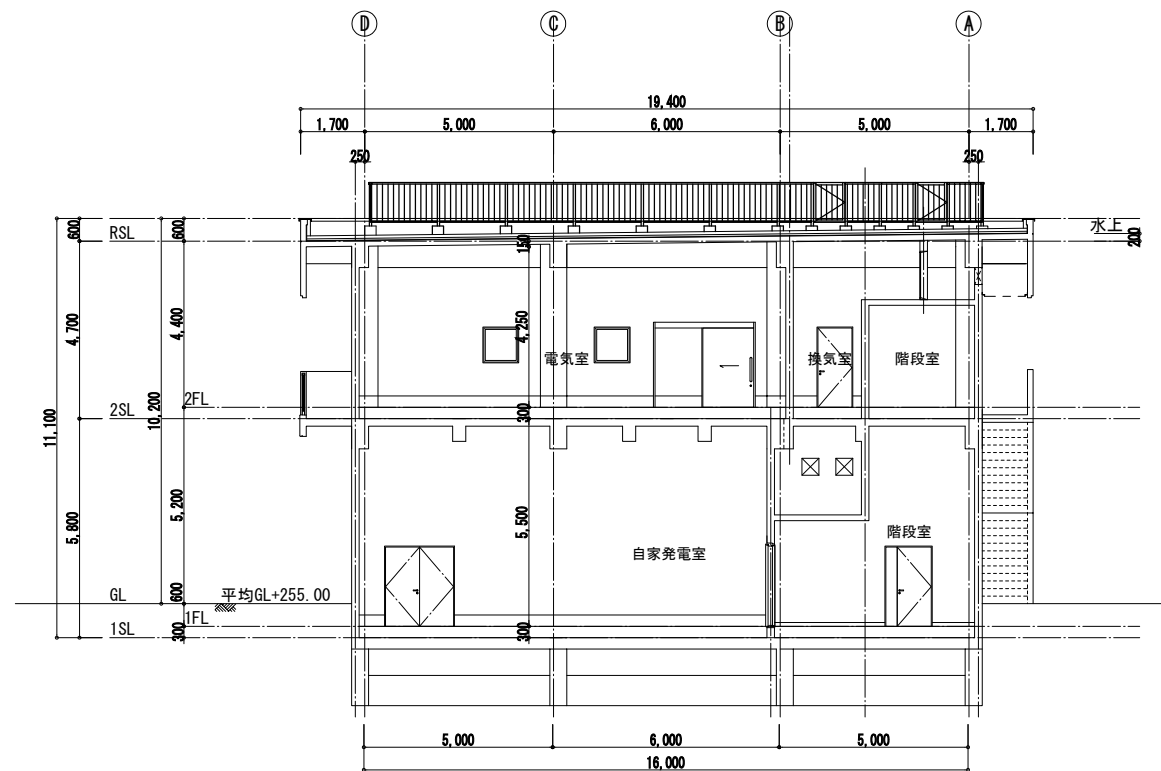
工事名	砂原配水場改築工事 （土木・建築）	図面番号
立面图		A / 13
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



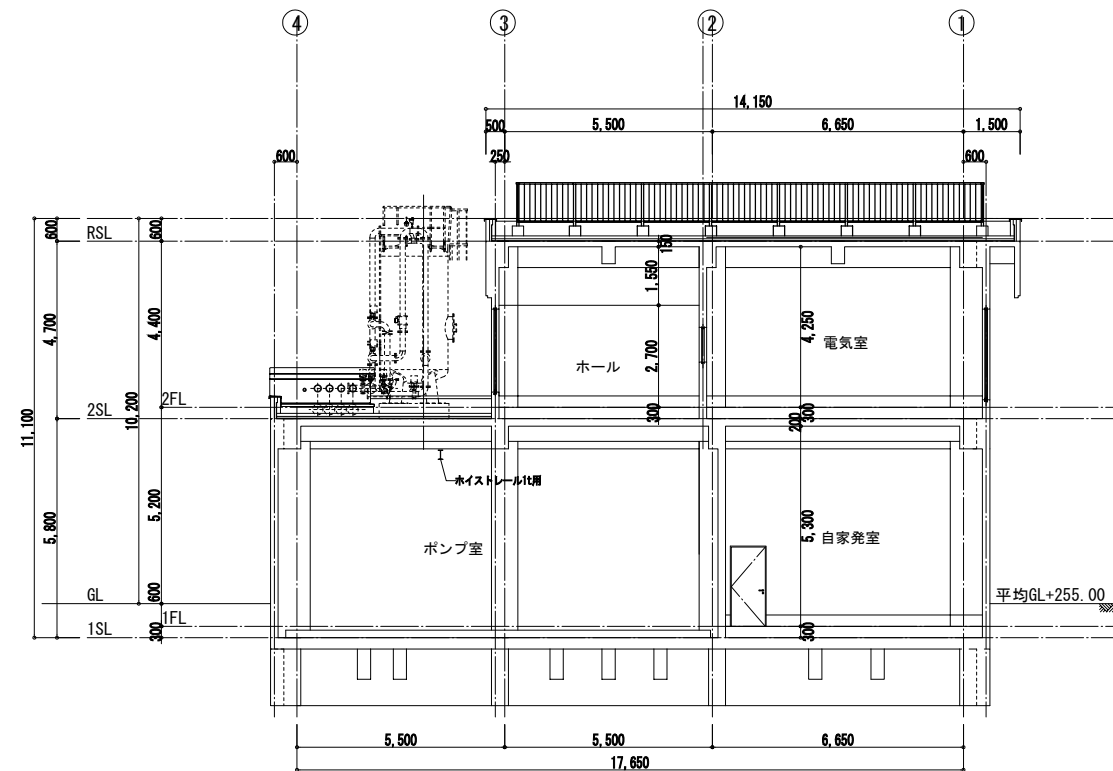
a-a断面図



b-b断面図

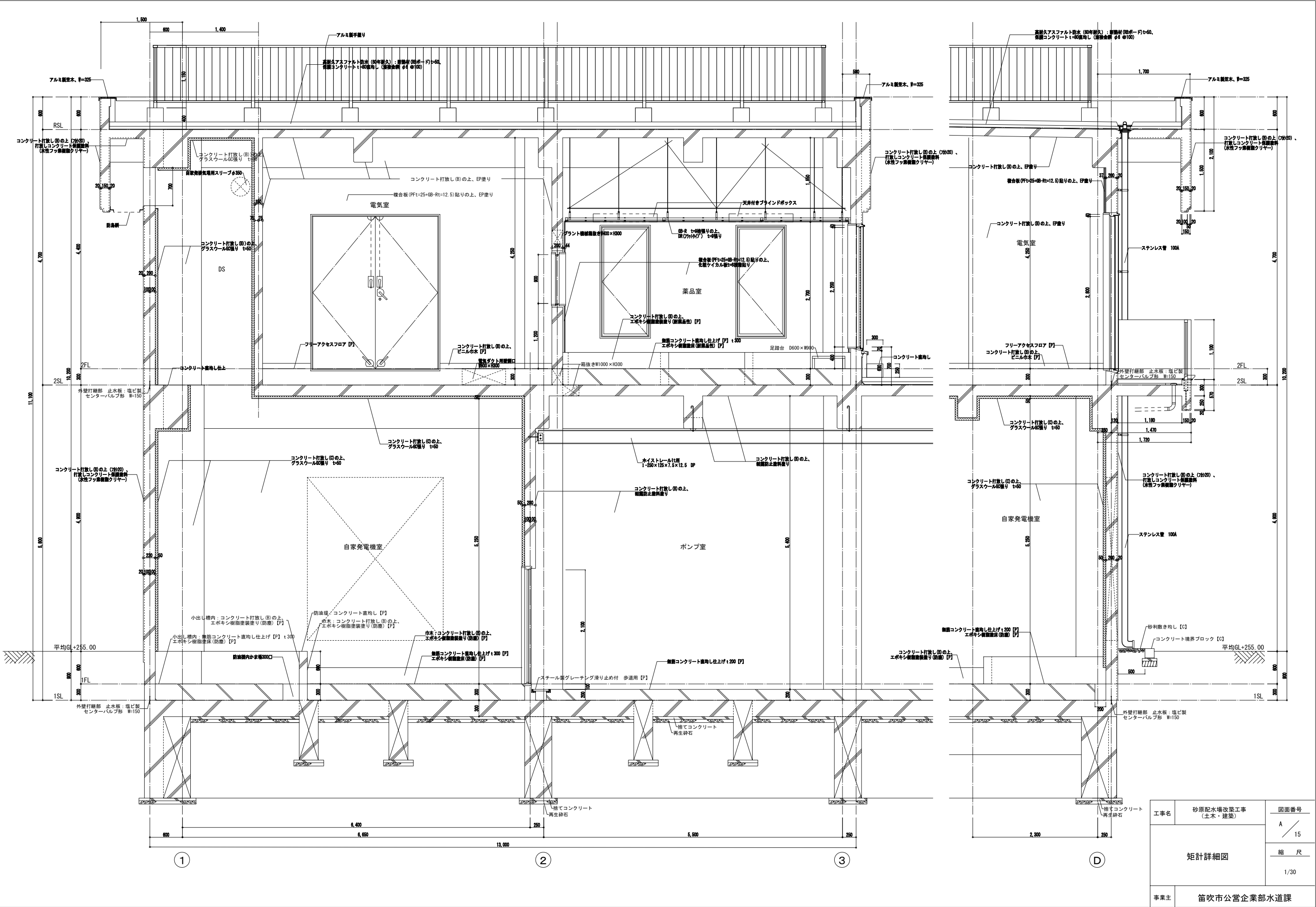


c-c断面図

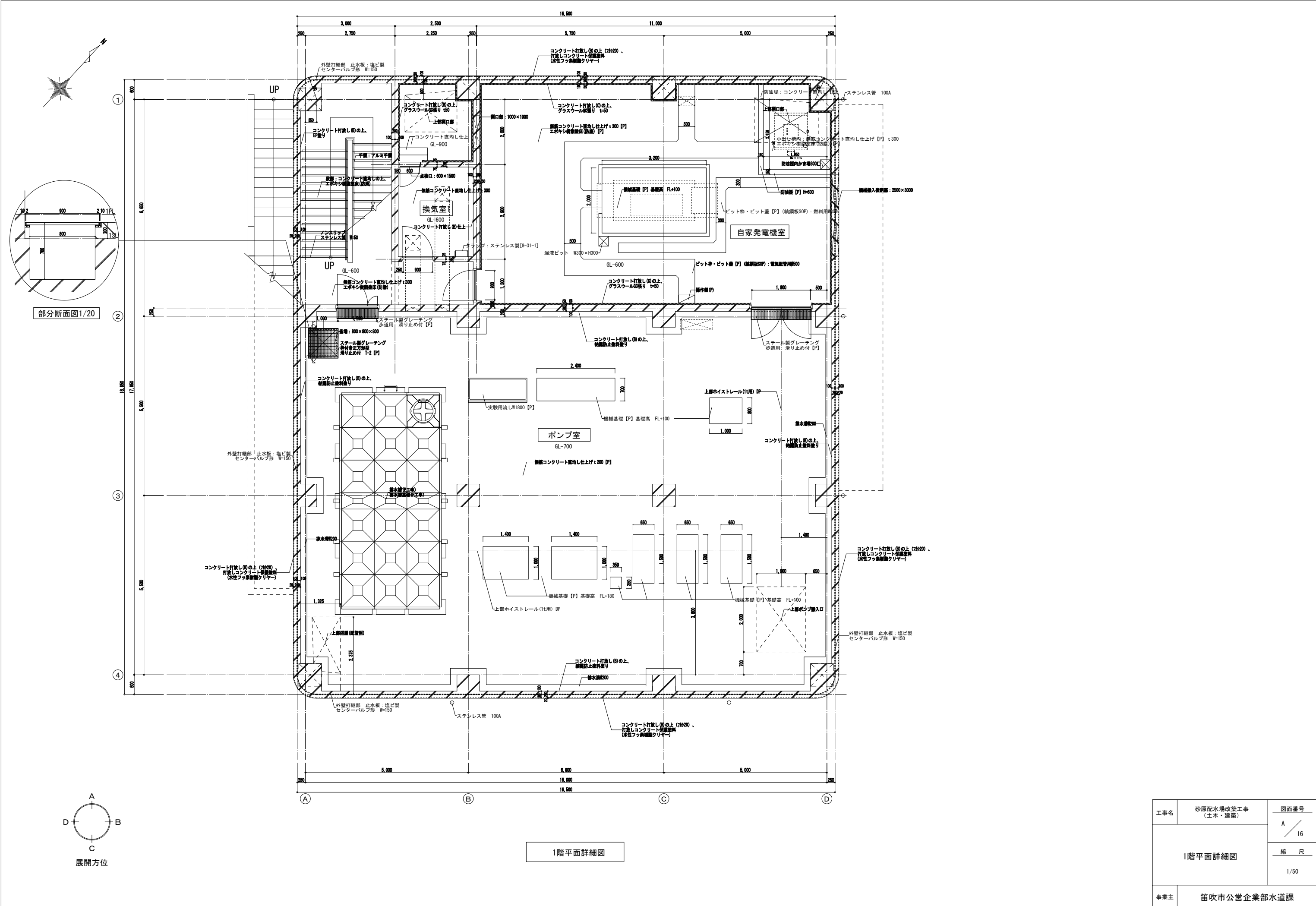


d-d断面図

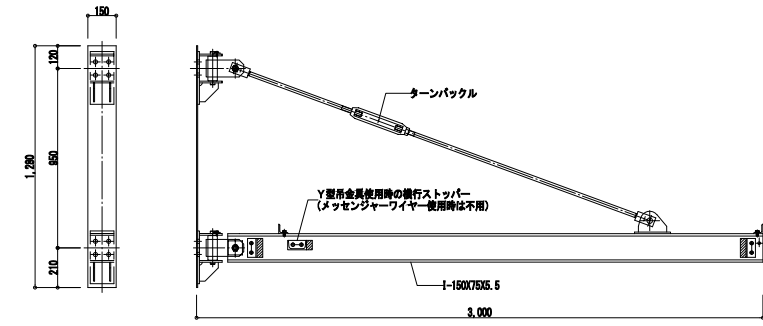
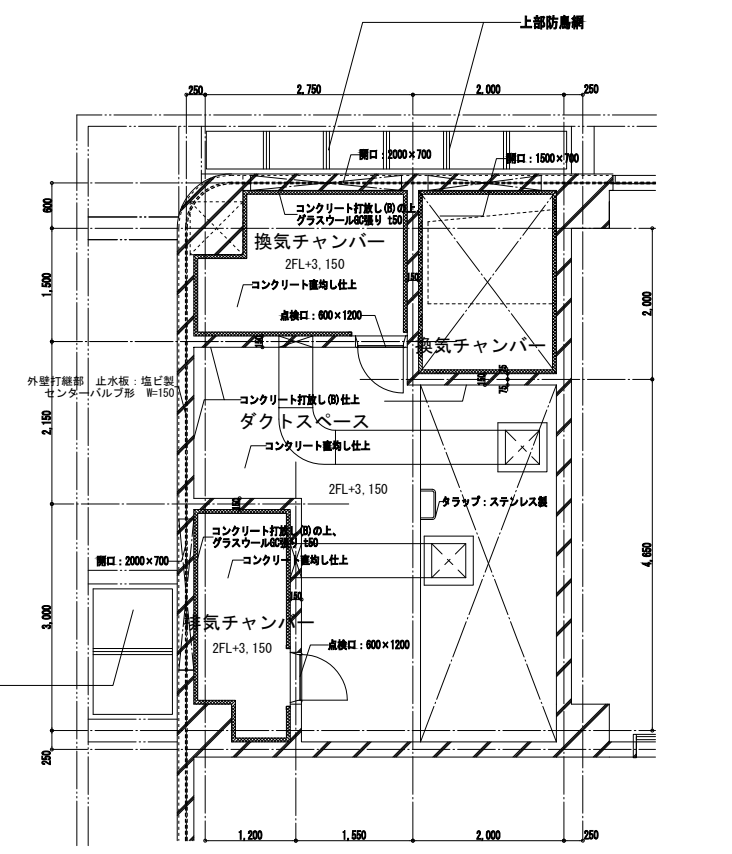
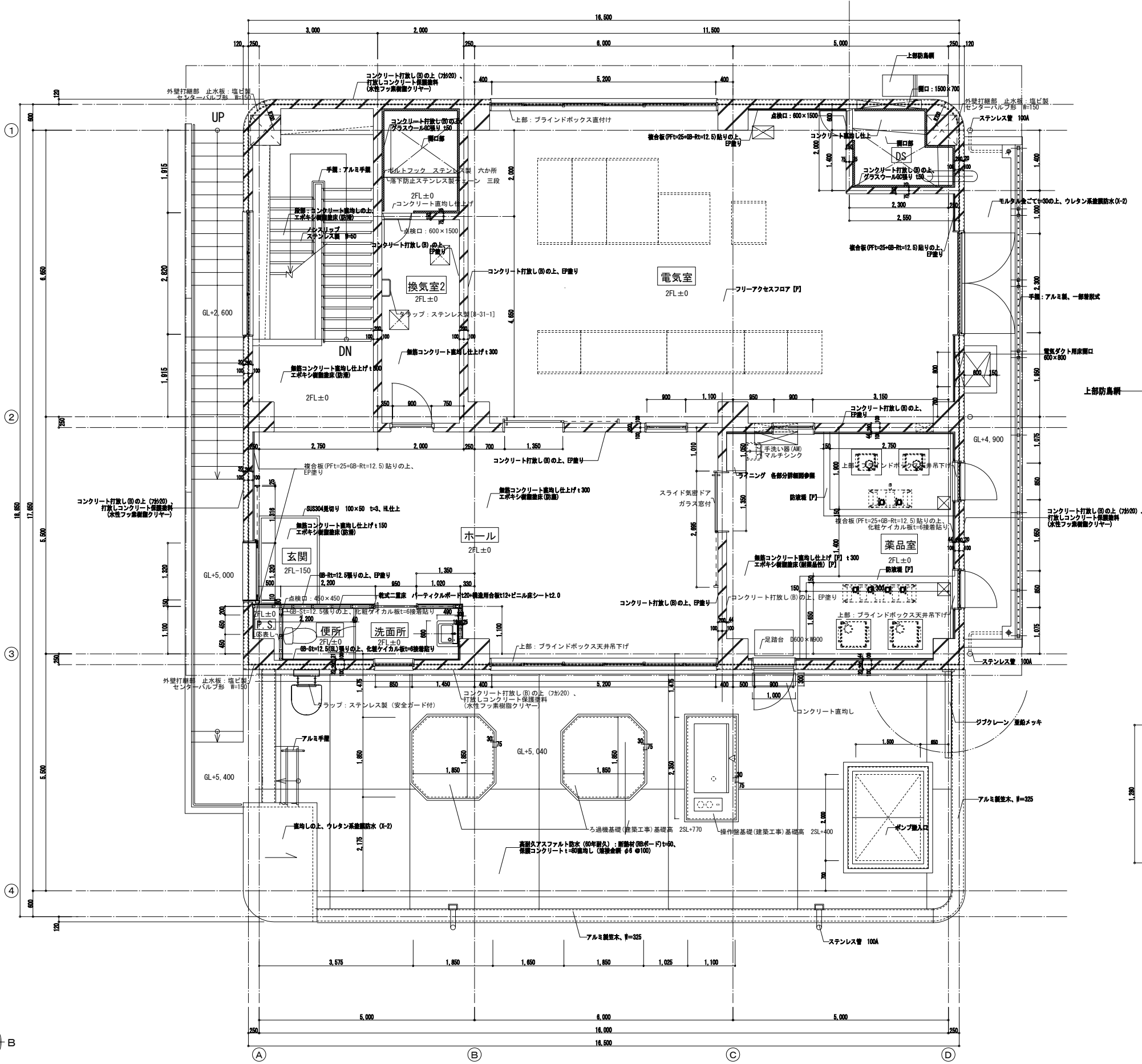
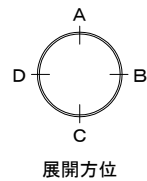
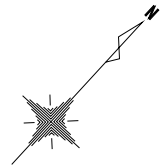
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
断面図		A / 14
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号	A
			15
事業主	笛吹市公営企業部水道課	縮尺	1/30



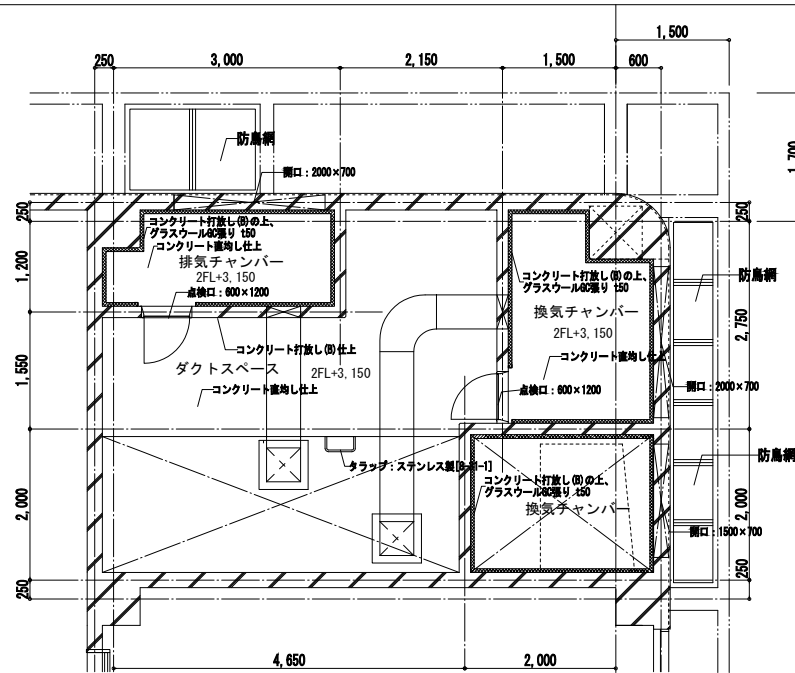
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
1階平面詳細図		A / 16
		縮 尺
		1/50
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



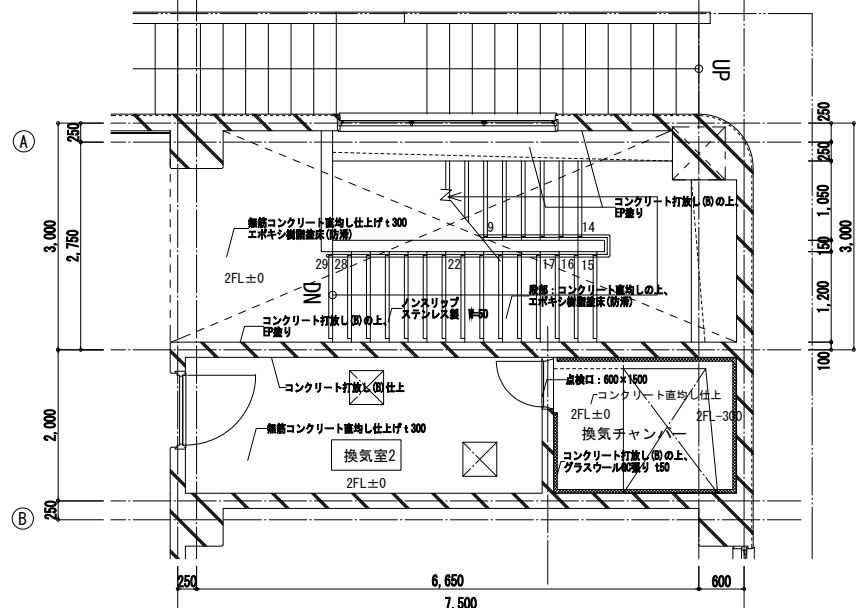
ジブクレーン詳細図(参考図) 1 : 20

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
2階平面詳細図		A / 17
		縮 尺
		1/50
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

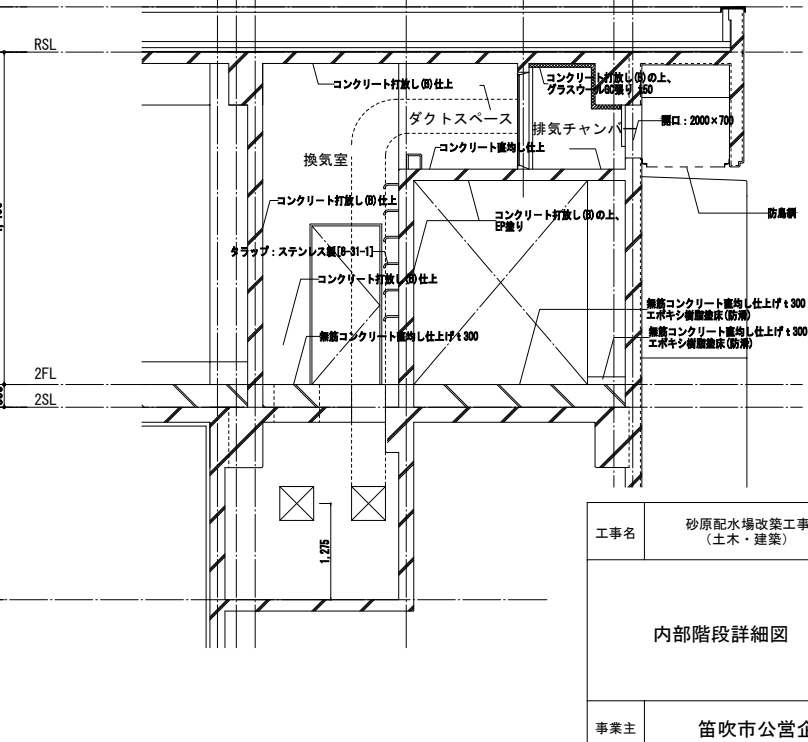
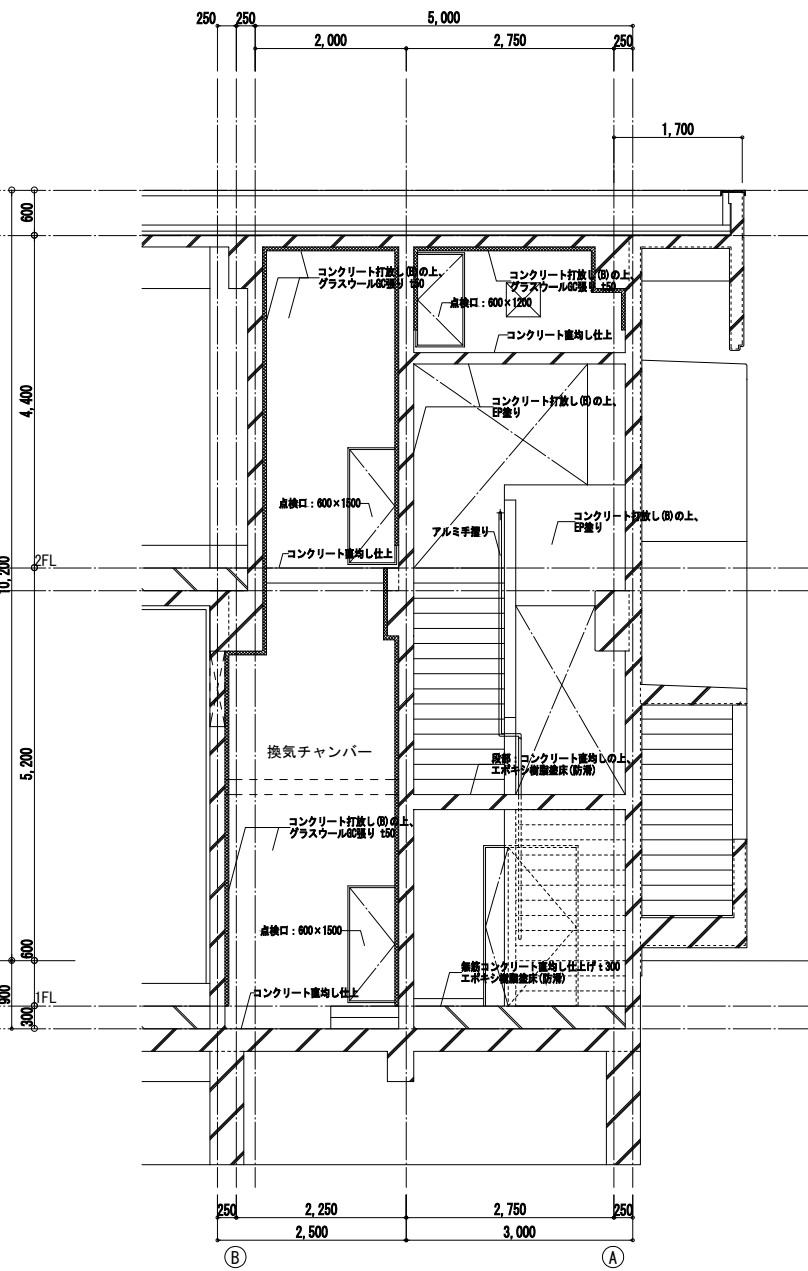
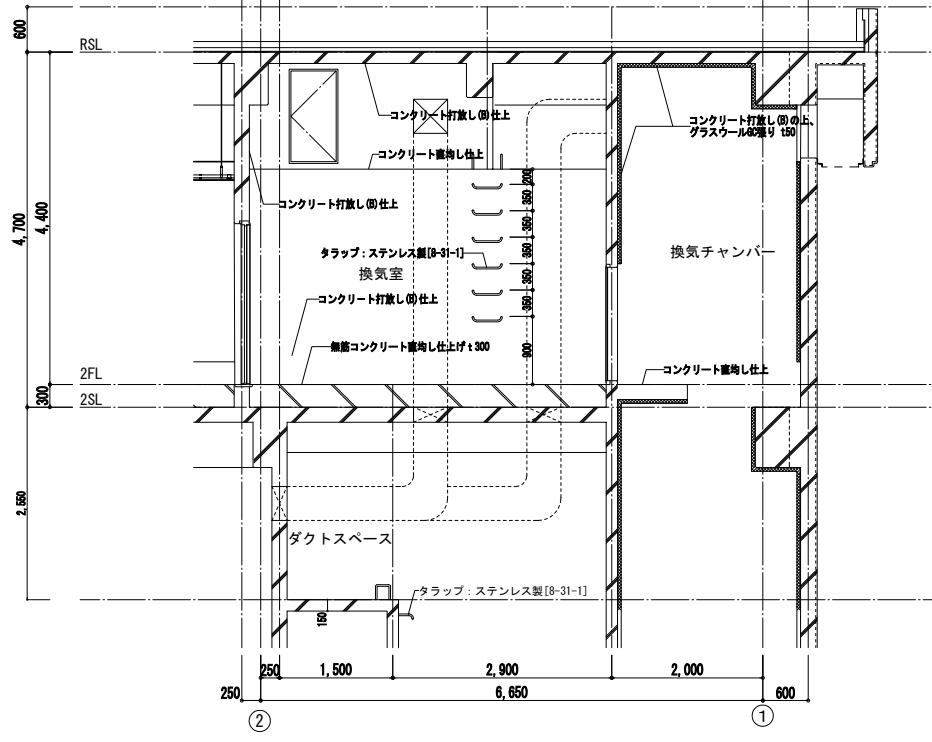
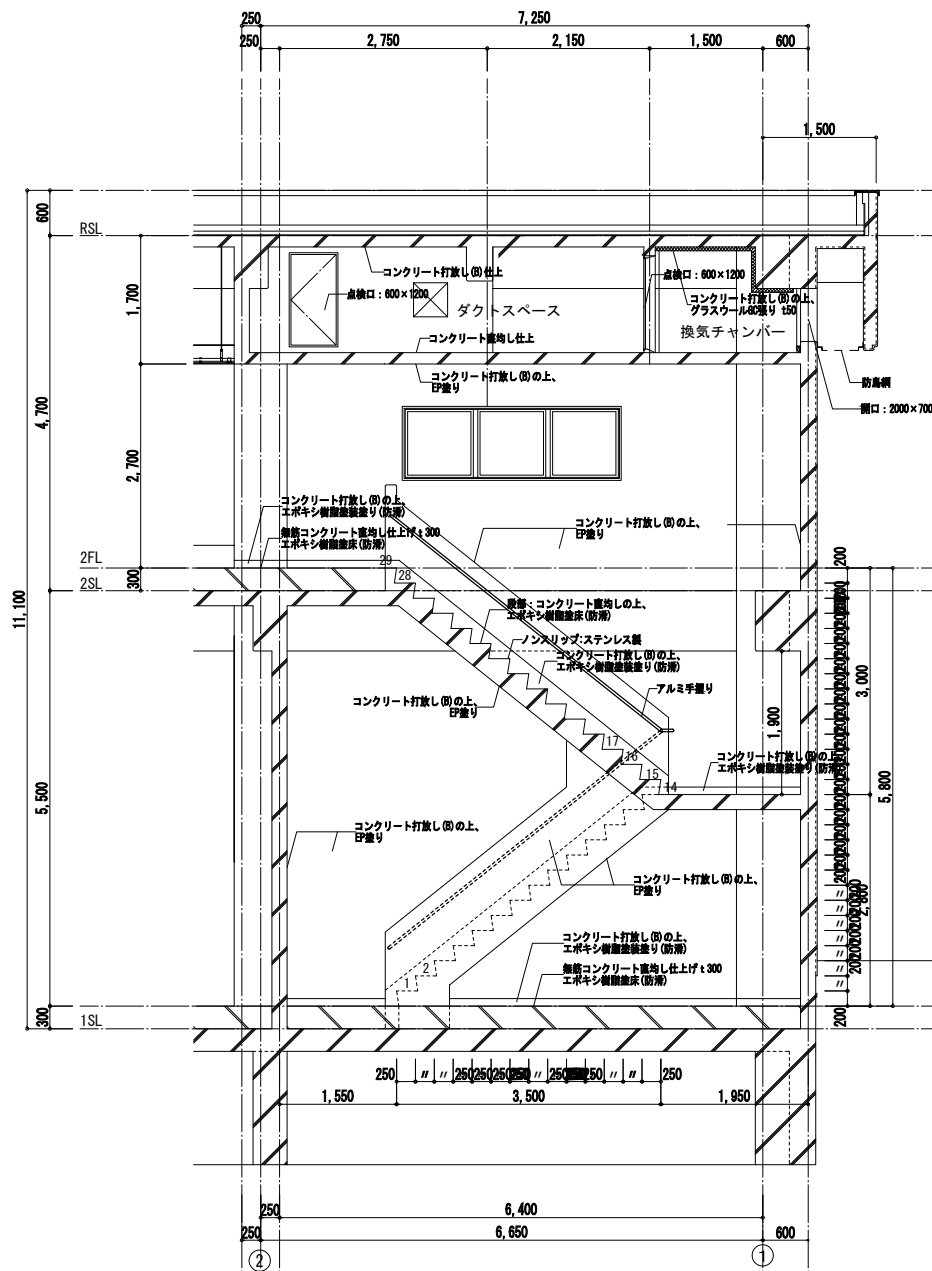
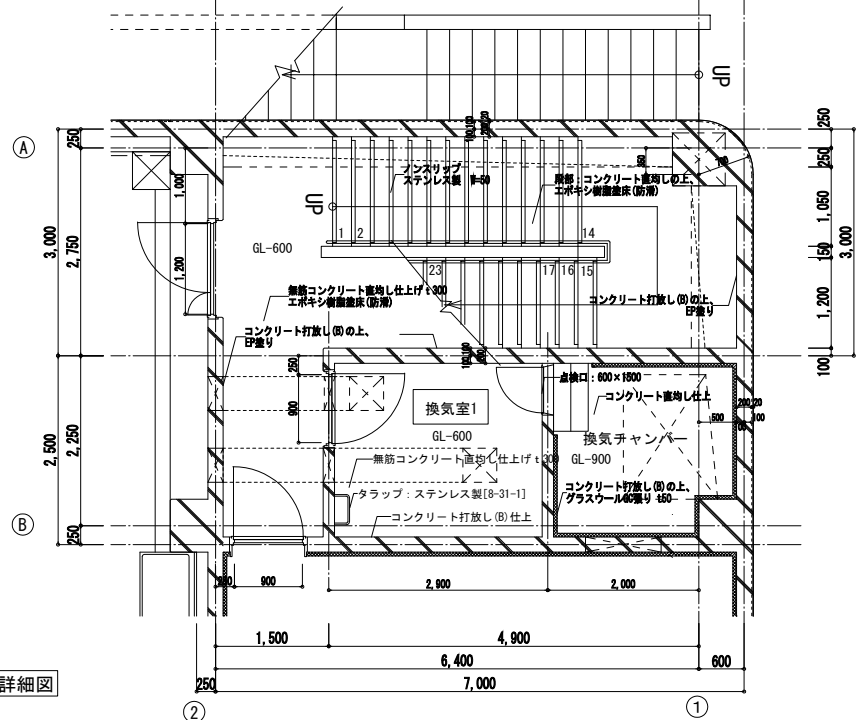
階段室上部平面詳細図



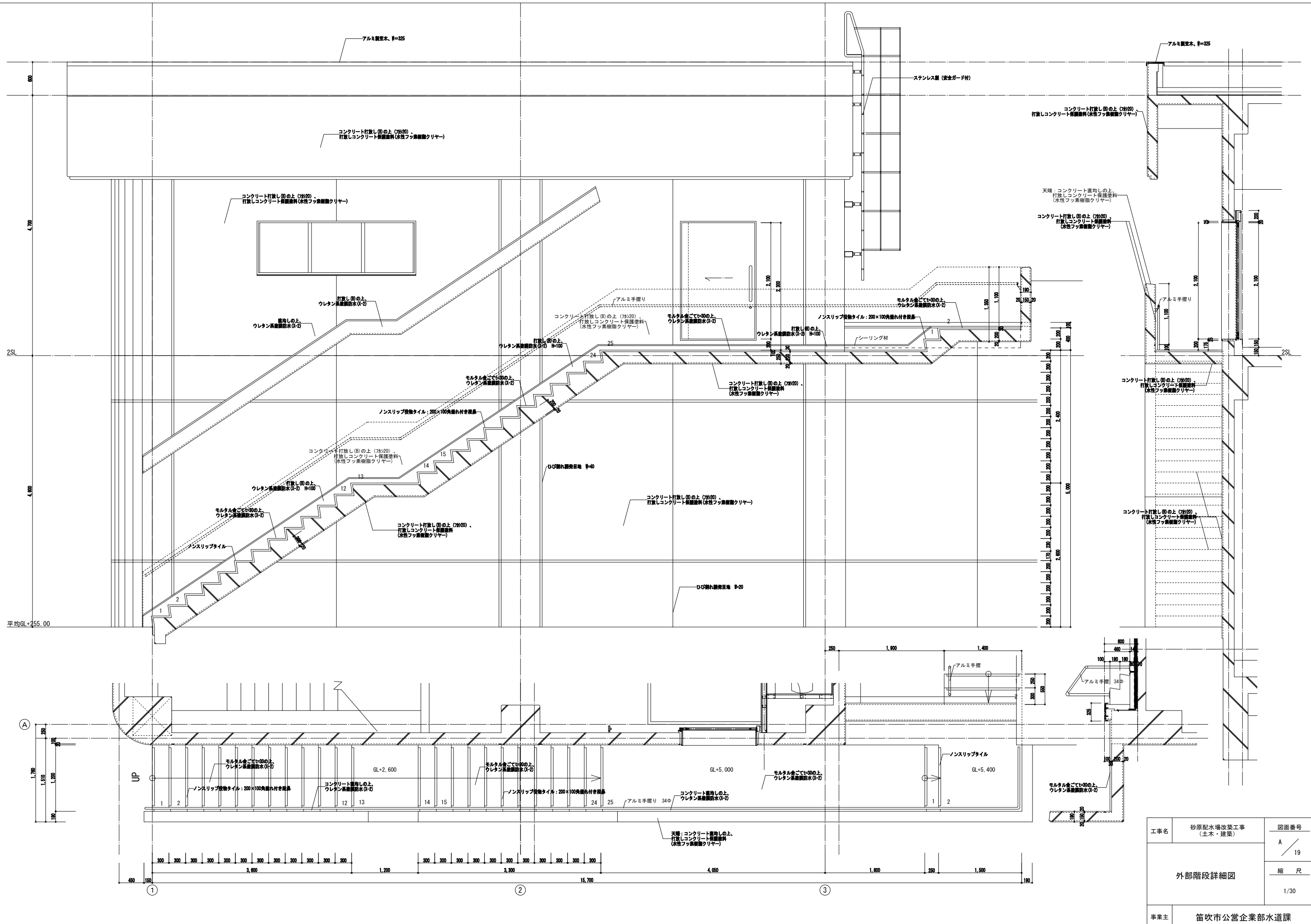
2階平面詳細図



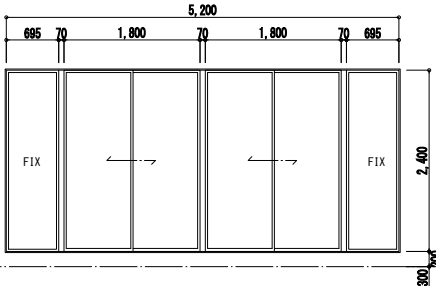
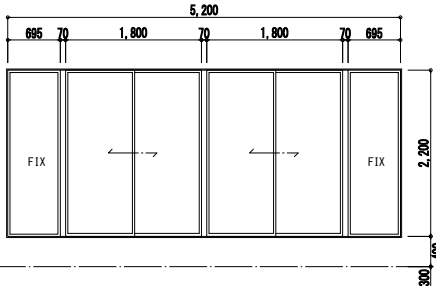
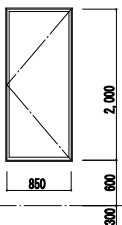
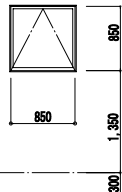
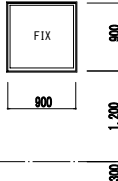
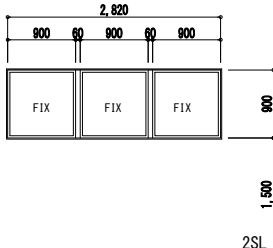
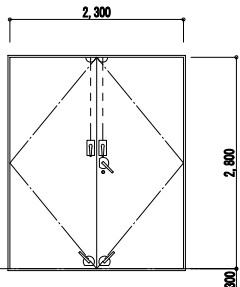
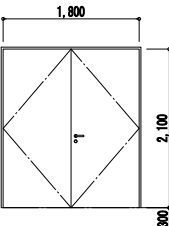
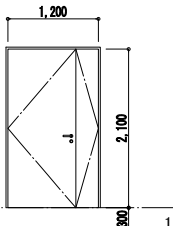
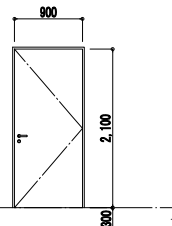
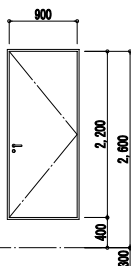
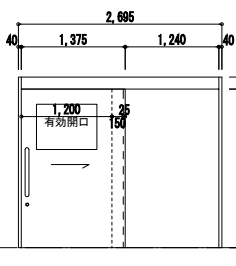
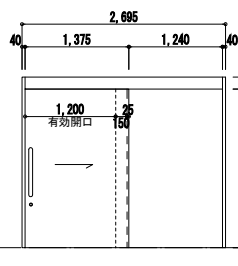
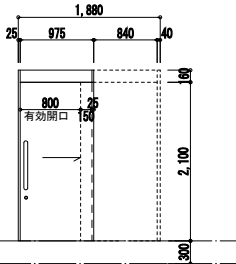
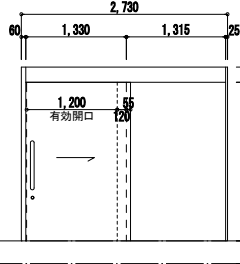
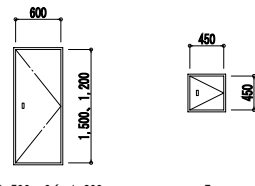
1階平面詳細図

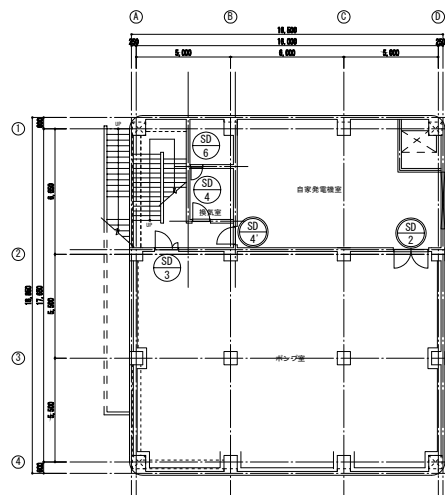


工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号	A / 18
内部階段詳細図		縮尺	1/50
事業主	笛吹市公営企業部水道課		

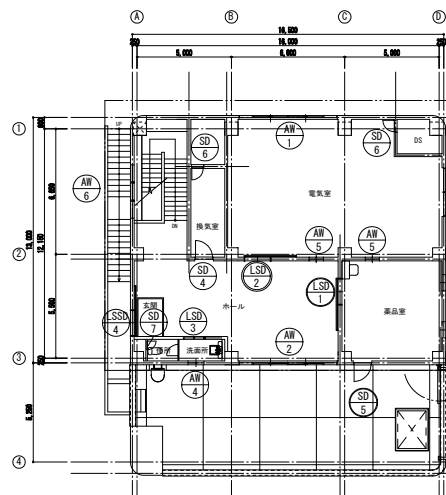




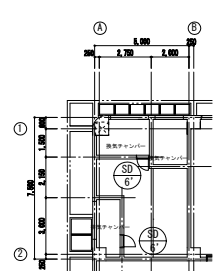
記号・数量	<div><div>AW</div><div>1</div></div> アルミ製引違連窓+嵌め殺し窓1		<div><div>AW</div><div>2</div></div> アルミ製引違連窓+嵌め殺し窓1		<div><div>AW</div><div>3</div></div> アルミ製片開き窓2		<div><div>AW</div><div>4</div></div> アルミ製滑り出し窓1		<div><div>AW</div><div>5</div></div> アルミ製嵌め殺し窓2		<div><div>AW</div><div>6</div></div> アルミ製嵌め殺し窓1			
使用場所	電気室		ホール		薬品室		洗面所		電気室・ホール、薬品室		階段室			
形状・寸法														
仕上	B-2		B-2		B-2		B-2		B-2		B-2			
建具見込														
枠見込	70		70		70		70		70		70			
硝子	複層ガラスPW6.8+A6+Low-EFL5		複層ガラスPW6.8+A6+Low-EFL5		複層ガラスPW6.8+A6+Low-EFL5		PW6.8		PW6.8		PW6.8			
金物	附属金物1式		附属金物1式		附属金物1式		附属金物1式		附属金物1式		附属金物1式			
備考	アルミ製額縁：D115、水切り：D100、網戸(SUS)		アルミ製額縁：D75、水切り：D100、網戸(SUS)		アルミ製額縁：D120、水切り：D100、網戸(SUS)		アルミ製額縁：D105、水切り：D100、網戸(SUS)		電気室・ホール：アルミ製額縁：D75 薬品室：アルミ製額縁：D120		アルミ製額縁：D75、水切り：D100			
記号・数量	<div><div>SD</div><div>1</div></div> 鋼製両開き扉 (防火設備、AT・簡易気密扉)1		<div><div>SD</div><div>2</div></div> 鋼製両開き扉(特定防火設備)1		<div><div>SD</div><div>3</div></div> 鋼製親子開き扉1		<div><div>SD</div><div>4</div></div> <div><div>SD</div><div>4'</div></div> 鋼製片開き扉3		<div><div>SD</div><div>5</div></div> 鋼製片開き扉(AT・簡易気密扉)1		<div><div>LSD</div><div>1</div></div> 鋼製軽量片引き扉(AT・簡易気密扉)戸袋なし納まり1		<div><div>LSD</div><div>2</div></div> 鋼製軽量片引き扉(防火設備)戸袋なし納まり1	
使用場所	電気室		自家発電機室-ポンプ室		階段室-ポンプ室		換気室、自家発電機室(特定防火設備)		薬品室		薬品室		電気室	
形状・寸法														
仕上	t=2.3スチールフラッシュ DP		t=1.6スチールフラッシュ SOP		t=1.6スチールフラッシュ SOP		t=1.6スチールフラッシュ SOP		t=1.6スチールフラッシュ DP		t=0.6スチールフラッシュ SOP		t=0.6スチールフラッシュ SOP	
建具見込	60		40		40		40		40		40		40	
枠見込	170		120		120		120		120		365、265		320、220	
硝子											FL5			
金物	大型戸当たり、片面締りハンドル、 両面締りハンドル、大型上げ落し、丁番(3枚)		シンガ-錠、レバーハンドル、丁番、DC、戸当りゴム		シンガ-錠、レバーハンドル、丁番、DC、戸当りゴム		シンガ-錠、レバーハンドル、丁番、DC、戸当たりゴム		シンガ-錠、レバーハンドル、丁番、DC、戸当たりゴム		シンガ-錠、引き棒、戸当たりゴム		シンガ-錠、引き棒、戸当たりゴム	
備考	鋼製額縁 D70・DP、沓摺：ステンレス製		鋼製額縁 D60・SOP 沓摺：ステンレス製		沓摺：ステンレス製		鋼製額 D150(自家発電室)・SOP 沓摺：ステンレス製		鋼製額縁D165・DP 沓摺：ステンレス製		鋼製額縁D365、265・SOP		鋼製額縁D320、220・SOP	
記号・数量	<div><div>LSD</div><div>3</div></div> 鋼製軽量片引き扉 戸袋ボード納まり1		<div><div>LSSD</div><div>4</div></div> ステンレス製軽量片引き扉(外部用)戸袋なし納まり1		<div><div>SD</div><div>6</div></div> AT <div><div>SD</div><div>6'</div></div> <div><div>SD</div><div>7</div></div> 鋼製片開き点検口6-3 6'-2 7-1									
使用場所	洗面所		玄関		チャンバー室、DS、便所									
形状・寸法														
仕上	t=0.6スチールフラッシュ SOP		t=0.5ステンレスフラッシュ H.L		t=1.6スチールフラッシュ SOP									
建具見込	40		40		20									
枠見込	325、225		355、275		25									
硝子														
金物	シンガ-錠、引き棒、戸当たりゴム		彫込鎌錠、引き棒、戸当たりゴム		ワンタッチ平面ハンドル錠、固定軸径8φ									
備考	鋼製額縁D325、225・SOP		ステンレス製額縁D355、275・H.L											



1階平面図 キープラン 1/200



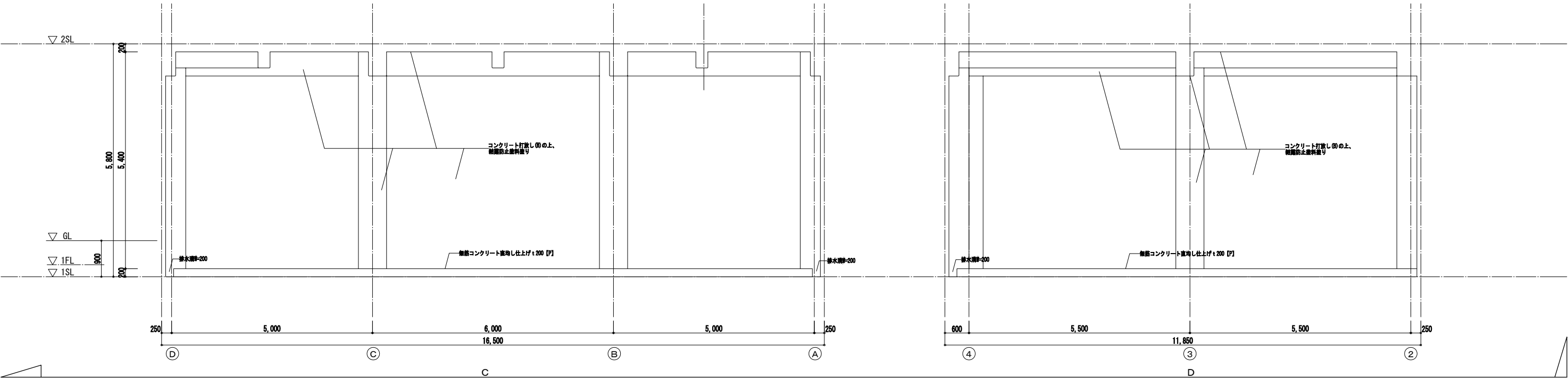
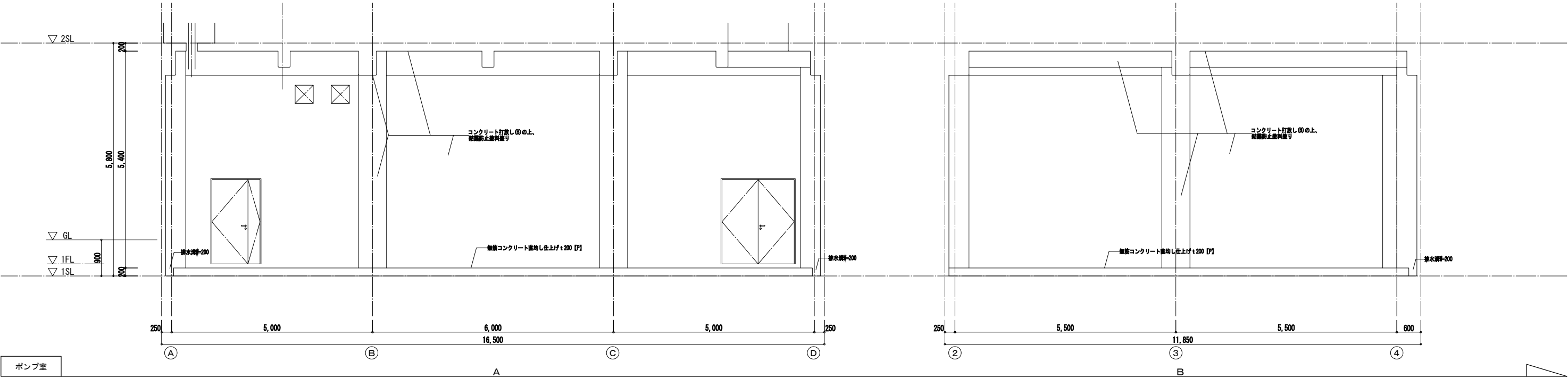
2階平面図 キープラン 1/200



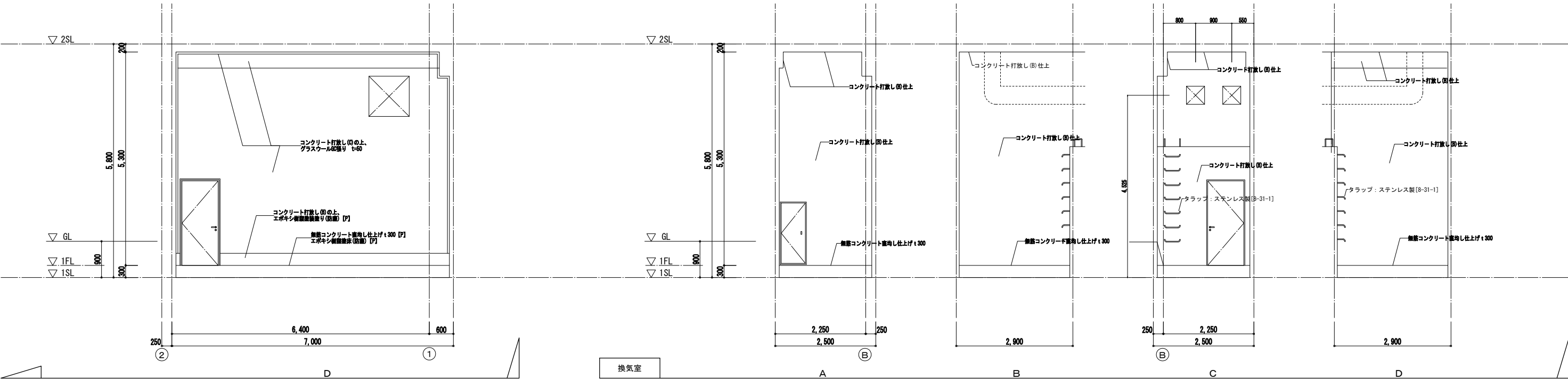
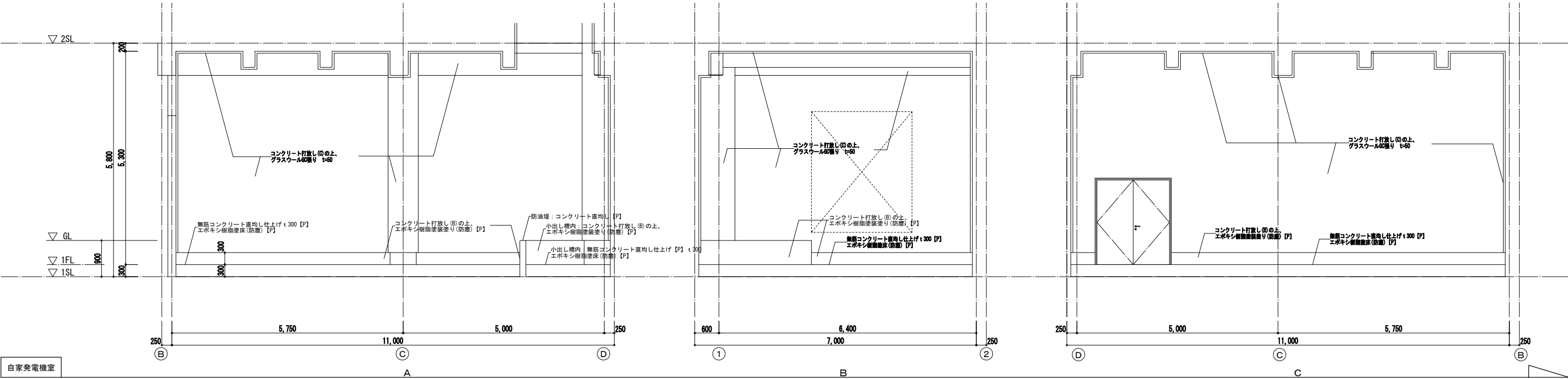
中2階平面図 キープラン 1/200

凡例  
PW：網入り磨き板ガラス  
FW：網入り型板ガラス  
\* 丁番はすべてステンレス製とする。  
\* B-2：着色陽極酸化塗装複合皮膜

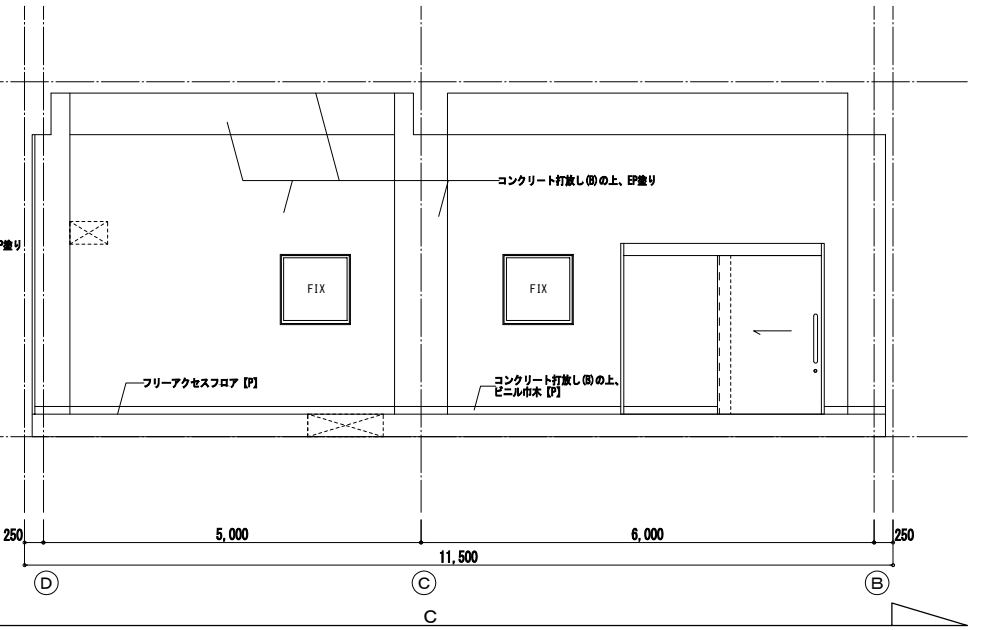
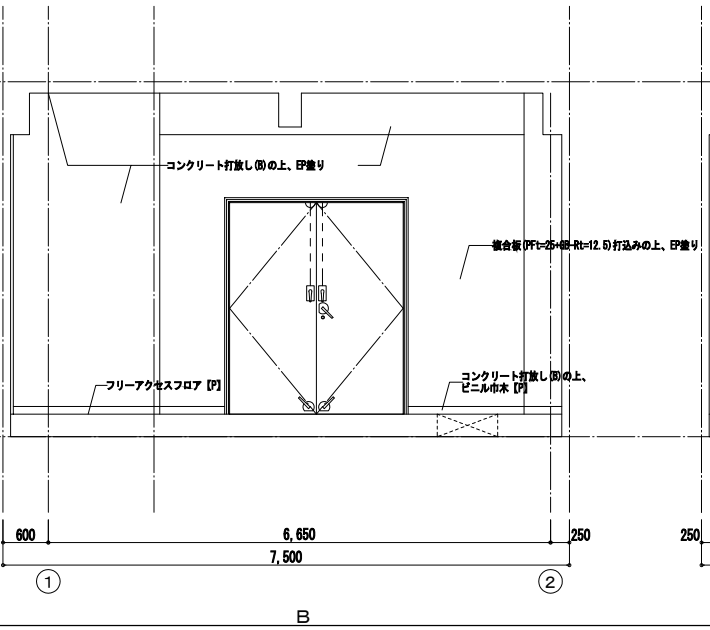
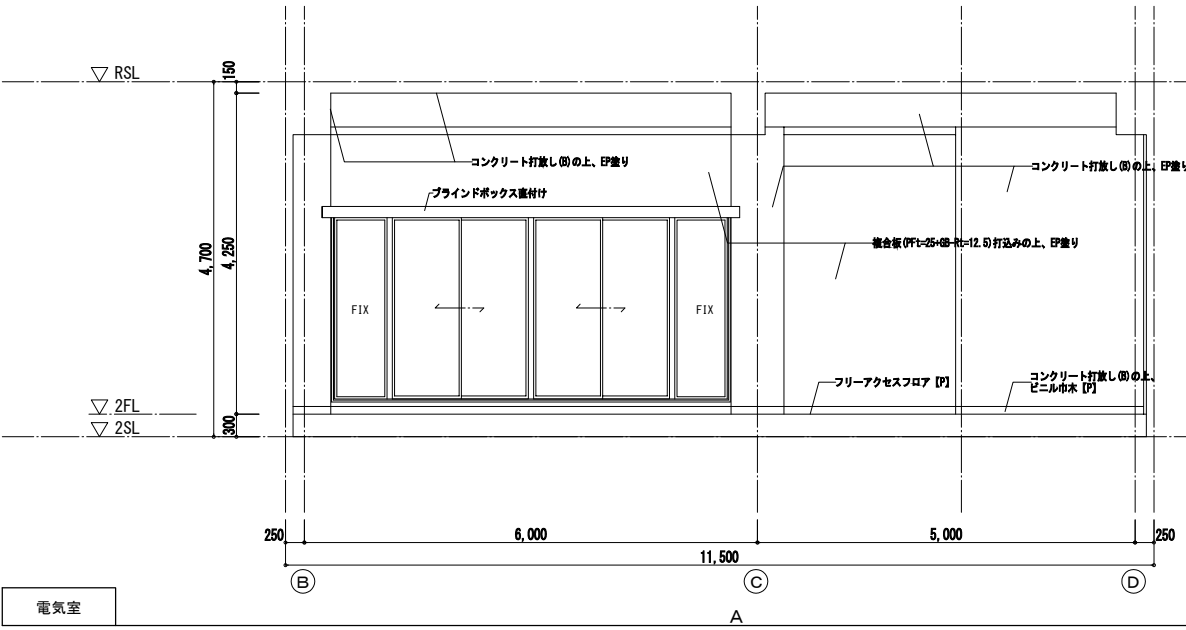
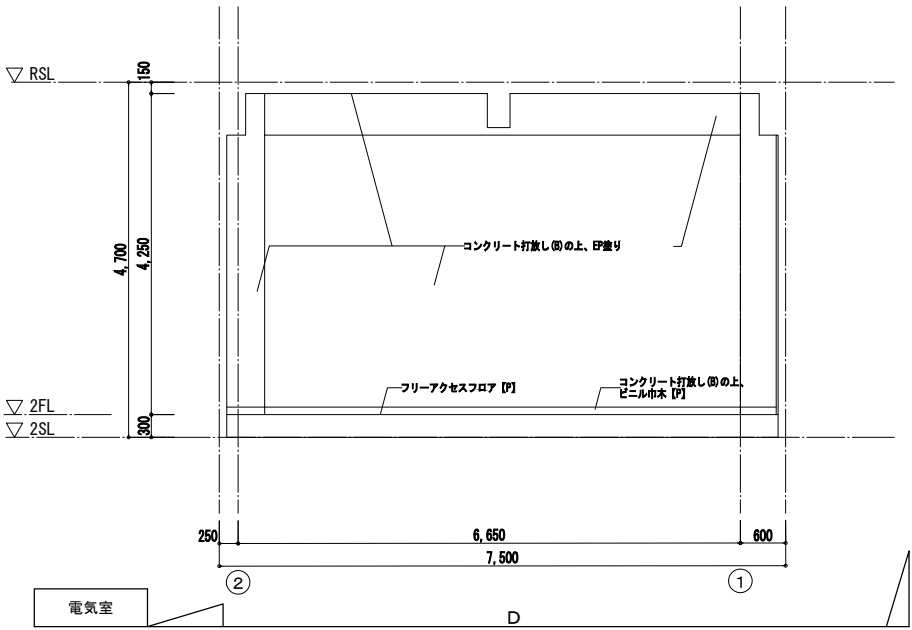
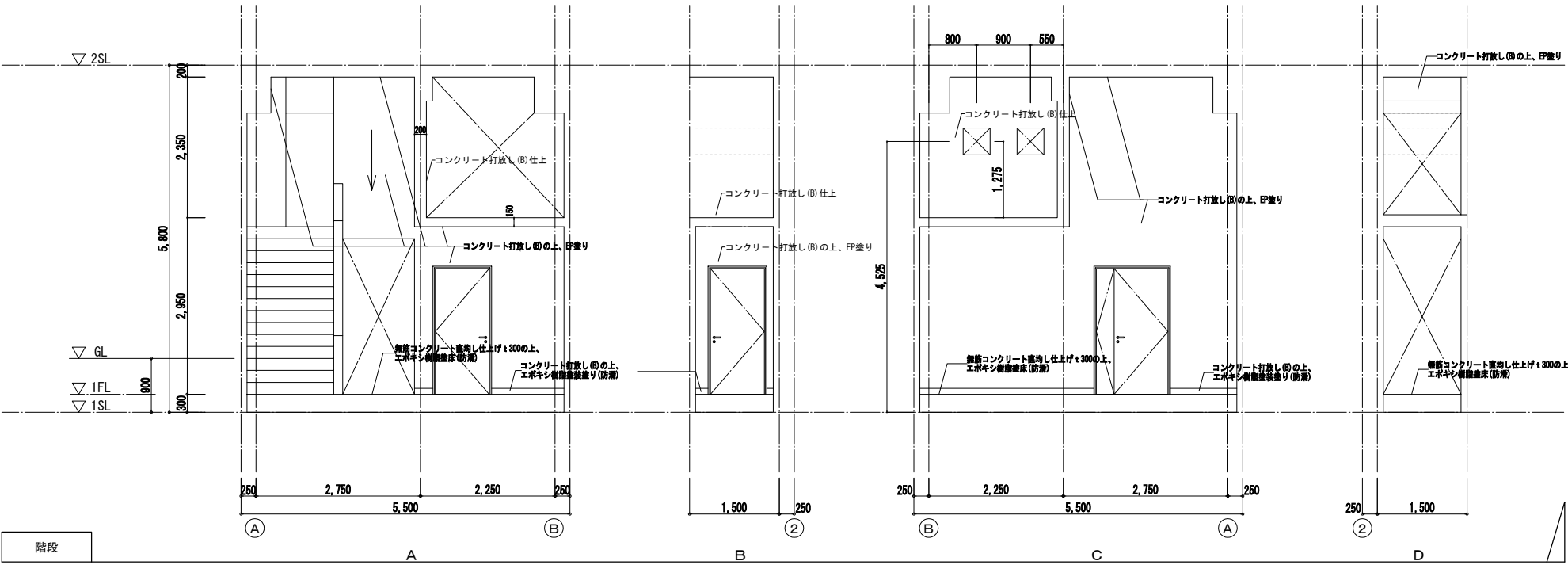
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
建具表、建具キープラン		A / 20
		縮尺
事業主		笛吹市公営企業部水道課



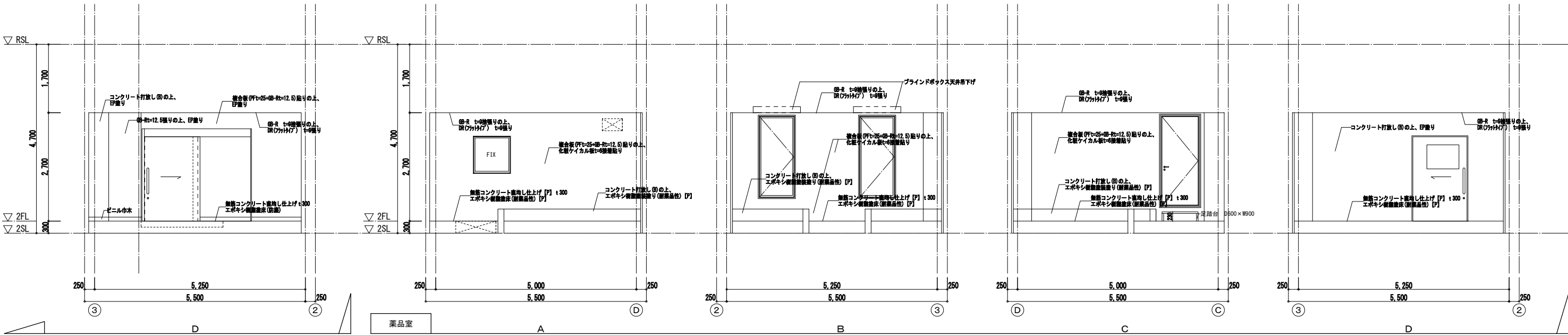
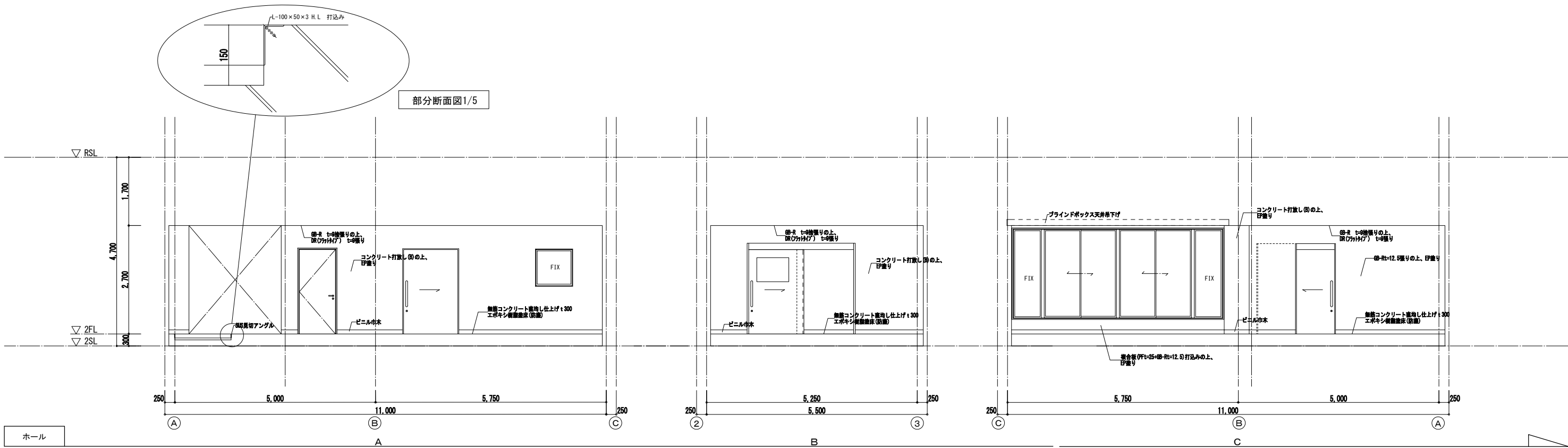
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
展開図1		A / 21
		縮 尺
		1/50
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



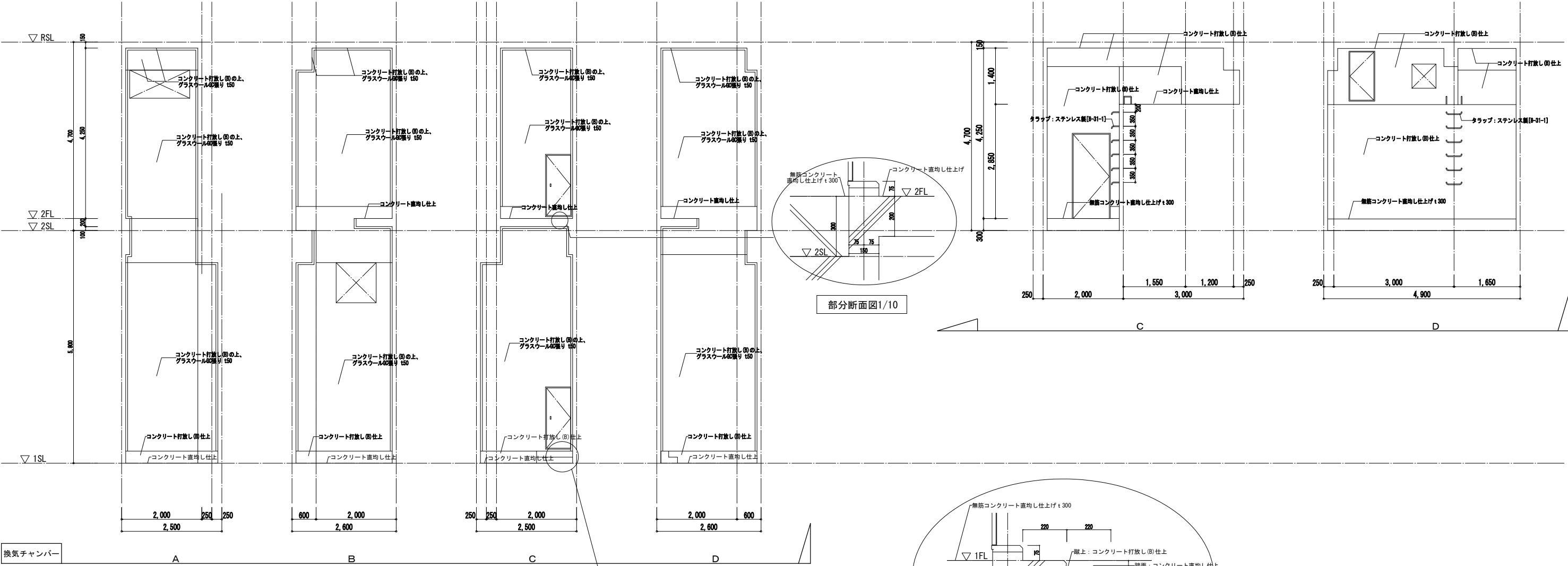
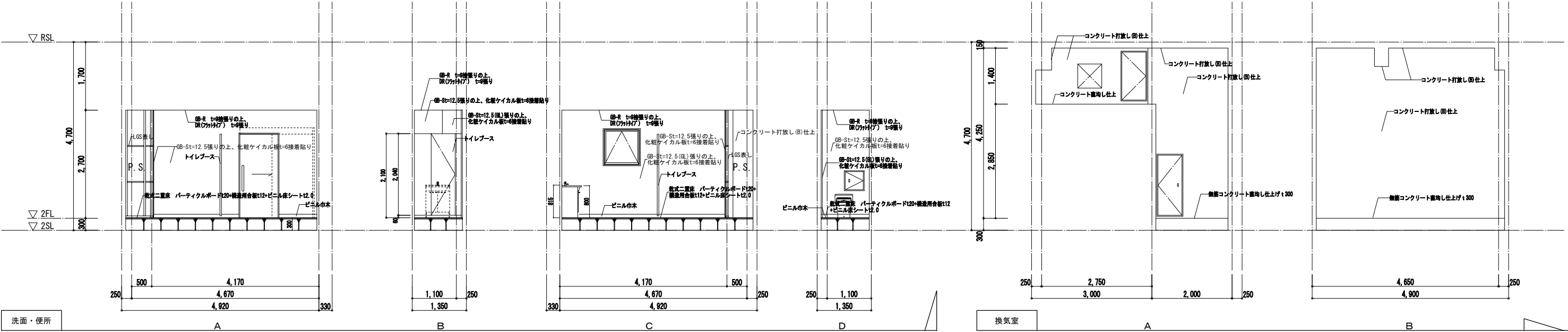
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
展開図2		A / 22
		縮 尺
		1/50
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



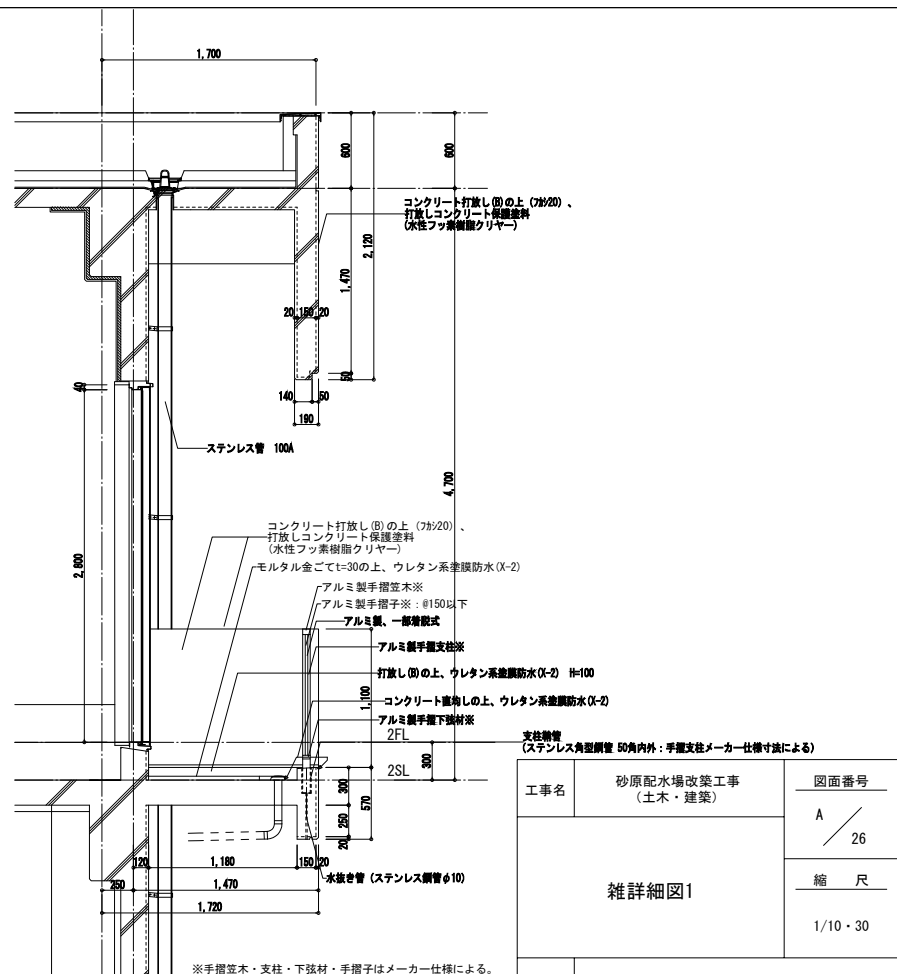
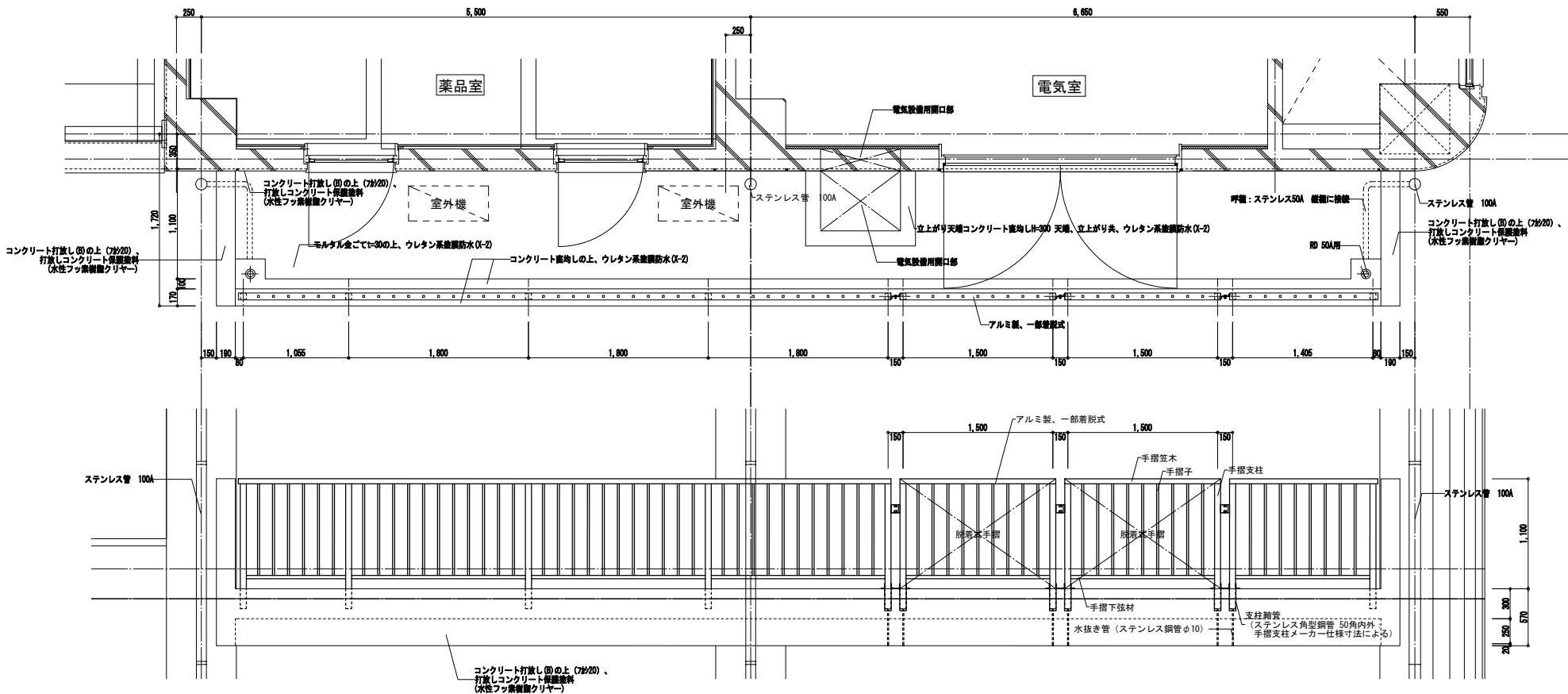
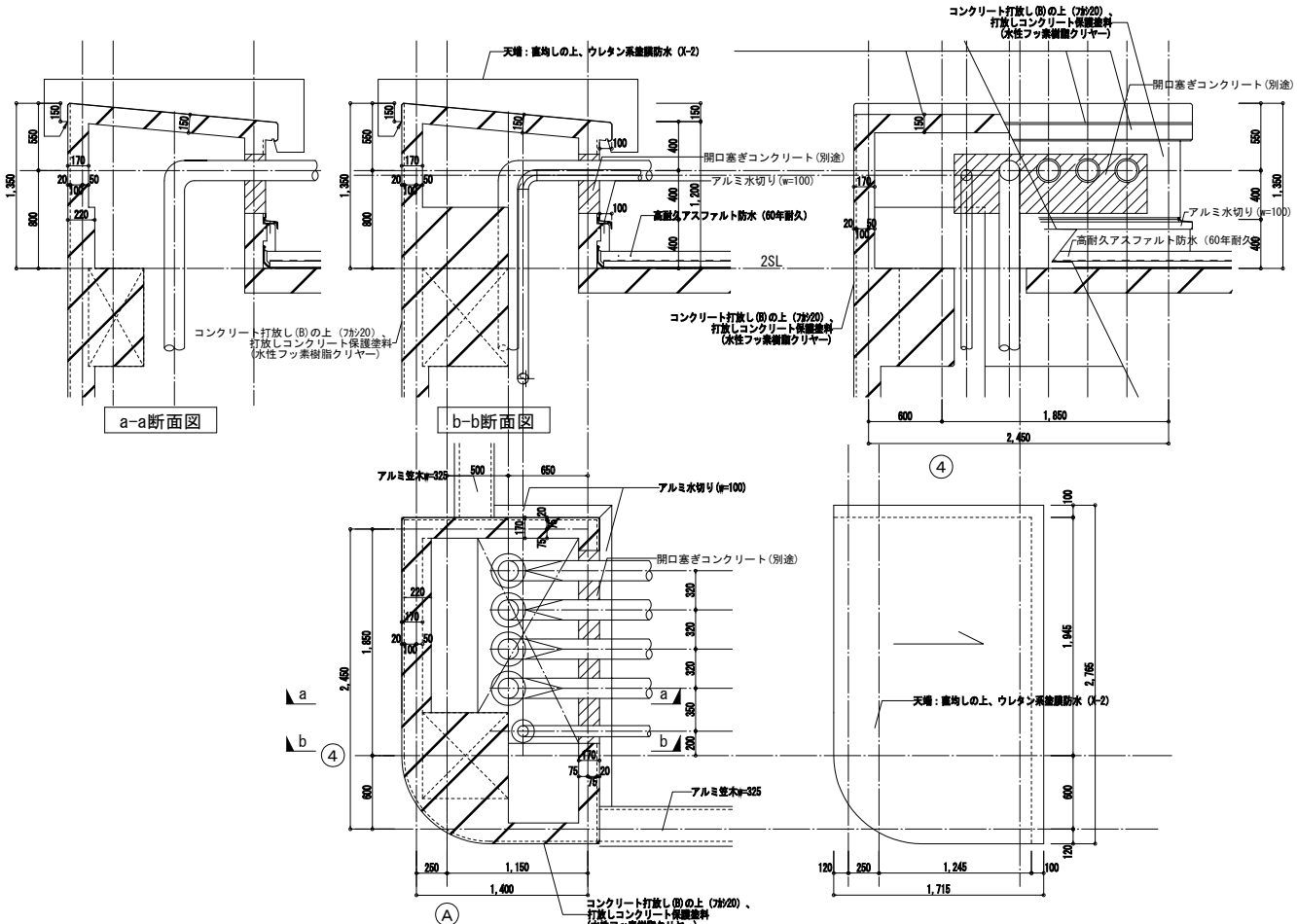
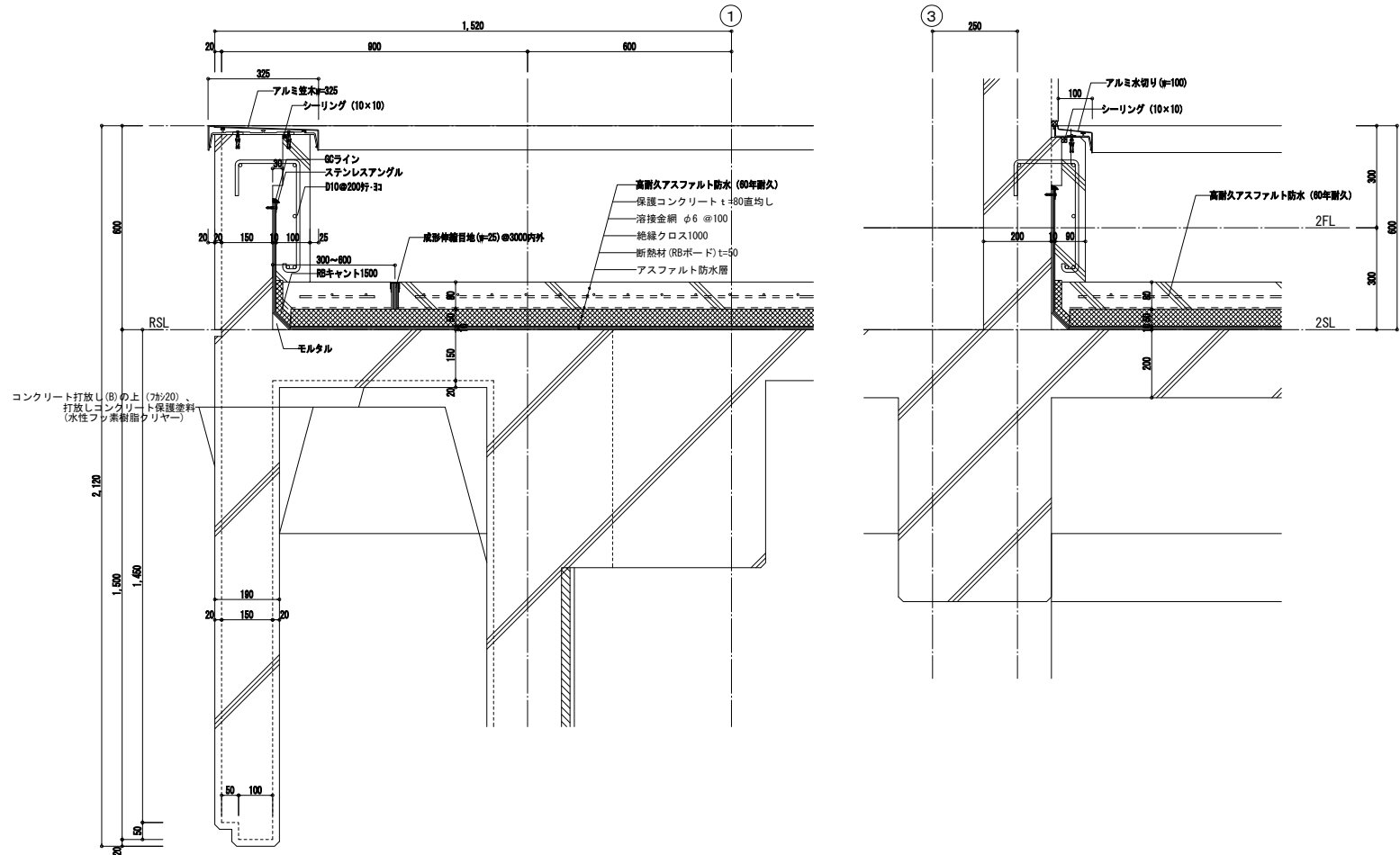
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
展開図3		A / 23
		縮 尺
		1/50
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



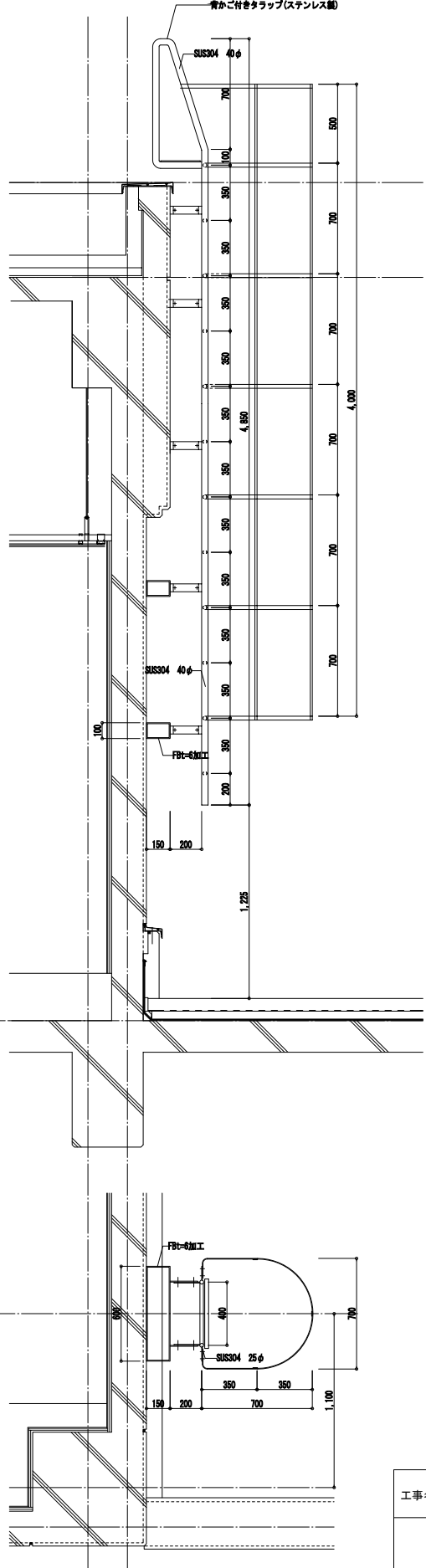
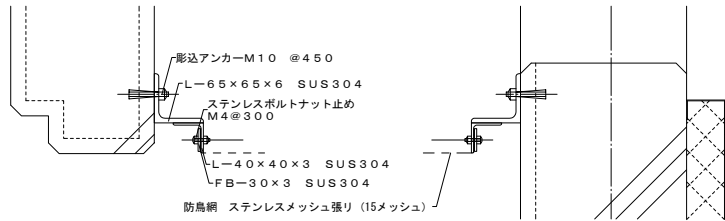
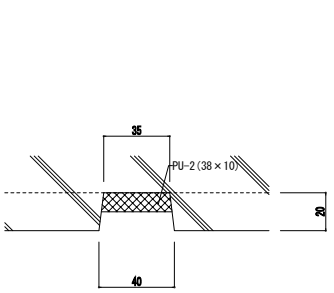
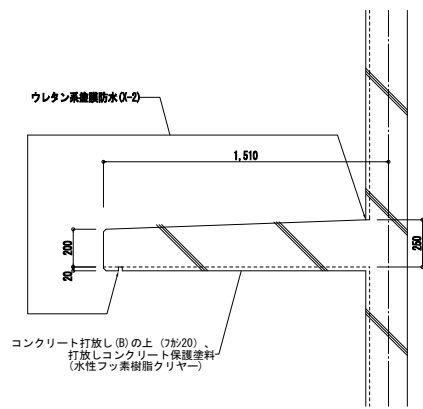
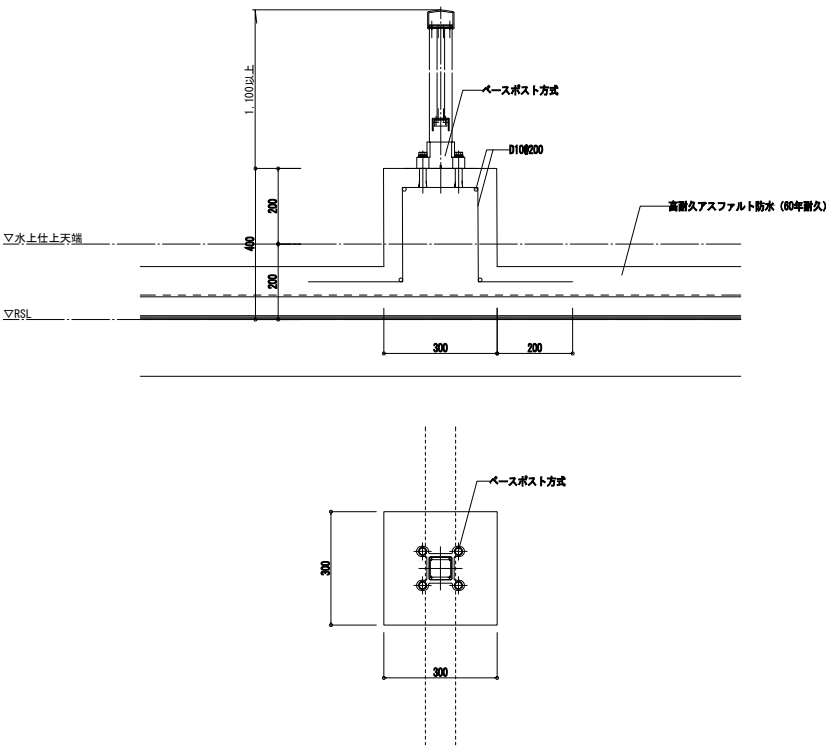
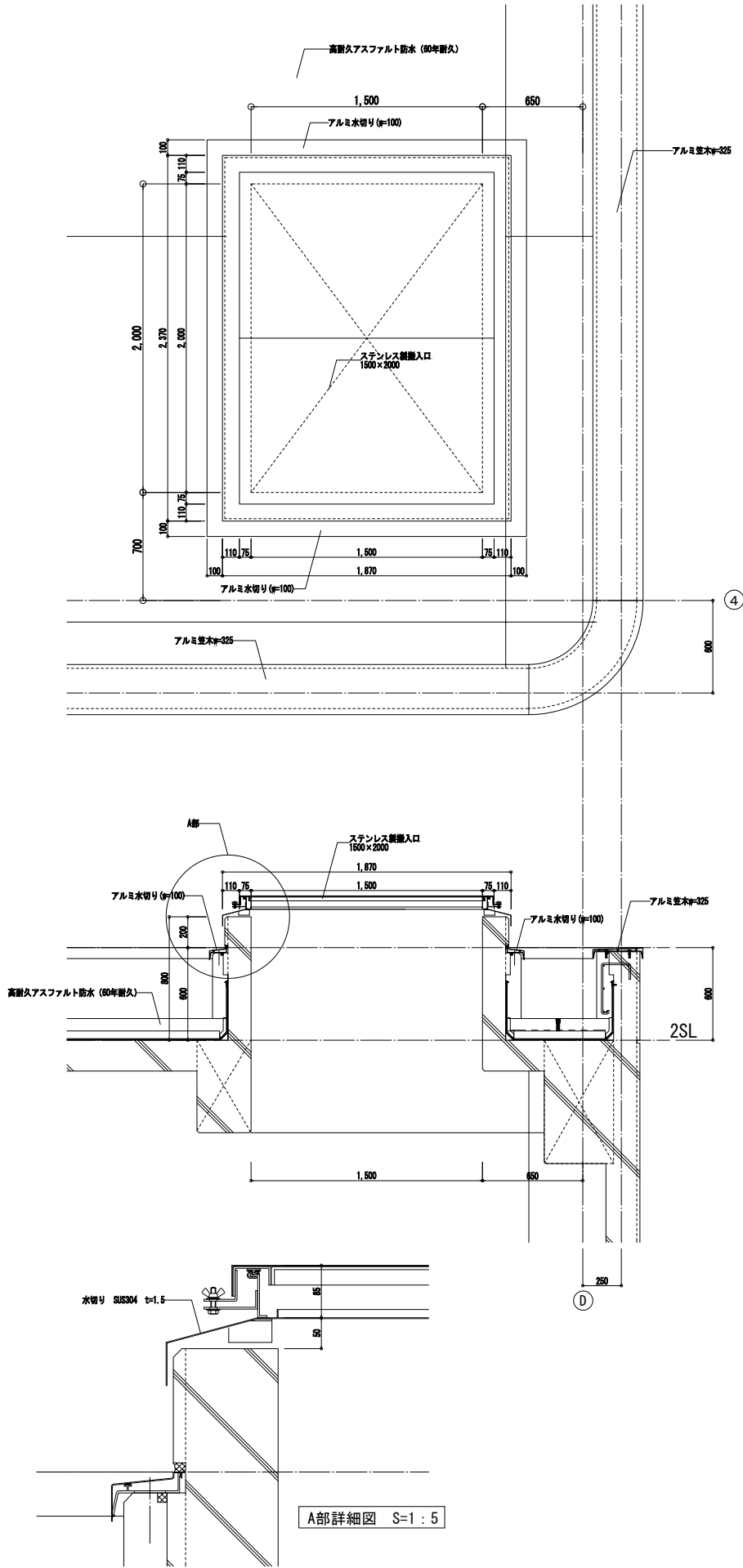
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
展開図4		A / 24
		縮 尺
		1/50
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号	
展開図5		A ／ 25	
		縮 尺	
		1/50	
事業主	笛吹市公営企業部水道課		

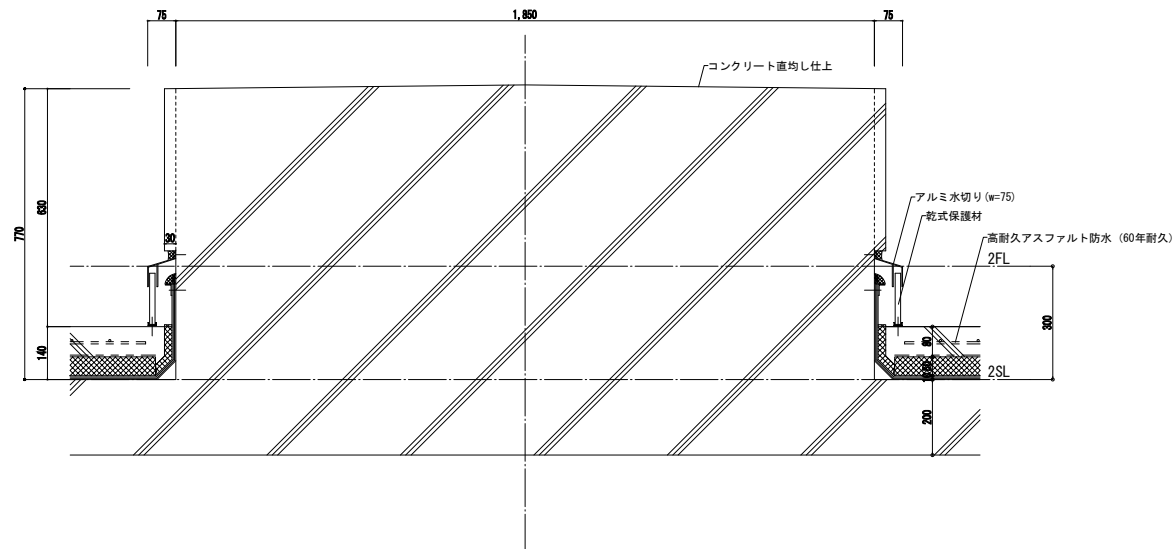


工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
雑詳細図1		A 26
		縮 尺
		1/10・30
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

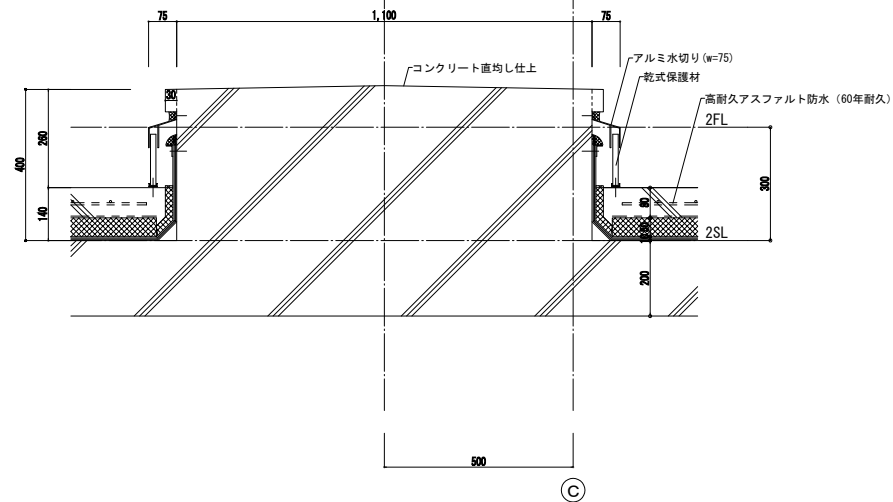


工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
雑詳細図2		A / 27
		縮 尺
		1/2・5・10・20
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

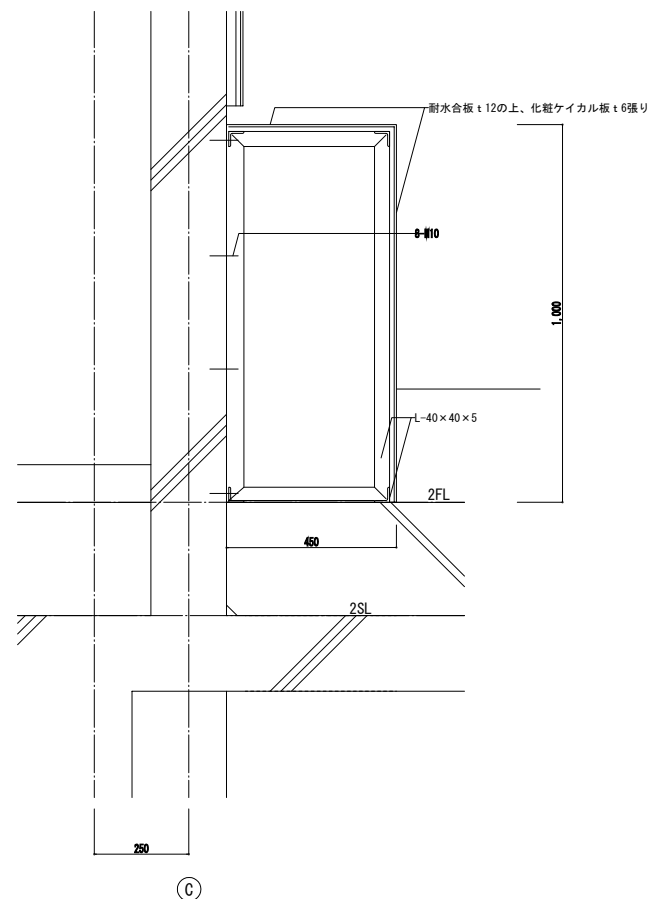
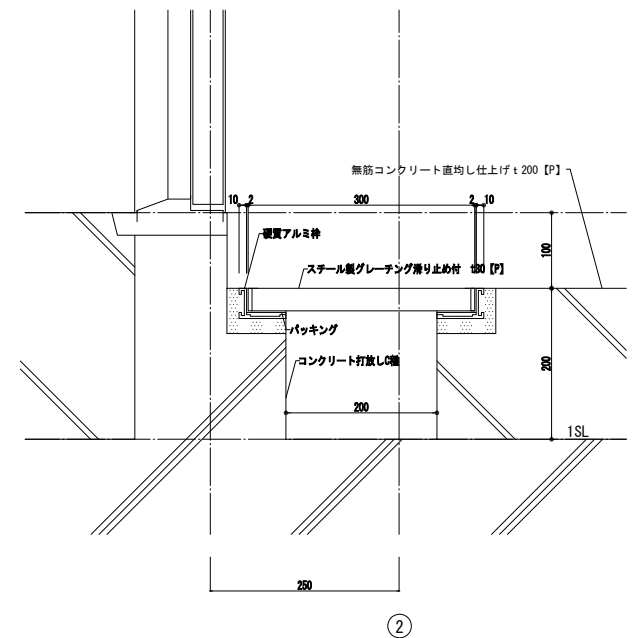




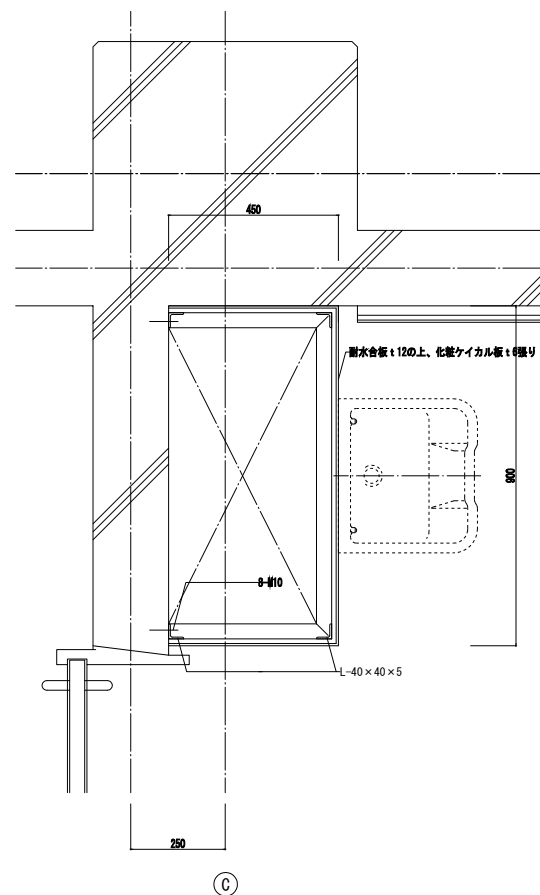
ろ過機基礎断面図



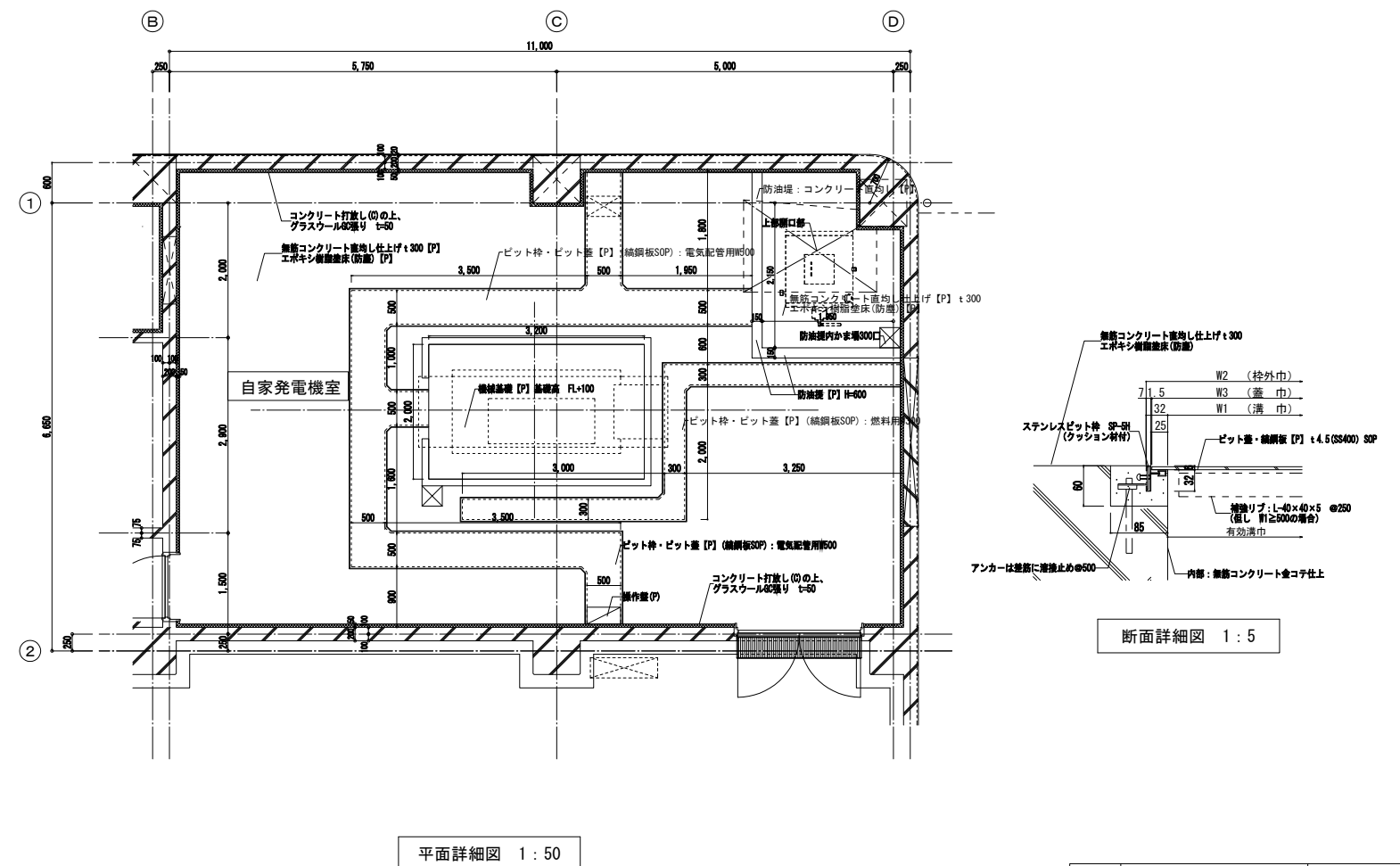
### 操作盤基礎断面図



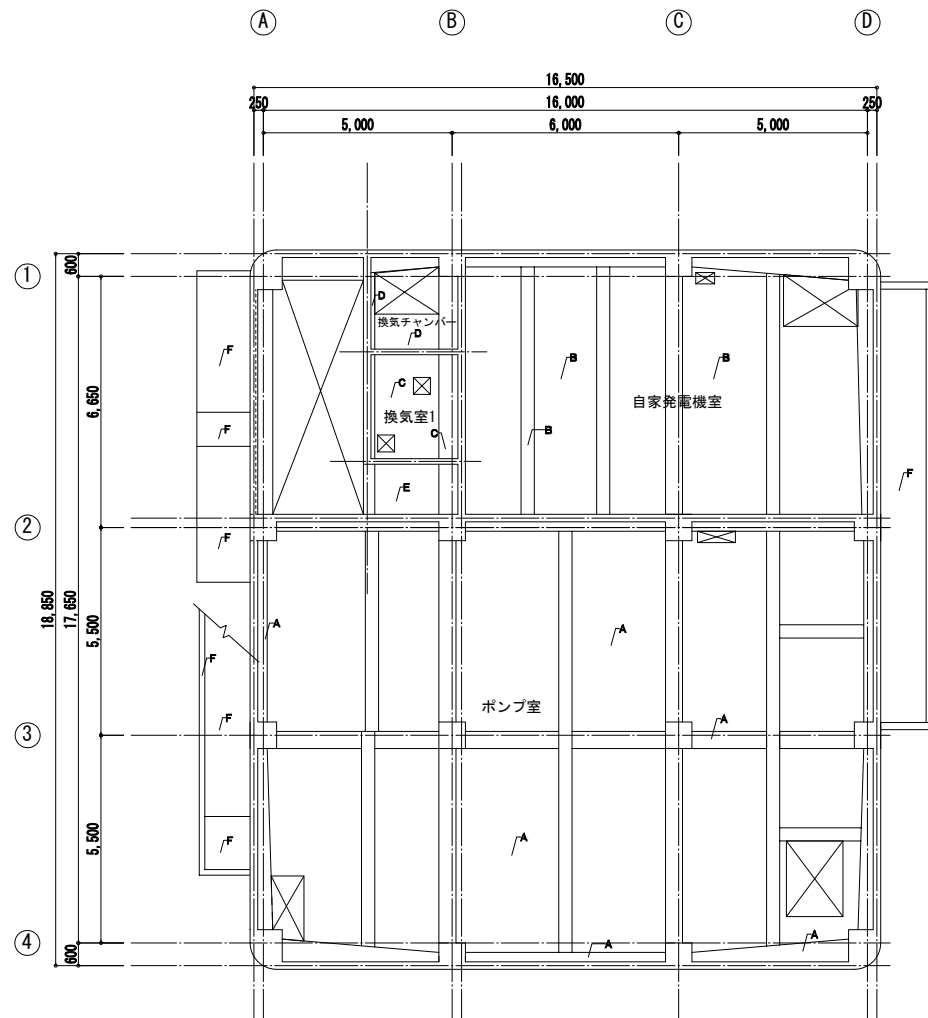
薬品室 ライニング断面図 1/10



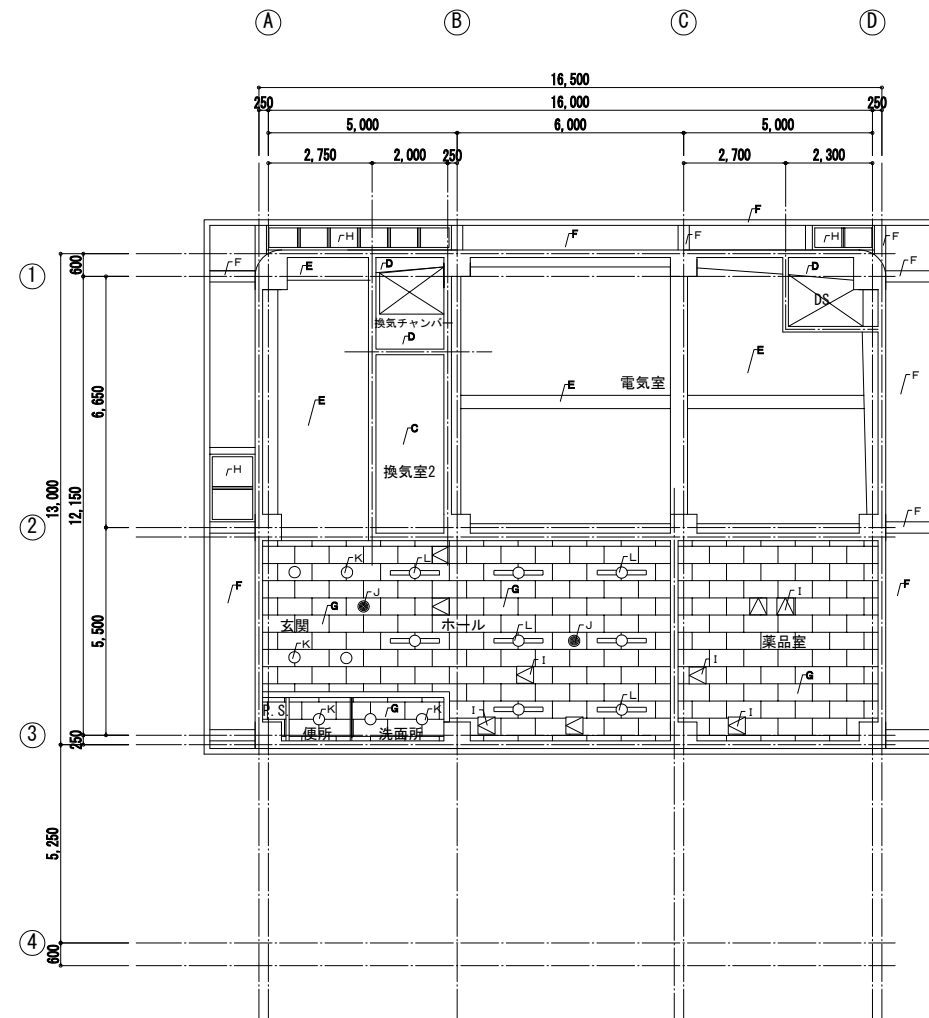
薬品室 ライニング平面図 1/10



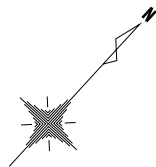
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
雑詳細図3		A / 28
		縮 尺
		1/5・10・20・50
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



1階 天井伏図

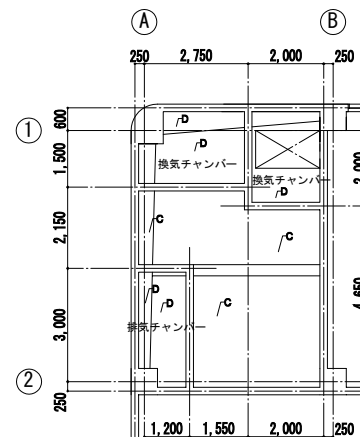


2階 天井伏図



天井仕上表	
A	コンクリート打放し (B) の上、結露防止塗料塗り
B	コンクリート打放し (C) の上、グラスウールGC張り t=50
C	コンクリート打放し (B) 仕上
D	コンクリート打放し (B) の上、グラスウールGC張り t=50
E	コンクリート打放し (B) の上、EP-T塗り
F	コンクリート打放し (B) の上、打放しコンクリート保護塗料 (水性フッ素樹脂クリヤー)
G	GB-R t=9.5捨張りの上、DR (フラットハイブ) t=9張り
H	ステンレス防鳥網
I	天井点検口 450×450

天井開口リスト	
J	Φ100
K	Φ150
L	220×1235

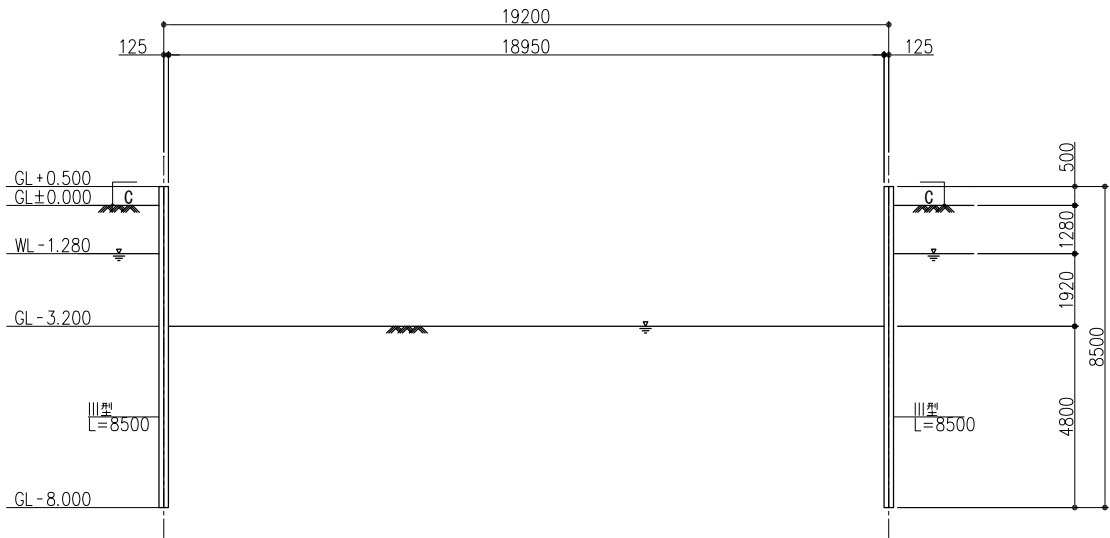


中2階 天井伏図

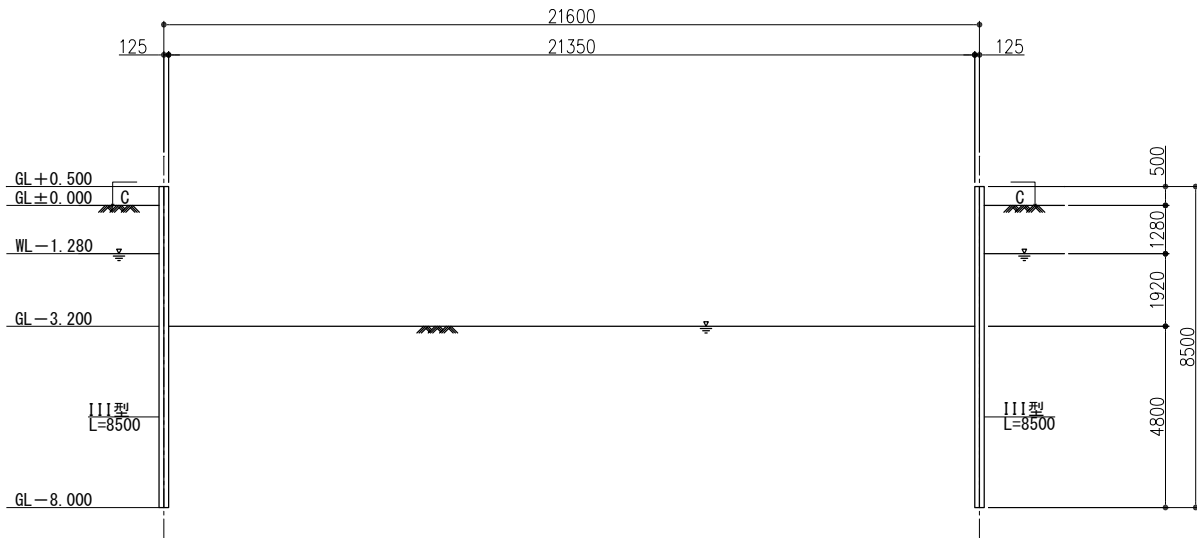
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
		A / 29
		縮 尺
天井伏図		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



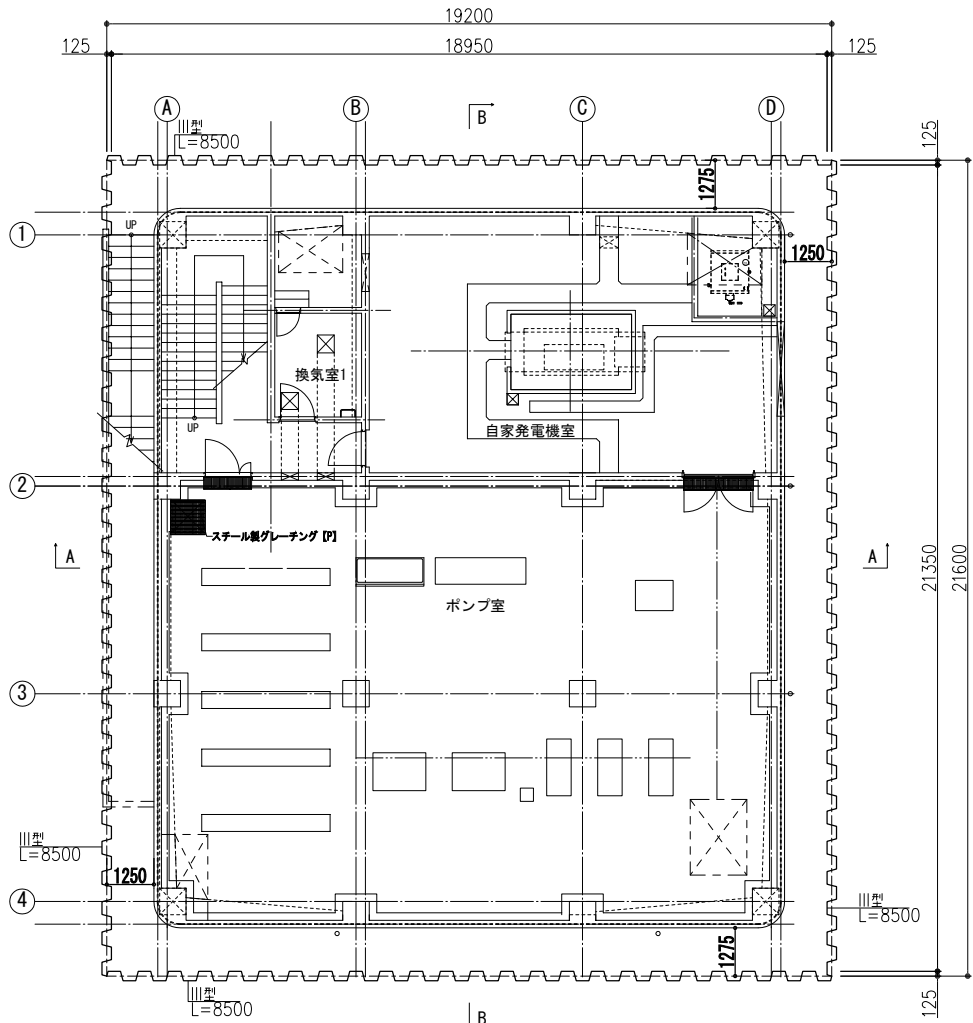
仮設図 S=1:100



断面図 A-A



断面図 B-B



平面図C-C

FSP-Ⅲ W400 L=8.5m × 200枚  
FSP-コーナーⅢ L=8.5m × 4枚

主要部材数量表

部材名	寸法	単位	数量	単位質量	質量	備考
土留め壁(鋼矢板)	III型	m	1734.000	60.0kg/m	104.040t	
計					104.040t	

設計条件

掘削面積		18.950m × 21.350m
掘削深さ		-3.200m
地下水位		WL-1.280m
土圧	安定計算	ランキン
	断面計算	断面計算用土圧
水圧		三角形
地表面上載荷重		10.00kN/m <sup>2</sup>
切ばりの温度軸力		-

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
仮設図 (参考)		A / 31
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

構造細目共通図(建築構造物)					
＜ 令和4年版 ＞					
※本図面は(一社)全国上下水道コンサルタント協会が著作権を有するものである。 .....使用にあたっては、上記協会への使用願いの提出と、配布番号の記載が必要である。 .....枠外右下の【協会員番号】と【配布番号】の記載が無い図面は無効とする。					
1 特記事項					
1.1 適用範囲					
(1)本構造細目共通図は下水道施設における処理場、ポンプ場の建築構造物に適用する。 (2)図面及び構造細目共通図に記載されていない事項は、下記に基づくものとし、これらに相違がある場合は監督職員に確認し指示を受ける。					
1)建築工事特記仕様書 2)建築改修工事特記仕様書 3)建築工事一般仕様書 4)公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 国土交通省大臣官庁営繕部 (令和 4 年版) 5)公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 国土交通省大臣官庁営繕部 (令和 4 年版)	(別紙による。) (別紙による。) (令和 年版) (令和 4 年版) (令和 4 年版)				
(3)項目は、○印のついたものを適用する。○印のない場合は、※ 印のあるものを適用する。○印と⊗ 印のある場合は、共に適用する。					
1.2 鉄筋の仕様					
鉄筋の種類及び継手は、別紙建築工事特記仕様書又は建築改修工事特記仕様書による。					
1.1表 鉄筋の種類及び継手					
鉄筋の種類	種 別	径			
	SD 295	※D16以下			
	SD 345	※D19以上			
鉄筋の継手	重ね継手	下記以外			
	ガス圧接	※D19以上、D29以下の柱、梁主筋			
	機械式継手	※図示による。			
1.3 コンクリートの仕様					
コンクリートの仕様は、別紙建築工事特記仕様書又は建築改修工事特記仕様書による。					
1.2表 コンクリートの仕様					
分 類	コンクリート種別	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スラブ (cm)	セメントの種類	
鉄筋 コンクリート	地上	※普通コンクリート	※24	※18	※普通ポルトランドセメント
	地下 基礎、基礎梁	※普通コンクリート	※24	※15	※普通ポルトランドセメント
無筋コンクリート		※普通コンクリート	※18	※15	※ 普通ポルトランドセメント
注1：無筋コンクリートには捨てコンクリートを含む。					
1.4 砕石及び捨てコンクリート					
砕石及び捨てコンクリートの厚さは、特記がなければ1.3表による。					
1.3表 砕石及び捨てコンクリートの仕様					
種 別		厚さ(mm)			
砂利または砕石		※ 60			
捨てコンクリート		※ 50			

2 共通事項								
2.1 記号及び符号								
設計図中で使用する記号及び符号は、2.1表及び2.2表を標準とする。								
2.1表 鉄筋の断面表示								
径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
記 号	●	×	∅	●	○	⊙	⊗	⊙
2.2表 一般凡例								
記 号 符 号	内 容	※印の説明及び注意事項						
F※	フーチング断面種別	※ 番号						
※1C※2	柱断面種別	※1 階数 ※2 その階の番号						
※1G※2	大梁断面種別	※1 階数、地中大梁はFとする ※2 その階の番号 X方向1, 2, 3---- Y方向A, B, C----						
CG※	片持大梁断面種別	※ 番号、階別区分はしない						
※1B※2	小梁断面種別	※1 地中小梁のみFとする。 ※2 階別区分はしない 地中小梁を除く						
CB※	片持小梁断面種別	※ 番号、階別区分はしない						
※1W※2	壁配筋種別	※1 E:耐震壁, K:階段壁 D:土圧、水圧を受ける壁 ※2 階別区分はしない 壁厚(cm)						
※1S※2※3	床版配筋種別	※1 片持床版のみCとする ※2 床版厚(cm) ※3 配筋種別(英大文字) 階別区分はしない						
※1K※2	階段の配筋種別	※1 A:片持床版形 B:二辺固定床版形 ※2 配筋種別(数字) 階別区分はしない						
CB※	コンクリートブロック壁	※ 壁厚(cm)						
////	打ち増し範囲							
////	梁・床版の上がり下がり	一般には基準FLよりの＋、－に 応じた凡例により表示						
(※)	床用積載荷重	積載荷重の値 (kN/m <sup>2</sup> )						
STP	あばら筋、スターラップ	梁、基礎梁、小梁						
HOOP	帯筋、帯鉄筋、フープ	柱						
S.HOOP	スパイラル筋、らせん筋	柱						
幅止筋	幅止め筋	柱、梁、壁						
組立筋	組立て筋	床版、底版						
2.2 一般注意事項								
(1)設計図は監督職員の承諾を得なければ変更してはならない。 変更の必要を生じた場合は、監督職員と協議すること。								

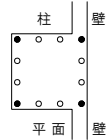
3 鉄筋の折曲げ加工				
鉄筋の折曲げ加工は、3.1表を標準とする。 (1)Dは、折曲げ内法直径を示す。 (2)dは、鉄筋直径(呼び名)を示す。				
3.1表 鉄筋の折曲げ形状及び寸法(末端部)				
曲げ 角度	折 曲 げ 図	折曲げ内法直径(D)		使 用 箇 所
		SD295 SD345		
		D16 以下	D19 ～D38	
180°		3d以上	4d以上	柱、梁の主筋 杭基礎のベース筋 D16以上の鉄筋
135°		3d以上	4d以上	D13以下の鉄筋 あばら筋、帯筋、 スパイラル筋
90°		3d以上	4d以上	T形及びL形の梁の あばら筋
135° 90°		3d以上	4d以上	90° 135° 幅止め筋
(注)1. 片持スラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90° フック又は135° フックを用いる場合は、余長を4d以上とする。 2. 90° 未満の折曲げの内法直径は図面による。				

5 鉄筋のかぶり及び間隔					
5.1 かぶり厚さ					
かぶり厚さとは、一番外側の鉄筋(幅止め筋、組立筋を除く)の外面から躯体面までの距離(5.1図)をいう。 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上を確保し、最小かぶり厚さに許容施工誤差10mmを加えた厚さ以内に納めるものとする。					
5.1図 鉄筋のかぶり厚さ					
5.2 最小かぶり厚さ					
最小かぶり厚さは、5.1表による。 (1)床版、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含まない。 (2)柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上として最小かぶり厚さを定める。 (3)溶接金網にも適用する。					
5.1表 鉄筋の最小かぶり厚さ(mm)					
構造部分の種別	塩害区分	※ 通常の施工の場合	・ 塩害対策を 必要とする場合		
一 般	床、耐力壁以外の壁	30	40		
	柱、梁、耐力壁	40	50		
	底版	40	50		
土、水に 接する部分	柱、梁、床、壁	40	50		
	底版、基礎	60	70		
煙突等高熱を受ける部分		60	70		
1:打継目地部分は目地底より最小かぶり厚さを確保する。 2:杭基礎の場合の最小かぶり厚さは、杭先端からとし、「21 杭基礎の補強」を参照。 3:仕上なしの場合を標準とする。					
5.3 鉄筋相互のあき及び間隔					
鉄筋相互のあきは、下記の最大値のもの以上とする。ただし、機械式継手及び溶接継手の場合のあきは図面による。 (1)粗骨材の最大寸法の1.25倍 (2)最小のあき25mm (3)隣り合う鉄筋の平均径(呼び名の数値)の1.5倍					
5.2図 鉄筋相互のあき及び間隔					
5.2表 鉄筋径と鉄筋間隔の関係一覧					
鉄筋径(mm)		鉄筋相互のあき:a			最小鉄筋芯間隔 a+D
鉄筋径 d	最外径 D	(1) 粗骨材径×1.25	(2) 最小あき	(3) 鉄筋径×1.5	
D10	11	32mm 粗骨材 最大径 25mm の場合	25mm	15mm	43mm
D13	14			20mm	46mm
D16	18			24mm	50mm
D19	21			29mm	53mm
D22	25			33mm	58mm
D25	28			38mm	66mm
D29	33			44mm	77mm

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
		S / 01
		縮 尺
事業主		富吹市公営企業部水道課

4 異形鉄筋の末端部				
4.1 フックを設ける位置				
異形鉄筋の末端部には、4.1表によりフックを設ける。				
4.1表 フックを設ける位置				
部 位	継手方式		備 考	
	重ね継手	圧接継手		
柱	四隅の主筋	――	1)最上階の柱頭部 8.1図参照	
	上下階の柱断面が異なる場合	――	1)下階の柱主筋を引き通すことができない柱頭部 4.1図の●印 8.2図参照	
	帯筋(HOOP)	1)末端部 2)継手部	1)末端部	9.1図参照
梁	あばら筋(STP)	1)末端部 2)継手部	1)末端部	11.1図参照
杭基礎	独立フーチング基礎の底盤筋	1)末端部 2)継手部	1)末端部	20.1図参照
煙突の鉄筋		1)末端部 2)継手部	1)末端部	壁の一部となる場合を含む
幅止め筋	――	――	――	3.1表参照

4.1図 異形鉄筋の末端部	



4.1図 異形鉄筋の末端部

6 鉄筋の継手及び定着

6. 1 継手及び定着

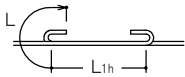
6. 1. 1 鉄筋の重ね継手

- (1)鉄筋の重ね継手の長さは、6. 1表による。
- (2)径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
- (3)主筋及び耐震壁の鉄筋の重ね継手の長さは40dとする。ただし、SD390、SD490を使用する場合は特記による。

6. 1表 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種 類	コンクリートの設計基準強度 F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	L <sub>1</sub> (フックなし)	L <sub>1h</sub> (フックあり)
SD295	24, 27	35d	25d
	30	35d	25d
SD345	24, 27	40d	30d
	30	35d	25d

(注)1. L<sub>1</sub>、L<sub>1h</sub>：フックなし重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ  
2. フックありの場合のL<sub>1h</sub>は、6. 1図に示すようにフック部分Lを含まない。



6. 1図

6. 1. 2 継手の特記事項

- (1) 継手は、極力応力の小さい位置に設ける。

6. 1. 3 鉄筋の定着

- (1) 鉄筋の定着の長さは、6. 2表による。

6. 2表 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種 類	コンクリートの設計基準強度 F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	フックなし				フックあり			
		L <sub>1</sub>		L <sub>3</sub>		L <sub>1h</sub>		L <sub>3h</sub>	
		L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	小梁	スラブ	L <sub>1h</sub>	L <sub>2h</sub>	小梁	スラブ
SD295	24, 27	35d	30d	20d	10d かつ 150mm 以上	25d	20d	10d	—
	30	35d	30d			25d	20d		
SD345	24, 27	40d	35d	20d	10d かつ 150mm 以上	30d	25d	10d	—
	30	35d	30d			25d	20d		

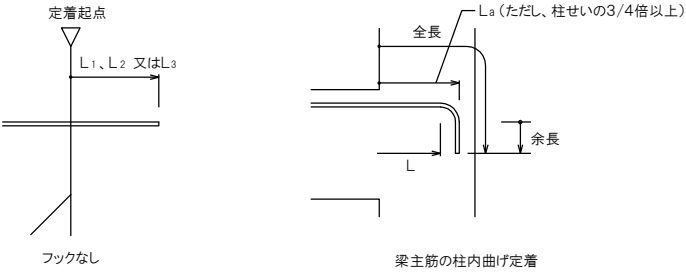
- (注)1. L<sub>1</sub>、L<sub>1h</sub>：2. 以外の直線定着の長さ及びフックありの長さ  
2. L<sub>2</sub>、L<sub>2h</sub>：割裂破壊の恐れのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ  
3. L<sub>3</sub>：小梁及びスラブの下端の直線定着の長さ(基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く)  
なお、片持小梁及び片持スラブの場合は、20d及び10dを25d以上とする。  
4. L<sub>3h</sub>：小梁の下端筋のフックあり定着の長さ  
5. フックあり定着の場合は、6. 2図(イ)に示すようにフック部分bを含まない。また、中間部での折曲げは行わない。

6. 1. 4 定着の方法

定着の方法は6. 2図による。

なお、(ロ)折曲げ定着の梁主筋の柱内折曲げ定着において、仕口内に縦に折曲げて定着する鉄筋の定着長さsが、6. 2表のフックあり定着の長さを確保できない場合は、全長を6. 2表に示すフックなし定着長さとし、かつ、余長を8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを6. 3表に示す長さをのみみさせる。

- (注)1. L<sub>a</sub>、L<sub>b</sub>は、6. 3表の鉄筋の投影定着長さを示し、下記条件を満たすものとする。
- ・梁主筋の柱内定着においては、原則として柱せいの3/4倍以上
  - ・小梁主筋の大梁内定着においては、原則として大梁幅の1/2倍以上
  - ・スラブの梁内定着においては、原則として梁幅の1/2倍以上



6. 2図 定着の方法

6. 3表 鉄筋の投影定着長さ

鉄筋の種 類	コンクリートの設計基準強度 F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	L <sub>a</sub>	L <sub>b</sub>
SD295	24, 27	15d	15d
	30	15d	15d
SD345	24, 27	20d	15d
	30	15d	15d

(注)1. L<sub>a</sub>：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ(基礎梁、片持ちスラブを含む。)  
2. L<sub>b</sub>：小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ(片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。)

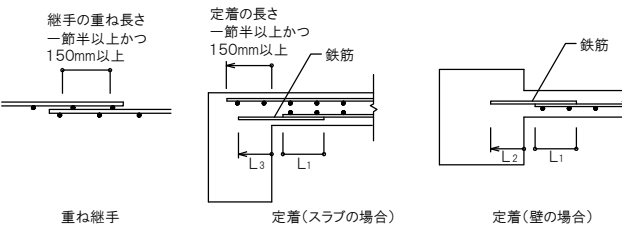
6. 2 隣り合う継手の位置及び定着

- (1)隣り合う継ぎ手の位置は、6. 4表により、a寸法を守ること。ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合を除く。

6. 4表 隣り合う継手の位置

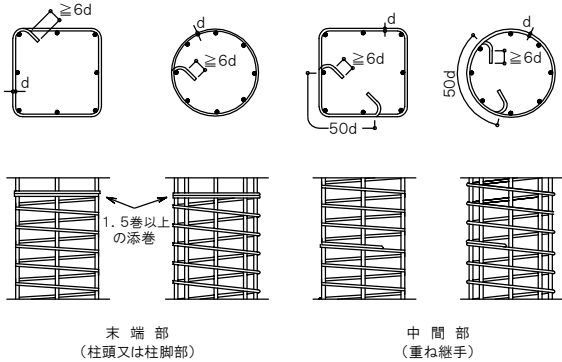
重ね継手	フック有りの場合		
		a=0, 5L <sub>1h</sub>	a≥0, 5L <sub>1h</sub>
	フックなしの場合		
		a=0, 5L <sub>1</sub>	a≥0, 5L <sub>1</sub>
圧接継手	—		a≥400mm

- (2)溶接金網の継手及び定着は、6. 3図による。



6. 3図 溶接金網の継手及び定着要領

(3)スパイラル筋の継手及び定着



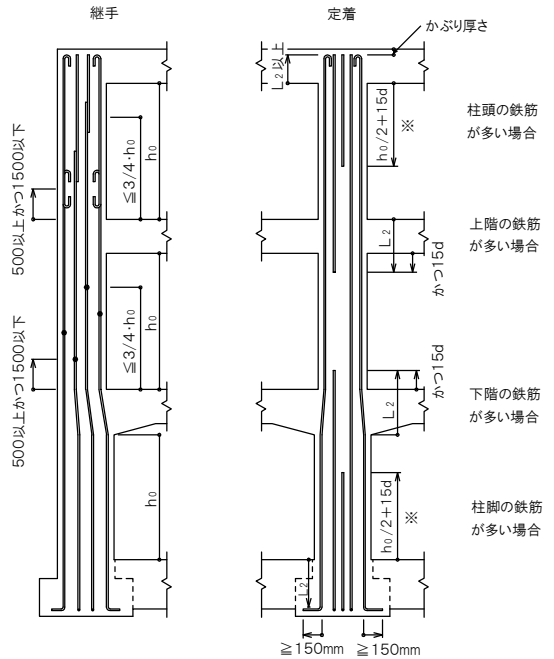
6. 4図 スパイラル筋の継手及び定着要領

7 (欠番)

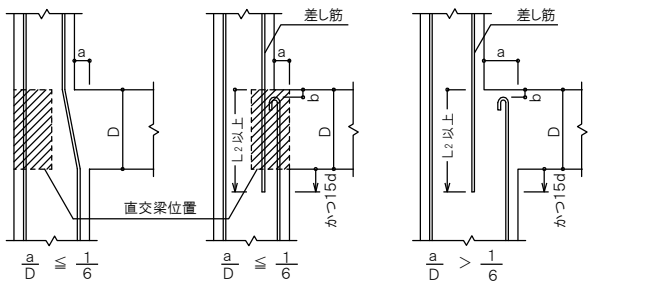
8 柱筋の継手及び定着

8. 1 一般事項

- (1)継手長さはL<sub>1</sub>とし、定着及び余長は、8. 1図による。
- (2)柱頭定着長さL<sub>2</sub>が確保出来ない場合は、図面による。
- (3)上下の柱断面が異なる場合の柱主筋の折曲げ及び定着は、8. 2図による。
- (4)柱の継手及び圧接中心位置は、梁上端から500mm以上、1500mm以下かつ3/4h<sub>0</sub> (h<sub>0</sub>は柱の内法高さ)以下とする。
- (5)※鉄筋のカットオフの位置及び長さは図面による。



8. 1図 柱主筋の継手、定着及び余長

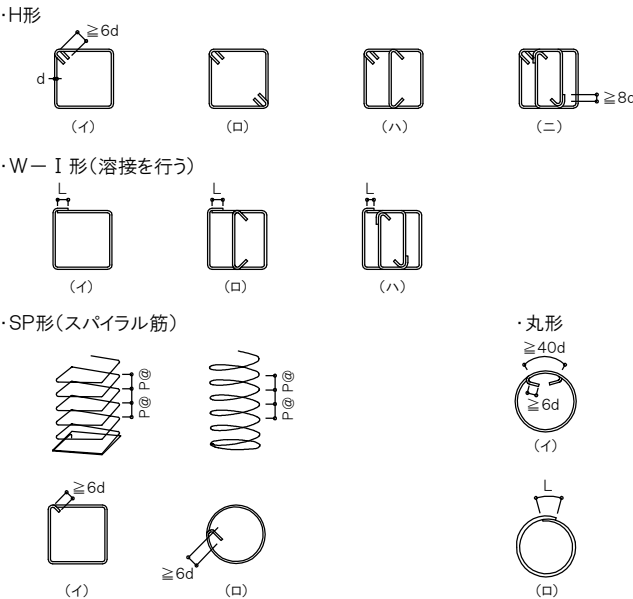


8. 2図 上下の柱断面が異なる柱主筋の折曲げ及び定着

9 帯筋

9. 1 帯筋の形状

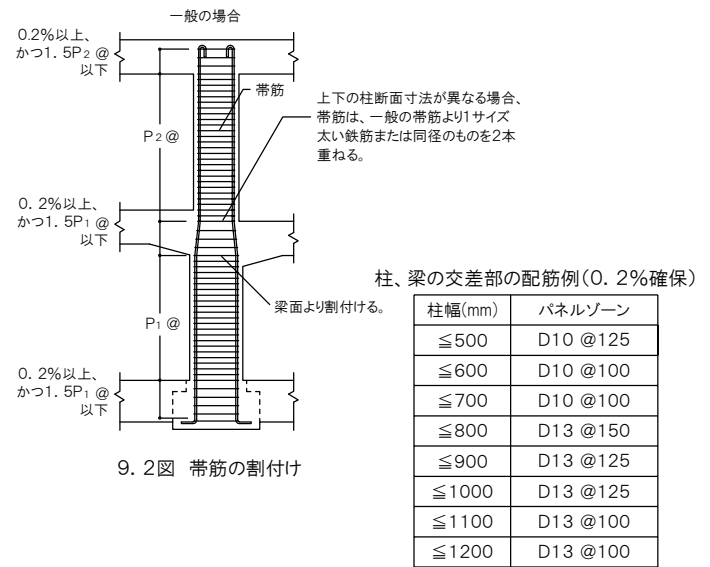
- (1)帯筋の形状は、9. 1図とし、種別は図面による。図面になければ下記による。
- (a)H形を標準とする。
- (b)H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W—I形とする。
- (c)溶接する場合の溶接長さLは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とし、組立前に行う。
- (d)SP形において、柱頭及び柱脚の端部は、1. 5巻以上の添巻きを行う。



9. 1図 帯筋組立の形

9. 2 帯筋の割付け

- (1)フック及び継手の位置は交互とする。
- (2)帯筋の割付けは、9. 2図による。ただし、図面にある場合はそれによる。
- (3)柱、梁の交差部(パネルゾーン)の帯筋のせん断補強比は、0. 2％以上を確保し、補強筋間隔 ≤ 1. 5Pとする。



9. 2図 帯筋の割付け

※1. 5P<sub>1</sub>、1. 5P<sub>2</sub> のピッチは150mm以下とする。

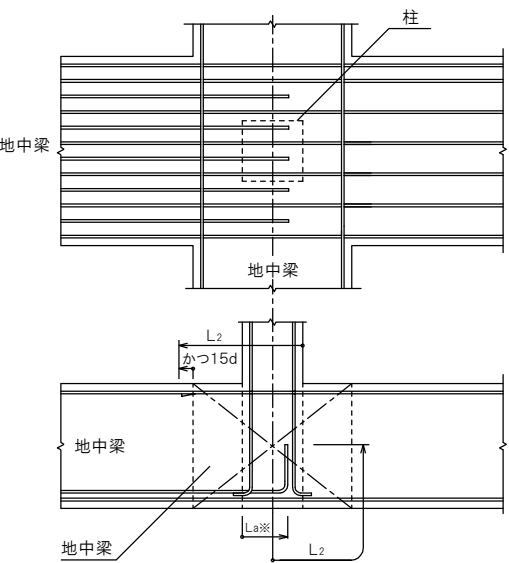
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
構造細目共通図 (建築構造物)(2)		S / 02
		縮 尺
		—

事業主 笛吹市公営企業部水道課



(4)柱幅<梁幅の場合

(a)交差部のスターラップを設ける場合は、図面による。



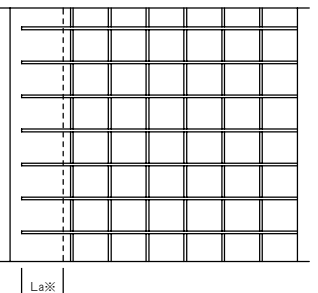
※ Laの数値は、原則として、6. 3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。

12. 4図 主筋の継手、定着及び余長(その3)

12. 4 梁形を設けない場合の基礎底板(オイルタンク等)

(1)定着の取り方は、壁の面からとする。

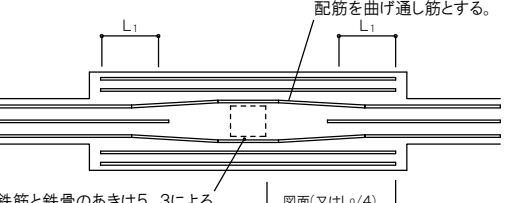
(2)途中で配筋が変わる場合の定着は、12. 2図のように基礎底板筋を梁筋と読みかえる。



※ Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

12. 5図 主筋の継手、定着及び余長(その4)

(3)鉄骨造のBOX柱等が埋め込まれる場合の端部と中央部の断面の異なる場合



鉄筋と鉄骨のあきは5. 3による。 図面(又はL0/4)

12. 6図 主筋の継手、定着及び余長(その5)

13 小梁及び片持梁の配筋要領

13. 1 一般事項

(1)図面でない事項は大梁、梁のあばら筋、及び基礎梁の項に準ずる。

(2)印は、継手及び余長を示す。

13. 2 小 梁

(1)連続小梁の場合



※ Lbの数値は、原則として、6. 3表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。

13. 1図 小梁主筋の継手、定着及び余長(その1)

(2)単独小梁の場合



13. 2図 小梁主筋の継手、定着及び余長(その2)

(注)1. 印は、継手及び余長を示す。

2. 梁内の定着筋において梁せいが小さく垂直で余長がとれない場合、斜めにしてもよい。

3. 図示のない事項は、10. 1及び12. 1に準ずる。

※ Lbの数値は、原則として、6. 3表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。

13. 3 片持梁筋の定着

(1)先端に小梁のない場合

a. 先端の折曲げの長さblは、梁せいよりかぶり厚さを除いた長さとする。

b. 梁筋を引き通さない場合は、取り合い部材に定着する。ただし、柱に取り合う場合は、全数を引き通すことができる場合でも、上端筋は、2本以上を柱に定着する。



※ L3hをフックなしで定着させる場合は25dとする。

13. 3図 片持梁主筋の定着及び余長(先端に小梁のない場合)

(2)先端に小梁がある場合

a. 上端筋は、先端小梁内に斜めに定着する。

b. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。

c. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。



小梁が連続する場合 小梁の終端部



小梁外端部 小梁連続端部

13. 4図 片持梁主筋の定着

14 壁の配筋要領

14. 1 一般事項

(1)一般壁配筋の重ね継手の長さはL1とし、耐震壁の鉄筋の重ね継手の長さは40dとする。ただし、SD390、SD490を使用する場合は特記による。

また、定着の長さは、L2とし、鉄筋の継手位置は、柱・梁部以外とする。

(2)幅止め筋は、縦、横ともD10-@1000を標準とする。

(3)打増し部分に、壁及びスラブ等が取りつく場合は、壁及びスラブ筋等の定着長さには打増し部分は含まない。

(4)土圧及び水圧などを受ける壁の配筋は、図面による。



(注)図中のP@は、図面の壁筋の間隔を示す

14. 1図 壁の配筋

14. 2 耐震壁の開口

(1)耐震壁等の開口は、図面以外は設けてはならない。

(2)やむを得ず開口をあける場合は、H19国土交通省告示593号の規定を満足することを構造計算によって確認すること。

14. 3 壁開口部の補強

(1)壁開口部の補強は、図面による。補強筋の長さ及び位置は、14. 3図を標準とする。



※:鉄筋径及び本数は、図面による

14. 3図 壁開口部の補強の定着長さ

(2)開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来る場合は、補強筋を省略することができる。

14. 4 壁の交差部及び端部

壁の交差部及び端部の交差部は、14. 4図による。

a. 交差部補強筋D※はD13以上、かつ壁主筋と同径とする。

b. 壁の端部にU型鉄筋を使用する場合の径及び間隔は、壁筋と同径及び同間隔とする。



14. 4図 壁の交差部及び端部の配筋

※壁構造の場合は、「壁構造配筋指針・同解説」(日本建築学会)に基づき図面による。

14. 5 壁の打増し要領

コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、特記によるほか、配管等での壁の打増し補強筋は、14. 5図による。

打増し厚さのaが50mm以上、200mm以下に適用する。

200mmを越える場合は、特記による。



打増し部  
縦筋はD10とし、間隔は200mm  
横筋はD10とし、間隔は壁横筋と同じ

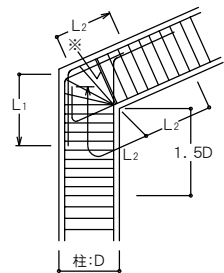
14. 5図 壁の打増し補強配筋



15 床の配筋要領			16 柱及び梁の増し打ち要領			18 階段の配筋要領					
15.1 一般事項			16.1 柱			18.1 階段の配筋要領					
<p>(1)鉄筋の継手長さは、<math>L_1</math>とする。</p> <p>(2)定着長さ及び受け筋は、15.1図による。ただし、引き通すことができない場合は、15.2図、15.3図により梁内に定着する。</p> <p>(3)基礎梁と床版を一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合の補強は図面による。</p> <div><div></div><div></div></div> <p>※ <math>L_b</math>の数値は、原則として、6.3表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。</p> <p>15.1図                      15.2図</p> <p>スラブ筋の定着長さ及び受け筋(その1)      スラブ筋の定着長さ及び受け筋(その2)</p> <div></div> <p>※ <math>L_b</math>の数値は、原則として、6.3表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。</p> <p>15.3図    スラブ筋の定着長さ及び受け筋(その3)</p>			<p>(1)出隅部の補強筋は図面により、配筋方法は、15.6図による。</p> <p>(2)出隅受け部分(図のハッチ部分)の配筋は、図面による。</p> <div></div> <p>(注)1. <math>b_1 \geq b_2</math>とする 2. 柱又は梁に<math>L_1</math>を定着する</p> <p>出隅部分の一般スラブ配筋補強配筋      出隅部分の主筋補強配筋</p> <p>15.6図    片持ちスラブ出隅部の補強配筋</p>			<p>(1)増し打ちコンクリートの補強は、16.1図による。</p> <p>ただし、<math>a &lt; 70\text{mm}</math>の場合、補強は行わない。<math>200\text{mm} &lt; a</math>の場合は、図面による。</p> <div></div> <p>※1. 帯筋と同径・同材質・同ピッチとする。</p> <p>16.1図    柱の増し打ち補強配筋</p> <p>(2)増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合は除く。</p> <p>(3)増し打ち部分の帯筋の定着長さは、<math>L_2</math>以上とする。</p> <p>(4)増し打ち部分主筋の定着、重ね長さは、柱の主筋による。</p>			<p>(1)壁配筋は、図面による。</p> <p>(2)階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に曲げ下ろす。</p> <div></div> <p>18.1図    片持ちスラブ形階段配筋の定着</p>		
15.2 片持ちスラブ			16.2 梁			18.1図 片持ちスラブ形階段配筋の定着					
<p>(1)片持ちスラブの配筋</p> <div></div> <p>※先端の折り曲げ長さbは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。</p> <p>15.4図    片持ちスラブの配筋</p>			<p>(1)出隅及び入隅部分には、15.7図により、補強筋(溶接金網)を上端筋の下側に配筋する。</p> <p>(2)陸屋根、勾配屋根共通とする。</p> <div></div> <p>15.7図    出隅及び入隅部分の補強配筋</p>			<p>(1)増し打ちコンクリートの補強は、16.2図による。</p> <p><math>a &lt; 70\text{mm}</math>の場合、補強は行わない。<math>200\text{mm} &lt; a</math>の場合は、図面による。</p> <div></div> <p>※1. あばら筋と同径・同材質・同ピッチとする。</p> <p>16.2図    梁の増し打ち補強配筋</p> <p>(2)増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合は除く。</p> <p>(3)増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、<math>L_2</math>以上とする。</p> <p>(4)増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、梁の主筋による。</p> <p>(5)梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合</p> <div></div> <p>16.3図    梁の上下の増し打ち配筋補強(途中で終わる場合)</p> <p>(6)梁の側面の増し打ちが途中で終わる場合</p> <div></div> <p>16.4図    梁の側面の増し打ち補強配筋(途中で終わる場合)</p>					
15.3 片持ちスラブ出隅部の補強配筋			15.4 地上部最上階の屋根床版								
			<p>(1)出隅及び入隅部分には、15.7図により、補強筋(溶接金網)を上端筋の下側に配筋する。</p> <p>(2)陸屋根、勾配屋根共通とする。</p> <div></div> <p>15.7図    出隅及び入隅部分の補強配筋</p>								
15.5 段差床版の補強			15.6 床版開口部の補強								
<p>同一床版に段差がある場合、15.8図の補強を行う。ただし、<math>H &gt; 150</math>の場合は、小梁を設ける事を原則とする。</p> <div></div> <p>15.8図    段差のある床版の補強配筋</p>			<p>(1)開口の最大径<math>\leq 700</math>の場合は、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には、斜め方向に主筋径以上の鉄筋2本を上下筋の内側に配筋する。(15.9図) 開口の最大径<math>&gt; 700</math>の場合は図面による。</p> <div></div> <p>※:鉄筋径は、図面による</p> <p>15.9図    床版開口部の補強配筋</p> <p>(2)床版開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強筋を省略することができる。</p>								
15.4 片持ちスラブの配筋			15.5 段差のある床版の補強配筋								
<p>(1)片持ちスラブの配筋</p> <div></div> <p>※先端の折り曲げ長さbは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。</p> <p>15.4図    片持ちスラブの配筋</p>			<p>(1)開口の最大径<math>\leq 700</math>の場合は、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には、斜め方向に主筋径以上の鉄筋2本を上下筋の内側に配筋する。(15.9図) 開口の最大径<math>&gt; 700</math>の場合は図面による。</p> <div></div> <p>※:鉄筋径は、図面による</p> <p>15.9図    床版開口部の補強配筋</p> <p>(2)床版開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強筋を省略することができる。</p>								
15.5 先端に壁が付く場合の配筋			15.6 床版開口部の補強								
<p>(2)先端に小梁がなく壁が取り付けく場合</p> <div></div> <p>15.5図    先端に壁が付く場合の配筋</p>			15.6 床版開口部の補強								
<p>(2)先端に小梁がなく壁が取り付けく場合</p> <div></div> <p>15.5図    先端に壁が付く場合の配筋</p>			15.6 床版開口部の補強								
15.5図 先端に壁が付く場合の配筋			15.9図 床版開口部の補強配筋								
			<p>(2)床版開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強筋を省略することができる。</p>								

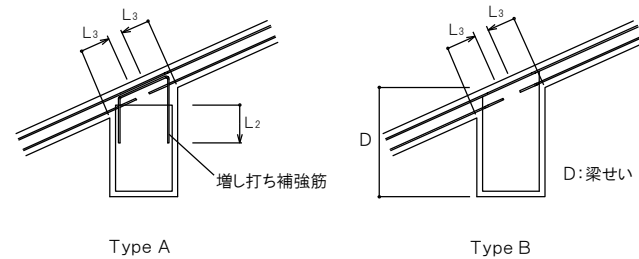
### 19.1 斜め柱・斜め梁の取り合い

a) 柱幅と斜材(柱又は梁)幅が同一



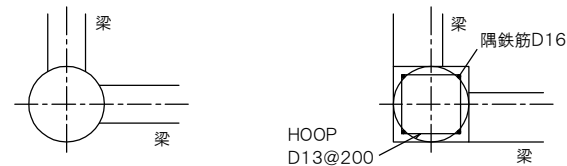
### 19. 1図 斜め柱・斜め梁の取り合い配筋

増し打ち補強要領は、16. 2による。

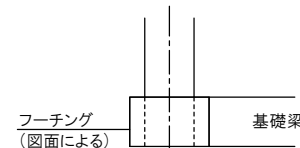


19. 2図 梁と床版の取り合い配筋

円柱と梁の取り合い



2) 柱頭部で柱外面に梁が  
取り付く場合

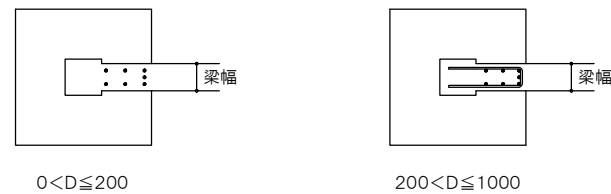


19. 3図 円柱の取り合い配筋

## 20.1 直接基礎の配筋

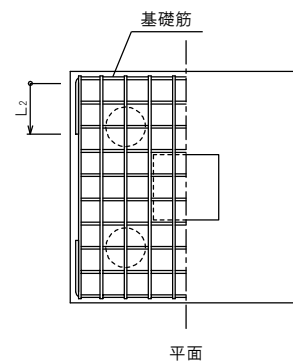
### 20.1図 独立基礎の配筋

## 20. 2図 連続基礎の配筋



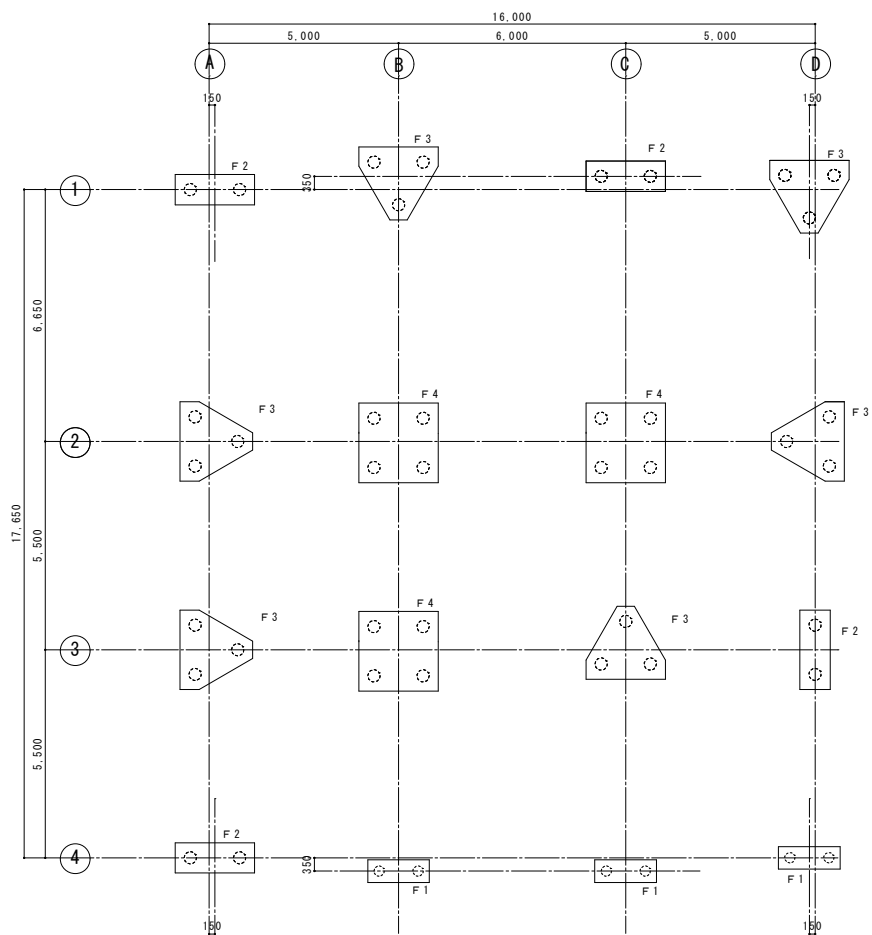
※L<sub>2h</sub>を確保できない場合は、標仕(5.3.4(e)(2))によることができる。

### 21.1 杭基礎の配筋



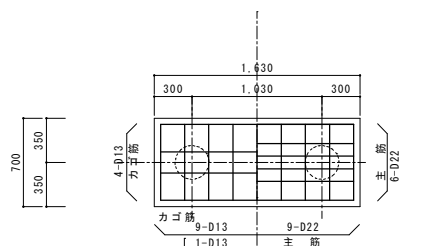
### 21.1図 杭基礎の配筋及び杭頭部の補強方法

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
構造細目共通図 (建築構造物)(6)		S ／ 6
		縮 尺
		—
事業主	筑吹市公営企業部水道課	

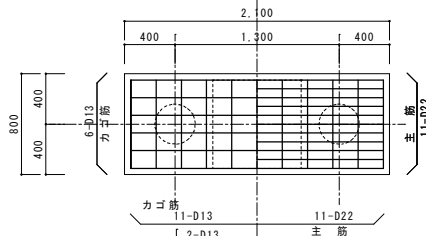


杭 伏 図 S:1/100

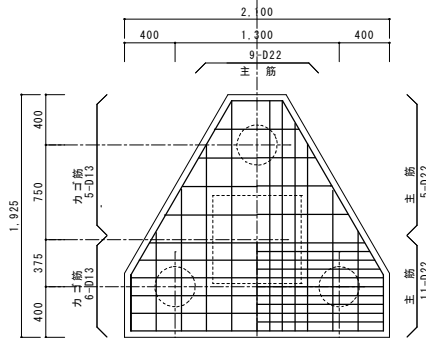
杭リスト			
工 法 羽根付き鋼管杭回転埋設工法			
杭径、杭長			
F 1 : 2-267.4Φ	(t=12.4)	3.0m	
F 2 : 2-318.5Φ	(t=12.4)	3.0m	
F 3 : 3-318.5Φ	(t=12.4)	3.0m	
F 4 : 4-318.5Φ	(t=12.4)	3.0m	
杭種 : STK490			
長期杭耐力			
267.4Φ	601.4KN		
318.5Φ	846.2KN		



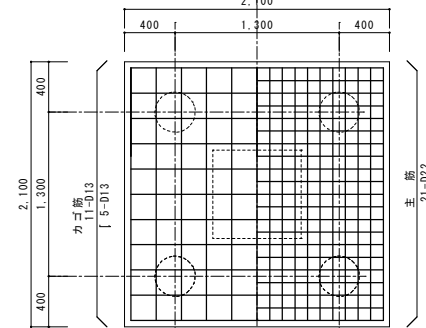
F 1 : 2-267.4Φ



F 2 : 2-318.5Φ

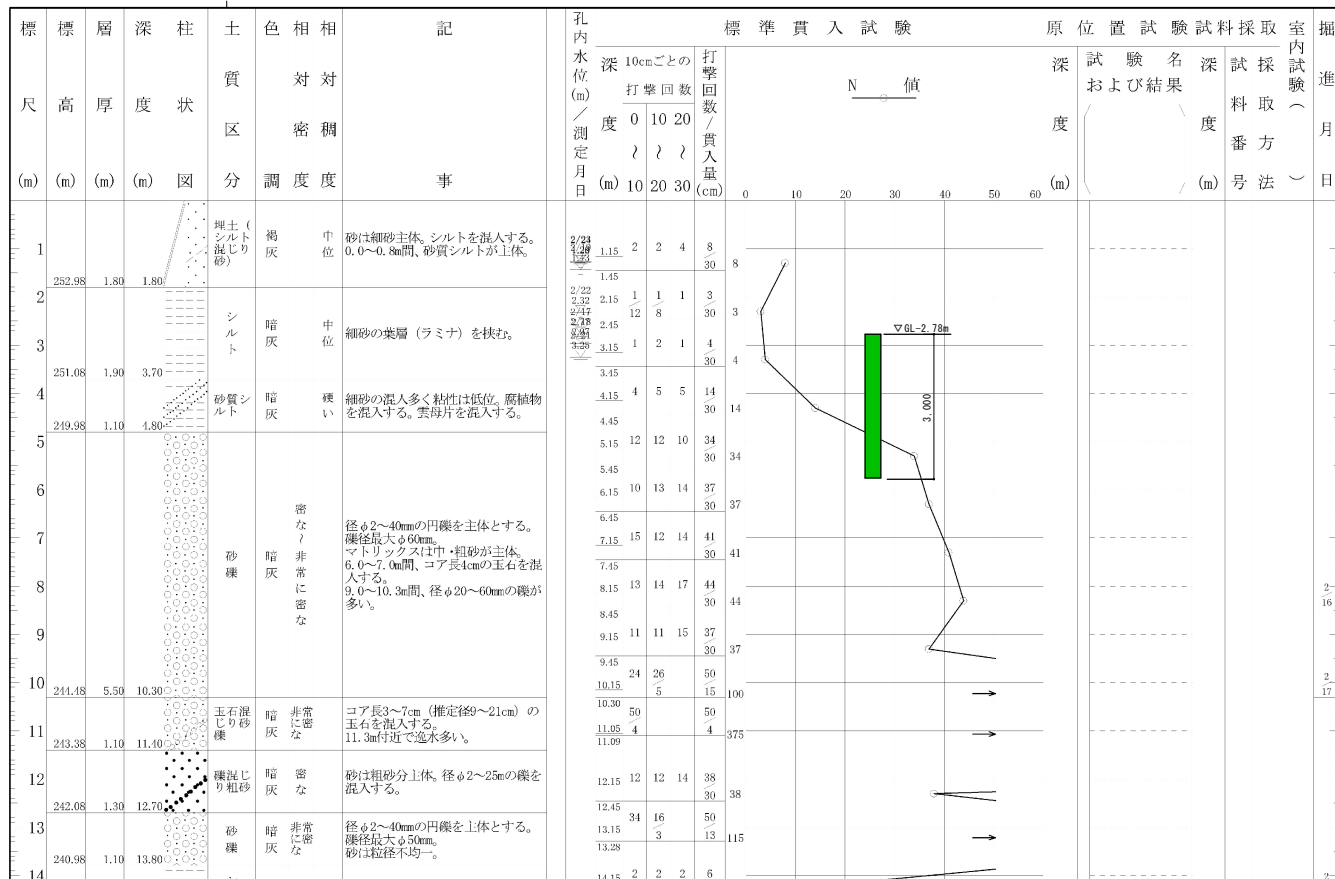
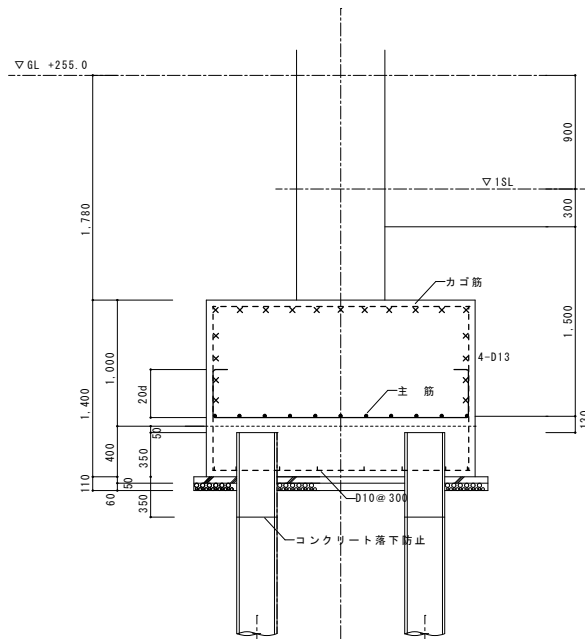


F 3 : 3-318.5Φ



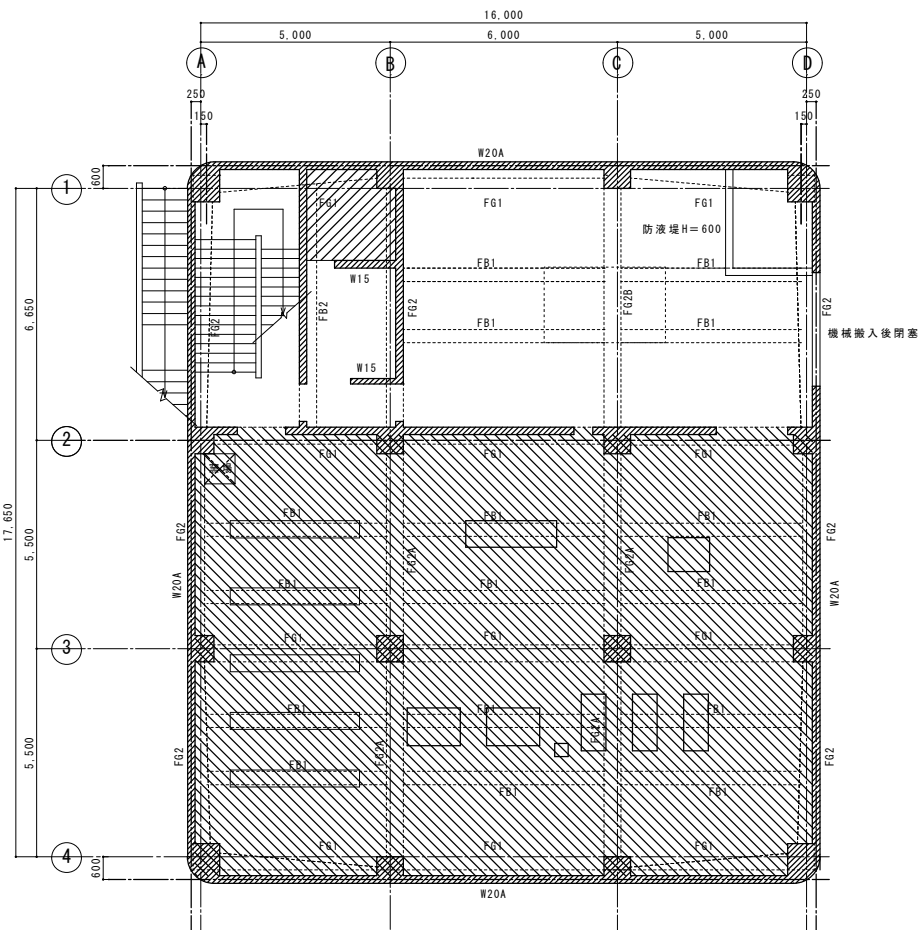
F 4 : 4-318.5Φ

基礎配筋図 S:1/30



杭深度位置図 S:1/30

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
杭伏図 基礎配筋図		S / 7
事業主		縮 尺 1/100 1/30
笛吹市公営企業部水道課		



1 階伏図 S:1/100

特記なき限り

壁 W20

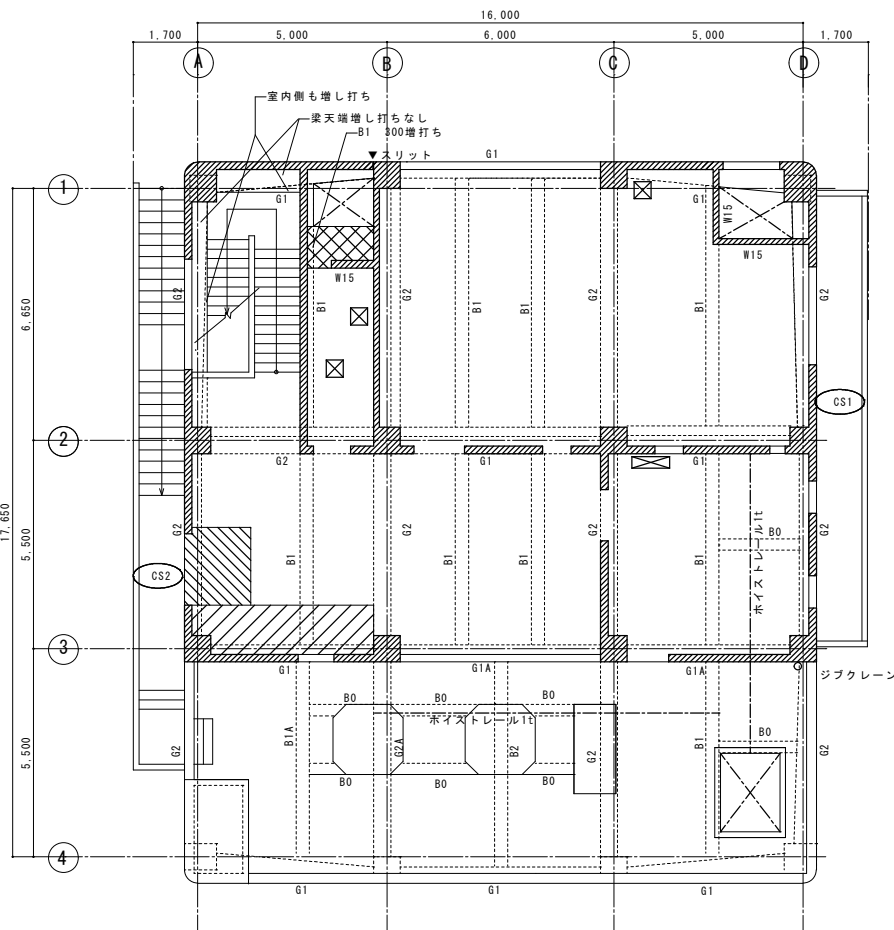
床 FS1

無筋コンクリート厚300

無筋コンクリート厚200

無筋コンクリートなし

中間階伏図 S:1/100



2 階伏図 S:1/100

特記なき限り

壁 W20

床 S2

F L-300 無筋コンクリート厚300

F L-300 無筋コンクリート厚150

F L-300 乾式2重床

F L ± 0

柱 700x700

G 450x700 RF

G 450x800 2F

B 300x600

C G 300x600

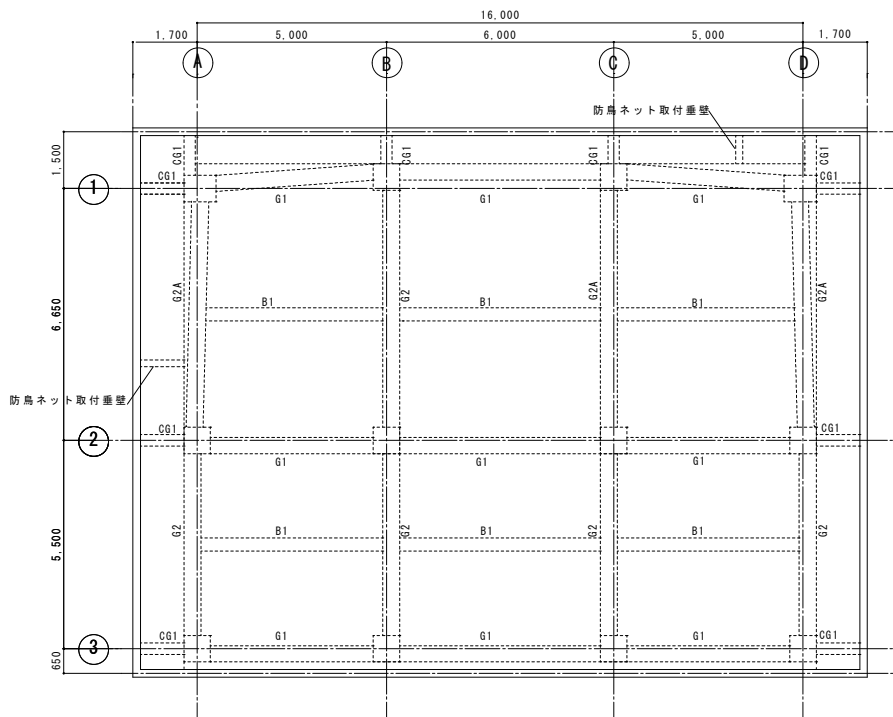
F G 450x1500

F B 350x800

S 1 D=150 RF

S 2 D=200 2F

S 3 D=300 1F

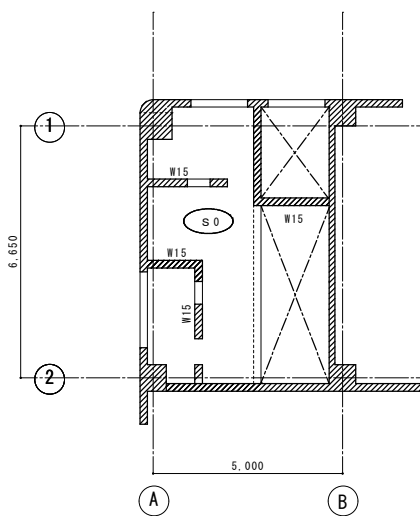


R 階伏図 S:1/100

特記なき限り

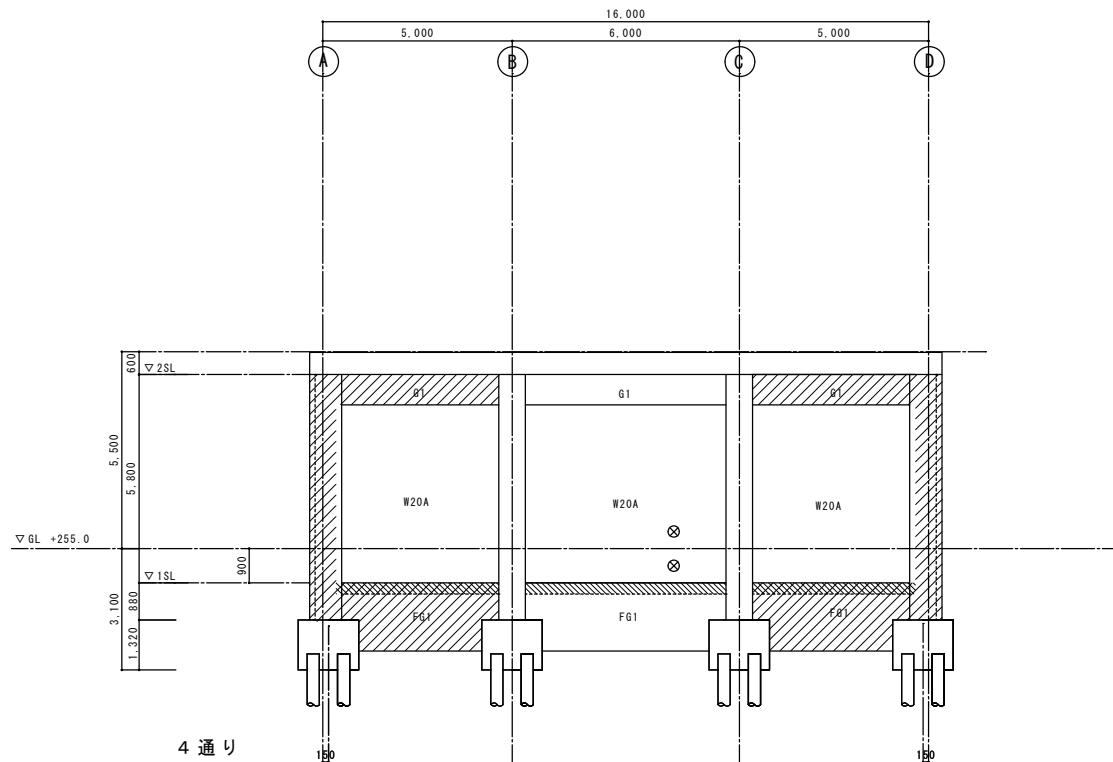
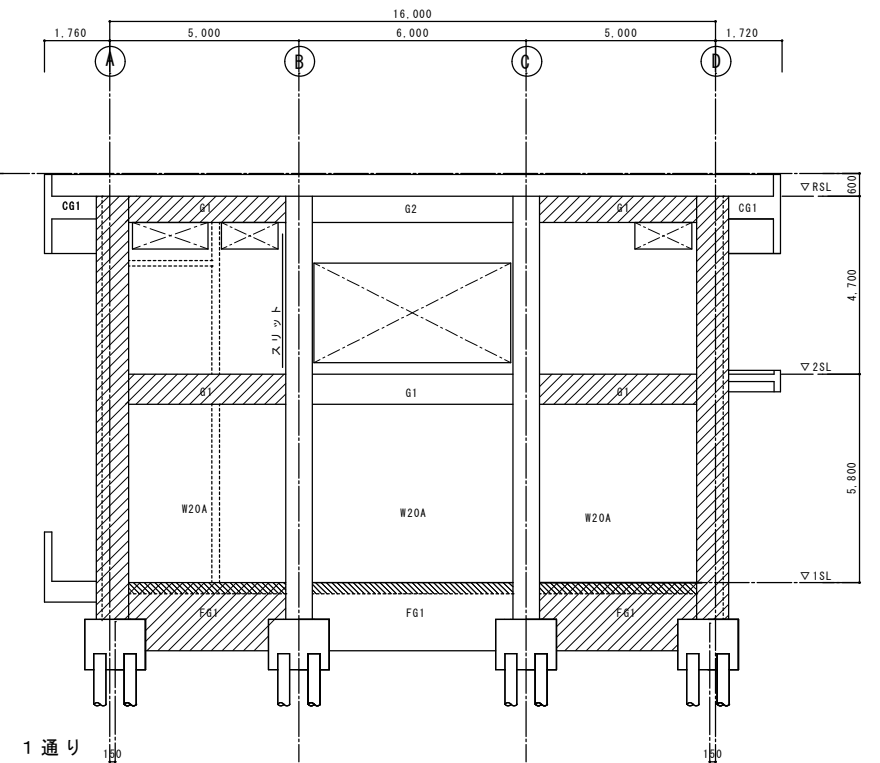
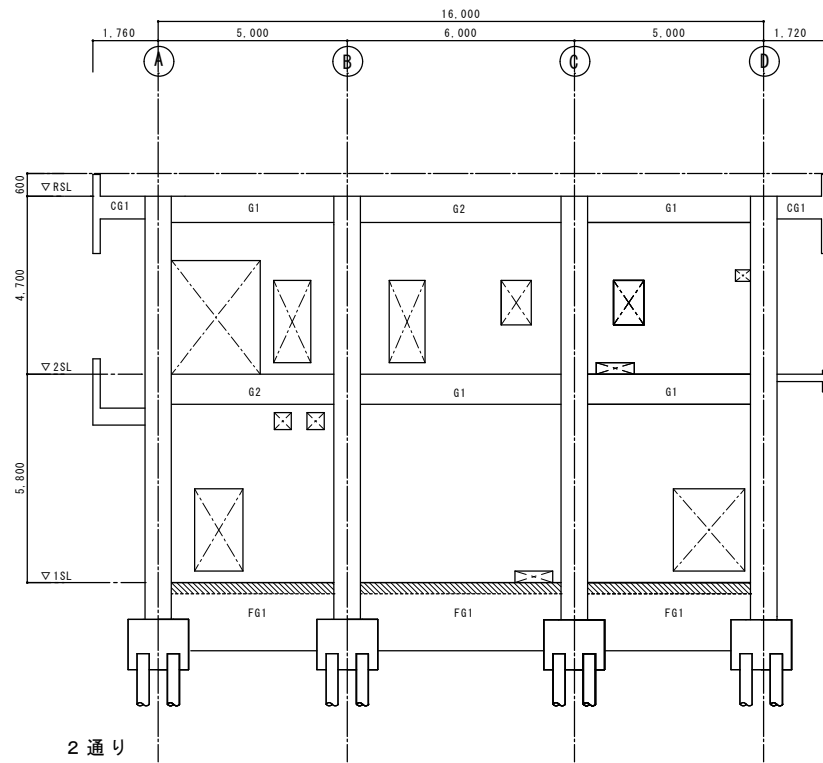
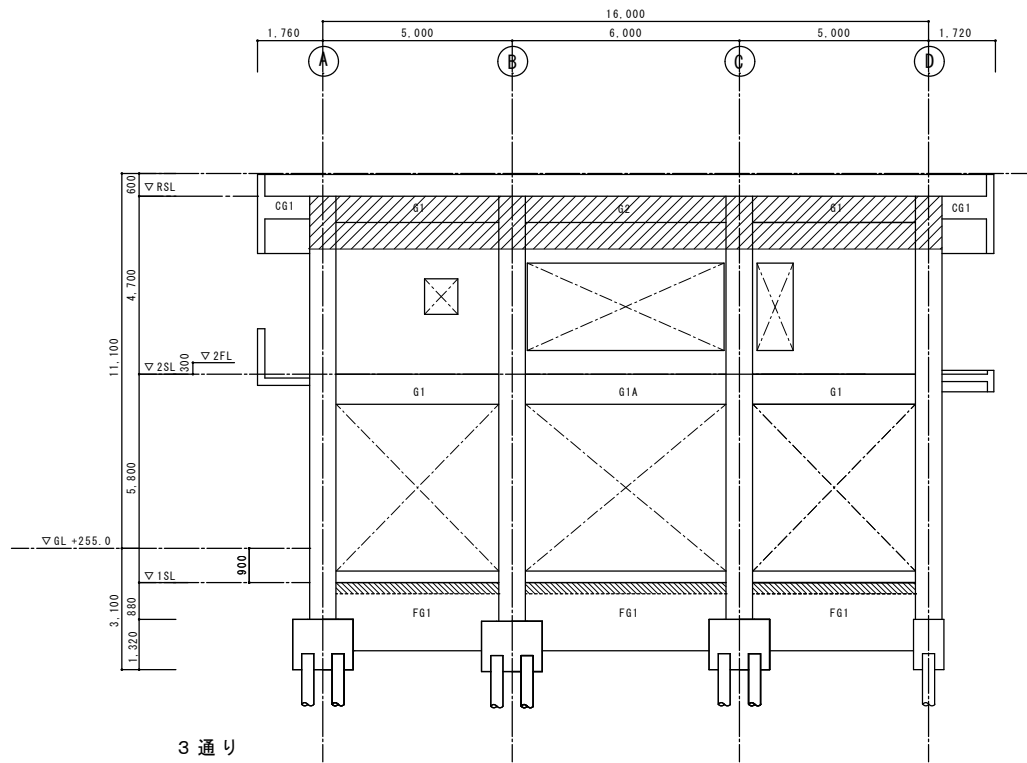
床 S1

RSL 保護コンクリート厚80



中間階伏図 S:1/100

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
伏 図		S / 8
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

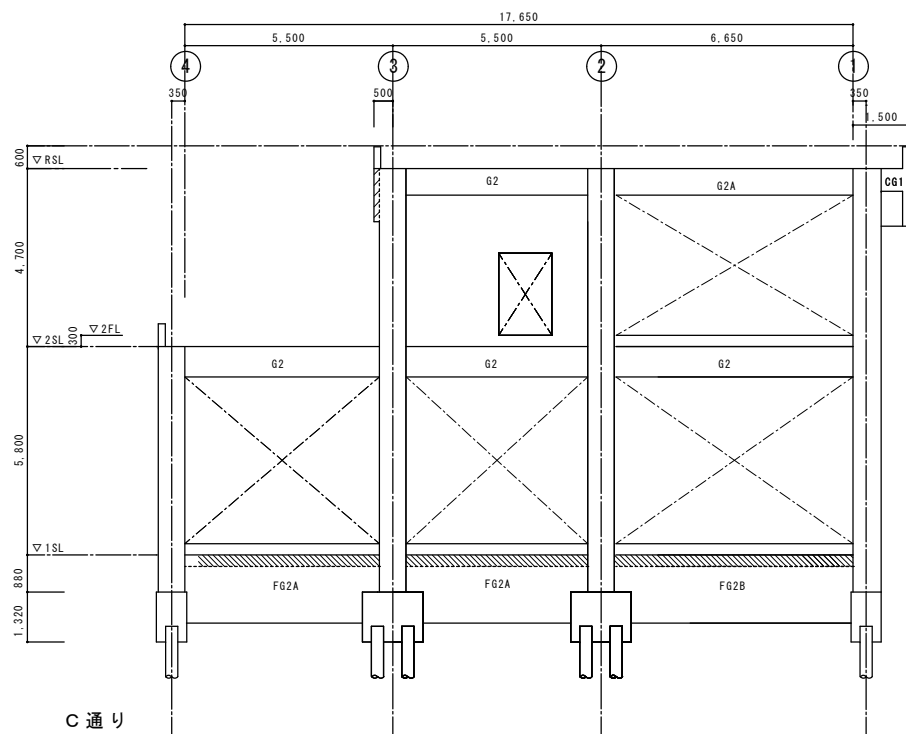
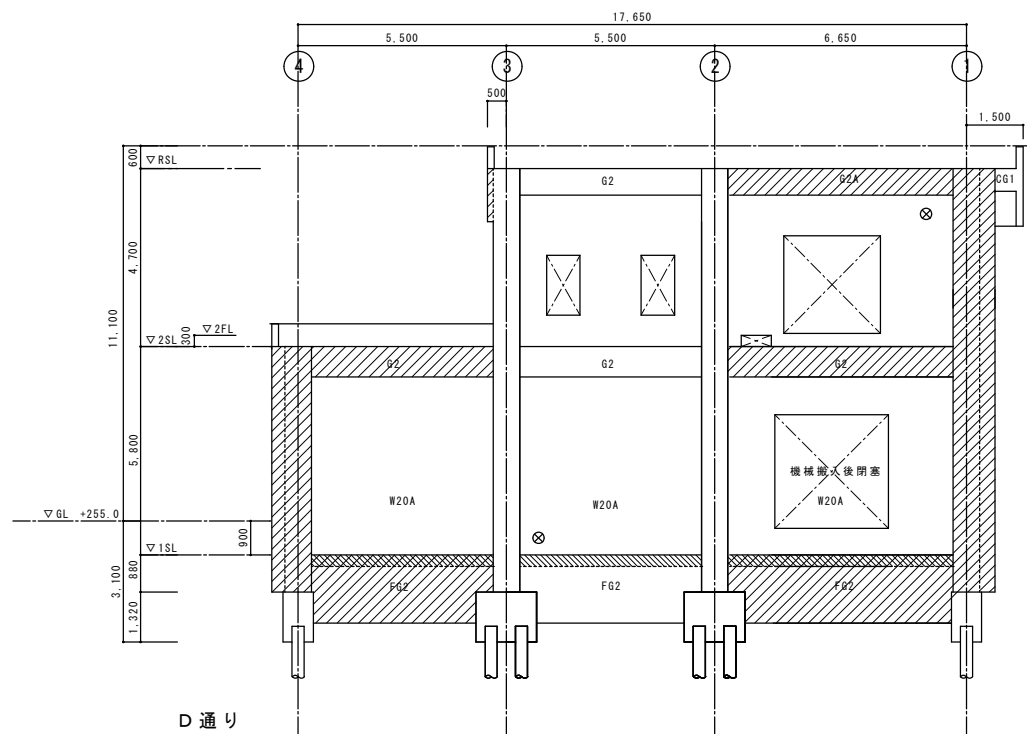
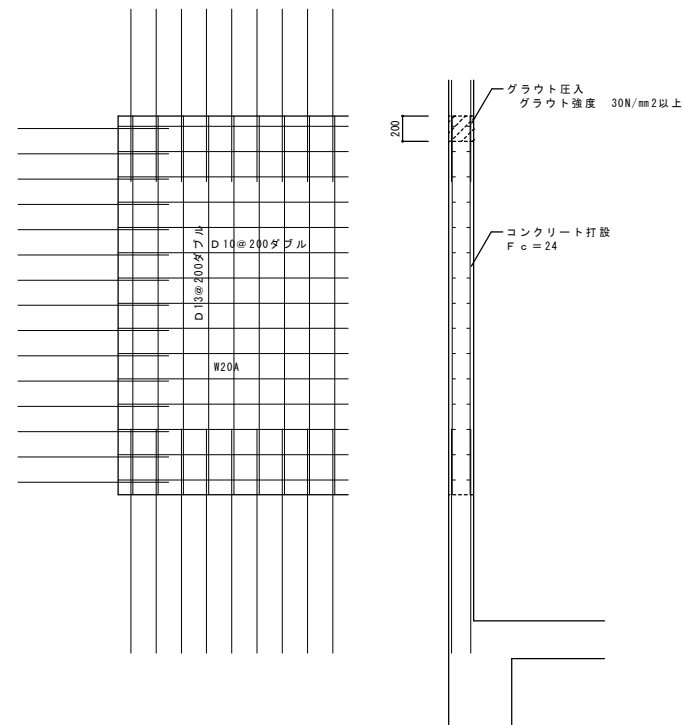
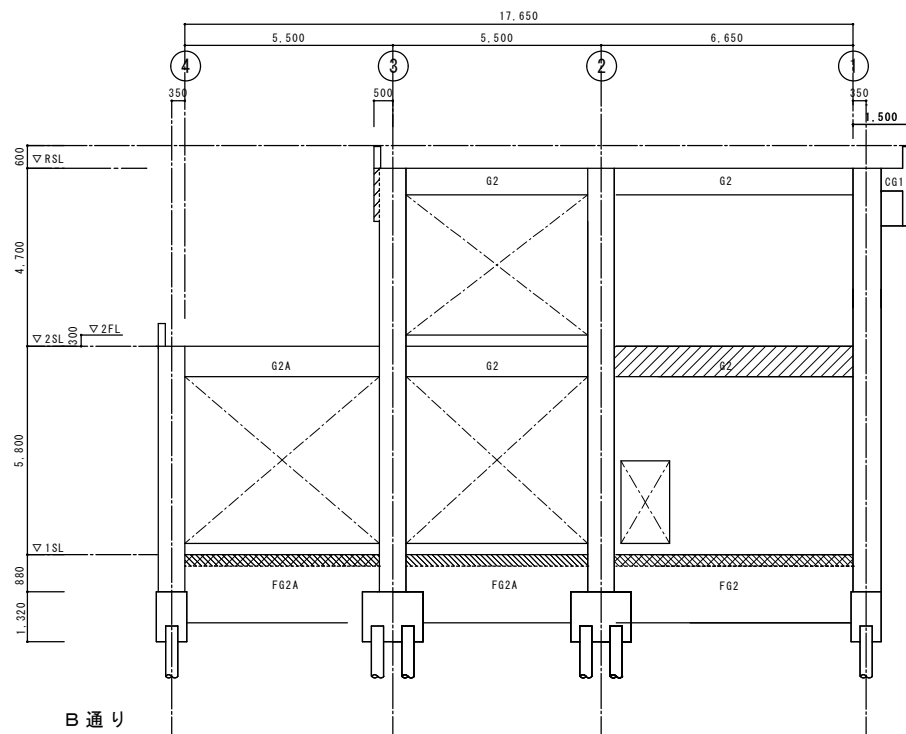
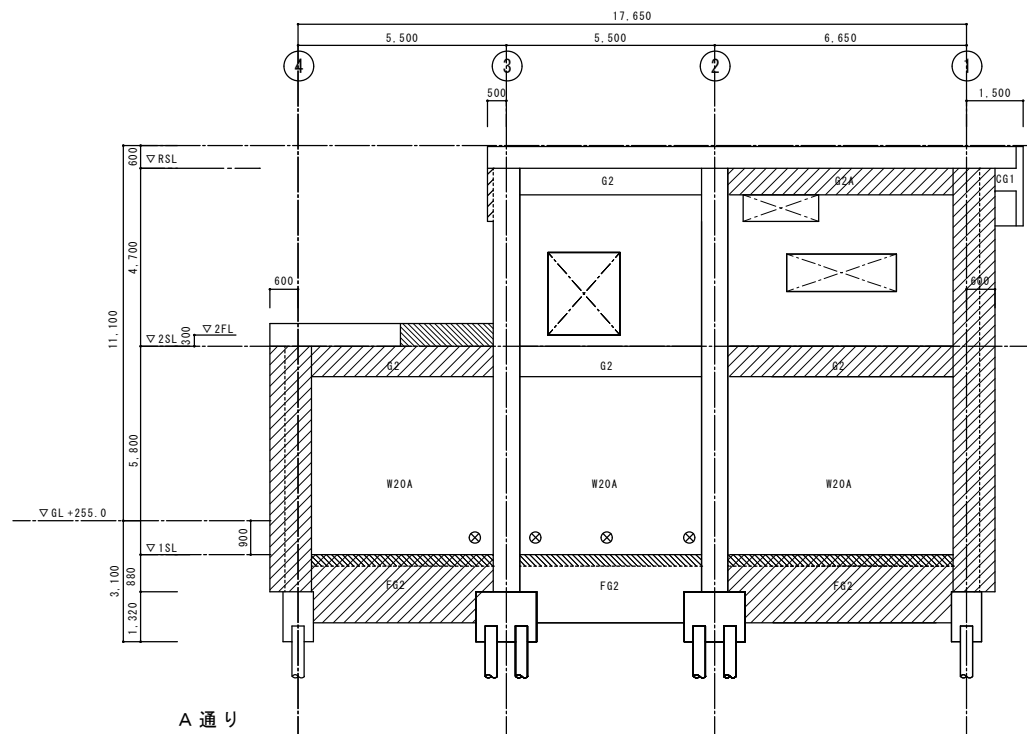


軸組図 1 S:1/100

特記なき限り

- 壁 (W20)
- 上面増し打ち
- 側面増し打ち

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
軸組図 1		S / 9
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



閉塞壁配筋要領 S:1/30

開口面より出ている鉄筋も含めてコンクリートを打設、  
機械搬入後継手長さ部分を切り取る  
最終的に上記の後打ちコンクリートを打設する

軸組図 2 S:1/100

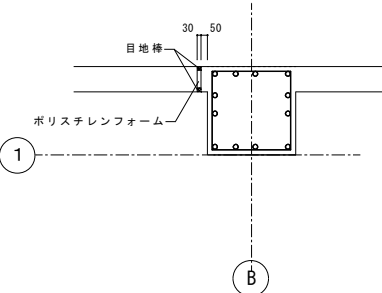
特記なき限り

- 壁 W20
- 上面増し打ち
- 側面増し打ち

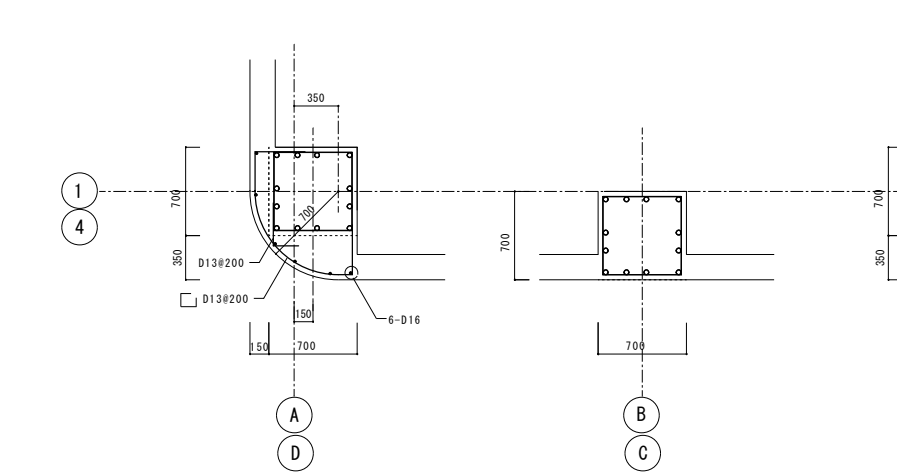
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
軸組図 2		S / 10
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

柱リスト S:1/30

巾止め筋 D10#1000	
符 号	C1
2 階	
主 筋	12-D22
帯 筋	□ D13#100
1 階	
主 筋	12-D22
帯 筋	□ D13#100



スリット詳細 S:1/30



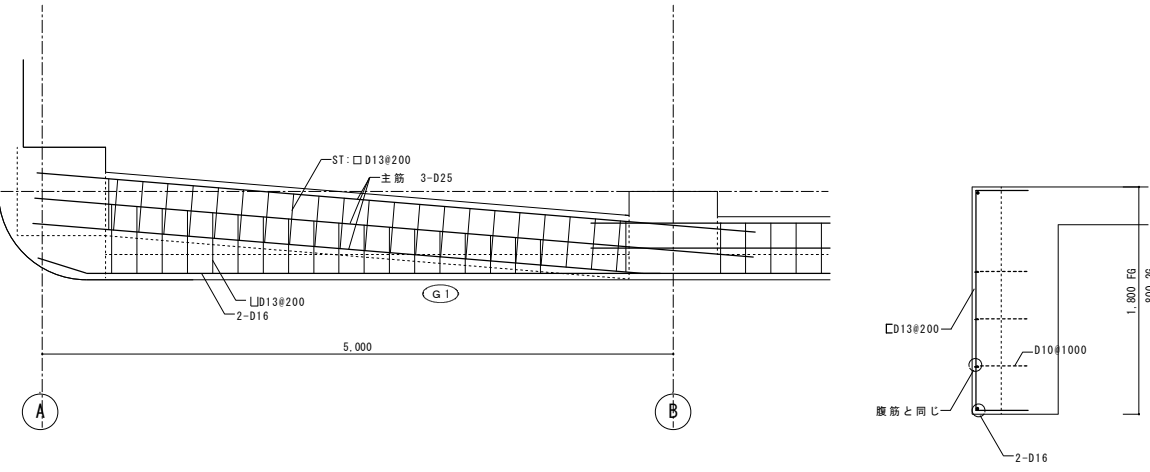
柱増打ち S:1/30

大梁リスト S:1/30

巾止め筋 D10#1000			
符 号	G1、2	G2A	G61
R 階			
位 置	全断面	全断面	全断面
上 端 筋	3-D25	5-D25	3-D25
下 端 筋	3-D25	3-D25	3-D25
腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10
あばら筋	□ D13#200	□ D10#200	□ D10#200
符 号	G1	G1A	G2
2 階			
位 置	全断面	全断面	全断面
上 端 筋	3-D25	5-D25	4-D25
下 端 筋	3-D25	4-D25	4-D25
腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10
あばら筋	□ D13#200	□ D13#200	□ D10#200

地中梁リスト S:1/30

巾止め筋 D10#1000					
符 号	FG1、2	FG2A	FG2B	FB1	FB2
断 面					
位 置	全断面	全断面	全断面	端部	中央
上 端 筋	4-D25	6-D25	6-D25	5-D22	3-D22
下 端 筋	4-D25	4-D25	5-D25	3-D22	5-D22
腹 筋	6-D10	6-D10	6-D10	2-D10	2-D10
あばら筋	□ D13#200	□ D13#200	□ D13#200	□ D13#200	□ D13#200



梁増打ち S:1/30

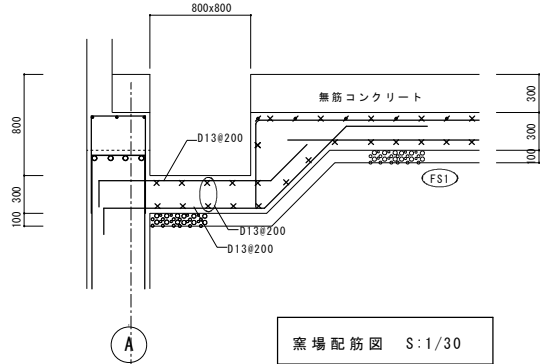
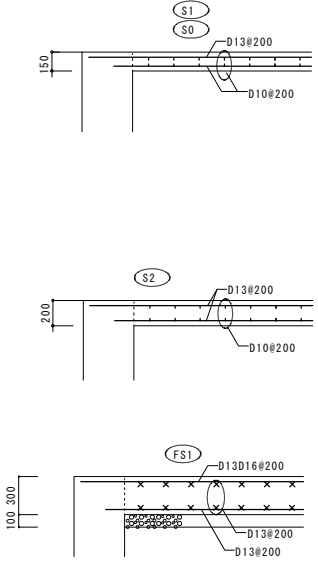
小梁リスト S:1/30

巾止め筋 D10#1000				
符 号	B1 B1A	B2	B0	
断 面				
位 置	外端、中央	内端	端部	中央
上 端 筋	3-D22	5-D22	3-D22	3-D22
下 端 筋	3(5)-D22	3-D22	3-D22	5-D22
腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10
あばら筋	□ D13#200	□ D13#200	□ D13#200	□ D13#200

壁リスト S:1/30

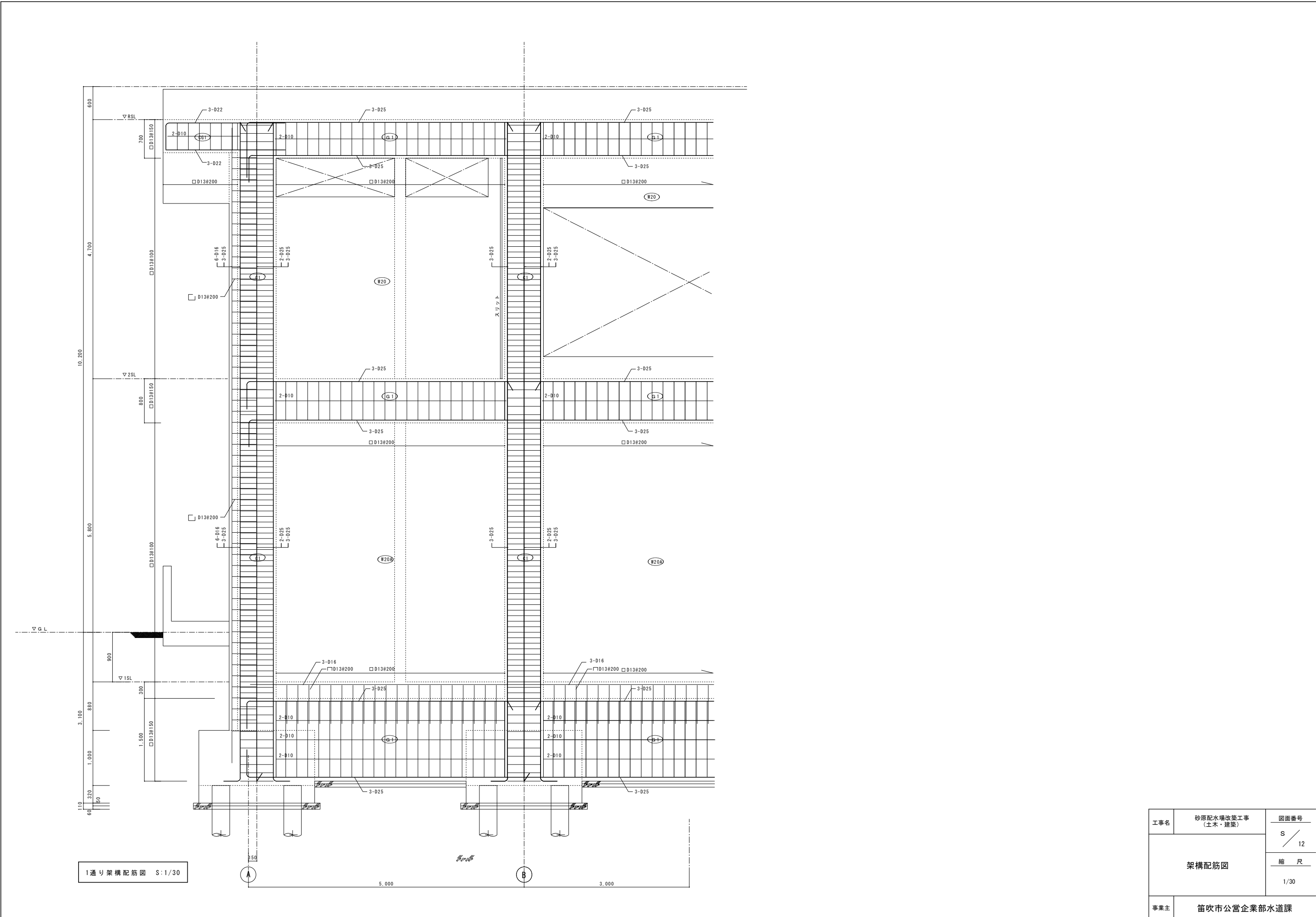
巾止め筋 D10#1000				
符 号	W15	W20	W20A	開口補強筋
断 面				
タテ筋	D10#200	D10#150W	外 D13#100 内 D13#200	
ヨコ筋	D10#200	D10#150W	D10#150W	
補強筋	1-D13	2-D13	2-D13	

床リスト S:1/30



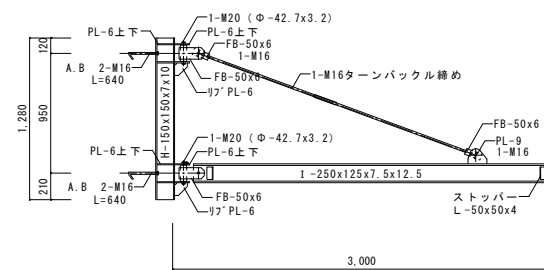
窓場配筋図 S:1/30

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
柱・梁・壁リスト		S / 11
		縮 尺
		1/30
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

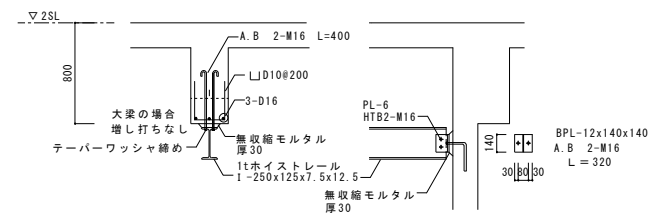


工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
架構配筋図		S / 12
		縮 尺
		1/30
事業主	笛吹市公営企業部水道課	





500kg 未満



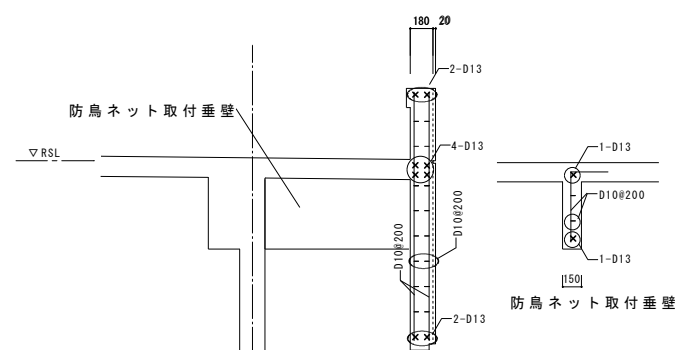
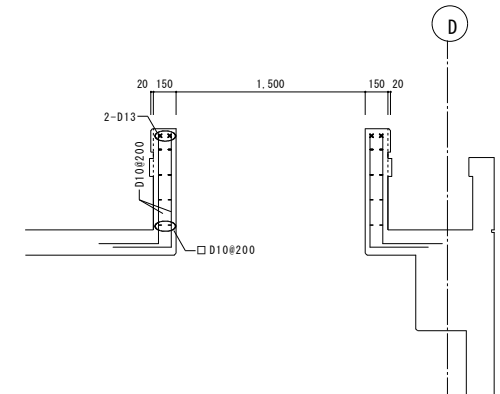
## 鉄骨一般事項

鋼材 S S 400

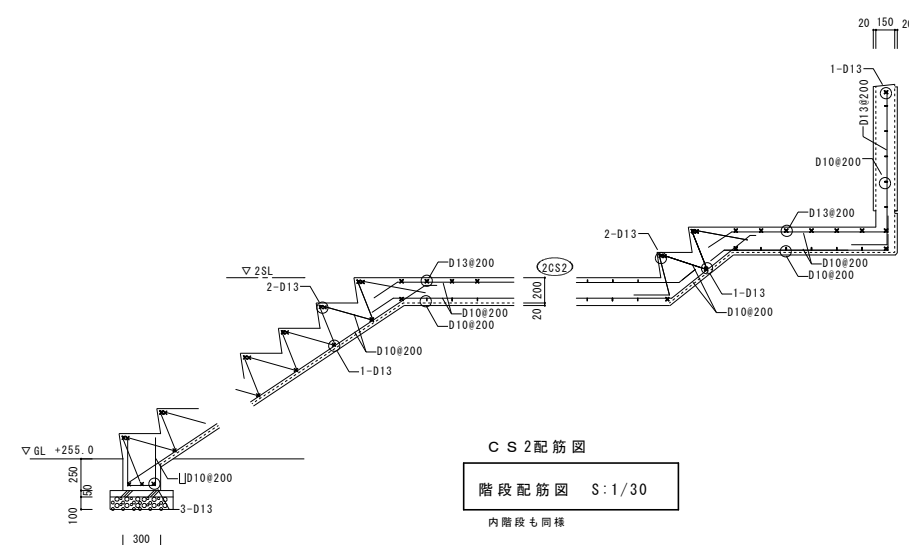
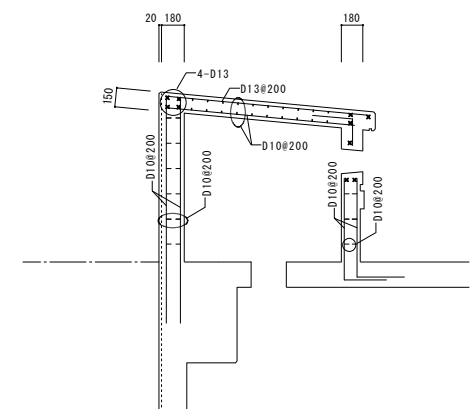
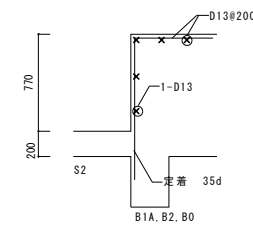
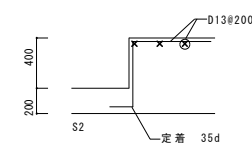
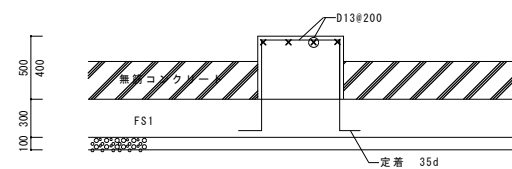
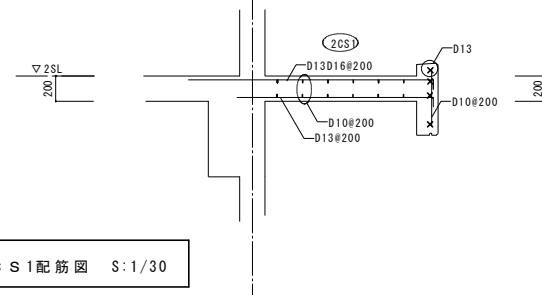
PL類 S S 400

HTボルト M16、20 S10T

A. B SS400

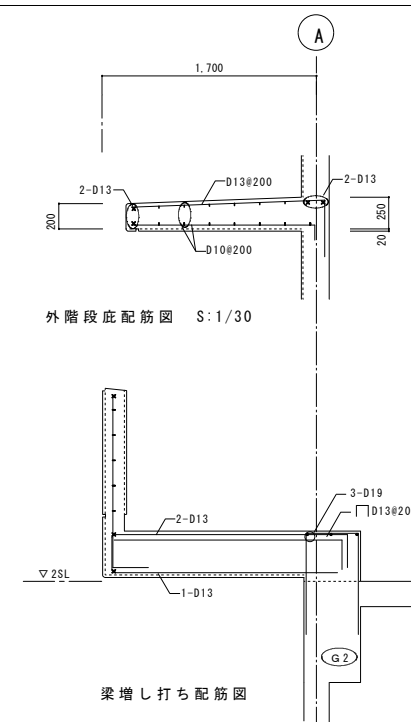


パラペット配筋図 S:1/30



階段配筋図 S:1/30

内階段も同様



梁増し打ち配筋図

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
雑詳細図		S ／ 13
		縮 尺  1/30
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



建築電気設備

工事設計図

令和 年 月 (金 秋)

特記仕様書

Ⅰ. 工事概要

1. 工事場所 山梨県笛吹市

2. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	建築基準法による 延べ面積 (㎡)	消防法施行令 別表第一の区分	施設の種類	備 考
浄水施設	RC	2階建 (地下  階  地上  階)	525.53	15項		新築

(注) 延べ面積は建築基準法による表記)

3. 工事種目 (●印の付いたものが対象工事種目)

建物別及び屋外 工 事 種 目	工 事 種 目	工 事 種 目	工 事 種 目	工 事 種 目	工 事 種 目	工 事 種 目
● 電灯設備	一式					
● 動力設備	一式					
○ 電気自動車用充電設備						
○ 電熱設備						
○ 電暖設備						
○ 変電設備						
○ 電力貯蔵設備						
○ 発電設備						
● 構内情報通信網設備	一式					
● 構内交換設備	一式					
○ 情報表示設備						
○ 映像・音響設備						
○ 拡声設備						
○ 誘導支援設備						
○ テレビ共同受信設備						
○ 監視カメラ設備						
○ 駐車場管制設備						
○ 防犯・入退室管理設備						
● 火災検知設備	一式					
○ 中央監視制御設備						
● 構内配電線路						一式
○ 構内通信線路						
○ テレビ電波障害防除設備						
○						
○						
○						

4. 指定部分 ○ 無 ○ 有 (対象部分 指定部分工期 年 月 日)

5. 改修内容

Ⅱ. 工事仕様

1. 共通仕様

1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁宮繕部制定の下記仕様書等のうち、●印の付いたものを適用する。

○「公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) (最新版)」 (以下「標準仕様書」という。)

○「公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編) (最新版)」 (以下「改修標準仕様書」という。)

(改修標準仕様書の中でいう標準仕様書は、令和4年度版 (電気設備工事編) とする。)

○「公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編) (最新版)」 (以下「標準図」という。)

2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。

なお、機械設備工事の特記仕様書は ( / ) 図、建築工事の特記仕様書は ( / ) 図による。

2. 特記仕様

項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用する。

項 目	特 記 事 項
○ 適用区分	(1) 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 <div>○ 風圧力 風速 (V=  m/s) 地表面粗度区分 (○Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ ○Ⅳ) ○ 積雪荷重 建設省告示第1455号における区域 別表 (  )</div>
● 環境への配慮	(2) 塩害地域 ○ 一般地域 ○ 重耐塩地域 ○ 耐塩地域
	(1) 本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律 (平成12年法律第100号)」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針 (令和4年2月閣議決定)」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。
	(2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 <div>① 合板、木質系フローリング、構造パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びステレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。</div> <div>② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。</div> <div>③ 接着剤は、可塑性 (フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除く。) が添加されていない材料を使用する。</div> <div>④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びステレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。</div>

|  |  |

項 目

特 記 事 項

(3) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。

① 建築基準法施行令第20条の7 第 1 項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料

② 建築基準法施行令第20条の7 第 4 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

③ 建築基準法施行令第20条の7 第 1 項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料

④ 建築基準法施行令第20条の7 第 3 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

(1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

(2) 下表に機材名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、次の①から⑥すべての事項を評価されたことを示す外部機関が発行する書面を提出し、監督職員の承諾を受けた場合は、

① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。

② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。

③ 安定的な供給が可能であること。

④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。

⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

● 機材の品質等

機材等
●LED照明器具 (一般屋内用に限る)
●照明制御装置
○可変速運転用インバータ装置
●分電盤
●制御盤
○キュービクル式配電盤
○高圧スイッチギヤ (DW形)
○高圧スイッチギヤ (PW形)
○高圧交流遮断器
○高圧進相コンデンサ
○高圧限流ヒューズ
○高圧負荷開閉器
○高圧変圧器 (特定機器)
○交流無停電電源装置
○太陽光発電装置 (パワーコンディショナ及び系統連系保護装置)
○監視カメラ装置
○中央監視制御 (監視制御装置)
○
○
○
○
○

● 電源周波数

● 電気工事士

● 工事用仮設物

● 足場その他

● 建設発生土の処理

● 耐震施工

(1) 設備機器の固定は、施設の種類並びに機器の種類、重要度及び設置際に応じて、次の設計用水平地震力及び設計用鉛直地震力に対し、移動、転倒、破壊等が生じないようにする。

①設計用水平地震力  
機器の重量[kN]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。

なお、特記なき場合は、設計用標準水平震度は、次による。

設計用標準水平震度

機 器 種 別		特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上 及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
中間階	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。

・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの

・水槽類には燃料小出タンクを含む。

・重要機器は次のものを示す。

●配電盤 ○発電装置 (防災電源用) ○直流電源装置

○交流無停電電源装置 ○交換装置 ●自動火災報知受信機

○中央監視装置 ○通信総合盤 ○

②設計用鉛直地震力  
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

(2) 横引き配管等の耐震支持は、施設の分類に応じたものとする。

分電盤、制御盤及び端子盤等の2次以降の配管配線経路、配線太さ、配線本数及び管径等は、図面と相違しても差し支えない。ただし、相違する場合は監督職員の承諾を受ける。

● 配管本数、管路等

項 目

特 記 事 項

● 金属製電線管の仕上げ

露出配管の仕上げは次による。

屋外  
● 厚鋼電線管は、溶融亜鉛めっき仕上げ付着量300g/㎡以上のものとする。

○ 塗装あり (場所: )

屋内  
○ 塗装なし (場所: )

○ 塗装あり (場所: )

● 非常用照明装置の照度測定箇所数

○ 電流値等の計測

● 盤類等の色彩計画

● プレートの材質

● 天井仕上区分

● インバータ装置の規約効率

事務室等に設ける○A盤、分電盤、端子盤の鋼板製キャビネット等及び意匠上配慮する必要のある機器の色彩計画を監督職員に提出するものとする。

フラッシュプレート  
● 金属製 (ステンレス、新金属を含む) ○ 樹脂製 ( )

( ) 書きの室名は直天井の室を示し、それ以外は二重天井の室を示す。

三相可変速運転用インバータ装置の規約効率は、次の数値以上とする。

電動機出力 [kW]	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30
規約効率 [%]	定格電圧 200[V] 86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5
	定格電圧 400[V] 87.0	90.5	93.5	94.0	94.5	94.5	95.0	95.0	95.0	96.0	96.5	96.5

電動機出力 [kW]	37	45	55	75
規約効率 [%]	定格電圧 200[V] 95.5	95.5	95.5	95.5
	定格電圧 400[V] 96.5	96.5	96.5	96.5

【備考】(1) 規約効率は、JEM-TR 245 「汎用インバータの規約効率」により算出した値とする。

(2) 0.4kWの規約効率は、JIS C 4212 「高効率低圧三相かご形誘導電動機」のIP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。

(3) 0.75kWの規約効率は、JIS C 4213 「低圧三相かご形誘導電動機—低圧トッランナーモータ」のIP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。

● 機器取付高さ

● 接地極

○ 他工事又は他工種との取り合い

○ 施工調査

○ 既存躯体への穿孔

○ ケーブルの種類

壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載がない場合は、表－1「機器標準取付高さ」による。

図面に記載がない場合は、表－2「接地極一覧表」による。

図面に記載がない場合は、工事区分による。ただし、これにより異なる場合は監督職員と協議する。

事前調査 ( ○ 本工事 ○ 別途 )  
調査項目 ( ○ 既存資料調査 ○ )  
調査範囲 ( ○ 図示 ○ )  
調査方法 ( ○ 図示 ○ )  
○はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に walkthrough 埋設物調査を行い、監督職員に報告を行うこと。

穿孔機械を使用し既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる附属装置等を用いて施工する。

E M－高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395 「6600V 架橋ポリエチレンケーブル (3層押出型)」によるものとする。

呼称 (図示記号)	種 類
6kV EM-CE	6600V 架橋 <sup>※</sup> リフレイン絶縁耐燃性 <sup>※</sup> リフレインスケープ <sup>※</sup> Ⅱ (6600V CE/F (EE))
6kV EM-CET	6600V トリア <sup>※</sup> レックス架橋 <sup>※</sup> リフレイン絶縁耐燃性 <sup>※</sup> リフレインスケープ <sup>※</sup> Ⅱ (6600V CET/F (EE))

表－1 機器標準取付高さ

名称	測点	取付高 [mm]	名称	測点	取付高 [mm]
精算計器	地上～窓中心	1,800～2,000	壁掛形親時計	床下～中心	1,500
引込開閉器 (低圧)	地上～中心	1,800～2,200	子時計	〃	(天井高)×0.9
分電盤	床下～中心	1,500	壁掛形スピーカ	〃	(天井高)×0.9
			壁付アッテネータ	〃	1,300
スイッチ	床下～中心	1,300			
〃 (多機能トイレ)	〃	1,100	情報表示盤	床下～中心	(天井高)×0.9
コンセント (一般)	〃	300	壁付発信機	〃	1,300
〃 (和室)	〃	150	ベル、ブザー、チャイム	〃	2,300
〃 (台上)	台上～中心	150～200	壁付押しボタン (一般)	〃	1,300
〃 (車椅子用)	床下～中心	900			
ブラケット (一般)	〃	2,100～2,300			
〃 (踊場)	〃	2,000～2,500			
〃 (鏡上)	鏡上端～中心	150			
			外部受付用インターホン (子供)	「標準図」による。	
			壁付インターホン (上記以外)	床下～中心	1,300
			壁付押出ボタン (多機能トイレ)	〃	900 (400)
壁掛形制御盤	床下～中心	1,500			
開閉器箱	〃	1,500 (上端1,900以下)	機器収容箱 (室内)	天井下～上端	200
制御用スイッチ	〃	1,300	テレビ端子 (一般)	床下～中心	300
			〃 (和室)	〃	150
端子室 (室内)	床下～下端	300			
集合保安器箱	天井下～上端	200			
壁付電話機 (一般)	床下～中心	1,300	受信機・副受信機	床下～操作部	800～1,500
			機器収容箱	〃	800～1,500
			発信機	床下～中心	800～1,500
			警報ベル	〃	(天井高)×0.9
			表示灯	〃	(天井高)×0.8
			液化石油ガス検知器	床下～上端	300

(備考) (天井高)×0.9及び(天井高)×0.8は天井高が2,500～3,000mmの場合に適用する。

注) 天井高3,000mm以上の場合及び上記取付高さでは機器の使用に支障がある場合は、監督職員と協議する。

呼出ボタン (多機能トイレ) の取付け高さ (400) は床下に転倒した時を考慮した高さを示す。

表－2 接地極一覧表

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極の規格・数量
○ 共用接地	E <sub>a</sub> ・d	10Ω以下	EB ( D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200 ) ×3連 一 組
○ 共用接地	E <sub>a</sub> ・c・d	10Ω以下	EB ( D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200 ) ×3連 一 組
○ A種	E <sub>A</sub>	10Ω以下	EB ( D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200 ) ×3連 一 組
○ B種	E <sub>B</sub>	Ω以下	EB ( D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200 ) ×3連 一 組
○ C種	E <sub>c</sub>	10Ω以下	EB ( D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200 ) ×3連 一 組
● D種	E <sub>D</sub>	100Ω以下	EB ( D=10, L=1,000 又は W=30, L=900 ) ×1
○ D種	E <sub>D</sub>	Ω以下	EB ( D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200 ) ×3連 一 組
○ 高圧避雷器用	E <sub>LH</sub>	10Ω以下	EB ( D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200 ) ×3連 一 組
○ 交換装置用	E <sub>t</sub>	10Ω以下	EB ( D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200 ) ×3連 一 組
○ 通信用 (10Ω)	E <sub>u</sub> ・t	10Ω以下	EB ( D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200 ) ×3連 一 組
● 通信用 (100Ω)	E <sub>ou</sub> ・t	100Ω以下	EB ( D=10, L=1,000 又は W=30, L=900 ) ×1
● 電話引込口の保安器	E <sub>L</sub> ・t	100Ω以下	EB ( D=10, L=1,000 又は W=30, L=900 ) ×1
○ 測定用	E <sub>co</sub>		EB ( D=10, L=1,000 又は W=30, L=900 ) ×1

工事名

砂原配水場改築工事 (土木・建築)

図面番号

AE / 01

電気設備特記仕様書

縮 尺

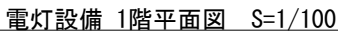
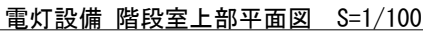
NS

事業主

笛吹市公営企業部水道課

照明器具姿図

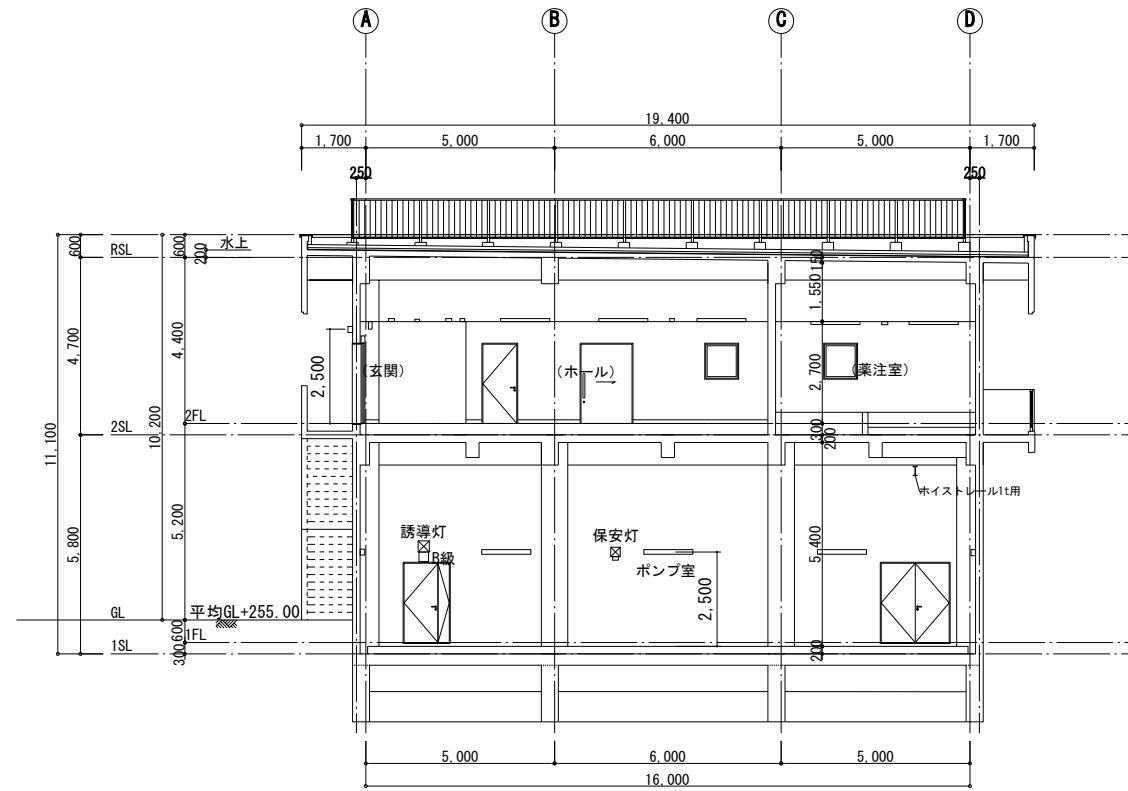
記号	電圧	ランプ仕様	公共施設照明記号	備 考	記号	電圧	ランプ仕様	公共施設照明記号	備 考	記号	電圧	ランプ仕様	公共施設照明記号	備 考
A1	100V ～200V	LED40形	LSS1-4-30-LN		B1	100V ～200V	LED40形	LSS9-4-23-LN		C	100V ～200V	LED40形	LRS3-4-37-LN	
A2	100V ～200V	LED40形	LSS1-4-37-LN		B2	100V ～200V	LED40形	LSS9MP/RP-4-46-LN						
A3	100V ～200V	LED40形	LSS1-4-48-LN											
A4	100V ～200V	LED40形	LSS1-4-65-LN											
A5	100V ～200V	LED40形	LSS1MP/RP-4-64-LN	防湿形										
D1	100V ～200V	LED100形	LRS1-08-LN		E	100V ～200V	LED40形	LBF3MP/RP-4-26-LN	防雨形	F	100V ～200V	LED40形		
D2	100V ～200V	LED150形	LRS1-13-LN											
					ウォールライト					 無線調光 光束：6680lm 消費電力43.5W、定格出力型 本体：亜鉛鋼板、反射板：鋼板 W＝220 光源寿命：40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 （製造者標準品とする）				
G	100V ～200V	LED20形			H	100V ～200V	LED40形		防雨形	I	100V ～200V	LED	LPJ1M-180	防雨形
 人感センサ 光束：1600lm 消費電力11.6W、定格出力型 本体：鋼板 光源寿命：40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 （製造者標準品とする）					ウォールライト 人感センサ 光束：2980lm 消費電力27W、高出力型 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート 光源寿命：40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 保護等級：IP23 LED内蔵、電源ユニット内蔵（製造者標準品とする）					水銀灯1000形相当  投光器取付台参考図				
J	100V ～200V	LED	K1-LRS11-2		K	100V ～200V	LED	K1-LSS11-2		L	100V ～200V	LED	K1-LSS14MP-2	防湿形
非常灯 30分型 					非常灯 30分型 					非常灯 30分型 				
M	100V ～200V	LED	LDS1-K1-LBF11-LN		N1	100V	LED	SH1-FBF20-C		O	100V	LED		防雨型
					N2	100V	LED	SH1-FSF20-C						
階段灯非常照明 30分型 					避難口誘導灯 (C)-C級 					避難口誘導灯 (B)-B級  B級 片面型 天井直付型（防雨型） 一般型（20分間） ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 （製造者標準品とする）				
ハンディライコン ・自己点検スイッチ  納品：ハンディライコン 1個   納品：自己点検スイッチ付、充電モニタ（緑）付 1個 					ガード金具参考図    材質：ガード・取付金具：ステンレス 適用灯具寸法 (mm)：1,400x200未満					壁付非常灯取付参考図    K1-LSS11-2： K1-LSS14MP-2：(A) SS250x250x250WP-VE（樹脂製防水）				



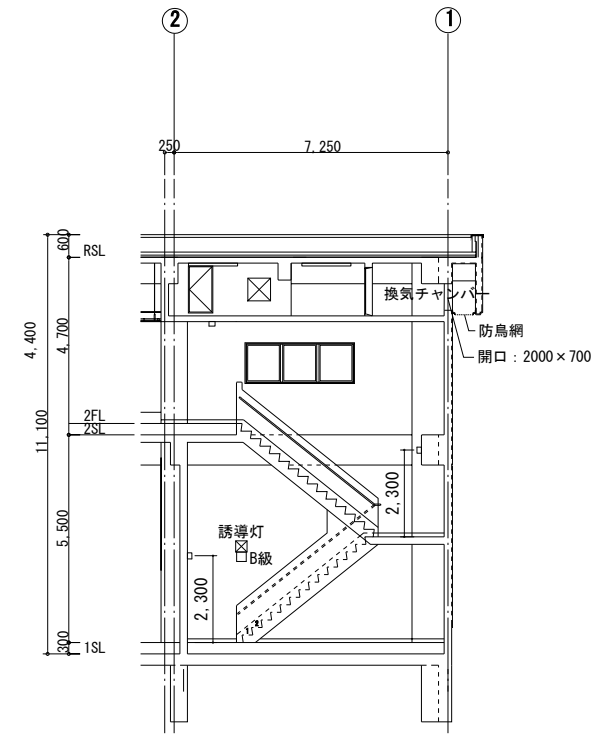
電灯設備 2階平面図 S=1/100

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
		AE / 03
電灯設備 1階、2階平面図		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

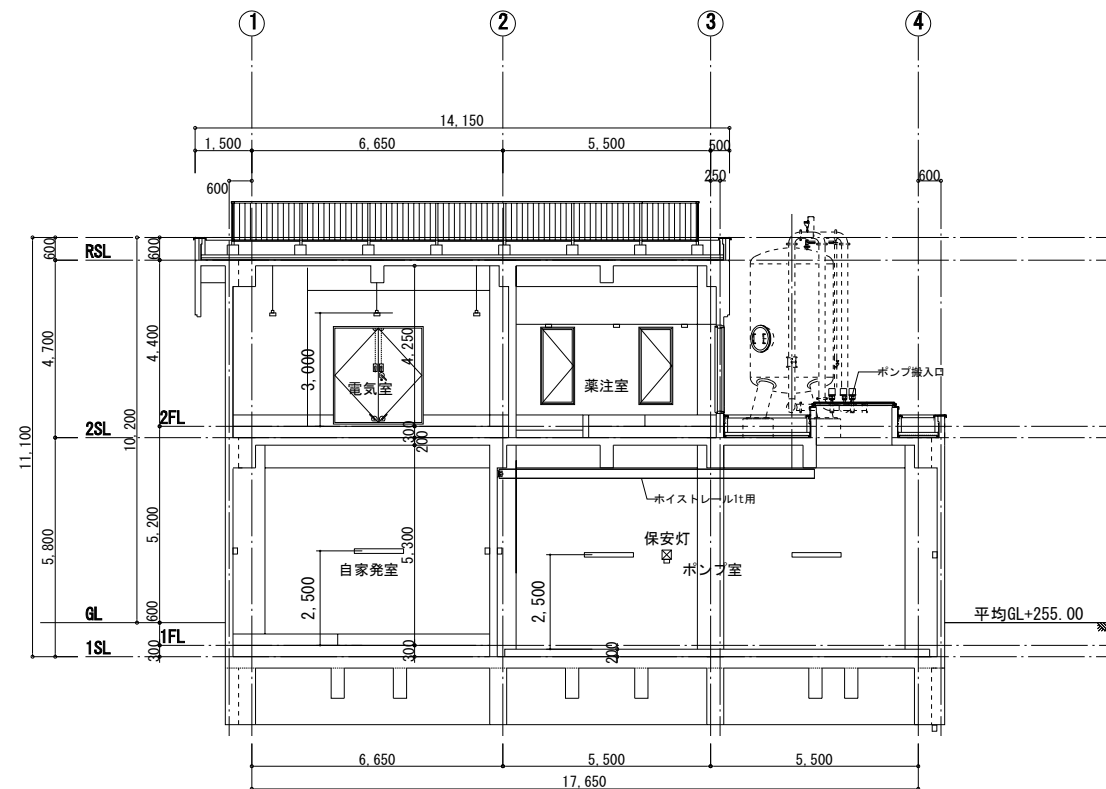




a-a断面図 S=1/100



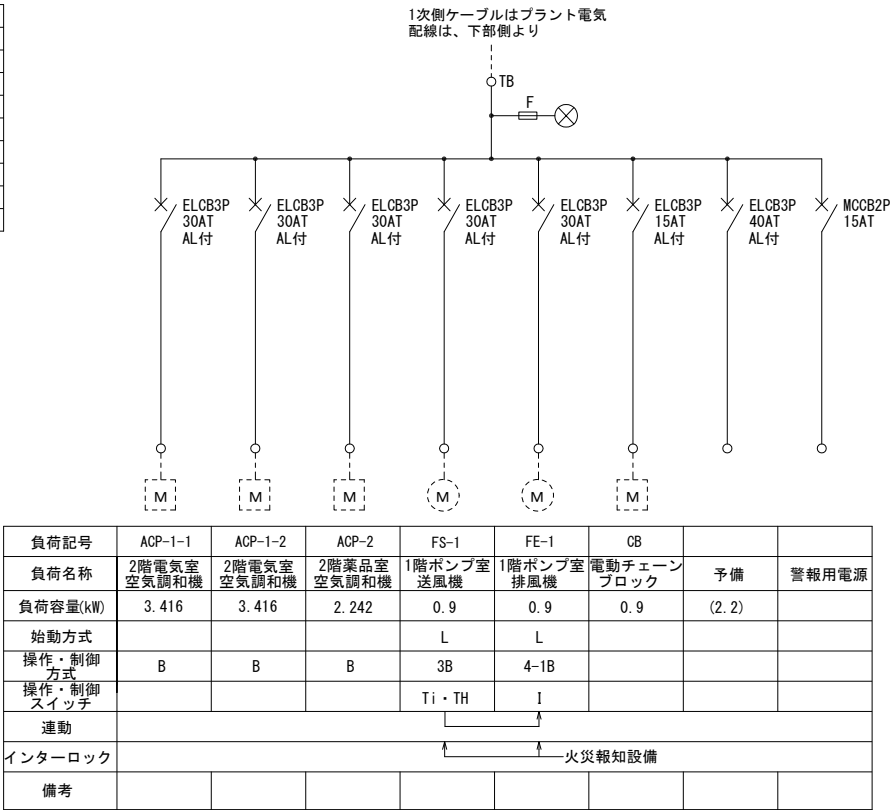
内部階段断面図 S=1/100



b-b断面図 S=1/100

工事名	砂原配水場改善工事 (土木・建築)	図面番号
a-a, b-b断面図 内部階段断面図		AE / 05
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

動力制御盤 名 称		P-1
キャビネット形式		屋内壁掛形
電気方式	種別	常用回路
	相線	3φ3W
	電圧	200V
負 荷 容 量		13.974kW
幹 線 記 号		—
主幹器具	端子台定格電流	150A
	定格電流	—
	定格遮断電流	10kA



動力制御盤結線図

(凡 例)

国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)」による。

始動方式 L……直入

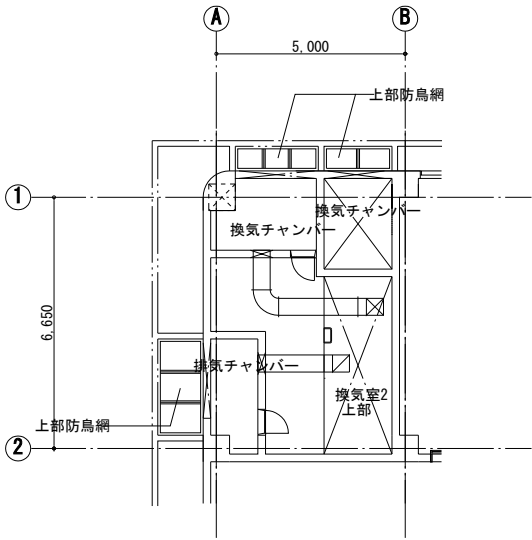
操作・制御方式 B……ブザー及び橙表示灯及び警報用接点を設ける。  
3……手動-自動  
4-1……試験-自動

操作・制御スイッチ I……連動スイッチ  
Ti……タイムスイッチ  
TH……サーモスタット

- (注 記)
- 制御盤の故障を一括して外部に出力する。
  - 制御盤の警報ブザーは、30分間鳴動後、自動停止とすること。
  - タイマースイッチ:24時間用(停電補償付)
  - 火災移報接点により送排風機を停止する。

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
		AE / 06
		縮 尺
動力制御盤結線図		NS
事業主	笛吹市公営企業部水道課	





階段室上部平面図 S=1/100

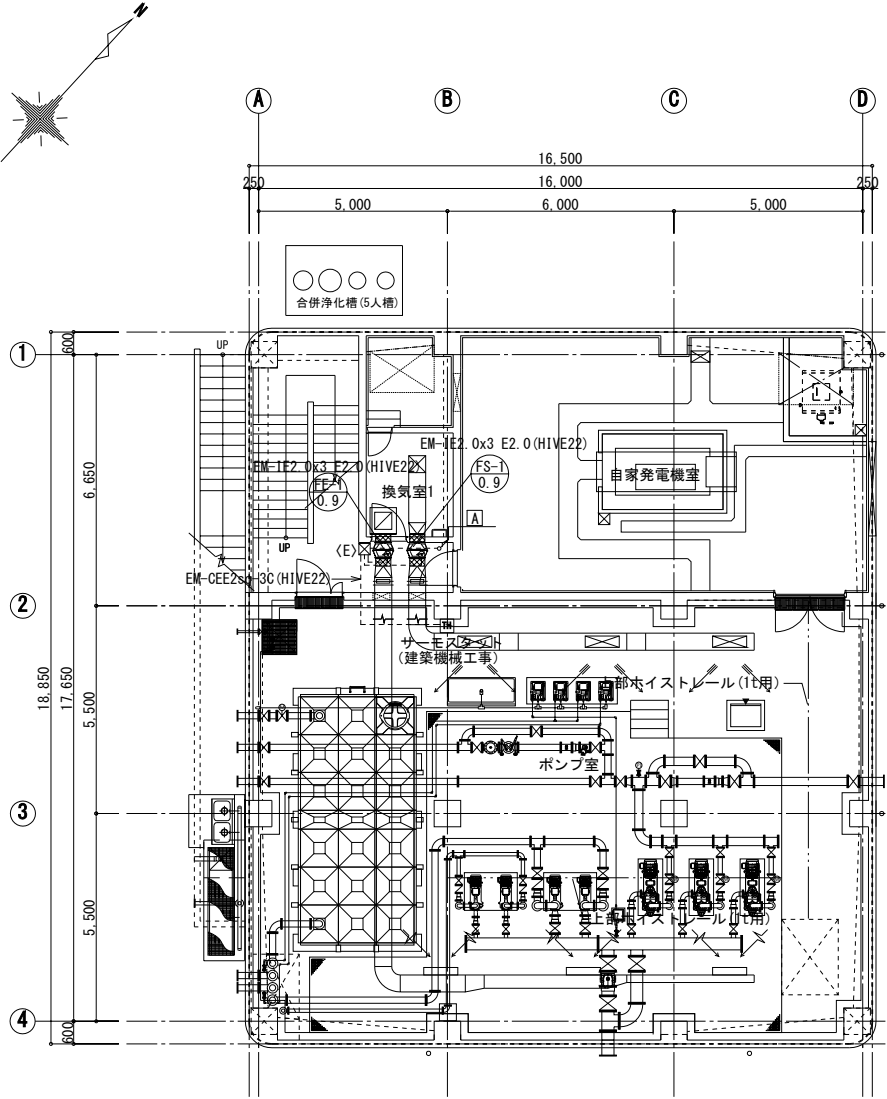
凡 例

記 号	名 称	記 号	名 称
☒	動力制御盤	☒	ブルボックス
☒	屋外形開閉器盤	---○	露出ボックス
☐	電動機	-----	配管配線
☐	電動機	-----	露出
☐	電動機	-----	隠ぺい
☐	サーモスタット (建築機械工事)	☐	立上げ・引下げ
		—ε—	PF管天井内突出し

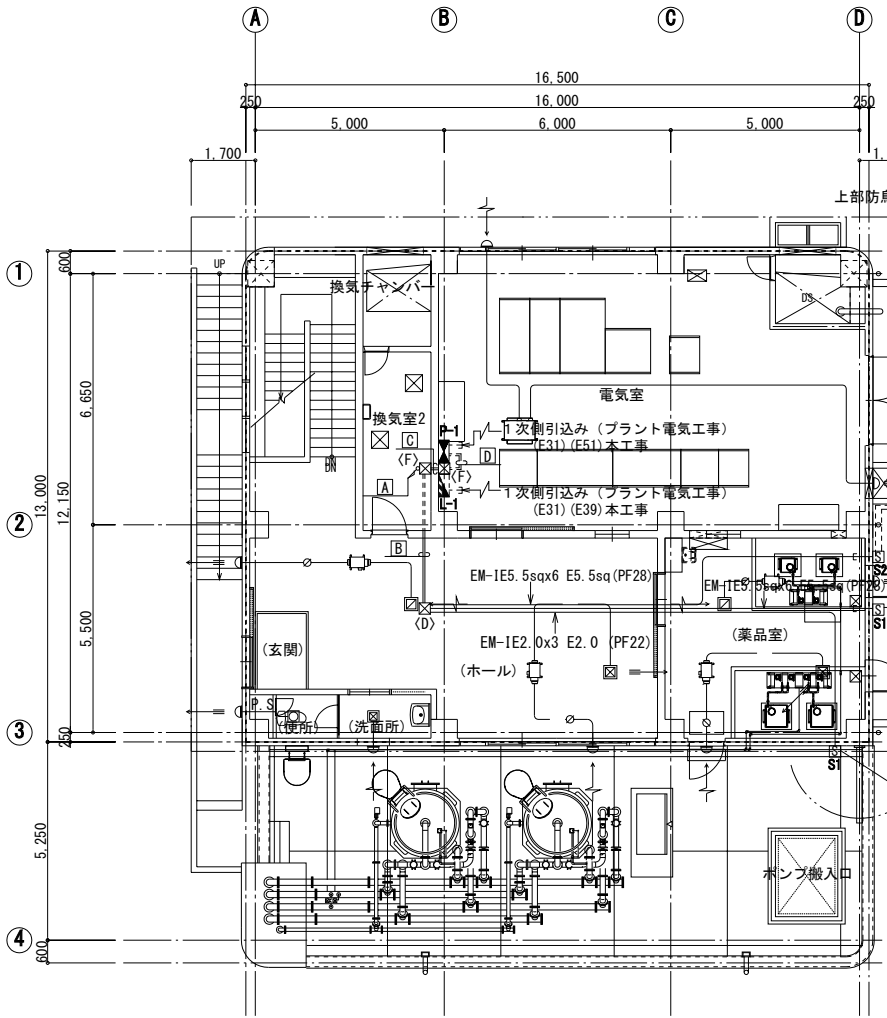
注 記

1. ブルボックスサイズ

- ☒ (D) P.BOX SS 300x300x200-VE  
☒ (E) P.BOX SS 300x300x200-WP-VE  
☒ (F) P.BOX SS 300x300x200



動力設備 1階平面図 S=1/100



動力設備 2階平面図 S=1/100

- ☒ : 屋外形開閉器盤  
S1 (MCCB3P50AF/NT)  
☒ : 屋外形開閉器盤  
S2 (MCCB3P50AF/NTx2)  
EM-CE5.5sq-3C E2.0 (G22) (F24V)-WP  
ACP-1-1 (上段)  
3.416  
EM-CE5.5sq-3C E2.0 (G22) (F24V)-WP  
ACP-1-2 (下段)  
3.416  
EM-CE5.5sq-3C E2.0 (G22) (F24V)-WP  
ACP-2  
2.242  
EM-IE2.0x3 E2.0 (PF22)  
CB  
0.9

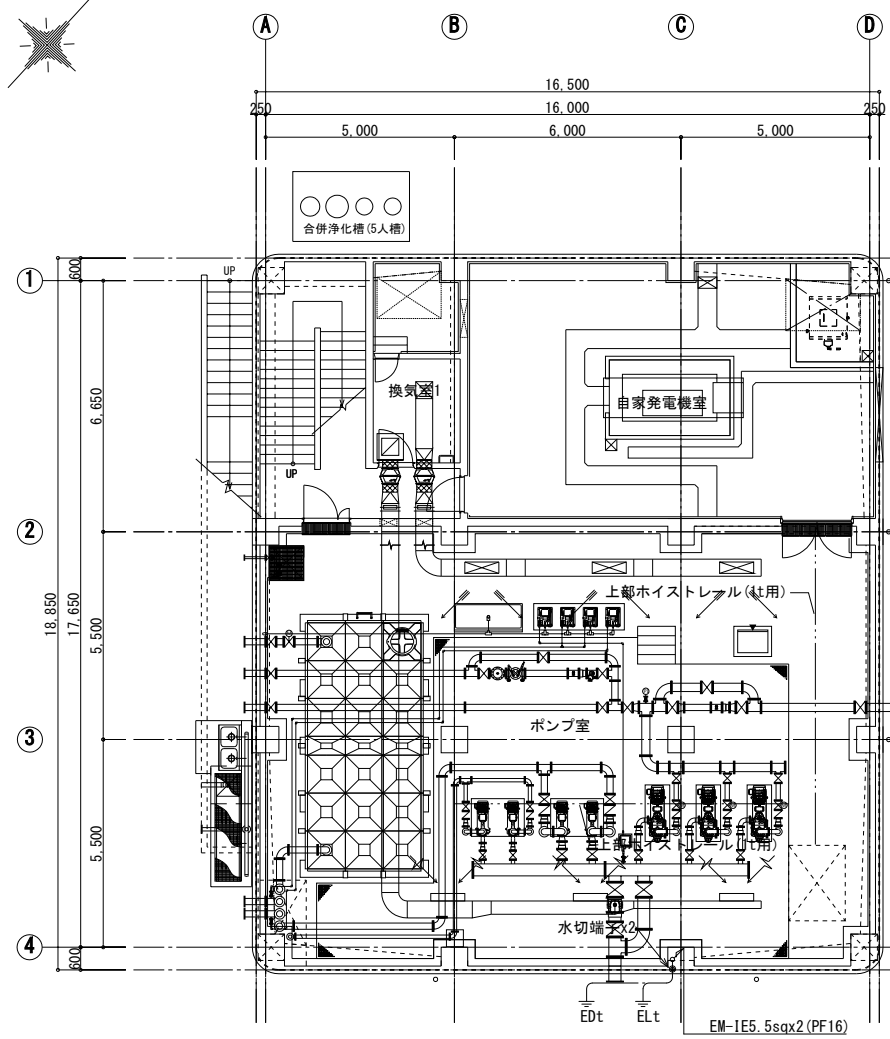
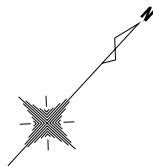
- A  
EM-IE2.0x6 E2.0 (HIVE28) FS-1, FE-1  
EM-CEE2sq-3C (HIVE22) サーモスタット

- B  
EM-IE5.5sqx6 E5.5sq (HIVE28) ACP-1-1, 1-2  
EM-IE5.5sqx3 E5.5sq (HIVE28) ACP-2  
EM-IE2.0x3 E2.0 (HIVE28) CB

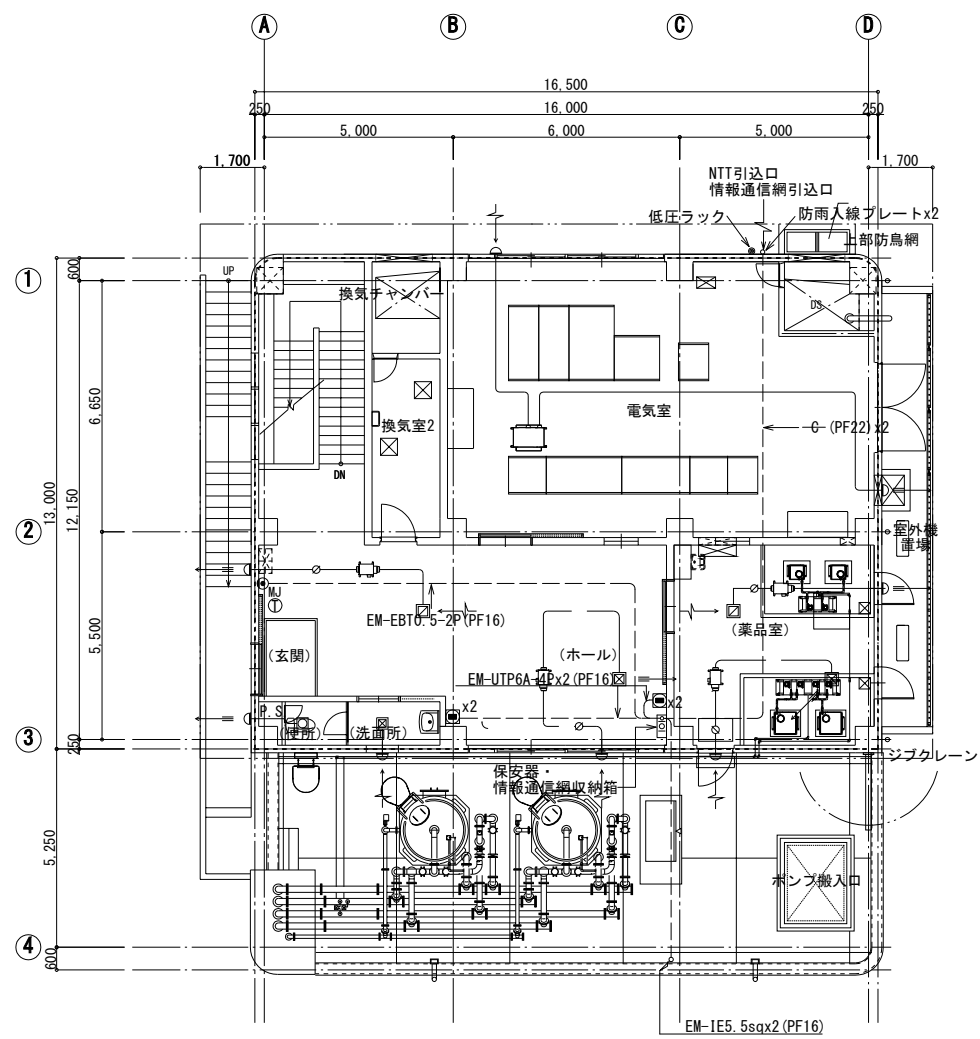
- C  
EM-IE2.0x6 E2.0 (E31) FS-1, FE-1  
EM-CEE2sq-3C (E25) サーモスタット  
EM-IE5.5sqx6 E5.5sq (E31) ACP-1-1, 1-2  
EM-IE5.5sqx3 E5.5sq (E31) ACP-2  
EM-IE2.0x3 E2.0 (E31) CB

- D  
EM-IE2.0x6 E2.0 (HIVE28) FS-1, FE-1  
EM-CEE2sq-3C (HIVE22) サーモスタット  
EM-IE5.5sqx6 E5.5sq (HIVE28) ACP-1-1, 1-2  
EM-IE5.5sqx3 E5.5sq (HIVE28) ACP-2  
EM-IE2.0x3 E2.0 (HIVE28) CB

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
動力設備 1階、2階平面図		AE / 07
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



構内情報網設備 1階平面図 S=1/100



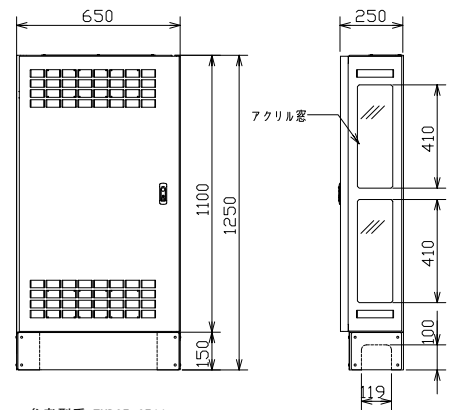
構内情報網設備 2階平面図 S=1/100

凡 例

記 号	名 称
☐	情報通信網収納箱 姿図参照
●RJ	モジュージャック RJ11
■x2	モジュージャック RJ45x2
①	外線電話機仕様
≡ELt	保安器用接地工事
≡EDt	通信用接地工事
---	配管配線 床隠ぺい
↕	" 立上げ・引下げ

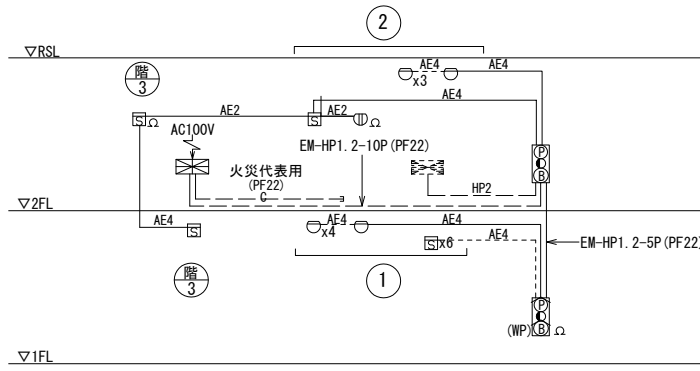
1. 外線電話機仕様

- ・受話器：コードレス
- ・電源：AC100V
- ・停電対応
- ・卓上型
- ・参考型番：VE-GD56DL

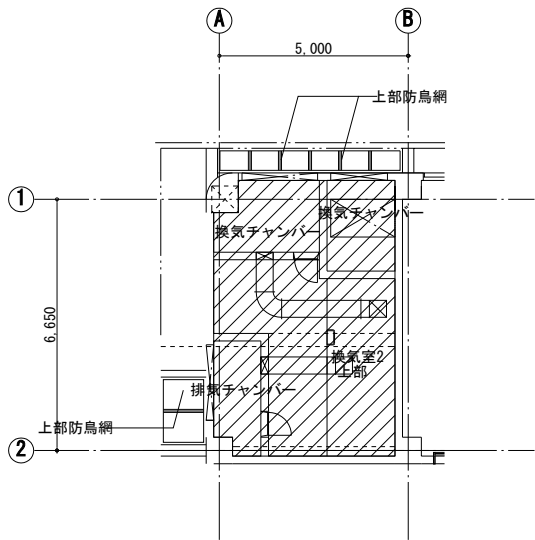


保安器・情報通信網収納箱参考図 S=1/15

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
構内交換・情報通信網設備 1階、2階平面図		AE / 08
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



火災報知設備系統図



火災報知設備 階段室上部平面図 S=1/100

凡 例

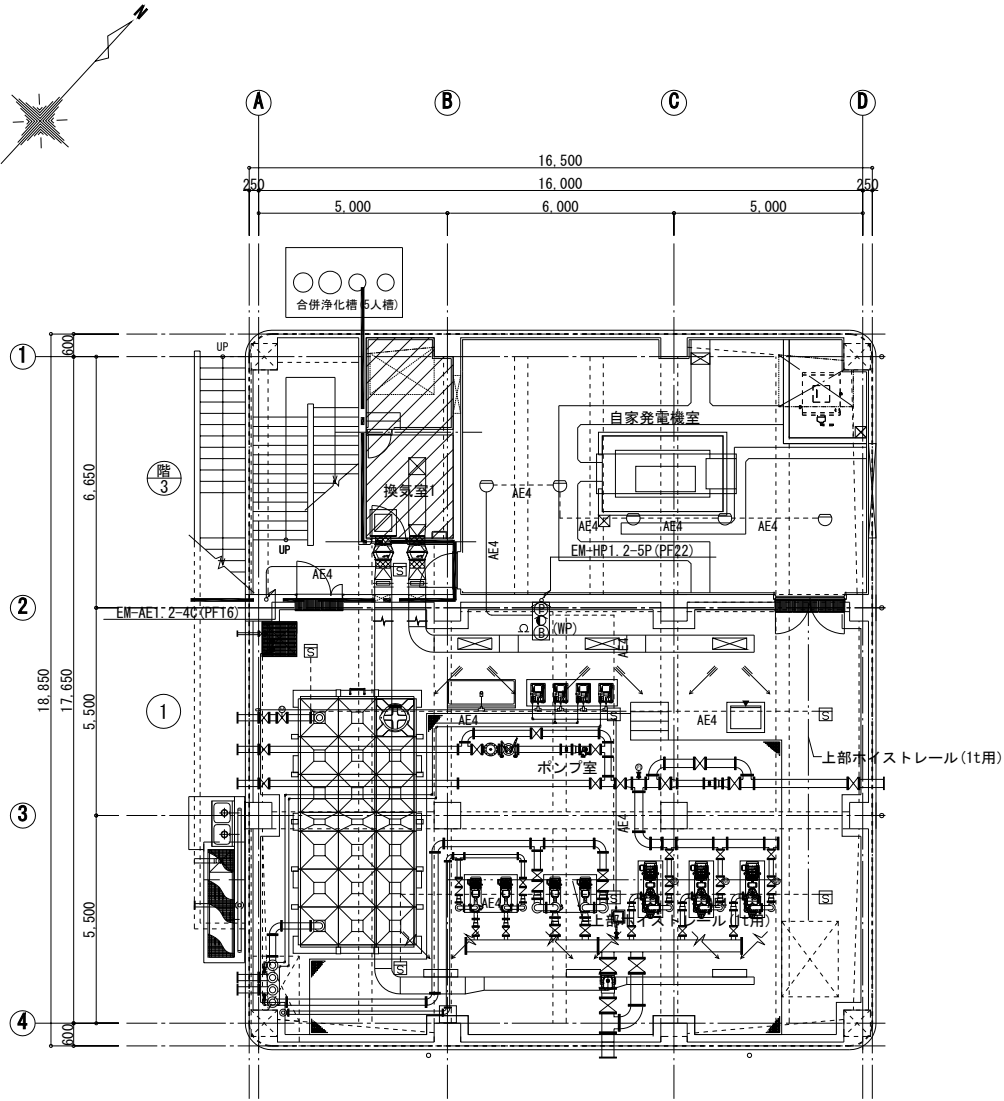
記 号	名 称	備 考	記 号	名 称	備 考
☒	受信機	P型 1級 5回線	Ω	終端抵抗	10KΩ
Ⓢ	総合盤	露出縦形 (ⓈⓈ 内蔵)	Ⓢ	警戒区域番号	
Ⓢ(WP)	総合盤 防水形	露出縦形 (ⓈⓈ 内蔵)	Ⓢ	動力制御盤 (別途)	
Ⓢ	電鈴	DC24V 150φ			
○	表示灯	LED 24V Ⓢ防水型	—	配管配線	隠べい
Ⓢ	発信機	P型1級 DC24V Ⓢ屋外型	—	配管配線	床隠べい
Ⓢ	光電式スポット型感知器	2種	Ⓢ	配管配線	立上げ・引下げ
Ⓢ	差動式スポット型感知器	2種			
Ⓢ	定温式スポット型感知器	1種 耐酸形			

特 記

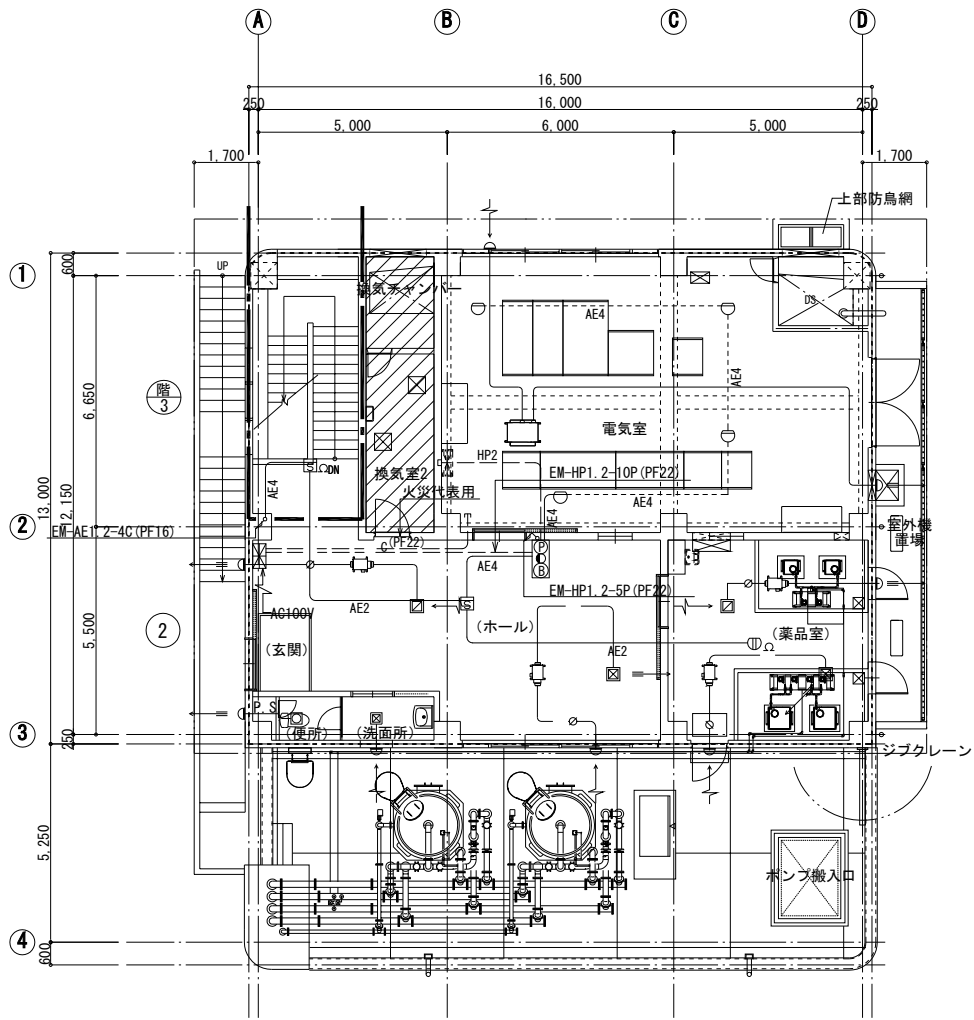
- 火災受信盤の表示内訳は下記の通り。

自火報 3L  
予 備 2L  
合 計 5L
- 地区警報は一斉鳴動方式とする。
- 火災受信盤は別途動力盤へ火災代表を移報する。
- 火災受信盤は別途盤へ火災代表を移報する。
- 特記なき配管配線は下記とする。

Ⓢ EM-AE1.2-2C (PF16)  
Ⓢ EM-AE1.2-4C (PF16)  
Ⓢ EM-AE1.2-2C (HIVE16)  
Ⓢ EM-AE1.2-4C (HIVE16)  
Ⓢ EM-HP1.2-2C (PF16)
- 部は感知器免除範囲を示す。

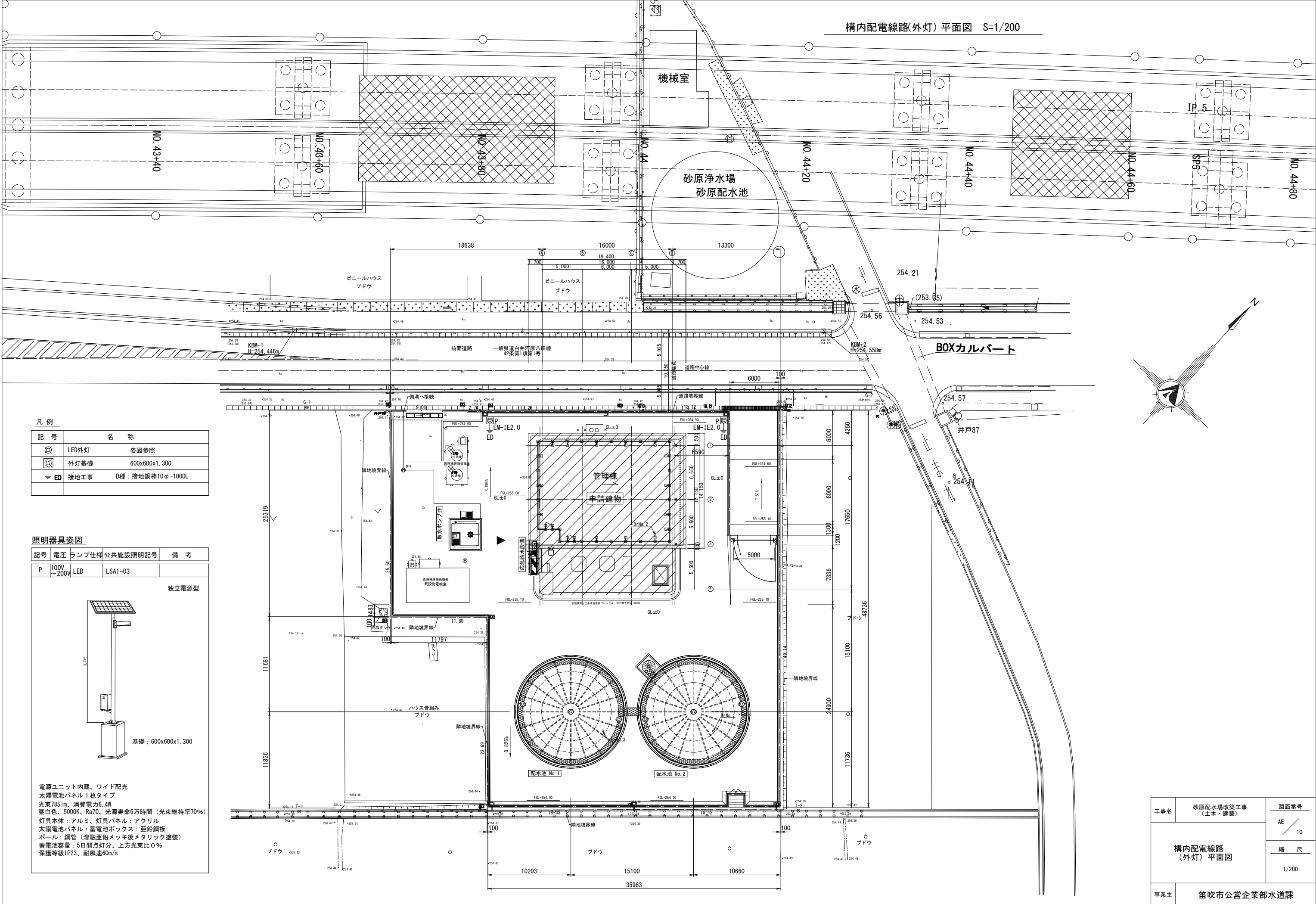


火災報知設備 1階平面図 S=1/100



火災報知設備 2階平面図 S=1/100

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
火災報知設備 1階、2階平面図		AE / 09
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



凡 例

記 号	名 称
	LED外灯 姿図参照
	外灯基礎 600x600x1,300
	接地工事 D種：接地銅棒10φ-1000L

照明器具姿図

記号	電圧	ランプ仕様	公共施設照明記号	備 考
P	100V ~200V	LED	LSA1-03	

独立電源型

電源ユニット内蔵、ワイド配光  
太陽電池パネル1枚タイプ  
光束785lm、消費電力6.4W  
昼白色、5000K、Ra70、光源寿命6万時間（光束維持率70%）  
灯具本体：アルミ、灯具パネル：アクリル  
太陽電池パネル・蓄電池ボックス：亜鉛銅板  
ポール：鋼管（溶融亜鉛メッキ後メタリック塗装）  
蓄電池容量：5日間点灯分、上方光束比0%  
保護等級IP23、耐風速60m/s

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号	AE 10
構内配電線路 (外灯) 平面図		縮 尺	1/200
事業主	笛吹市公営企業部水道課		

[illegible]

	<p>ホルムアルデヒドの放散量</p> <table border="1"> <tr> <td>ホルムアルデヒドの放散量</td><td>該当する機材等</td></tr> <tr> <td>規制対象外</td><td> ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品  ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品  ③下記表示のあるJAS規格品 <ul style="list-style-type: none"> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤使用</li> <li>接着剤等不使用</li> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用</li> <li>ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</li> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用</li> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>第三種</td><td> ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品  ②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 </td></tr> </table>	ホルムアルデヒドの放散量	該当する機材等	規制対象外	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 <ul style="list-style-type: none"> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤使用</li> <li>接着剤等不使用</li> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用</li> <li>ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</li> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用</li> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</li> </ul>	第三種	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品																																																					
ホルムアルデヒドの放散量	該当する機材等																																																											
規制対象外	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 <ul style="list-style-type: none"> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤使用</li> <li>接着剤等不使用</li> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用</li> <li>ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</li> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用</li> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</li> </ul>																																																											
第三種	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品																																																											
○室内空気中の化学物質の濃度測定	室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンの濃度を測定し、監督職員に報告すること。 測定はパッシブ型採集機により行う。 測定時期 ○工事着手前 ○施工終了時 測定対象室 ・ 図示 ・ 測定箇所数 ・ 図示 ・																																																											
●主任技術者等	下記資格を証明する資料を監督職員に提出する。 ○資格の区分1) (イ) 建築業法（昭和24年法律第100号）による技術検定（以下「技術検定」という。）のうち、1級の管工事施工管理の検定科目に合格した者 (ロ) 技術士法（昭和58年法律第25号）による第二試験のうち、技術部門を機械部門（選択科目を「流体機械」又は「暖冷房及び冷凍機械」とするものに限る。）、水道部門又は衛生工部門に合格した者 ●資格の区分2) (イ) 技術検定のうち、1級又は2級の管工事施工管理の検定科目に合格した者 (ロ) 資格の区分1)の資格を有する者																																																											
○電気保安技術者	工事現場において電気保安技術者は、監督職員の指示に従い、電気工作物の保安業務を行うものとする。 ・要 ・不要 ●配管施工（配管工事） ●建築板金施工（ダクト製作および取付け） ●熱絶縁施工（保温工事） ●冷凍空調調和機器施工（冷凍空調機器の幅付） ●設けない ○設ける この工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用は、すべて請負者の負担とする。																																																											
●技能士の適用	構内につくることが ●できる ○できない ●別契約の関係請負者が設置したものは無償で使用する。 ○本工事で設置とする。																																																											
●監督事務所 ●工事用電力・水・その他 ●工事用仮設物 ●足場・さん欄	○改修標準仕様書第1編2.2.11によるほか下記による。 ○内部仮設足場等（○ 種 ○ 種） ○外部仮設足場等（○ 種 ○ 種） ●埋戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。 ○場外適切処分 ●根切り土の中の良質土 ○山砂の類 ○完成図の原因サイズは、原則としてA1サイズとする。 ●建築特記による ○CADデータの提出 ・要 ・不要 ○既存完成図（CADデータ）の修正を行う。 ○保全に関する資料の提出部数は 部とする。																																																											
○運転操作説明板	系統図、機器等の取り扱い方法及び重要な定期点検項目を書いたアクリル樹脂製の板を機械室に貼ける。説明板の大きさは、約 mとする。																																																											
●機材の承諾図	機械設備工事機材承諾図様式（平成22年版） によるほか、監督職員の指示による。																																																											
●総合調整	●本工事（調整項目は下記のものとする。） ●風量調整 ●水量調整 ●室内外空気の温湿度の測定 ○騒音の測定 ●飲料水の水质の測定 ●50Hz ○60Hz (1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。																																																											
●電源周波数 ●容量等の表示	設備機器の固定等は、「国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修（建築設備耐震設計・施工指針 2005年版）」により行う。ただし、設計用地震力（水平及び鉛直）は次の設計用水平地震力K <sub>h</sub> 及び設計用鉛直地震力K <sub>v</sub> （K <sub>h</sub> /2）を用いて計算する。設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。																																																											
●耐震措置	設計用標準水平地震力 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">・ 特定の施設</th><th colspan="2">● 一般の施設</th></tr> <tr> <th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr> <tr> <td rowspan="3">上層階 屋上及び塔屋</td><td>機器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr> <tr> <td>防振支持の機器</td><td>(2.0)</td><td>2.0</td><td>(2.0)</td><td>(1.5)</td></tr> <tr> <td>水槽類（※1）</td><td>(2.0)</td><td>(1.5)</td><td>(1.5)</td><td>1.0</td></tr> <tr> <td rowspan="3">中間階</td><td>機器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr> <tr> <td>防振支持の機器</td><td>(1.5)</td><td>(1.5)</td><td>(1.5)</td><td>(1.0)</td></tr> <tr> <td>水槽類（※1）</td><td>(1.5)</td><td>(1.0)</td><td>(1.0)</td><td>(0.6)</td></tr> <tr> <td rowspan="2">地下・1階</td><td>機器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr> <tr> <td>防振支持の機器</td><td>(1.0)</td><td>(1.0)</td><td>(1.0)</td><td>(0.6)</td></tr> <tr> <td></td><td>水槽類（※1）</td><td>(1.5)</td><td>(1.0)</td><td>(1.0)</td><td>(0.6)</td></tr> </table>	設置場所	機器種別	・ 特定の施設		● 一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	(2.0)	2.0	(2.0)	(1.5)	水槽類（※1）	(2.0)	(1.5)	(1.5)	1.0	中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)	水槽類（※1）	(1.5)	(1.0)	(1.0)	(0.6)	地下・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)		水槽類（※1）	(1.5)	(1.0)	(1.0)	(0.6)
設置場所	機器種別			・ 特定の施設		● 一般の施設																																																						
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																							
上層階 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																							
	防振支持の機器	(2.0)	2.0	(2.0)	(1.5)																																																							
	水槽類（※1）	(2.0)	(1.5)	(1.5)	1.0																																																							
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																							
	防振支持の機器	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)																																																							
	水槽類（※1）	(1.5)	(1.0)	(1.0)	(0.6)																																																							
地下・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																							
	防振支持の機器	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)																																																							
	水槽類（※1）	(1.5)	(1.0)	(1.0)	(0.6)																																																							
○試験 ○絶縁継手 ○地中埋設機等	(注) ( ) 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。 ( ) 内の数値は水槽類に適用する。 ・上層階とは2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。 ・中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの（平家建の場合は無し） ・重要機器は次のものを示す。 ○給水装置 ○排水装置 ○換気機器 ○空調機器 ○熱源機器 ○防炎設備 ○監視制御設備 ○危険物貯蔵装置 ○火を使用する設備 ○避難経路上に設置する機器 ○ (1) ステンレス鋼管の接合は、下記による。 ○呼び径60mm以下 ( ) ○呼び径75mm以上 ( ) (2) 建築物導入部の変位吸収方法は、標準図（建築物導入部の変位吸収配管要領）による。 ○(a) ○(b) ○(c) (3) 溶接部の非破壊検査 ○不要 ○要 ( ) 既設配管を含む部分の試験 ○要（方法及び圧力： ） ○不要 「機器と配管接続部」取付け箇所は箇所にによる。																																																											
●保温	(1) 地中埋設機 ○要（図示の箇所） ○不要 (2) 埋設表示用テープ ○要（排水管を除く） ○不要 ○屋外露出部（○給水工 ○消火工 ○膨張弁 ○ドレン弁 ○ 行方 仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。厚さは配管の呼び径25以下のものは50mm、呼び径32以上のものは40mmとする。 ○共同溝の保温は（標準仕様書第2編の図箇所）を適用する。 ○多湿箇所は下記のとおりとする。（天井内共多湿箇所とする。） （○浴室（ユニットは除く） ○脱衣室 ○ ） ●屋内露出（○実験室 ●居室以外）の保温外装は（●アルミガラスクロス ○）とする。																																																											

<p>○塗装</p> <p>○はつり</p> <p>○電線類</p> <p>●天井上区分</p> <p>●吊り及び支持金物</p> <p>○施工調査</p>	<p>○塗装要( )</p> <p>既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、ダイヤモンドカッターを用いる。 電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。 ( ) 書きの署名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。 (○槽内 ●機械室 ) の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼製 (SUS304) とする。 ○下記によるほか、改修標準仕様書第1編1.5.1及び1.5.2による。</p> <p>事前調査</p> <p>調査項目 ○</p> <p>調査範囲 ○示 ○</p> <p>調査方法 ○示 ○</p>																																									
<p>●設計温度</p> <p>●空調調和設備</p> <p>○鋼板製煙道</p> <p>○ダクト</p> <p>○風量測定口</p> <p>○チャンパー</p> <p>○ダンパー</p> <p>●配管材料</p> <p>○弁類</p> <p>○温度計</p> <p>○圧力計</p> <p>○瞬間流量計</p> <p>○油面制御装置</p> <p>○絶縁継手</p> <p>●保温及び消音内貼り</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">外 気</th> <th colspan="6">屋 内 (調 整 目 標)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">一 般 系 統</th> <th colspan="2">電 気 室</th> <th colspan="2">機 械 室</th> </tr> <tr> <th>甲府</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏期</td> <td>36.7 ℃</td> <td>44 %</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>28 ℃</td> <td>50 %</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td>-2.1 ℃</td> <td>51 %</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>19 ℃</td> <td>40 %</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> <p>伸縮継手、排出口及びばいじん量測定口の位置は図示による。 鋼板厚 (φ3.2mm ○4.5mm)</p> <p>○低圧ダクト (○コーナーボルト工法 (長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法) とする。 ○高圧1ダクト (適用範囲は図示による。) とする。 ○ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの様子は別図による。 取付け箇所は図示による。 (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 空気調和機に付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには点検口を設け、大きさは図示による。 (3) ガラリに直接取付けるチャンパー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。 (1) 防煙ダンパー 復帰方式 (○通風 ○ ) 定格入力D024V、0.7A以下とする。 (2) ビストンダンパー 復帰方式 (○通風 ○ ) (1) 冷温水管 ○ (2) 冷却水管 ○ (3) 油管 ○ (4) 蒸気管 給気管 ○ 冷媒管 ●断熱材被覆鋼管 (5) 高温水管 ○ (6) 膨張管、空気抜き管 ○ ドレン管及び膨張タンク ●屋内：結露防止帯付硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) よりボイラ等への補給水管 電気室、屋外：配管用炭素鋼管 (白) JIS又はW (○SK ○10K (図示部分) ) 65A以上の冷温水・冷却水用弁装置の仕切弁はバタフライ弁とする。 ○鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。 ○ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。 ○ファンコイルユニットと冷温水管の接続部 (往・還) には、ボール弁を取付ける。 取付け箇所は図示による。 取付け箇所は図示による。 コック付とし、取り付け箇所は図示による。 制御盤には (○給油ポンプ制御 ○満油警報 ○過隔警報 ○電磁弁制御 ○返油ポンプ制御 ○減油警報 ○ ) の端子を設ける。なおフオートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。 図示の位置に取付ける。 ○遠りダクトの保温 範囲は (○ ○ ) ○外気ダクトの保温 範囲は (○ ○ ) ○膨張タンクよりボイラ等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の膨張管の項による。 ○建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の膨張管の項による。 ○空気調和機及びファンコイルユニットの排気管の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の排気管の項による。 ●冷媒管の外装の種類は (○図示による) ●保温化粧ケース )</p>	外 気		屋 内 (調 整 目 標)						一 般 系 統		電 気 室		機 械 室		甲府	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏期	36.7 ℃	44 %	℃	%	28 ℃	50 %	℃	%	冬期	-2.1 ℃	51 %	℃	%	19 ℃	40 %	℃	%
外 気				屋 内 (調 整 目 標)																																						
		一 般 系 統		電 気 室		機 械 室																																				
甲府	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																		
夏期	36.7 ℃	44 %	℃	%	28 ℃	50 %	℃	%																																		
冬期	-2.1 ℃	51 %	℃	%	19 ℃	40 %	℃	%																																		
<p>●換気設備</p> <p>●風量測定口</p> <p>●ダンパー</p> <p>●排気ダクトのシール</p> <p>●チャンパー</p> <p>●保温</p> <p>○ダクト</p> <p>○排煙口の形式</p> <p>○排煙口手動開放装置 (開放及び復帰方式)</p> <p>○排煙風量測定</p>	<p>●低圧ダクト (●コーナーボルト工法 (長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法) とする。 ○高圧1ダクト (適用範囲は図示による。) ○厨房系統の長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書より1ランク厚いものを使用する。 取付け箇所は図示による。 空気調和設備の当該項目による。 浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) 系統 空気調和設備の当該項目による。 ●全熱交換ユニット用のダクト (保温の厚さ25mm、範囲は図示による) (○厨房 ○湯沸室 ) 用の隠へ部ダクト (仕様はh・(イ)・Ⅵ) とし、範囲は図示による。</p> <p>建築設備定期検査業務基準書 (日本建築設備安全センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。</p>																																									
<p>○システム構成その他</p> <p>○電気計装工事の配線</p> <p>○自動制御設備</p>	<p>図示による。 使用する電線類はE線とし、規格は標準仕様書第4編表4.1.11の使用する電線類の規格による。 (機器、盤類は除く) 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠すべの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p>																																									
<p>●衛生器具設備</p> <p>○自動洗浄装置及びその組み込み</p> <p>○小便器</p> <p>○標記板</p> <p>○自動水栓の電源供給方式</p> <p>○和風大便器の防火区画貫通処理</p> <p>○衛生器具ユニット</p> <p>●洋風便器</p>	<p>洗浄水量はL/回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。</p> <p>●個別感知フラッシュ方式 (一体型) 制御盤 (○要 ●不要) 要 (材質: ) (○大便器 ○小便器 ○ ) ○不要</p> <p>○AC100V ○乾電池 ○自己給電</p> <p>○標準図 (耐火性能が必要となる阻害器・和風大便器の防火区画貫通処理要領 (b) (2) ) による。</p> <p>○ユニットの配管材料は、図示による。 ●洋風便器の洗浄水量は8.5L/回以下とする。</p>																																									

●給水設備	<p>●配管材料</p> <p>(1) 給水引込管（直結部分）水道事業者の指定による（○）</p> <p>(2) 地中埋設配管 ○</p> <p>(3) その他の一般配管 ●耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管(HIPV)</p> <p>○台所流し用の水栓は泡沫式とする。</p> <p>○水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。</p> <p>（ただし、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。）</p> <p>○親メーター（○貸与品 ○） ○子メーター（○買い取り ○）</p> <p>○水道事業者指定品（○貸与品 ○買い取り） ○標準図№C形</p> <p>JIS又はJV ●水道直結部分（●10K ○）</p> <p>○その他の部分（○ 5K ○）</p> <p>○ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。</p> <p>管の上端より原則として、一般敷地は（ cm）構内道路は（ cm）以上とする。</p> <p>○合成樹脂製 ○アルミニウム合金製 ○人造石とぎ出し製 ○ステンレス製</p> <p>標準図（建築物導入部の変位吸収配管要領）の○(a) ○(b) ○(c)による。</p> <p>○要（○別途工事 ○本工事） ○不要</p>
●排水設備	<p>●配管材料</p> <p>(1) 屋 内 排水管 ●硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</p> <p>●耐火二層管</p> <p>通気管 ●硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</p> <p>(2) 屋 外 第一樹まで ●硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</p> <p>○</p> <p>樹間 ●硬質ポリ塩化ビニル管(VU)</p> <p>○</p> <p>●洗面器等の排水管 洗面器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。</p> <p>台所流し等の屋上部分の配管は、ビニル管（RF-VP）でもよい。</p> <p>標準仕様書第2編2.4.8(f)による ○図示の箇所に取付ける。</p> <p>○要（○別途工事 ○本工事）○不要</p>
○給湯設備	<p>○配管材料 ○</p> <p>○弁類 JIS又はJV（○5K ○10K（図示部分））</p> <p>○ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。</p> <p>湯沸給湯の給排弁（二重管）の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種別は標準仕様書第2編表3.1.5 表2.3.5のh・(イ)・Xとする。</p>
○消火設備	<p>○配管材料 (1) 屋内消火栓 一般 ○</p> <p>地中 ○</p> <p>(2) 連絡送水管 一般 ○</p> <p>地中 ○</p> <p>(3) ○</p> <p>○保温 屋外露出配管は標準仕様書第2編3.1.5.e・(ハ)・Ⅵによる保温を行う。</p> <p>ただし、防凍保温は共通事項による。</p> <p>標準図（建築物導入部の変位吸収配管要領）○(a) ○(b) ○(c)による。</p>
○厨房設備	<p>○システム ○ドライシステム ○</p> <p>○厨房用熱源 図示による。</p> <p>○機器の機能等 図示による。</p>
○ガス設備	<p>○ガス種別 ○都市ガス（供給者名： 発熱量 MJ/m<sup>3</sup>(N)</p> <p>○液化石油ガス</p> <p>○配管材料 ○都市ガス ガス事業者の供給規定による。</p> <p>○液化石油ガス (1) 一般</p> <p>(2) 地中</p> <p>○充てん容器 別途（○50kg ○）× 本</p> <p>○集合装置 標準図（液化石油ガス容器廻り配管要領）による 本組。</p> <p>○転倒防止等 標準図（液化石油ガス容器転倒防止施工要領）の○(a) ○(b)による。</p> <p>○メーター ○親メーター（○貸与品 ○） ○子メーター（○買い取り ○）</p> <p>○ガス漏れ警報器 ○本工事（図示による） ○別途工事</p> <p>○漏洩検知装置 ○要 ○不要</p> <p>○電気防食 ○要 ○不要</p> <p>○引込負担金等 ○要（○別途工事 ○本工事） ○不要</p>
○撤去工事	<p>○保温材、配管・ダクト等より分離する。</p> <p>○支持金物等 ダクト及び配管等の支持金物及び吊り金物は本工事に撤去する。</p> <p>○石綿含有品 石綿含有分析調査 ○本工事 ○別途</p> <p>撤去方法 ○図示による ○</p> <p>○発生材の処理 ○金属類（○機器類 ○ダクト ○配管 ○その他の金属）の処理は（○物品管理者に引き渡し ○構外搬出適切処理）とする。</p> <p>○特別管理産業廃棄物 ○ ○の処理は（○別途 ○構外搬出適切処理）とする。</p> <p>○石綿含有産業廃棄物 ○配管用成形保温材 ○フランジ用ガasket）の処理は（○別途 ○構外搬出適切処理）とする。</p> <p>○上記以外のもの ○ ○の処理は（○別途 ○構外搬出適切処理）とする。</p> <p>○冷媒（フロン類）の回収 ○本工事 ○別途</p> <p>冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編2.1.2.0により、次の書類を監督職員に提出する。</p> <p>○フロン回収行程管理表の写し</p> <p>○特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）の写し</p>

工事名

砂原配水場改築工事  
(土木・建築)

図面番号

AM  
01

縮 尺

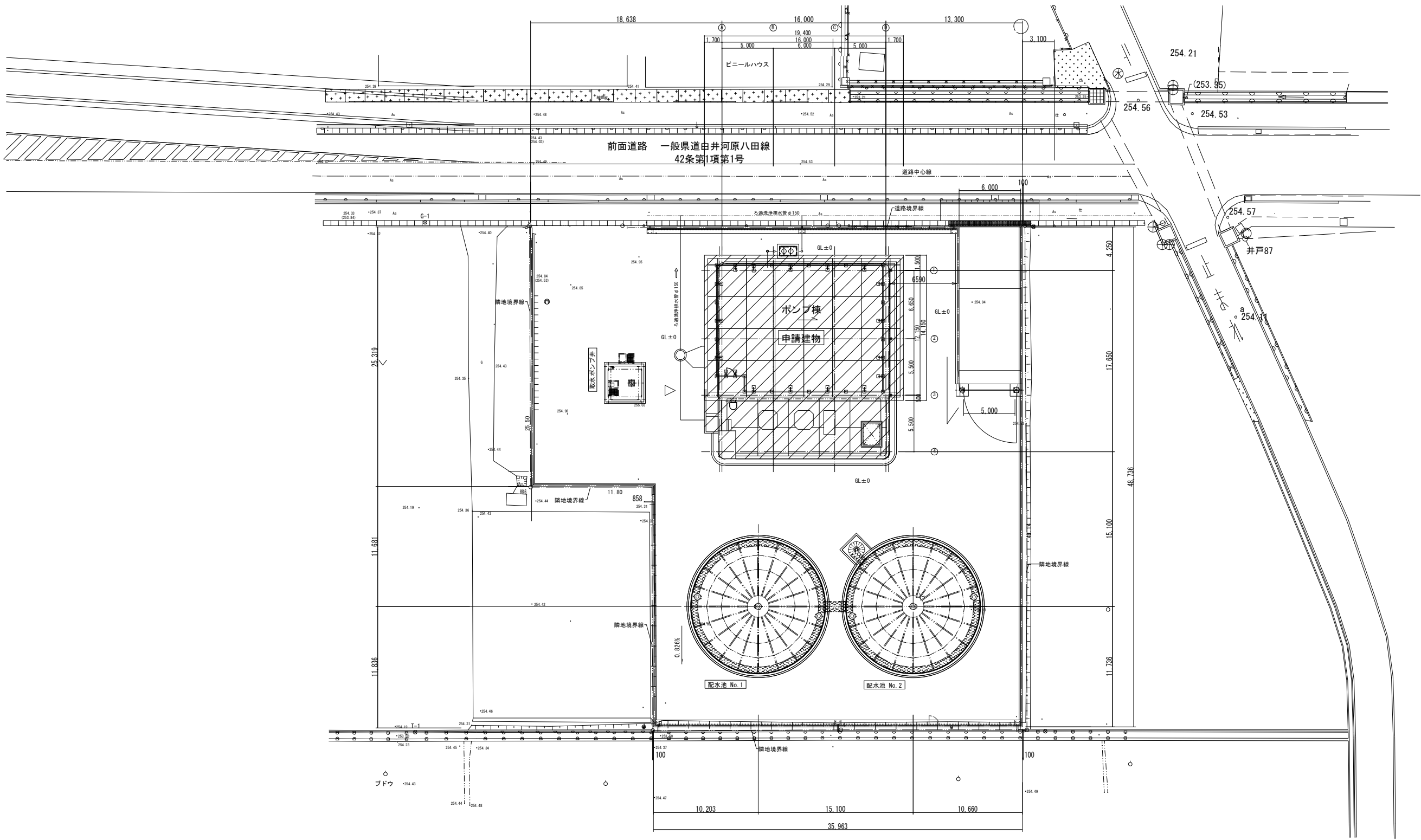
N S

事業主

建築機械設備 特記仕様書

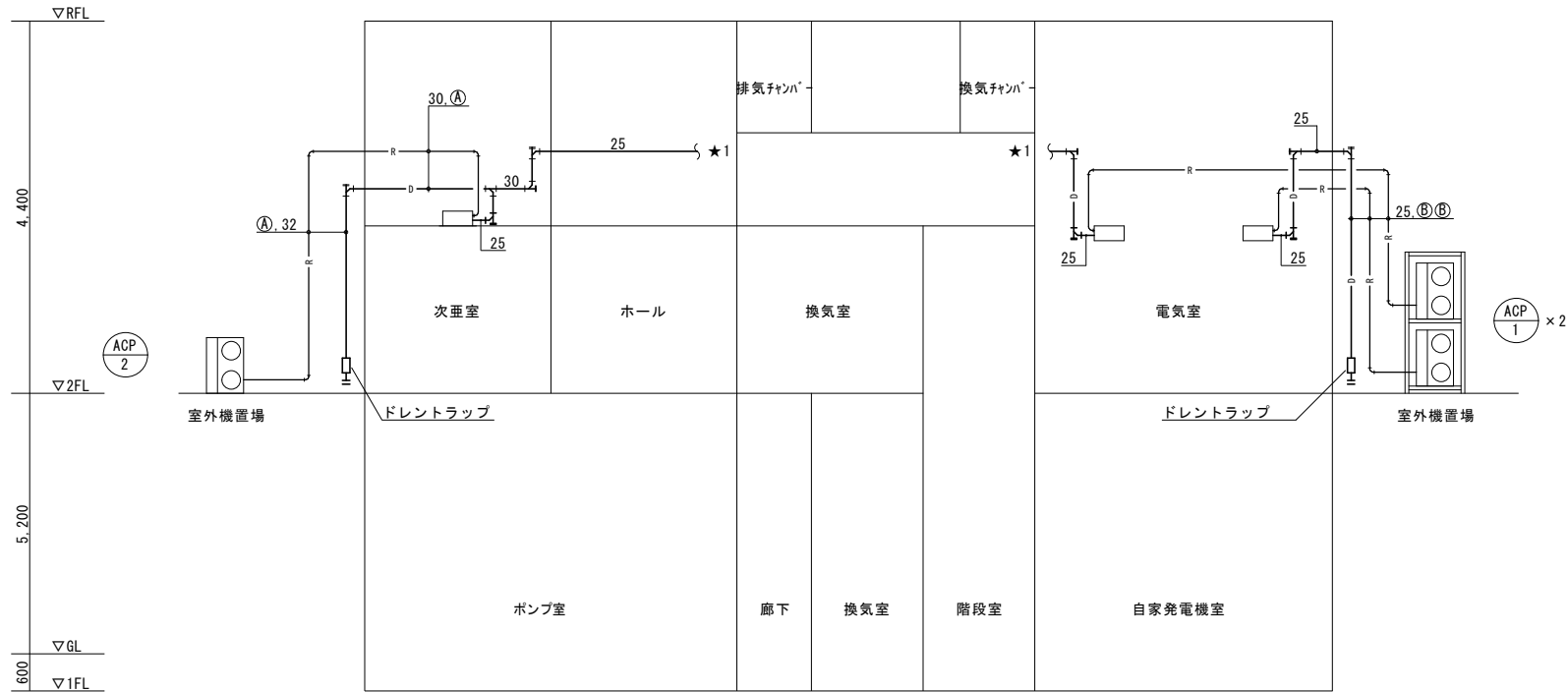
笛吹市公営企業部水道課

配置図 S=1:200

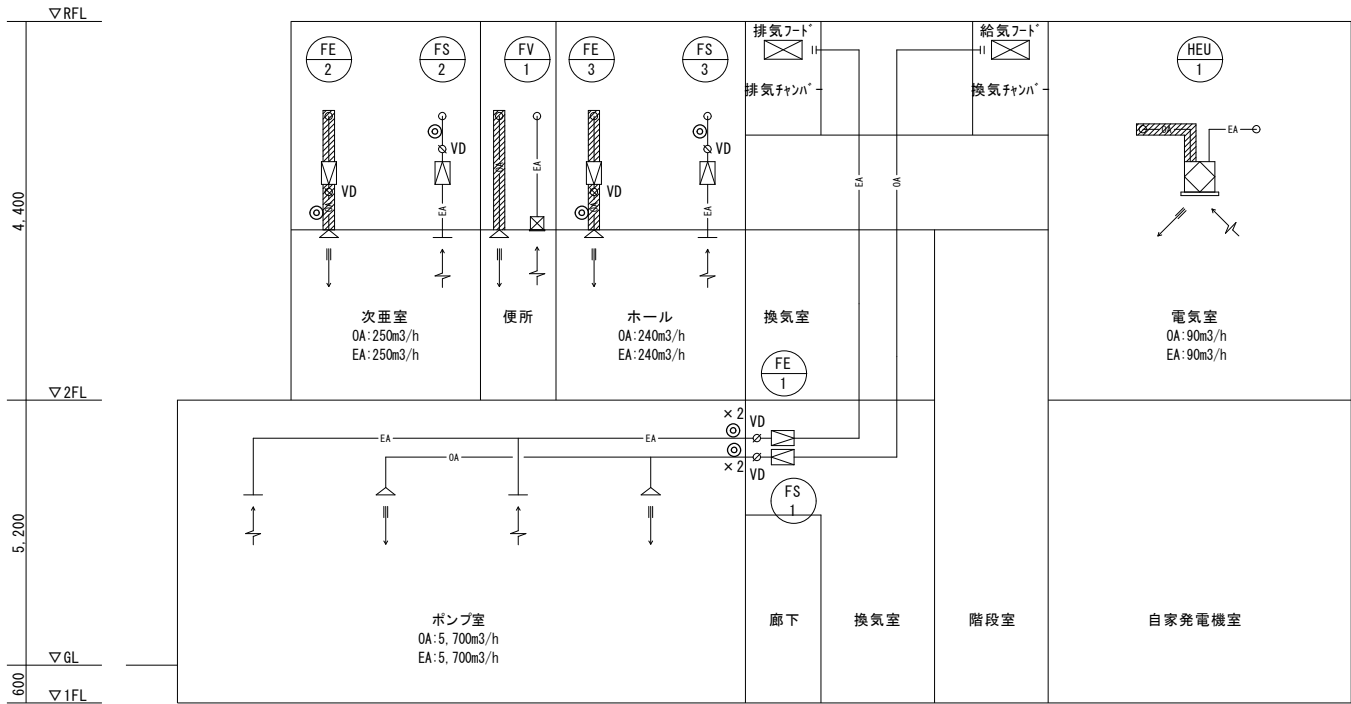


工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
配置図		AM / 02
		縮 尺
		1/200
事業主	笛吹市公営企業部水道課	





換気設備 配管系統図 S=NON

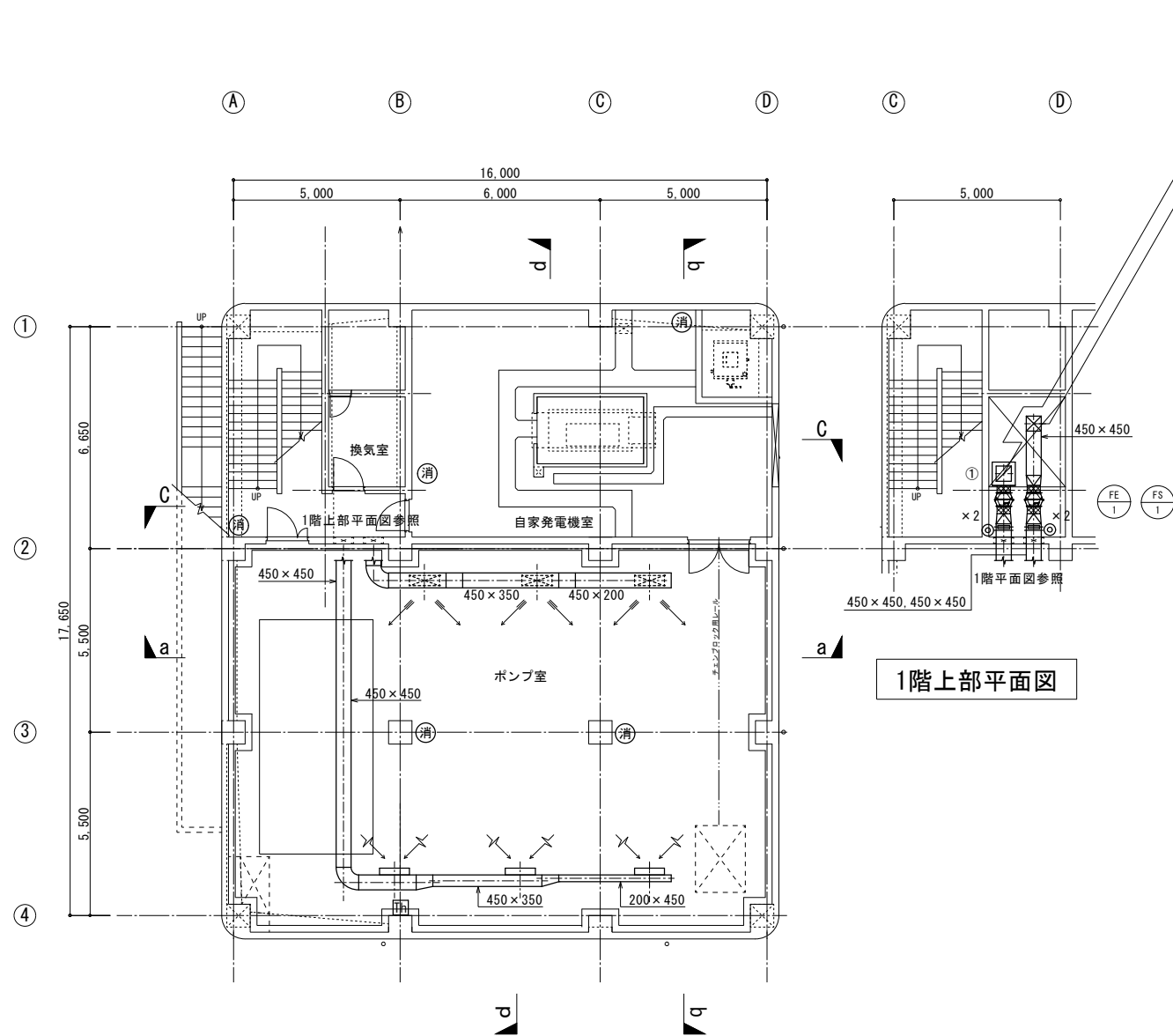


換気設備 ダクト系統図 S=NON

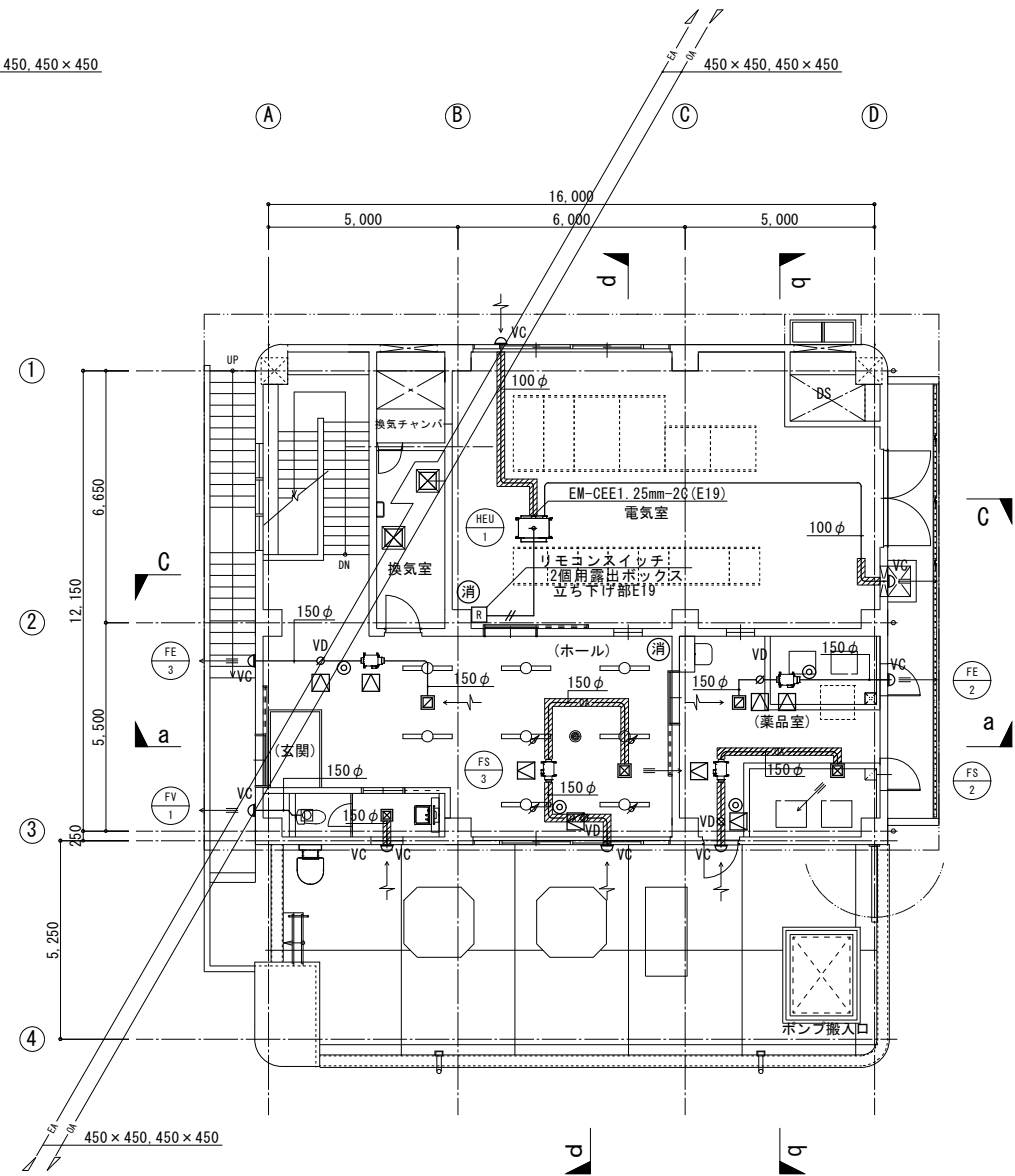
凡例		
記 号	名 称	仕 様
	空調機	機器仕様による
	斜流送風機	機器仕様による
	天井扇	機器仕様による
	冷媒管	断熱材被覆銅管
	ドレン管（屋外）	配管用炭素鋼銅管（白）
	ドレン管（電気室）	配管用炭素鋼銅管（白）
	ドレン管（屋内）	結露防止帯付硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	給気ダクト	亜鉛鉄板製（工法は特記による）
	排気ダクト	亜鉛鉄板製（工法は特記による）
	保温ダクト	GW巻（厚さは共通仕様による）
	パイプフード	深形（SUS製・防虫網付）
	防火区画貫通部材	大臣認定部材とする。
	冷媒・ドレン用	PS060WL-0131
	風量調整ダンパー	記号：VD
	風量測定口	

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
空調換気設備 系統図		AM / 04
		縮 尺
		N. S
事業主	笛吹市公営企業部水道課	





1階平面図



2階平面図

ポンプ室		アルミ製
OA	VHS-300×900	3
		1,900m <sup>3</sup> /h

ポンプ室		アルミ製
EA	GVS-300×900	3
		1,900m <sup>3</sup> /h


薬品室		アルミ製
OA	VHS-250×250	1
		250m <sup>3</sup> /h
		BOX-350×350×250

薬品室		アルミ製
EA	GVS-250×250	1
		250m <sup>3</sup> /h
		BOX-350×350×250

ホール		アルミ製
OA	VHS-250×250	1
		240m <sup>3</sup> /h
		BOX-350×350×250

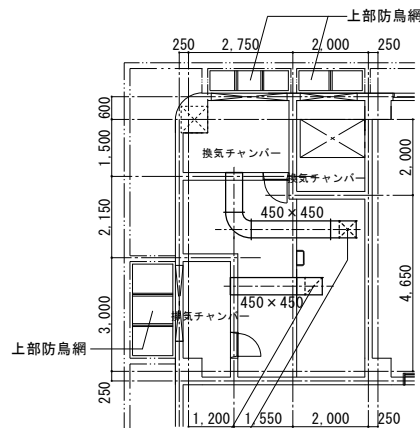
ホール		アルミ製
EA	GVS-250×250	1
		240m <sup>3</sup> /h
		BOX-350×350×250

便所		アルミ製
OA	VHS-200×200	1
		180m <sup>3</sup> /h
		BOX-300×300×200

注記	
1) -----	防火区画
2) 	点検口 (450×450、建築工事)
3) VC	深型フード (ステンレス製・防虫網付)
4) Th	サーモスタット (室内型：二位置式、0～40℃)
5)	サーモスタットは本工事とし、配線は電気設備工事とする。

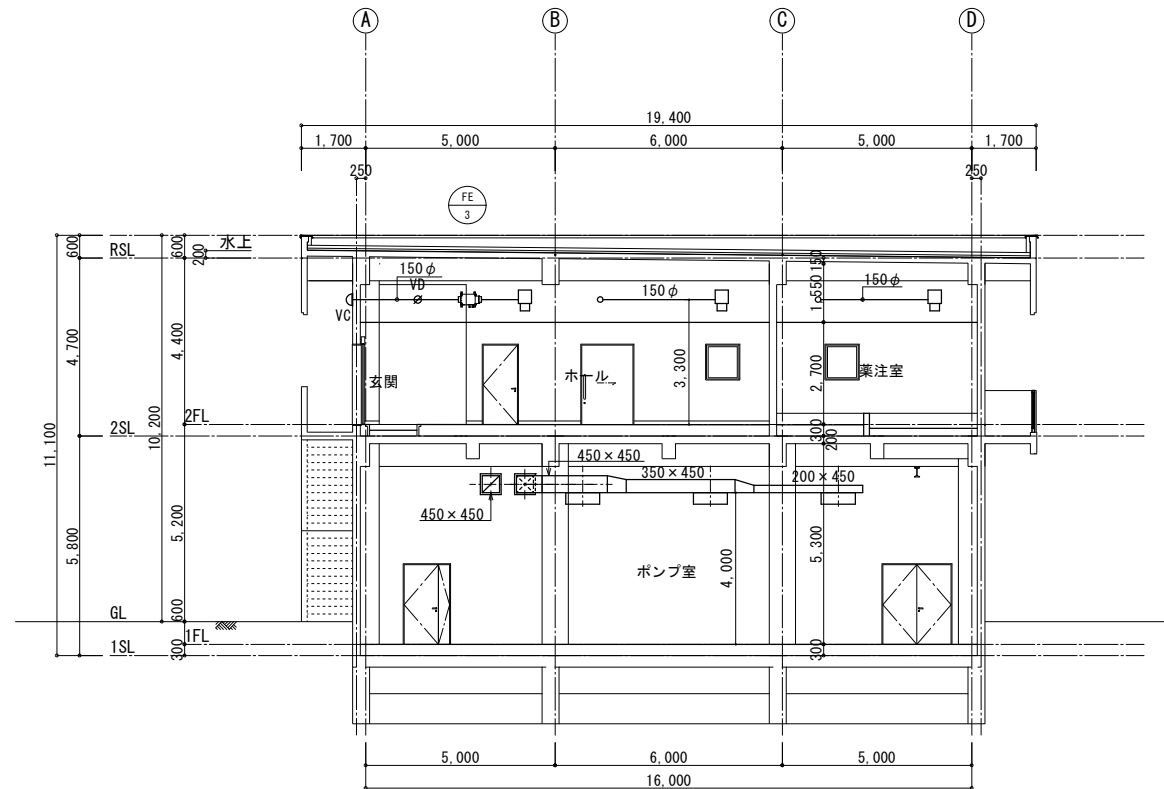
チャンバリスト								
記号	ダクト寸法			材質	内貼	点検口	塗装	個数
	W	L	H					
①	700	700	700	亜鉛鉄板	—	—	OP	1

③ 消火器：ABC10型

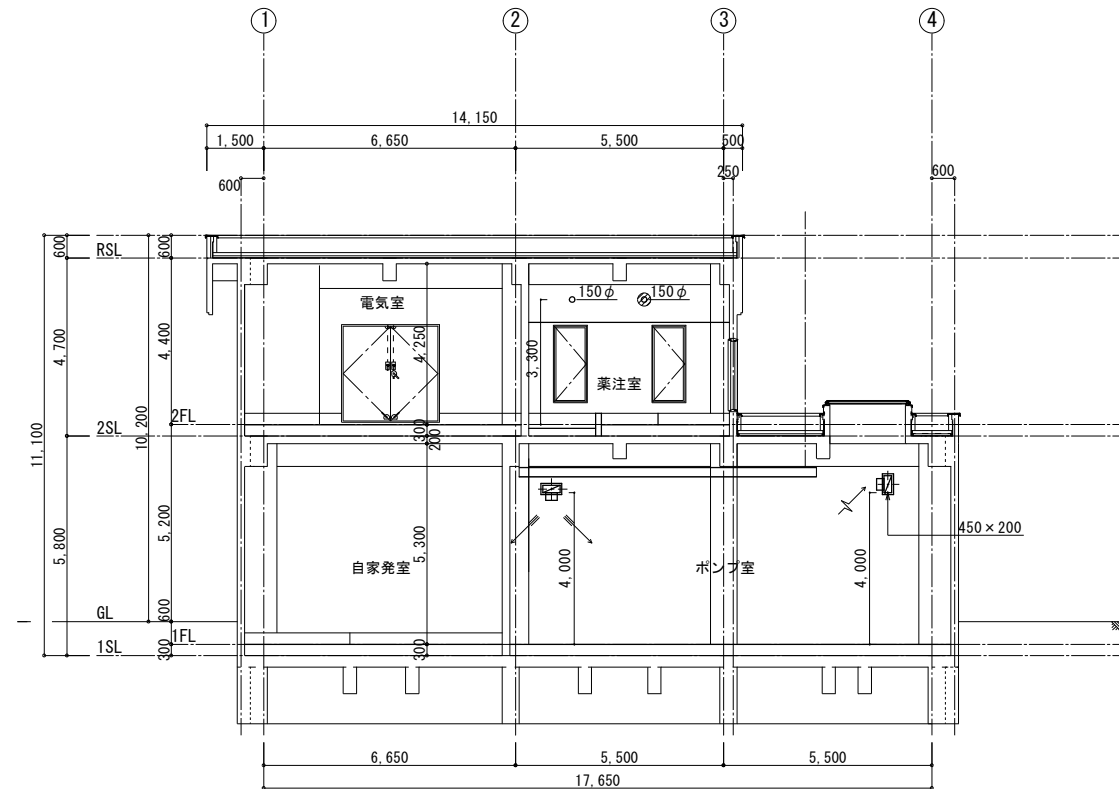


中2階平面図

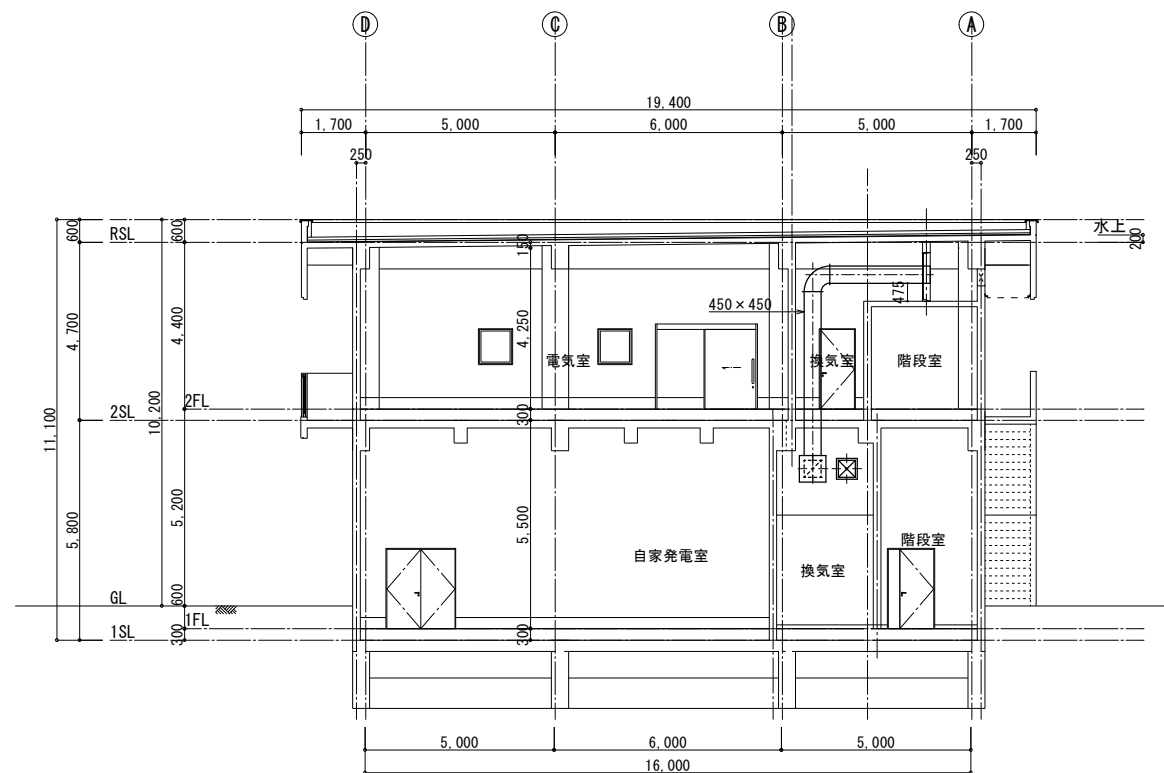
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号	
空調換気設備　ダクト平面図		AM	05
		縮	尺
		1/100	
事業主	笛吹市公営企業部水道課		



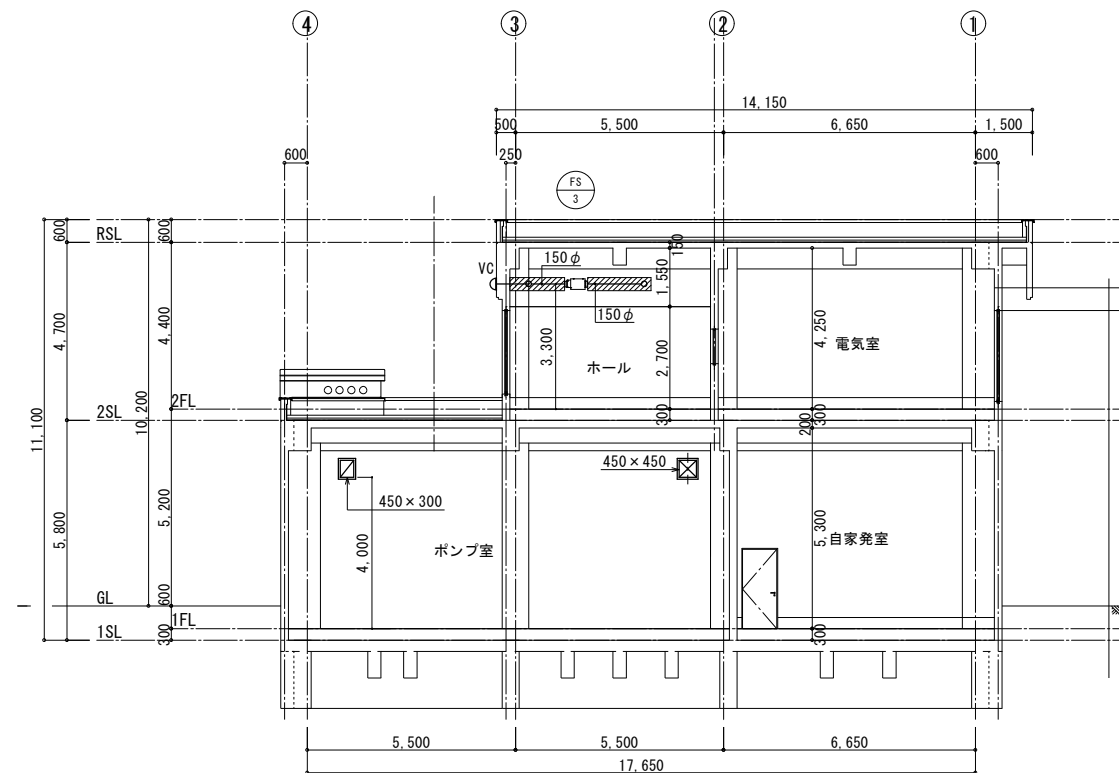
a-a断面図



b-b断面図

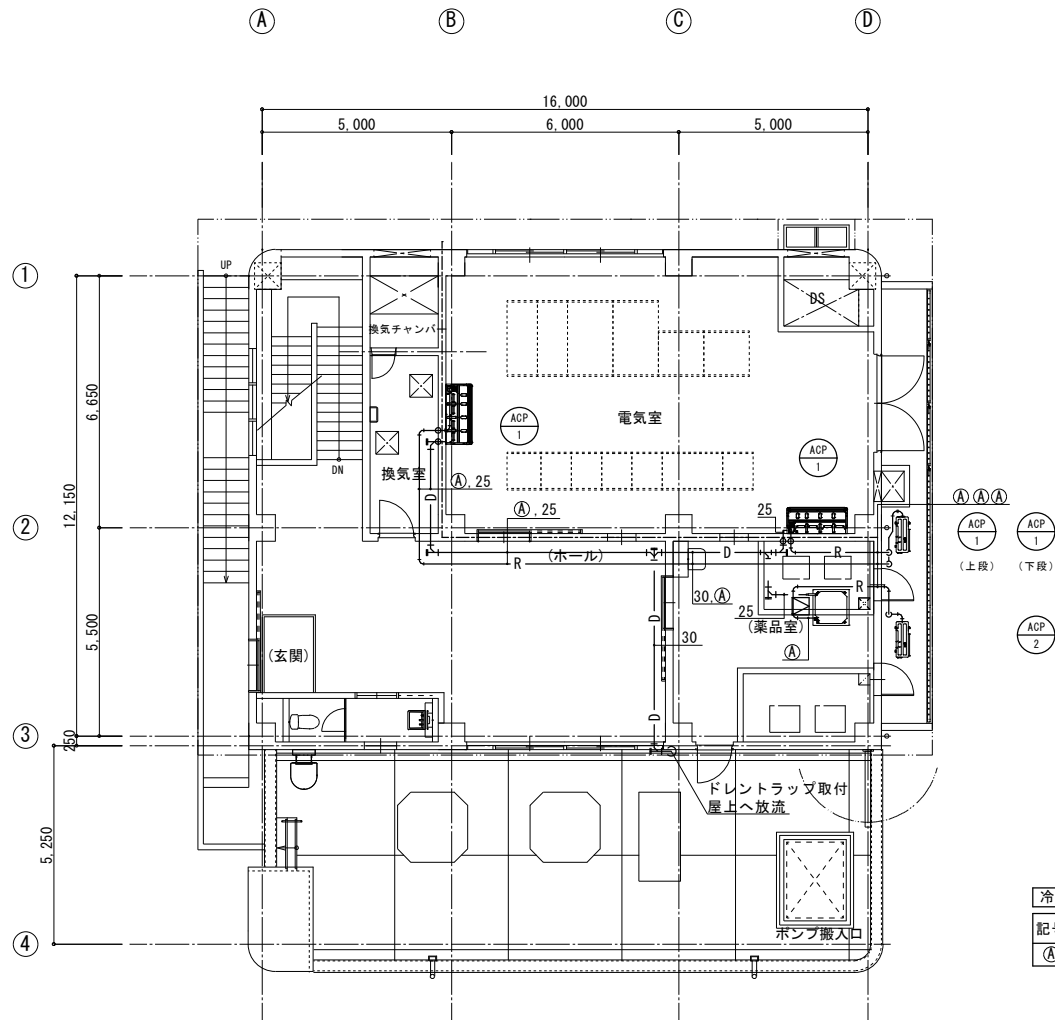


c-c断面図



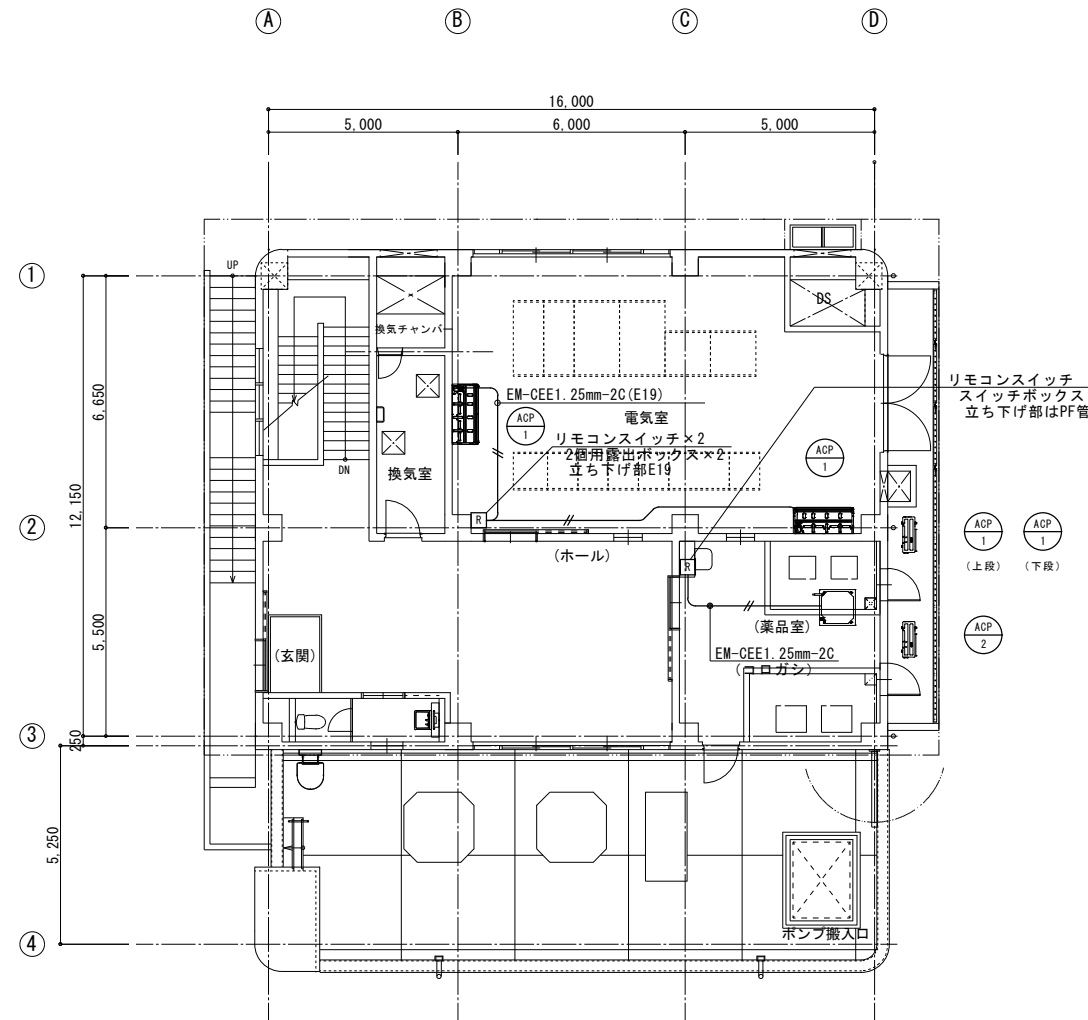
d-d断面図

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
空調換気設備 ダクト断面図		AM / 06
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



冷媒管リスト		
記号	液管	ガス管
①	9.5	15.9

2階平面図



2階平面図

空調室外機

2段架台（溶融亜鉛めっき）

アト施工アンカーM10×4

バルコニー床

室外機据付要領図 S=N. S

- 注記）
- 1) -----：防火区画
  - 2) 冷媒管の屋外露出部の保温外装はステンレスラッキングとする。
  - 3) -----：防火区画貫通処理（認定工法）
  - 4) 室内～室外連絡配線は冷媒管と共巻とする。
- 連絡配線仕様：EM-CE2.0MM2-3C

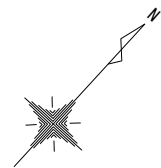
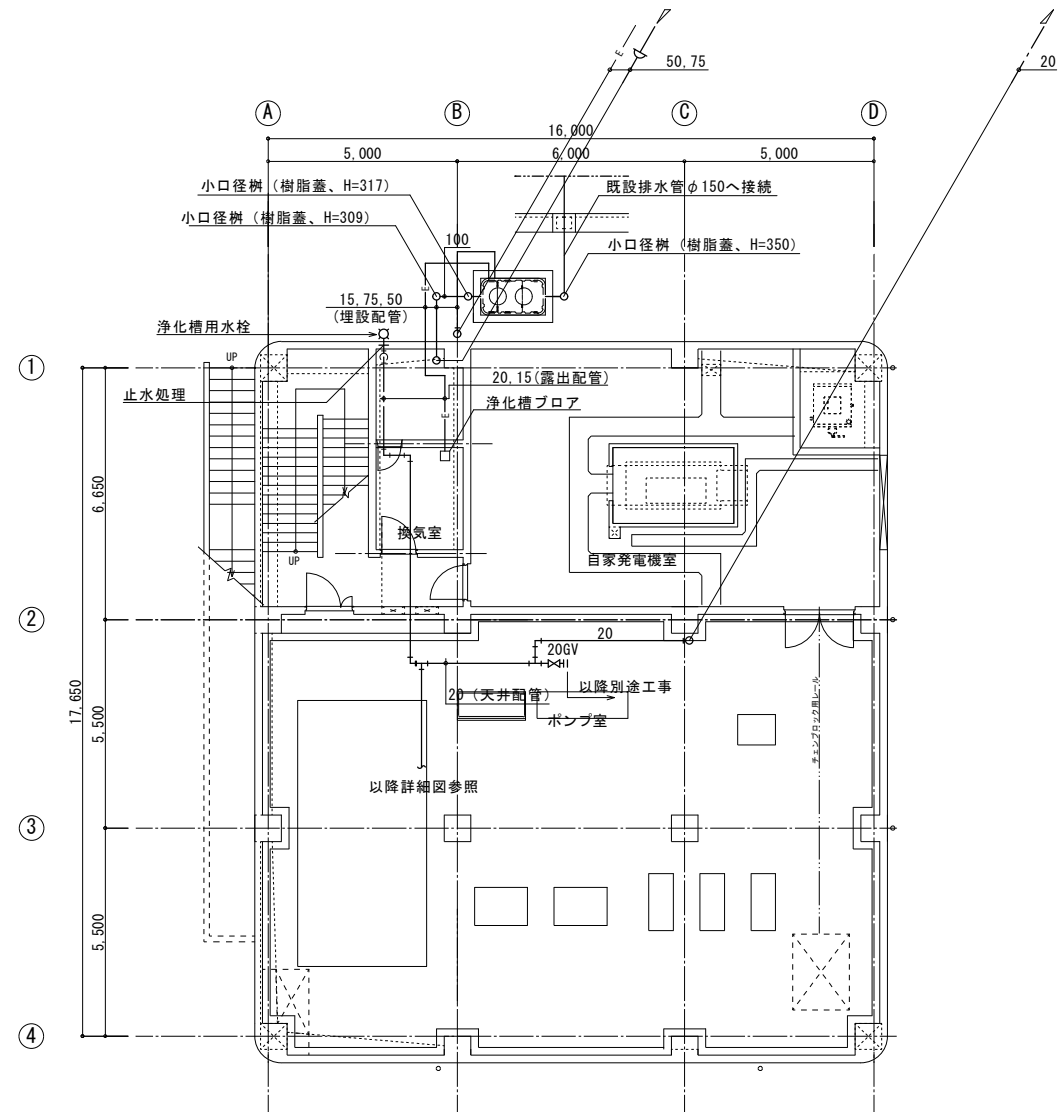
工事名	砂原配水場改築工事 （土木・建築）	図面番号
空調設備 配管配線平面図		AM / 07
		縮 尺
		1/100
事業主	笛吹市公営企業部水道課	

衛生器具表										
器具名	参考品番		仕様・付属品	1階		2階		屋外		合計
	T O T O	L I X I L		ポンプ室		便所	薬品室		浄化槽置場	
洋風大便器	CFS498BMC+TC301 YH702	BC-K21S+DV-K213FL CF-AA64KU	掃除口付大便器（フラッシュタンク式）、普通便座（蓋付） 棚付き二連紙巻器			1				1
マルチシンク	SK510D+155AFR	S-21S+LF-23N KF-24F	横水栓、壁排水				1			1
横水栓	T28AKUH13	LF-15G-13-CV	13A、キー式（ホース接続形）						1	1
洗面化粧台			（建築工事）			1				1
水石けん入れ	TS126R	KF-24F	壁付き、容量0.35L				1			1
化粧鏡	YM3545A	KF-3545	350×450			1				1

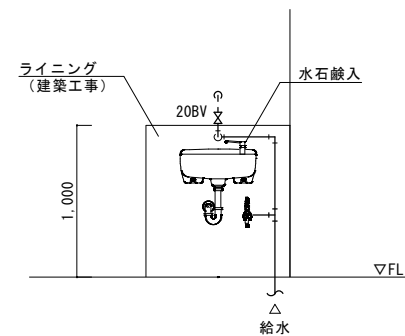
注記  
1）マルチシンクは軽鉄下地に取付。

凡例		
記 号	名 称	仕 様
—— —	給水管（一般）	耐衝撃性塩化ビニル管(HIVP)
—— —	給水管（土中）	耐衝撃性塩化ビニル管(HIVP)
————	排水管（一般）	耐火二層管
————	排水管（屋外露出）	硬質塩化ビニル管(VP)
————	排水管（土中）	硬質塩化ビニル管(VU)
.....	通気管（一般）	硬質塩化ビニル管(VP)
——✂——	仕 切 弁	JIS5K,10K
——⊗——	仕切弁（BOX共）	ボックスは公共建築仕様とする。
——□——	水栓	
○	小口径汚水継	樹脂蓋（銀付き）
◎	小口径雨水継	樹脂蓋（銀付き）

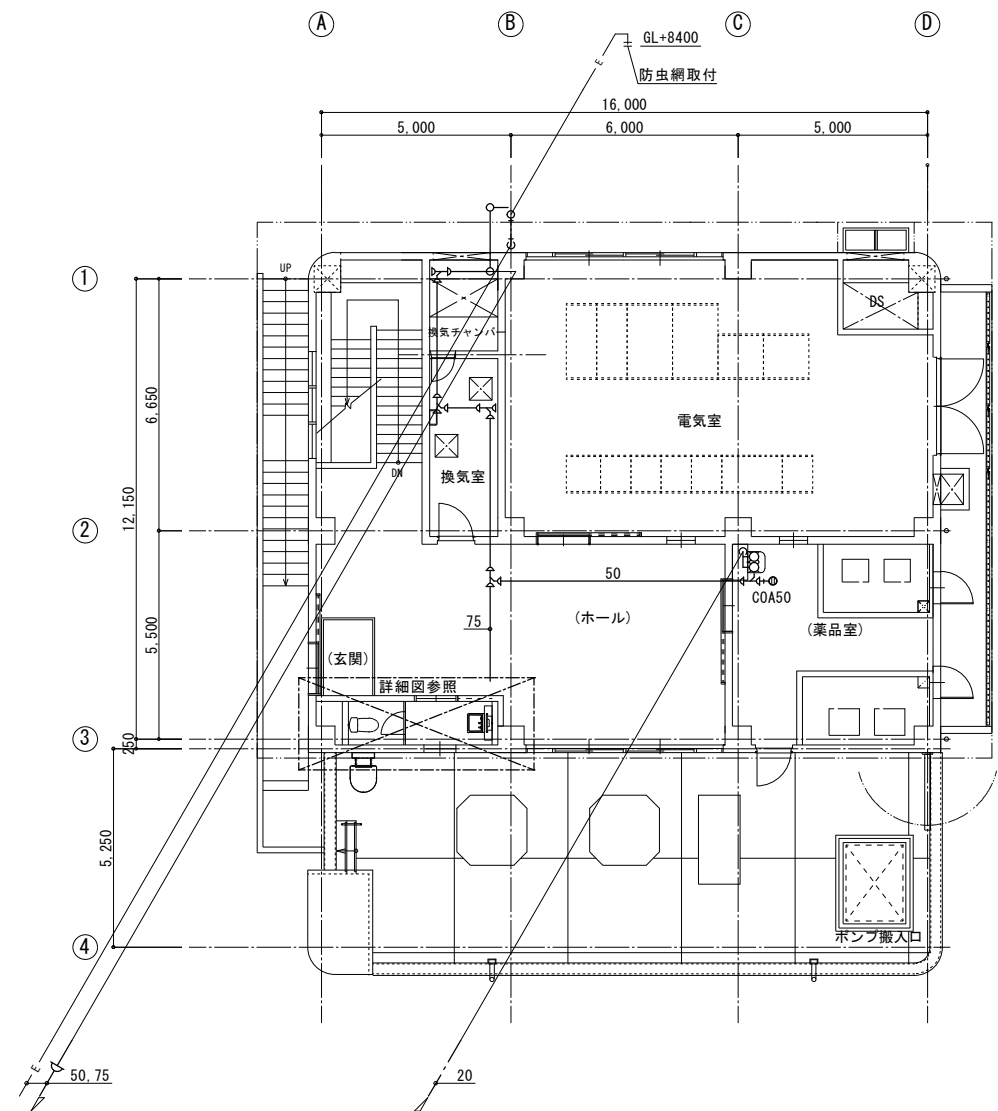
工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
給排水衛生設備 器具表		AM ／ 08
		縮 尺
		N. S
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



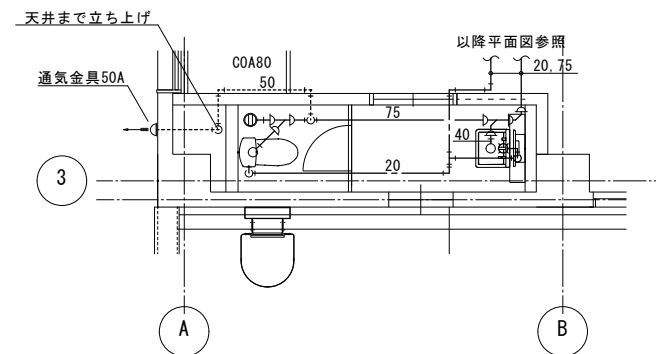
1階平面図 1/100



マルチシンク廻り詳細図 1/25

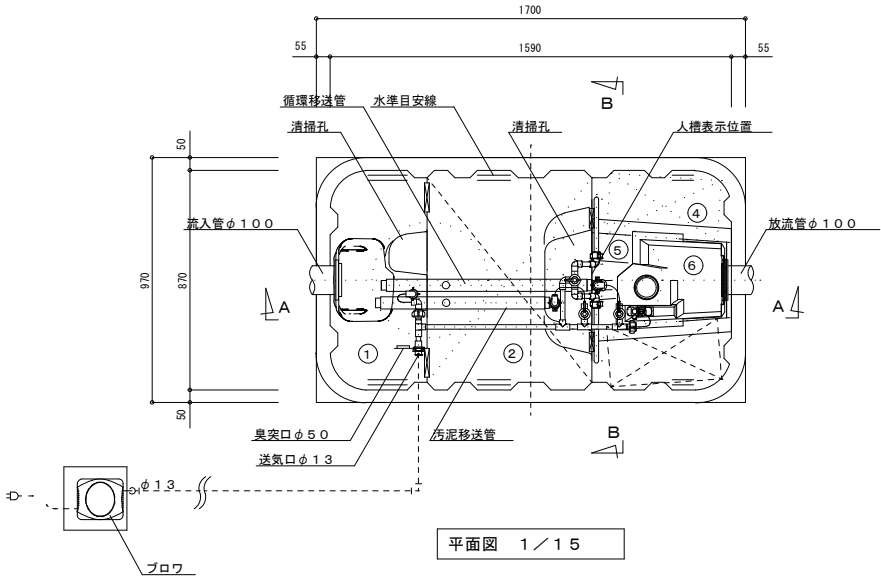


2階平面図 1/100



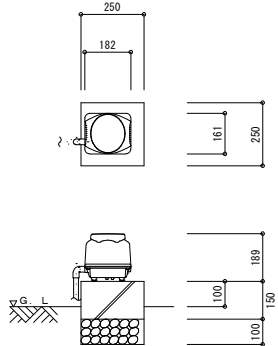
詳細図 1/50

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
給排水衛生設備 平面図・詳細図		AM 09
		縮 尺
		図示
事業主	笛吹市公営企業部水道課	



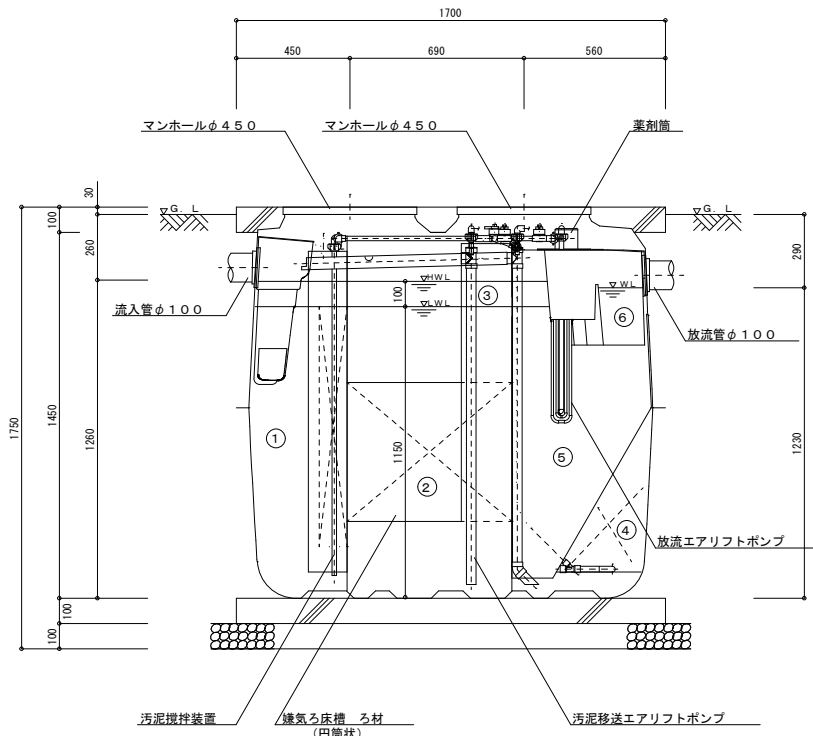
平面図 1/15

一 般 事 項	
コンクリート	F c = 2 1 N / m m 2
鉄 筋	S D 2 9 5 A
定着及継手	4 0 d
開口補強筋	D 1 3 シングル
地 業	砕石又はR C 4 0 ~ 0

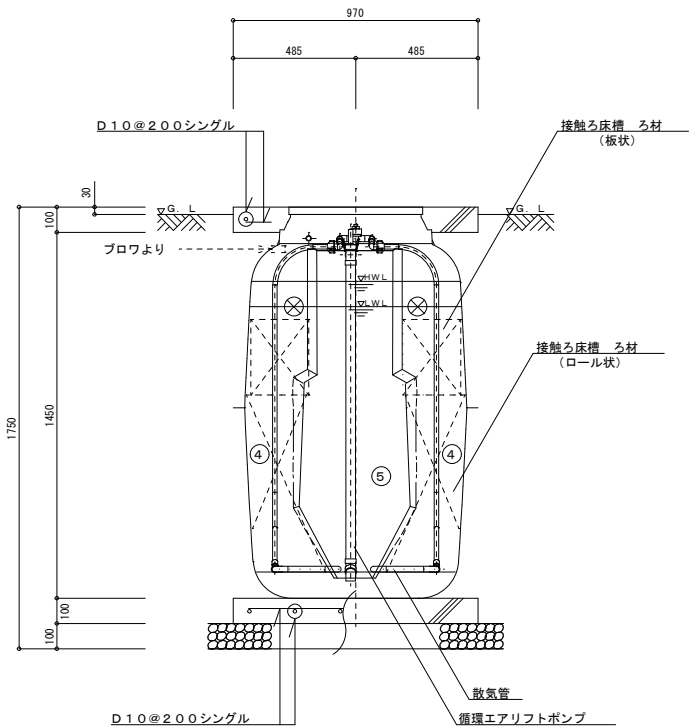


※基礎寸法は参考値とする

ブロウ 平・断面図 1/15



A-A断面図 1/15



B-B断面図 1/15

仕 様 表				
設計番号				
型式名称	CA-5 型			
処理対象人員	5 人			
汚水量	1. 0 0 m 3 / d			
流入水質	BOD 2 0 0 m g / L	COD 1 0 0 m g / L	T-N 4 5 m g / L	SS 1 6 0 m g / L
放流水質	BOD 2 0 m g / L	COD 3 0 m g / L	T-N 2 0 m g / L	SS 1 5 m g / L
①	沈殿分離槽	有効容量	0. 3 1 7	m 3
②	嫌気ろ床槽	有効容量	0. 6 0 0	m 3
④	ピークカット部	有効容量	0. 1 2 0	m 3
④	接触ろ床槽	有効容量	0. 2 9 6	m 3
⑤	処理水槽	有効容量	0. 1 6 5	m 3
⑥	消毒槽	有効容量	0. 0 1 5	m 3
総 容 量		有効容量	1. 5 1 3	m 3
機 器 装 置 仕 様				
嫌気ろ床槽ろ材 (円筒状)	PP または PE			充填率 4 3 %
接触ろ床槽ろ材 (ロール状)	PP または PE			充填率 6 1 %
接触ろ床槽ろ材 (板状)	PP または PE			充填率 2 1 %
ブロウ	6 0 L / m i n	φ 1 3	連続運転	1 台
槽本体	FRP			
パイプ類	PVC、PP または PE			
マンホール	PP または FRP			
消毒剤	固形塩素剤			

配管仕様	
露出配管 (ブロウ廻り)	V P
土中配管	φ 4 0 以下 ~ V P ・ φ 5 0 以上 ~ V U
槽内配管	メーカー仕様

- 注 1) 上部は歩行者荷重とする。
- 注 2) 機器電源は単相 1 0 0 V とする。
- 注 3) 図中の " G、L " は浄化槽位置での仕上りレベルを示す。
- 注 4) 浄化槽からブロウまでの距離は 5 m 以内とする。
- 注 5) 流入管・放流管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注 6) 臭突管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注 7) ブロウ付近にコンセント × 1 を設置のこと。設置は浄化槽工事範囲外とする。
- 注 8) 岩掘削工事、杭工事、地盤改良工事、ウエルポイント工事は別途とする。

施工高さ範囲					
MH	項 目	嵩上げ高さ	流入管底	放流管底	施工全高
簡易 ロック	最小寸法 (この図面)	0 H	G、L-260	G、L-290	1750 H
	最小寸法 (嵩上付)	50 H	G、L-320	G、L-350	1810 H
	最大寸法	300 H	G、L-570	G、L-600	2060 H
ボルト ロック	最小寸法	100 H	G、L-390	G、L-420	1880 H
	最大寸法	300 H	G、L-590	G、L-620	2080 H

- 注) 製品全高は、製品規格で + 1 0、- 2 0 mm の公差があります。
- 流入・放流管底は、製品規格で製品全高に対し ± 1 0 mm の公差があります。

工事名	砂原配水場改築工事 (土木・建築)	図面番号
浄化槽参考図		AM 10
		縮 尺
		1/15
事業主	笛吹市公営企業部水道課	